



取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

LEGEND

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **LEGEND** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



<ul style="list-style-type: none">● 運転はルールを守り、マナーよく。<ul style="list-style-type: none">・シートベルトを着用しましょう。・法定速度を守りましょう。・子供やお年寄りをいたわりましょう。・駐停車は、ルールに従いましょう。・迷惑運転はやめましょう。・自然環境保護に気をくばりましょう。	<ul style="list-style-type: none">● お車に「 」の表示があるところは、ご使用前に本書の記載を確認してください。
	<ul style="list-style-type: none">● 取扱説明書は、メンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。
	<ul style="list-style-type: none">● お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
<ul style="list-style-type: none">● 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	<ul style="list-style-type: none">● ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル
階層ごとにデザインを
変えています

ヘッダー
ページの内容を
示しています

ページ
インデックス
(6ページ)

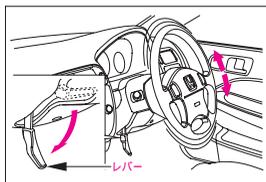
7車との上手なつきあい方 積雪・寒冷時の取り扱い 

ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。

レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

長期間使わないで
屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をさみ込みたらないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

44

説明文

装置 / 機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.6~P.7)

ページインデックス:
目次に対応しているので、目的のページが
辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.8~P.15)



名称から探すとき



さくいん
(P.450~P.460)



メーター内にランプ(警告灯)が
点灯したとき



警告灯目次(P.16)



故障かな、と思ったときや
万一のとき



さくいん(赤色文字)
(P.450~P.460)
「こんなことでお困りのとき」
(巻末)

目 次

安全ドライブのための必読 6 ポイント

1. 車を運転する前に

2. 車を運転するときに

3. 安全装備

4. ドライブを快適にする装備

5. 万一のとき

6. 車の手入れ

7. 車との上手なつきあいかた

- ・ サービスデータ
- ・ さくいん
- ・ こんなことでお困りのとき

- 1. お出かけまえに 18
- 2. お子さまに思いやりを 20
- 3. 正しい知識で最適運転 24
- 4. オートマチック車の注意ポイント 28
- 5. 駐車や停車はしっかりと 32
- 6. こんなことにも注意をしよう 34

17

- ・各部の開閉 42
- ・セキュリティシステム 84
- ・シートの調節 88
- ・ハンドル・バックミラーの調節 94
- ・ドライビングポジションシステム 102
- ・シートベルト 106
- ・チャイルドシート固定装置 114

41



- ・メーター 120
- ・マルチインフォメーションディスプレイ 124
- ・表示灯 138
- ・警告灯 146
- ・スイッチの使いかた 160
- ・運転のしかた 188
- ・SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム) 214

119



- ・SRSエアバッグシステム 220
- ・サイドエアバッグシステム/サイドカーテンエアバッグシステム 228
- ・シートベルトプリテンショナー 244
- ・E-プリテンショナー 246
- ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 248
- ・ビークルスタビリティアシスト(VSA) 250
- ・追突軽減ブレーキ(CMBS) 254
- ・ブレーキアシスト 266
- ・ポップアップフードシステム 268
- ・その他の安全装備 273

219



- ・インフォメーションディスプレイ 276
- ・エアコン 278
- ・オーディオ 300
- ・リヤカメラシステム 302
- ・照明灯 308
- ・室内装備品 316
- ・カスタマイズ機能 330

275



- ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 356
- ・故障したとき 358
- ・事故が起きたとき 360
- ・けん引 362
- ・パンクしたとき 366
- ・オーバーヒートしたとき 374
- ・電気系統が異常のとき 376

355



- ・点検・整備について 406
- ・簡単な整備 408
- ・日常の手入れ 414
- ・車にあった部品の使用 424

405



- ・積雪・寒冷時の取り扱い 426
- ・こんなときは 436
- ・環境にやさしい省エネドライブをするために 440

425

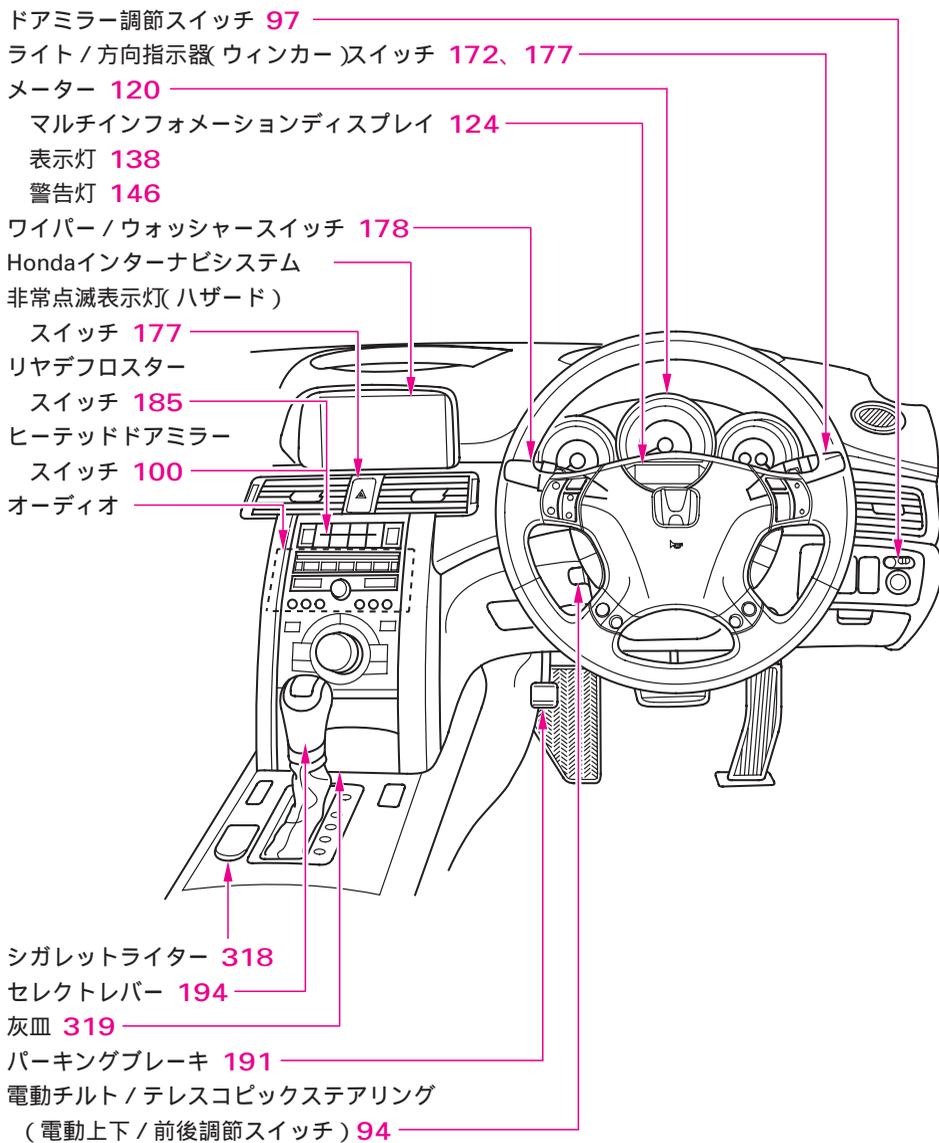


444

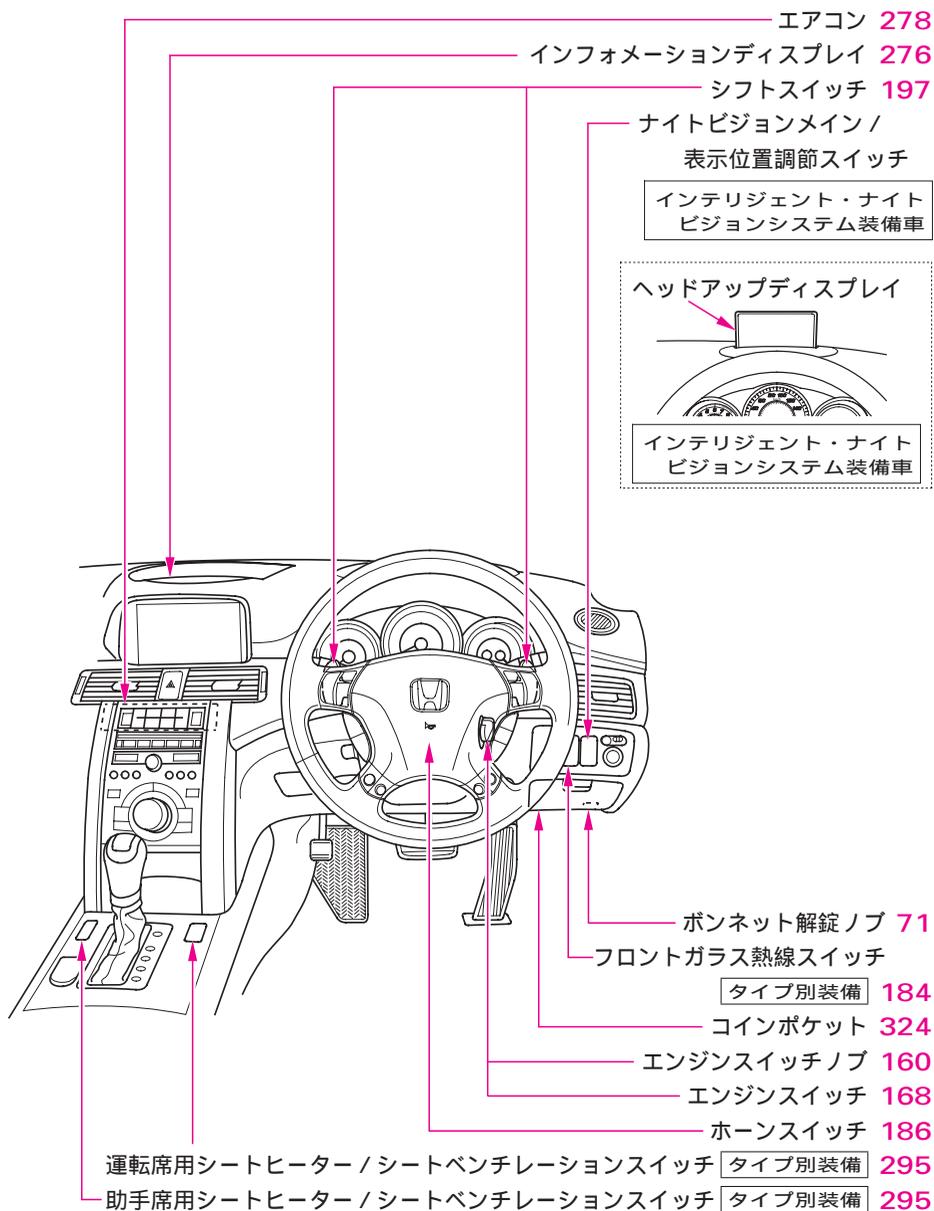
450

巻末

ビジュアル目次

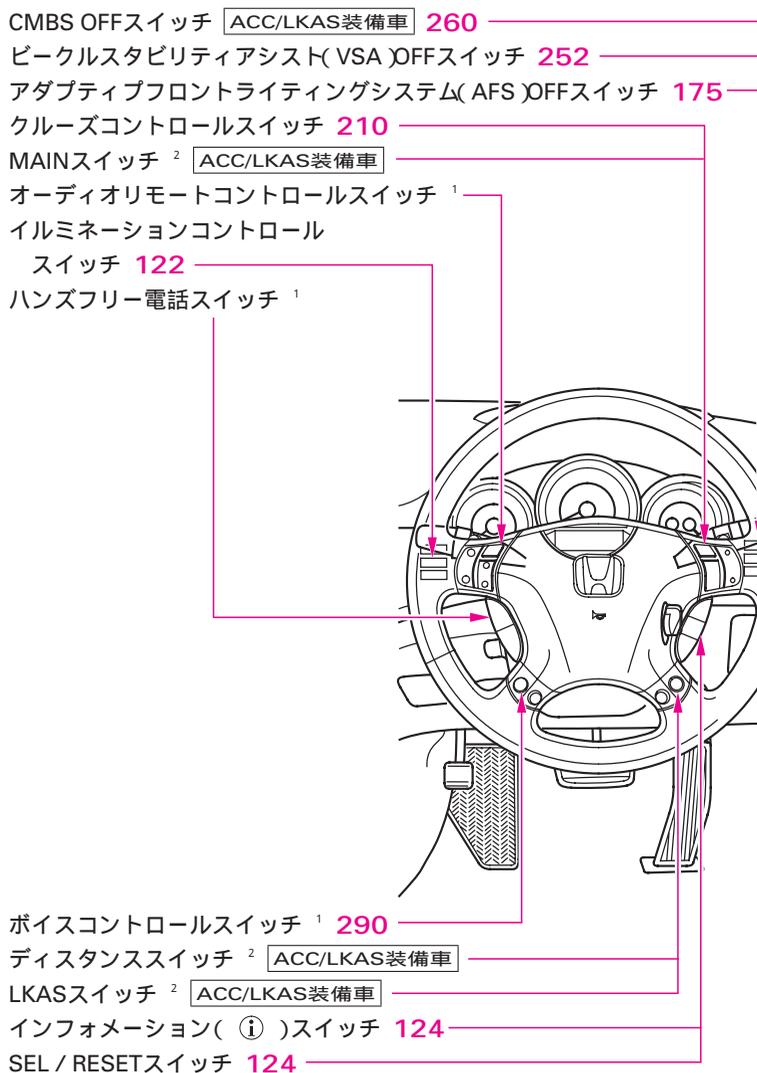


: 別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書をご覧ください。



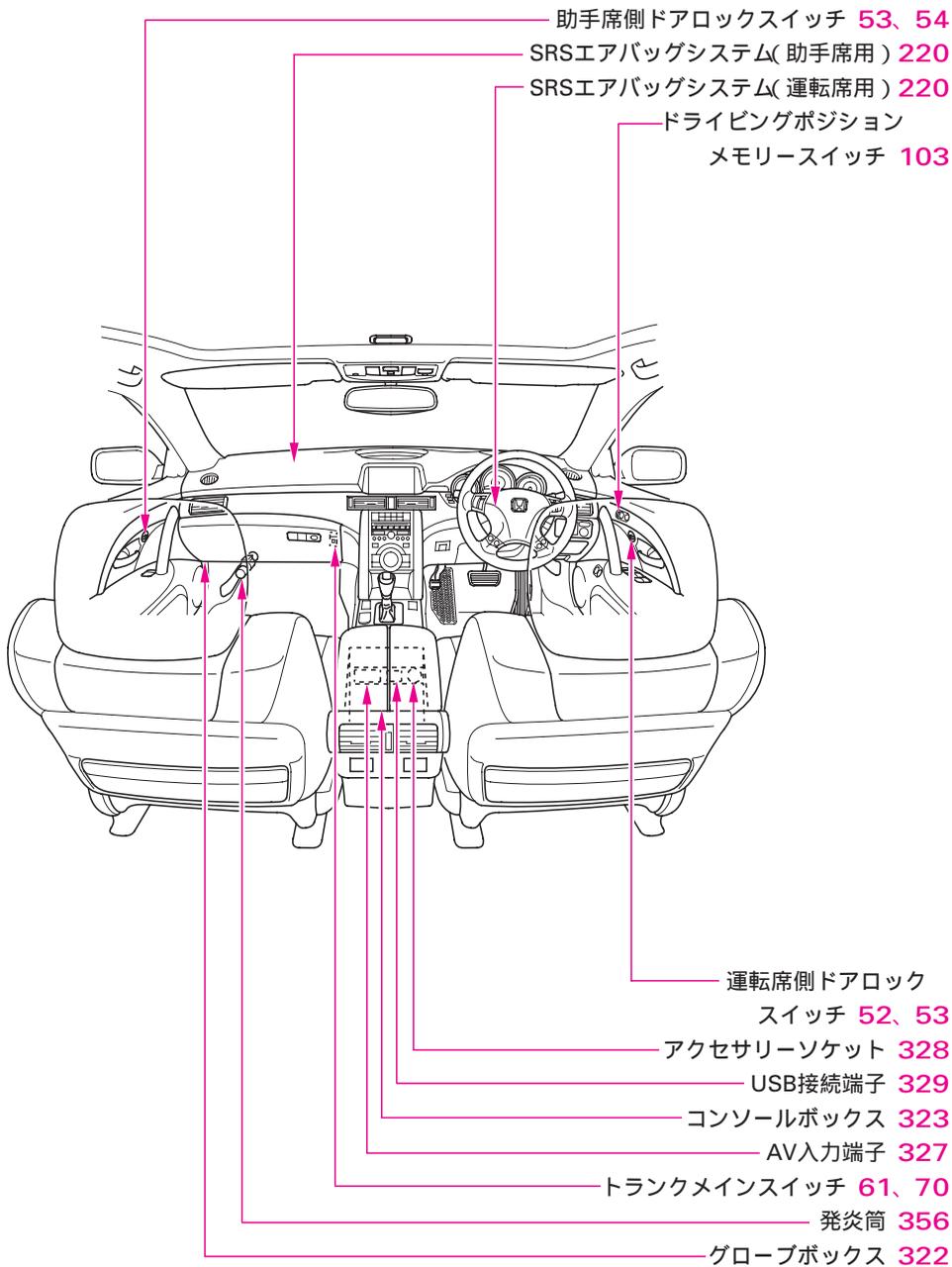
: 別冊のインテリジェント・ナイトビジョンシステム取扱説明書をご覧ください。

ビジュアル目次



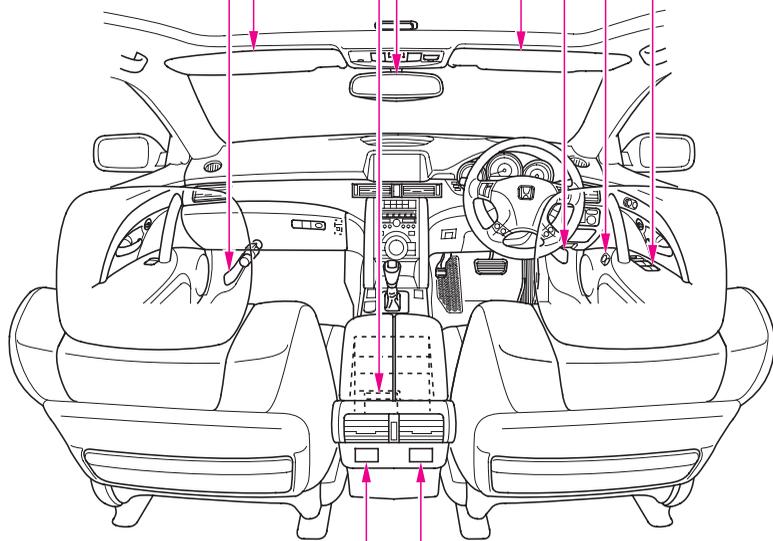
1 : 別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

2 : ACCとLKASについては、別冊のACC/LKAS取扱説明書をご覧ください。

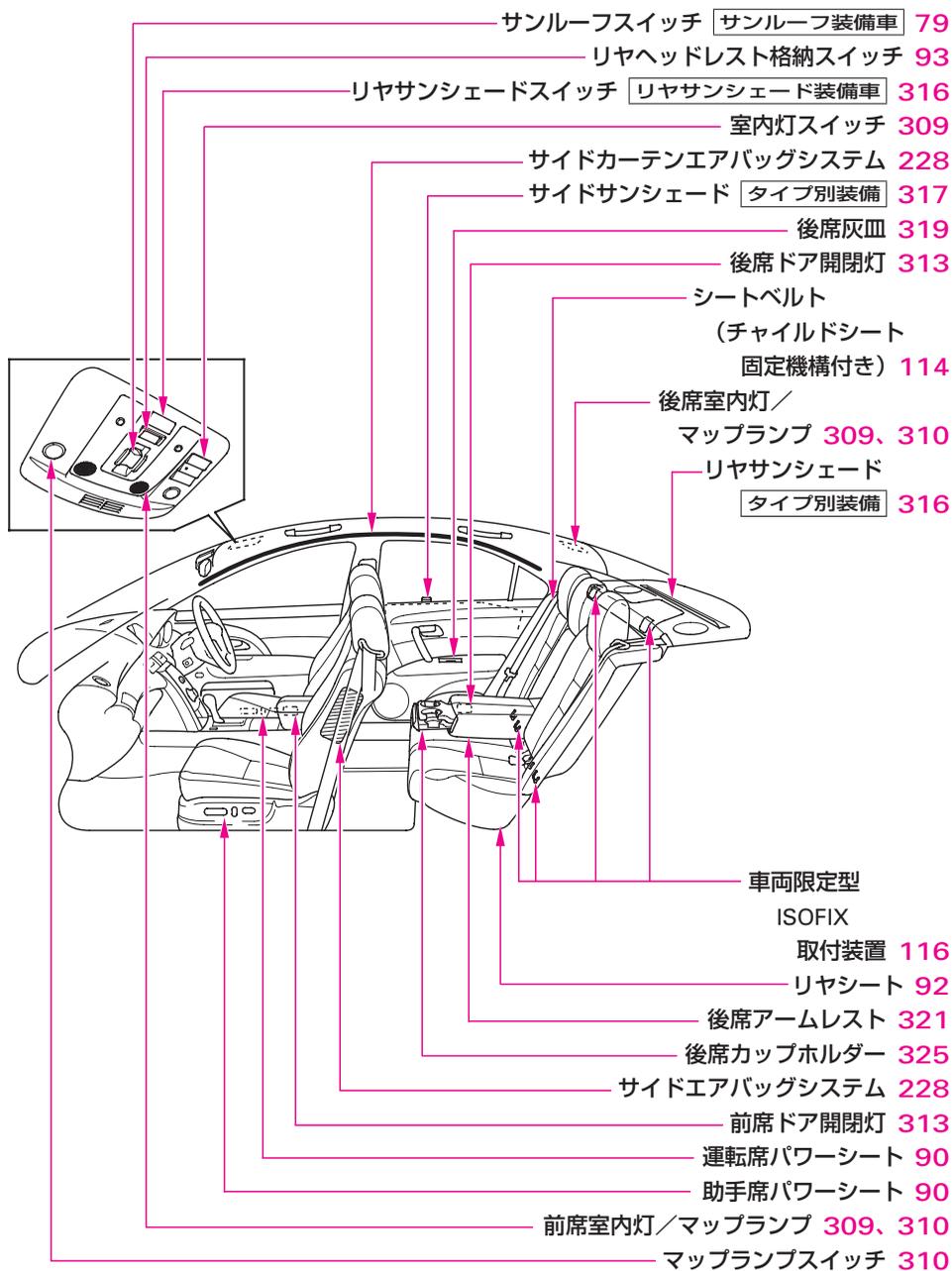


ビジュアル目次

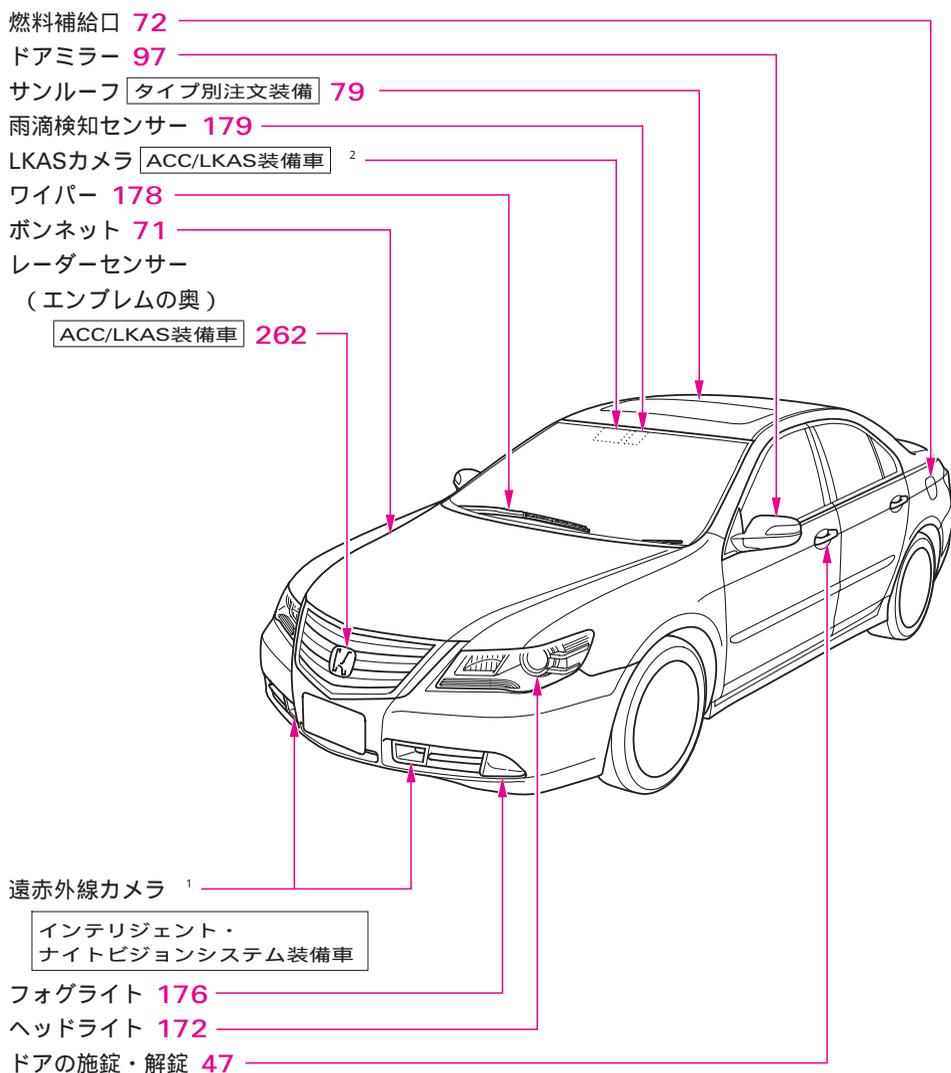
- パワーウィンドースイッチ **75**
- フューエルリッドオープナー **73**
- トランクオープナー **61、69**
- 運転席側ヒューズボックス **381**
- サンバイザー(運転席用) **320**
- ルームミラー **96**
- ETC(有料道路自動料金支払いシステム)
車載器 **329**
- サンバイザー(助手席用) **320**
- 助手席側ヒューズボックス **383**



後席シートヒータースイッチ タイプ別装備 **298**

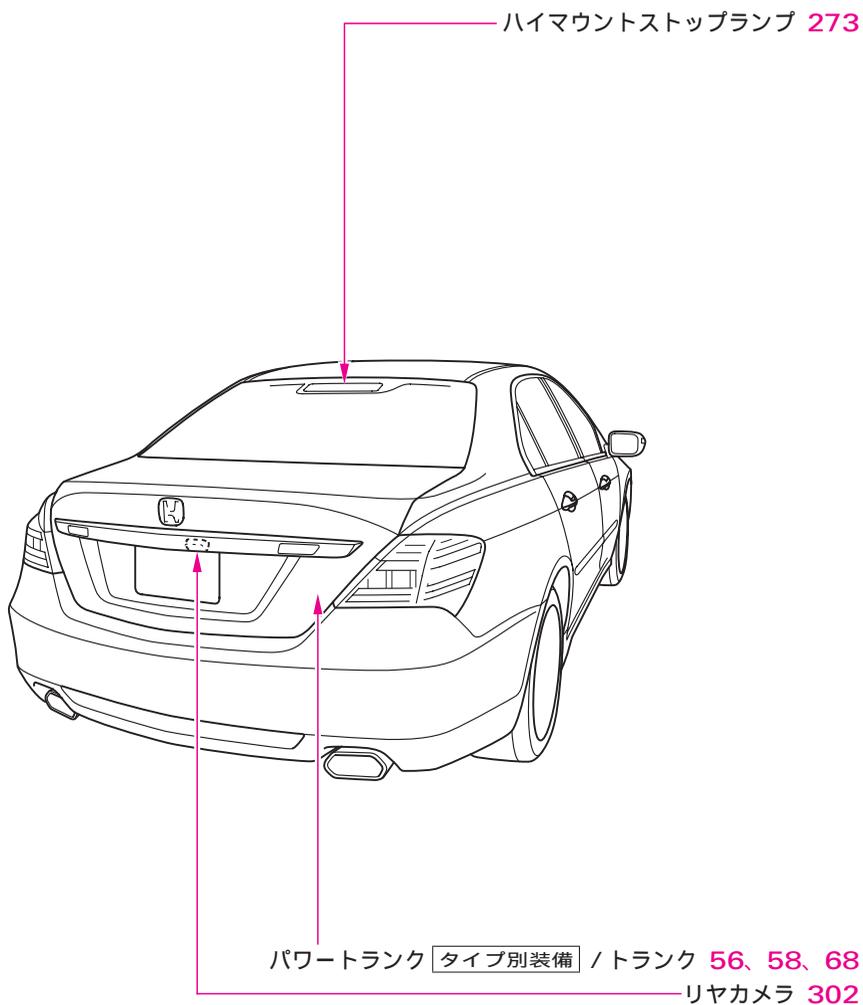


ビジュアル目次



1：別冊のインテリジェント・ナイトビジョンシステム取扱説明書をご覧ください。

2：ACCとLKASについては、別冊のACC/LKAS取扱説明書をご覧ください。



: 別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

警告灯目次



ブレーキ警告灯
149ページ



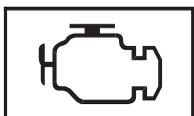
レーンキープアシスト
システム(LKAS)
警告灯 153ページ



油圧警告灯
150ページ



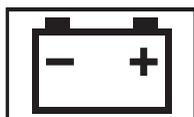
アンチロックブレーキ
システム(ABS)
警告灯 153ページ



PGM-FI警告灯
150ページ



SRSエアバッグシステム
警告灯 154ページ



充電警告灯
151ページ



ビークルスタビリティ
アシスト(VSA)
警告灯 154ページ



トランスミッション警
告灯 151ページ



追突軽減ブレーキ
(CMBS)警告灯 155ページ



シートベルト非着用
警告灯 151ページ



アダプティブフロント
ライティングシステム
(AFS)警告灯 155ページ



燃料残量警告灯
152ページ



エレクトリックパワーステアリング
(EPS)警告灯 / パワーステアリング
(ECPS)警告灯 156ページ



Hondaスマートキー
システム警告灯
152ページ



SH-AWD(スーパーハンドリング
オールホイールドライブシステム)
警告灯 157ページ



アダプティブクルーズ
コントロール(ACC)
警告灯 153ページ

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



お出かけまえに……………	18
お子さまに思いやりを……………	20
正しい知識で最適運転……………	24
オートマチック車の注意ポイント…	28
駐車や停車はしっかりと……………	32
こんなことにも注意をしよう……………	34

1 お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、Honda販売店で点検を受けてください。

(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)

- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<106ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



運転の妨げになる物には注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。

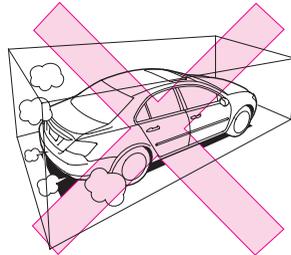


- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。後方視界を妨げたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらHonda販売店で点検を受けてください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

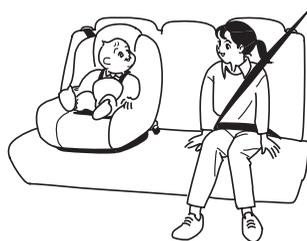
お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転の妨げになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・フロントドアに寄りかかった状態での乗車は、サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



: 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

- お子さまのくびやあごにシートベルトが当たる場合や腰骨にかからない場合は、**幼児用シートや学童用シート**を使用してください。

- ・シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは**乳児用シート**を使用してください。

- ・チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。

- ・シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

- ・この車には、**車両限定型ISOFIX**チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

この車用に認可を取得した**車両限定型ISOFIX**チャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

車両限定型ISOFIX

取付装置 →116ページ

- ・**Honda**純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては**Honda**販売店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISOFIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	～10	～75	～12か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用(ジュニア)シート	15～32	100～135	4才～10才

車両限定型ISOFIXチャイルドシート

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	～9	～70	～9か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才

安全ドライブのための必読6ポイント

- チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。

- ・ISOFIX対応以外のチャイルドシートは、シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →108ページ
チャイルドシート固定機構付き

シートベルト →114ページ

- ・車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。トップテザーアンカレッジにトップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。

- ・車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

車両限定型ISOFIX

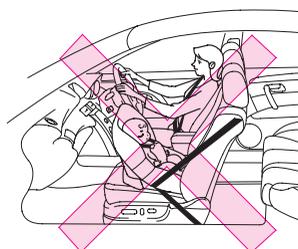
取付装置 →116ページ

- ・詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。

・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。

・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



- チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、サンルーフ、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、顔などをはさまないように、気をつけてください。
- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。

ドアが完全に閉まっていないと走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因となります。

- チャイルドブルーフを使って後席ドアを車内から開かないようにしてください。

<54ページ参照>

走行中にドアを開けると、お子さまが車外に放り出されるおそれがあります。

- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。

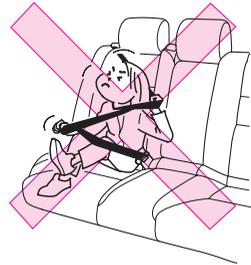
<75ページ参照>

- 走行中、一時停止のときなど、窓やサンルーフから手や頭、物などを出さないよう、注意してください。思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

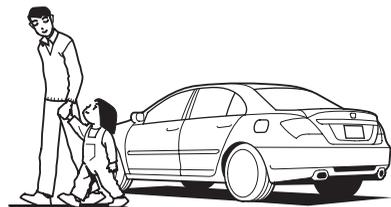
- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。

万一ベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



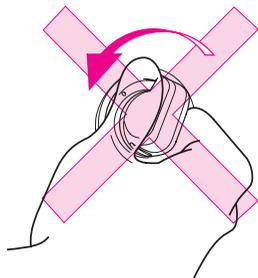
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作の妨げになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。

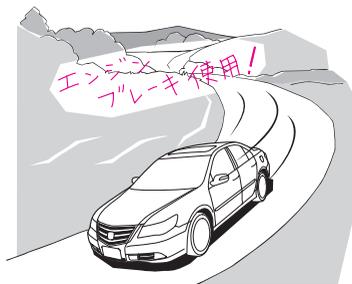


長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、効きが悪くなる場合があります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、Sを使って、エンジンブレーキを併用してください。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、シーケンシャルモードにして2速または1速にします。シーケンシャルモードのときは、走行速度に合わせて、ギヤを一段ずつ落してください。

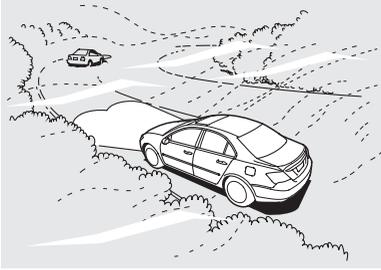
シーケンシャルモード 197ページ



エンジンブレーキ：
走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよく効きます。

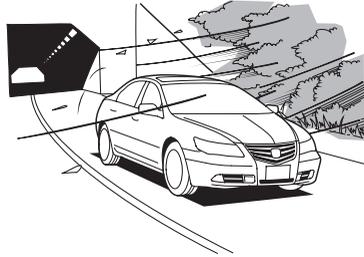
霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。

**横風の強い日は。**

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



安全ドライブのための必読6ポイント

雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

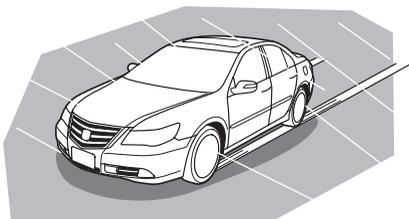
- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロブレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロブレーニング現象とは

436ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。



水たまりに入ったあとはブレーキの効き具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んで効き具合を確認してください。ぬれたブレーキは効が悪かったり、ぬれていない片側だけが効いてハンドルをとられることがあります。

- ブレーキの効が悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。

< 146ページ参照 >

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあります危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<201ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

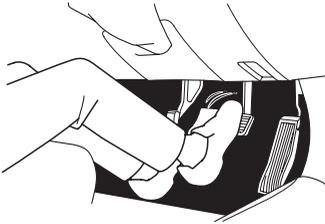
- DまたはSで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に変速比が変わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

エンジンをかけるまえに。

- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。



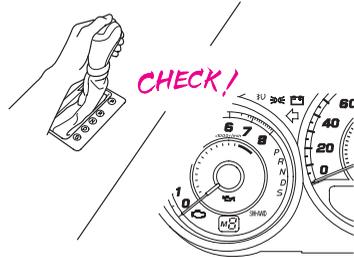
エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。



スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。

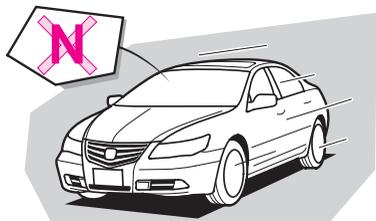


- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

安全ドライブのための必読6ポイント

走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。
エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。
アクセルペダルは、慎重に操作してください。
また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。
- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。
フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

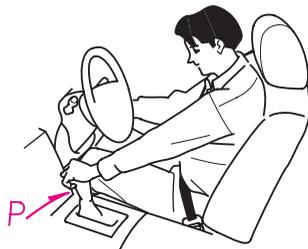
エンジンブレーキ 24ページ

停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
万一、セレクトレバーがP N以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。
万一、セレクトレバーがP N以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

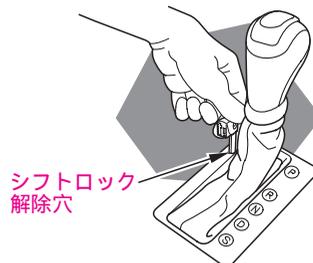
- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(D、S)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(R)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- 後退したあとは、すぐRからNにもどす習慣をつけましょう。
ちょっと後退したときなど、Rに入れたことを忘れてしまうことがあります。
- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。
車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。
- 車が完全に止まらないうちに、Pに入れないでください。
急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからのセレクトレバー操作はできません。
 - ・エンジンスイッチノブが、“I”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
 - ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- P以外では、エンジンスイッチノブが、“I”から“0”に回りません。
- Rに入れるとチャイムが鳴ります。
 - ・セレクトレバーがRのときにチャイムが鳴り、Rに入っていることを運転者に知らせます。
 - ・車外の人には音が聞こえませんので、ご注意ください。
- 万一、Pからセレクトレバーが操作できないときは：
 - ・カバーを外し、

203ページ

- ・内蔵キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・内蔵キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

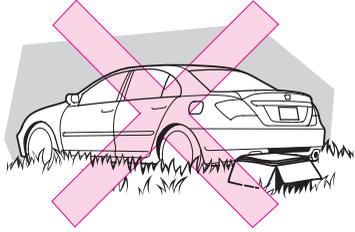


5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

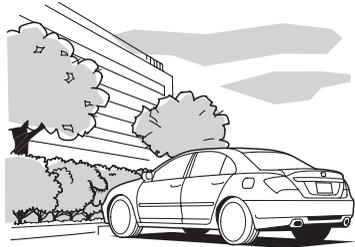
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



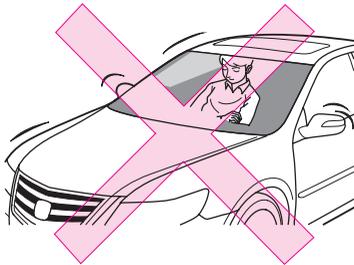
植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



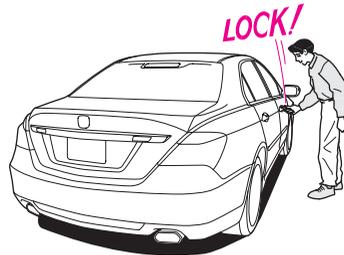
仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。
無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。
- さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

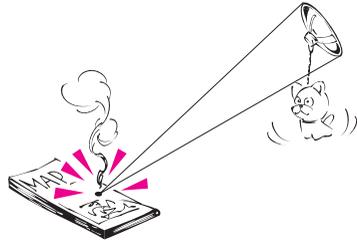
- パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意をしよう

アクセサリーの取り付けには注意を。

- 運転視界の中にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・ 視界の妨げにより思わぬ事故のもとになります。
 - ・ アクセサリーなどの揺れる動きが、車外の状況認識を遅らせることがあります。

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・ 吸盤がレンズのはたらきをして火災につながるおそれがあります。



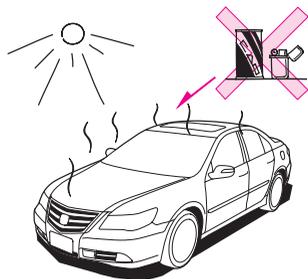
飲み物などを電装品にこぼさないように注意して。

オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出し危険です。

ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

ACC/LKAS非装備車

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。
パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。
 - ・運転者が運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
 - ・運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
 - ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
 - ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違反になることがあります。
- ホイールは、LEGEND専用品をご使用ください。
専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。
Honda販売店にご相談ください。
- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずHonda販売店にご相談ください。
装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

安全ドライブのための必読6ポイント

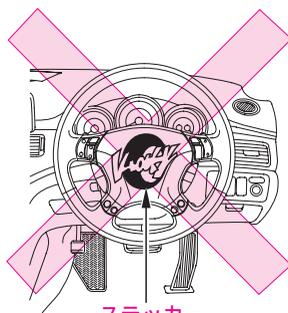
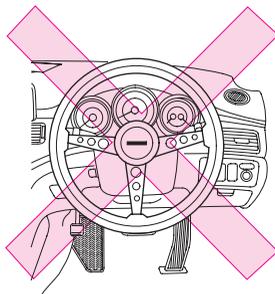
●運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

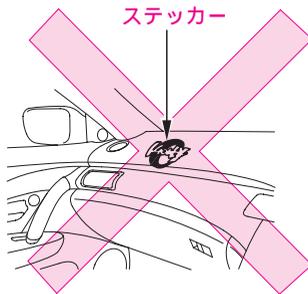
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。危険です。
- ・次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。

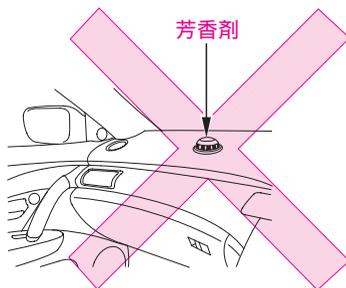
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



ステッカー



芳香剤

●運転席および助手席に、サイドエアバッグシステムが装備されています。フロントドアやその周辺にカップホルダーなどの用品を取り付けたりしないでください。

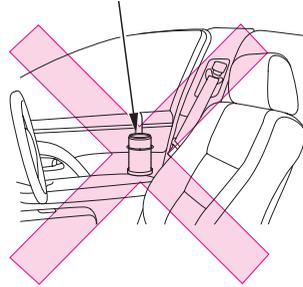
フロントシートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。

フロントシートにこの車専用のHonda純正用品(シートカバーなど)以外を取り付けしないでください。

また、新車時についているビニールのシートカバーは、必ず外してください。

- ・サイドエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。
 - ①フロントシートまわりの修理
 - ②センターコンソール付近の修理
 - ③カーステレオ等用品の取り付け
 - ④センターピラーまわりの修理

カップホルダー



サイドエアバッグ(ドア側)



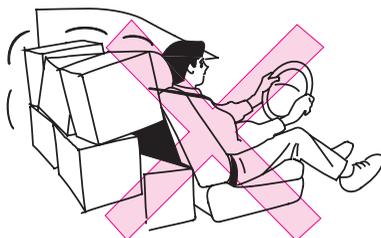
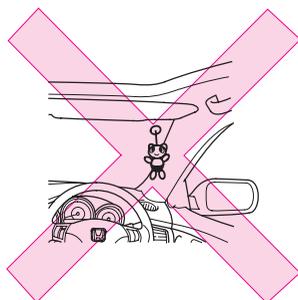
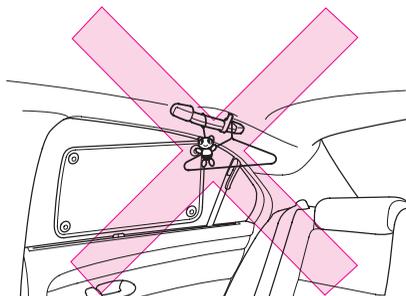
安全ドライブのための必読6ポイント

- サイドカーテンエアバッグシステムが装備されています。グラブレールに物をかけないでください。コートフックには、ハンガーや重い物、とがった物をかけたりしないでください。

フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リアの各ピラーまわりにアクセサリなどを取り付けないでください。

また、座席に荷物を載せるときは、ドアガラス下端部の高さを越えないようにしてください。

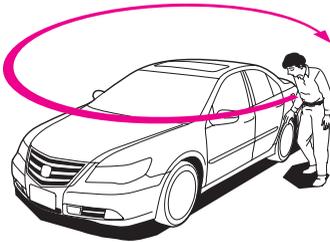
- ・ サイドカーテンエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・ 作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。危険です。
- ・ 次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。
 - ① フロント、センター、リアの各ピラーまわりの修理
 - ② ルーフサイドまわりの修理
 - ③ センターコンソール付近の修理
 - ④ カーステレオ等用品の取り付け



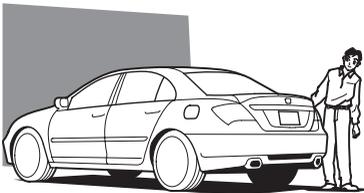
発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。



- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。

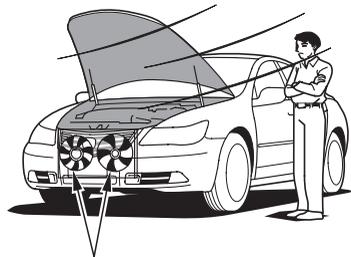


- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



エンジンルーム内を点検するときは、冷却ファンが止まってから。

- エンジンの温度が高い状態でエンジンを停止したとき、冷却ファンが自動的に作動することがあります。エンジンルーム内を点検する場合は、ファンが止まってから行ってください。



冷却ファン



車を運転する前に

●各部の開閉

キーの種類	42
ドアの施錠・解錠	47
パワートランク／トランク	56
ボンネット	71
燃料補給口	72
パワーウィンドー	75
サンルーフ	79

●セキュリティシステム

イモビライザーシステム	
について	84
セキュリティアラーム	
システムについて	85

●シートの調節

正しい運転姿勢	88
フロントシート	90
リヤシート	92

●ハンドル・バックミラーの調節

電動チルト／テレスコピック ステアリング(電動上下／ 前後調節式ハンドル)	94
ルームミラー	96
ドアミラー	97

●ドライビングポジションシステム

ドライビングポジション システムについて	102
-------------------------	-----

●シートベルト

シートベルト	106
着用のしかた	112

●チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構付き シートベルト(後席)	114
車両限定型ISOFIX取付装置 (後席外側2座席)	116

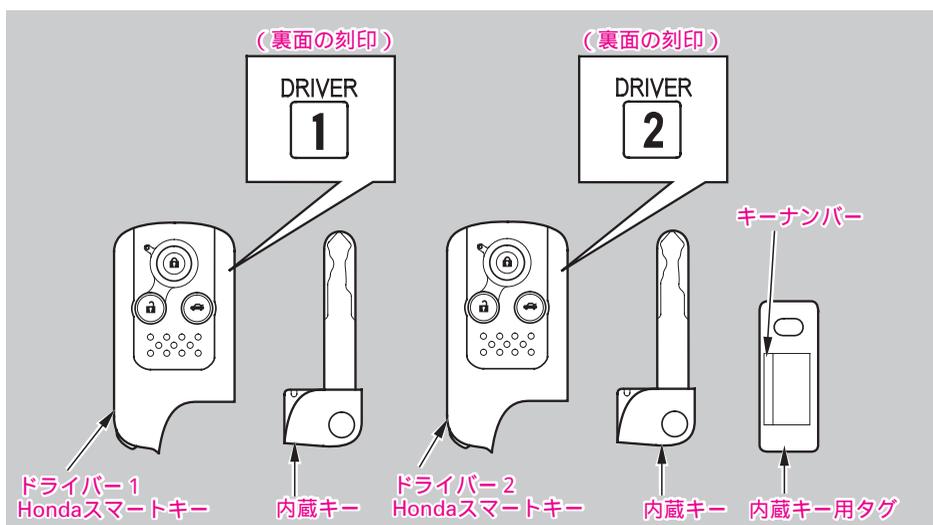
各部の開閉

キーの種類

この車には、以下のキーが付いています。

すべてのキーには、イモビライザー機能(車両盗難防止装置)が付いています。

イモビライザーシステムについて 84ページ



知識

- タグにはキーナンバーが表示してあります。内蔵キーを購入する際に必要となりますので、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
- キーを紛失したときや、追加したいときは、Honda販売店へご連絡ください。



●Hondaスマートキー (キーレスエントリー機能付き)

この車はHondaスマートキーシステムを装備しています。Hondaスマートキーを携帯すると、すべてのドアの施錠・解錠やエンジンの始動およびトランクを開けることができます。

キーレスエントリーではすべてのドアの施錠・解錠とトランクを開けること(パワートランク装備車は自動開閉)ができます。

ドアの施錠・解錠	→47ページ
パワートランク/トランク	→56ページ
エンジンスイッチノブ	→160ページ

Hondaスマートキーにはドライバー1、ドライバー2があり、キー裏面に番号が刻印されています。

Hondaスマートキーまたはスマートエントリー機能を使って解錠すると、ドライバー1かドライバー2を識別し、解錠と連動して、以下の項目をあらかじめ設定した状態に自動的に調節します。

設定は、ドライバー1、ドライバー2でそれぞれ行うことができます。

ドライビングポジションシステム	→102ページ
エアコンの設定	→281ページ
カスタマイズ機能	→330ページ

🎓 知識

- 左記の設定を解錠と連動しないようにすることができます。

カスタマイズ機能とHonda

スマートキーの非連動について

→352ページ

- Hondaスマートキーまたはキーレスエントリー機能を使って解錠したときは、エンジンスイッチノブを“II”にするとマルチインフォメーションディスプレイに識別されたドライバー1またはドライバー2が表示されます。

マルチインフォメーション

ディスプレイ →124ページ

バレット機能

ホテルや駐車場などで他の人に車を預けるときはHondaスマートキーから内蔵キーを取り出して、Hondaスマートキーを渡してください。

あらかじめグローブボックス内のトランクメインスイッチを“OFF”にし、グローブボックスとアームレストスルーを内蔵キーで施錠すると、他の人がグローブボックスやトランクを開けることができなくなります。

内蔵キー →45ページ

トランクメインスイッチ →61、70ページ

グローブボックス →322ページ

アームレストスルー →321ページ

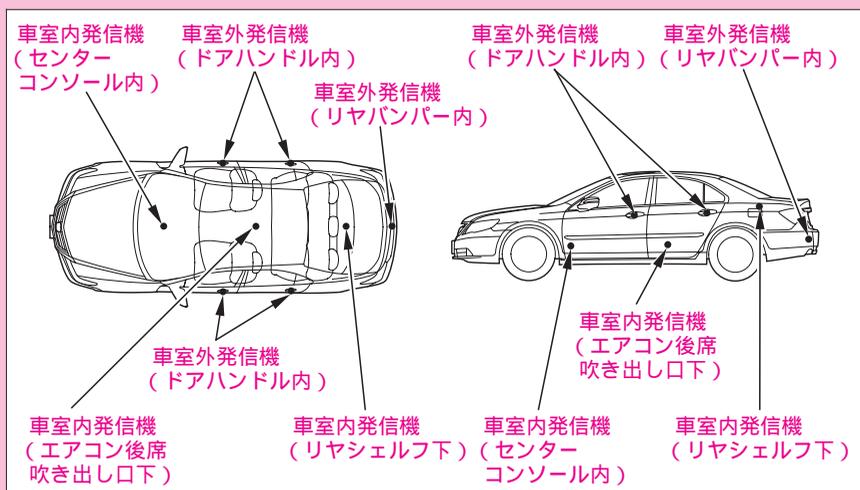
⚠ 注意

- ドアやトランクを施錠・解錠するときやエンジンスイッチノブを操作するとき、トランクを開けるときのなどに車両からHondaスマートキーシステムの電波が発信されます。

その際、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える可能性があります。

車両に搭載されている発信機から22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が近づかないようにしてください。

その他の医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。





●内蔵キー

内蔵キーはエンジンの始動・停止、ドア、グローブボックス、アームレストスルーの施錠・解錠のほか、ドアの施錠・解錠時にパワーウィンドー、サンルーフの開閉をすることができます。

ドアの施錠・解錠	→47ページ
エンジンスイッチ	→168ページ
グローブボックス	→322ページ
アームレストスルー	→321ページ
パワーウィンドー	→75ページ
サンルーフ	→79ページ

Hondaスマートキーの電池が消耗したときや故障したときなどを考慮して、内蔵キーはHondaスマートキーに収納した状態で携帯してください。

取り出すとき

レバーを引きながら取り出します。



収納するとき

“カチッ”と音がするまで差し込みます。

知識

●内蔵キーにはドライバー1およびドライバー2の識別はありませんので、ドアの解錠によるドライバー1およびドライバー2の設定の切り換えはできません。

●エンジンスイッチを“II”にすると、マルチインフォメーションディスプレイにドライバー1またはドライバー2が表示されます。

マルチインフォメーション
ディスプレイ →124ページ

●グローブボックス、アームレストスルーの施錠・解錠ができるのは、内蔵キーのみです。

ホテルや駐車場などで車を預けるときにバレット機能を使用すると、他の人がグローブボックスやトランクを開けることができなくなります。

バレット機能 →43ページ

アドバイス

- Hondaスマートキーおよび内蔵キーには、信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
 - ・火であぶったりしないでください。
 - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けないでください。
 - ・テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置かないでください。
- 電子部品が故障すると、エンジンの始動ができなくなったり、Hondaスマートキーシステムおよびキーレスエントリーが正常に作動しなくなったりします。そのようなときは、Honda販売店にご連絡ください。

知識

- Hondaスマートキーシステムは、車両とHondaスマートキーとの電子照合を行うときに微弱な電波を使用しています。次のような場合、正常に作動しなかったり、不安定な動作となることがあります。
 - ・近くに強い電波を発する設備があるとき。
 - ・Hondaスマートキーを携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンなどと一緒携帯しているとき。
 - ・Hondaスマートキーが金属物に触れていたり覆われているとき。
- Hondaスマートキーは常に電波を受信しているため、強い電波を受信し続けた場合は、電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。
- Hondaスマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況によりますが約2年です。

電池消耗警告 167ページ

電池交換のしかた 401ページ



ドアの施錠・解錠

Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき	48
キーレスエントリーで施錠・解錠するとき	51
内蔵キーで施錠・解錠するとき	52
車内から施錠・解錠するとき	52
キーを使わないで施錠するとき	53
チャイルドプルーフ	54
オートドアロック	55
オートドアアンロック	55
衝撃感知ドアロック解除システム	55

⚠ 注意

- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

📖 知識

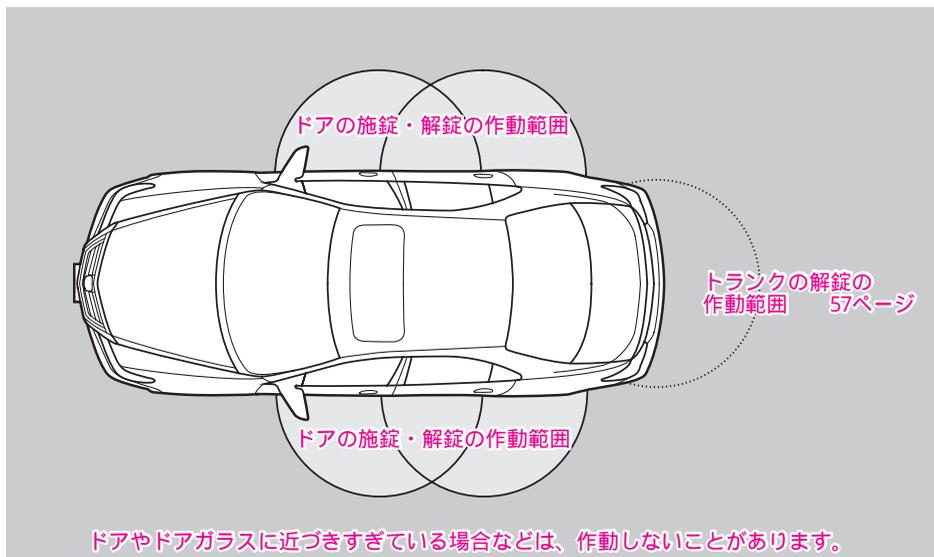
- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止め、ドアとトランクを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

照明灯 308ページ

Hondaスマートキーで施錠・解錠するとき

ドアの施錠・解錠の作動範囲

ドアの施錠・解錠が作動する範囲は、ドアハンドルから周囲約80cmの範囲です。



Hondaスマートキーは運転者が携帯してください。車内にHondaスマートキーを残したまま降車しないでください。

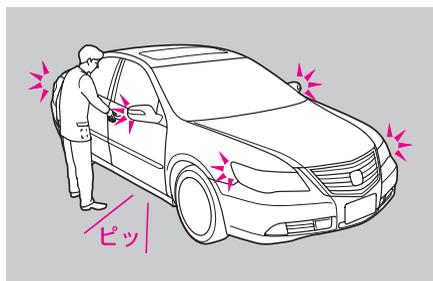
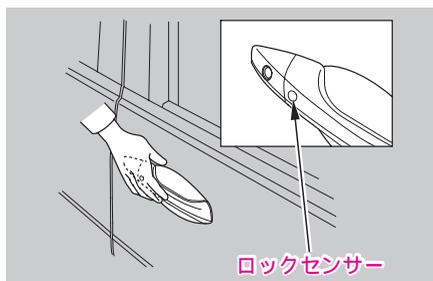
知識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
内蔵キーで施錠・解錠するとき 52ページ
- ドアハンドルより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にある場合は、作動しないことがあります。
- 運転席ドアが施錠されているときに、トランクを開けると、トランクも施錠されます。



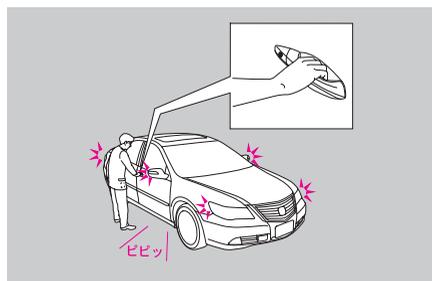
ドアの施錠

すべてのドアが閉まっているのを確認します。各ドアハンドルのロックセンサーに触れると、すべてのドアとトランクが施錠されます。このとき、アンサーバックブザーが「ピッ」と鳴り、非常点滅表示灯が1回点滅します。



ドアの解錠

各ドアハンドルを握ると、すべてのドアとトランクが解錠されます。このとき、アンサーバックブザーが「ピピッ」と鳴り、非常点滅表示灯が2回点滅します。



知 識

- Hondaスマートキーで解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- Hondaスマートキーを携帯している人が同じ側の作動範囲内にいるときは、Hondaスマートキーを携帯していない人がロックセンサーに触れても施錠され、ドアハンドルを握っても解錠されます。
- 革製やスキー用の手袋などをつけてロックセンサーに触れたり、ドアハンドルを握ったりした場合、施錠・解錠が遅れたり、施錠・解錠されないことがあります。
- ドアハンドルを握った直後に引くと、ドアが開かないことがあります。ドアハンドルをもう一度握り直し、解錠されていることを確認してから引いてください。
- Hondaスマートキーが、ドアの施錠・解錠の作動範囲内にある場合、大雨や洗車などでドアハンドルに多量の水がかかると、ドアが解錠されることがあります。解錠してから30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- ドアを施錠後、約2秒間はドアハンドルの内側に触れても、ドアが解錠しないようになっています。(アンロックセンサー禁止時間)
- 施錠・解錠時のブザー(アンサーバックブザー)の音量を変えることや、ブザーが鳴らないようにすることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

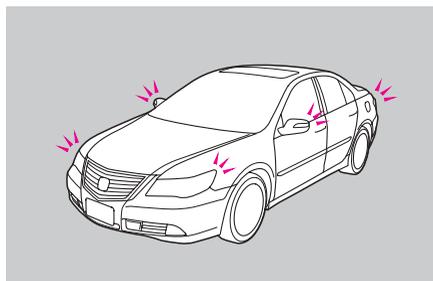


キーレスエントリーで施錠・解錠するとき

施錠ボタンを押すとすべてのドアとトランクが施錠され、解錠ボタンを押すとすべてのドアとトランクが解錠されます。



キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。



知識

- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は電池切れです。

電池交換のしかた 401ページ

知識

- 施錠・解錠時に非常点滅表示灯を点滅させないようにすることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

- 施錠・解錠ボタンを使ってパワーウィンドーとサンルーフの開閉をすることができます。

パワーウィンドー 76ページ

サンルーフ 81ページ

- キーレスエントリーで解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。

- 再度施錠されるまでの時間の設定を変更することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯、ドアハンドル照明灯が点灯・消灯します。

照明灯 308ページ

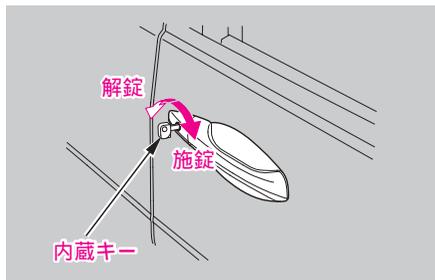
- 次の場合、キーレスエントリーは作動しません。

- ・ エンジンスイッチノブが「0」（プッシュオフ）以外るとき
- ・ エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき
- ・ ドアが開いているとき。（施錠時のみ）

内蔵キーで施錠・解錠するとき

内蔵キーを確実に差し込んで回します。運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアとトランクも同時に施錠(解錠)します。

内蔵キー 45ページ



知識

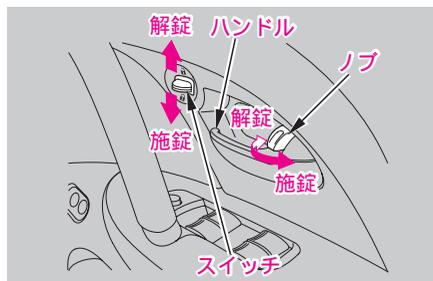
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯、ドアハンドル照明灯が点灯・消灯します。

照明灯 308ページ

車内から施錠・解錠するとき

運転席ドア

運転席ドア部のスイッチを操作すればすべてのドアとトランクの施錠(解錠)ができ、ノブを操作すると、ドアは施錠のみ連動し、トランクは施錠、解錠が連動します。



運転席ドアは、内側のハンドルを引くと施錠していても開けることができます。

知識

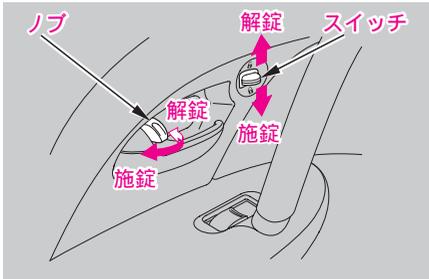
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯、ドアハンドル照明灯が点灯・消灯します。

照明灯 308ページ



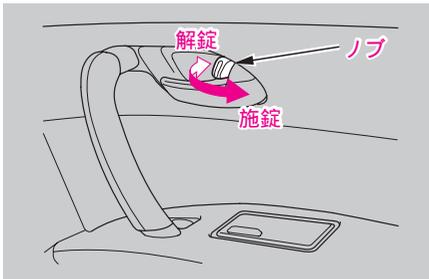
助手席ドア

助手席ドア部のスイッチを操作すればすべてのドアとトランクの施錠(解錠)ができます、ノブを操作すると、助手席ドアが施錠(解錠)します。



後席ドア

ノブを施錠(解錠)の方向に動かします。



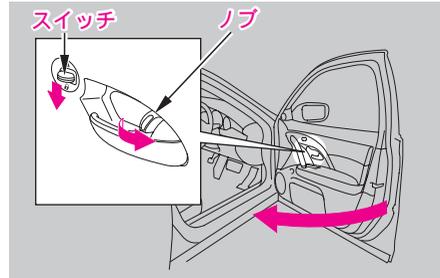
キーを使わないで施錠するとき

知識

- Hondaスマートキー、内蔵キー閉じ込み防止のため、Hondaスマートキー、内蔵キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ① ドアのハンドルを引いたままノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ② ドアを閉めます。

運転席ドアを施錠すると、他のすべてのドアとトランクも同時に施錠されます。

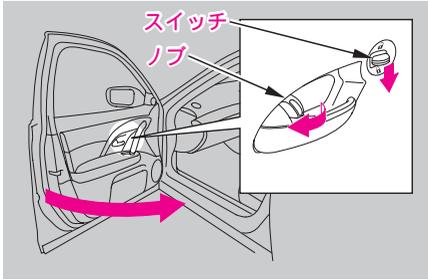
・ Hondaスマートキー閉じ込み防止装置
Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

エンジン始動の作動範囲 161ページ

・ 内蔵キー閉じ込み防止装置
内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

助手席ドア

- ① 運転席ドアが閉まっている状態でスイッチを施錠の方向に動かします。



- ② ドアを閉めます。
このとき他のすべてのドアやトランクも同時に施錠されます。

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めると、助手席ドアのみが施錠されます。

・Hondaスマートキー閉じ込み防止装置
Hondaスマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。
エンジン始動の作動範囲 161ページ

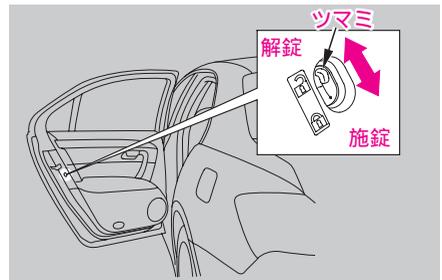
後席ドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

チャイルドブローフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。

▼
ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

知識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。



オートドアロック

車速連動

車速が約15km/h以上になると、すべてのドアとトランクが自動的に施錠されます。

知識

- オートドアロックの作動条件を、セレクトレバー連動に設定したり、その機能を解除することができます。

(工場出荷時は、車速連動に設定されています。)

カスタマイズ機能 330ページ

オートドアアンロック

セレクトレバー連動

セレクトレバーをPに入れたときに、すべてのドアとトランクが自動的に解錠されます。

知識

- オートドアアンロックの作動条件を、エンジンスイッチノブ連動に設定したり、その機能を解除することができます。

(工場出荷時は、セレクトレバー連動に設定されています。)

カスタマイズ機能 330ページ

衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドアとトランクを解錠します。

作動するとき

正面からの衝撃では、SRSエアバッグが作動したときに解錠します。

側面からの衝撃でサイドエアバッグが作動したときにも解錠します。

エアバッグが作動しない後面からの衝撃では、衝撃が大きいと解錠します。

安全性を考慮して、衝撃が加わってから約10秒後に解錠します。

知識

- 衝撃の加わりかたや、大きさによっては解錠しない場合があります。

パワートランク / トランク

施錠・解錠

ドアが解錠(施錠)している場合

Hondaスマートキー、キーレスエントリー、フロントドアスイッチ、運転席ドアのノブなどでドアを施錠(解錠)すると、トランクも施錠(解錠)します。

ドアの施錠・解錠 47ページ

運転席ドアが施錠されているときに、トランクを閉めると、トランクも施錠されます。

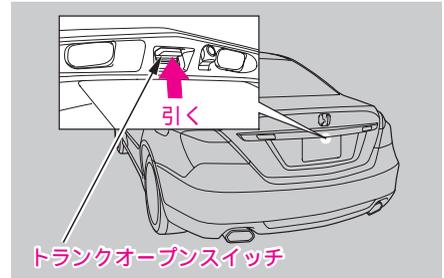
運転席ドアが解錠されているときは、トランクを閉めても、トランクは施錠されません。

Hondaスマートキーを使ってトランクのみを解錠する場合

Hondaスマートキーを携帯して、トランクオープンスイッチを引くと、トランクが解錠されます。このときアンサーバックブザーが「ピッ」と鳴ります。

パワートランクの開閉 58ページ

トランクの開閉 68ページ



知識

- 解錠時のブザー(アンサーバックブザー)の音量を変えることや、ブザーを鳴らないようにすることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

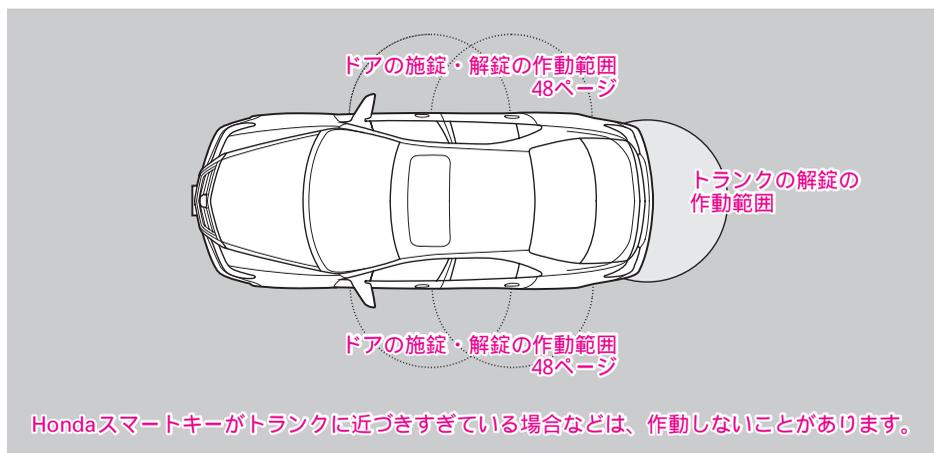
- トランクメインスイッチが「OFF」のときはトランクを解錠できません。

トランクメインスイッチ

61、70ページ



トランクの解錠の作動範囲は、トランクオープンスイッチから周囲約80cmの範囲です。



Hondaスマートキーは必ず携帯してください。トランク内にHondaスマートキーを置かないでください。

🎓 知識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
内蔵キーで施錠・解錠するとき 52ページ
- Hondaスマートキーが作動範囲内にあると、Hondaスマートキーを携帯していない人でも、トランクオープンスイッチを押すと、トランクを開けることができます。
- トランクオープンスイッチより約80cm以内の距離でも、Hondaスマートキーが地面の近くや高い位置にある場合は、作動しないことがあります。
- トランク内にHondaスマートキーを置き忘れると、トランクを閉めてもブザーが鳴りトランクが浮き上がります。

Hondaスマートキー閉じ込み防止装置 66、70ページ

パワートランクの開閉

タイプ別装備

⚠ 注意

- パワートランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。
- パワートランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

アドバイス

- パワートランクが開かないとき

403ページ

知識

- パワートランクを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 運転席ドアを施錠したあとにトランクを閉めると、施錠されてトランクが開かなくなります。
- パワートランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
 - ・ Hondaスマートキーをトランク内に置き忘れないでください。
 - ・ パワートランク上面を強く押さえないでください。
- パワートランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。



トランクオープンスイッチを使ってパワー
ートランクを自動で開けることができま
す。

キーレスエントリー及びトランクオープ
ナーを使ってパワーートランクを自動で開
閉することができます。

また、トランクにあるクローズスイッチ
を押して自動で閉めることができます。

パワーートランクの自動開閉は、次の条件
が揃ったときに行えます。

(開けるとき)

- ・パワーートランクが全開のとき
- ・セレクトレバーがPのとき
- ・グローブボックス内のメインスイッチ
がONのとき
- ・パワーートランクが解錠されているとき
(Hondaスマートキーを使わずにトラ
ンクオープンスイッチを操作するとき
のみ)
- ・エンジンスイッチノブが0のとき
(キーレスエントリー操作時のみ)
- ・エンジンスイッチに内蔵キーが差し込
まれているとき
(キーレスエントリー操作時のみ)

(閉めるとき)

クローズスイッチおよびトランクオープ
ナーで閉めるときは、

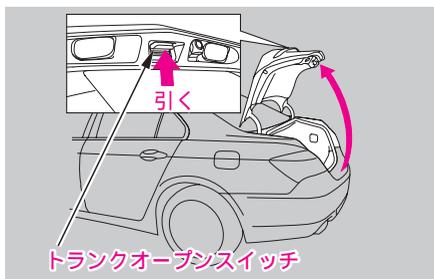
- ・パワーートランクが全開のとき
- キーレスエントリーで閉めるときは、
- ・パワーートランクが全開のとき
- ・エンジンスイッチノブが0のとき
- ・エンジンスイッチに内蔵キーが差し込
まれているとき

⚠ 注意

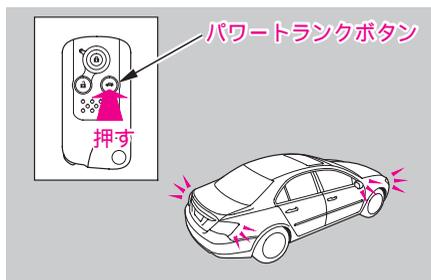
- パワーートランクを開閉するときは、
周囲の安全と車の上方や後方に十
分なスペースがあることを確認し、
頭をぶついたり、手などをはさん
だり、他の物とぶつからないよう
にしてください。特にお子さまに
は気をつけてください。
- パワーートランクが自動開閉中にパ
ワーートランクのオープンスイッチ
を引くと、手動操作に切り換わり
ます。このとき、パワーートラン
クの位置によっては急に開閉する
ことがあるので注意してください。

トランクオープンスイッチで行う場合
スイッチを0.5秒未満引くとトランクは自動で開きます。このとき“ピー”とブザーが鳴ります。

スイッチを0.5秒以上引くと手動での操作となります。トランクを静かに引き上げてください。



キーレスエントリーで行う場合
パワートランクボタンを約1秒押し、パワートランクが開き(閉まり)ます。このとき、“ピー”とブザーが鳴り、非常点滅表示灯が4回点滅します。

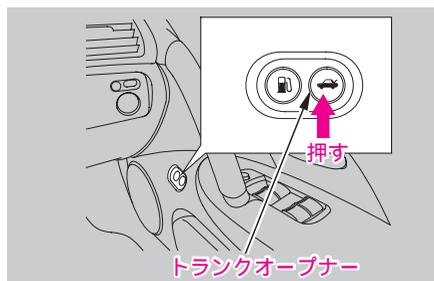


開閉中にパワートランクボタンを押すと“ピーピーピー”とブザーが鳴り、パワートランクが反対側に動きます。



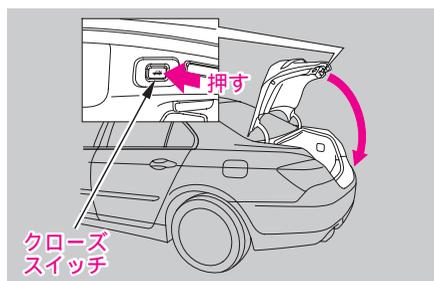
トランクオープナーで行う場合
運転席ドアのトランクオープナーを約1秒押し、パワートランクが開き(閉まり)ます。

このとき、“ピー”とブザーが鳴り、非常点滅表示灯が4回点滅します。



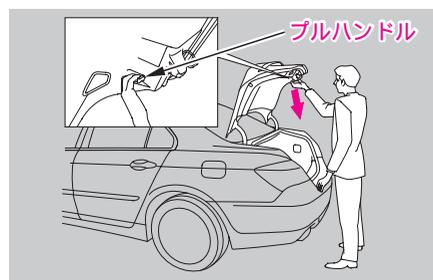
開閉中にトランクオープナーを押すと“ピーピーピー”とブザーが鳴り、パワートランクが反対側に動きます。

クローズスイッチで行う場合
クローズスイッチを押すと、パワートランクが閉まります。
このとき、“ピー”とブザーが鳴ります。

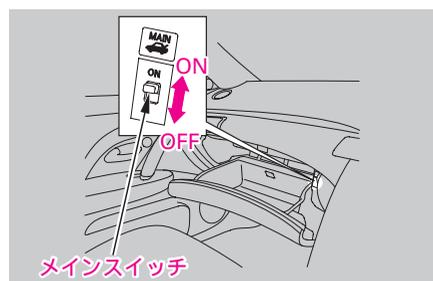


閉じている間にクローズスイッチを押すと“ピーピーピー”とブザーが鳴り、パワートランクが反対側に動きます。

手動で閉める場合
閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。



トランクメインスイッチ
グローブボックス内のメインスイッチを“OFF”にするとトランクを開けることができなくなります。



知識

- 荷物の出し入れは、パワートランクが完全に開ききったことを確認してから行ってください。
- 次のような場合、パワートランクが確実に開閉しないことがあります。
 - ・ 開閉中にエンジンを始動したとき
 - ・ 傾斜している場所
 - ・ 風の強いとき
 - ・ パワートランクに雪が積もっているとき
(開閉する前に雪を取り除いてください)
- セレクトレバーが P 以外のときに、トランクオープナーを約 1 秒押しすとトランクが解錠され浮き上がります。
- パワートランクが確実に閉まったことを確認してから走行してください。
- パワートランクが自動で開いている途中でセレクトレバーを P 以外の位置にすると“ピーピーピー”とブザーが鳴り、作動が停止します。
- パワートランクが自動で閉まっている途中で走行をはじめると“ピーピーピー”とブザーが鳴ります。

知識

- パワートランクが完全に閉まっていない状態で下記の条件が揃うと“ピーピーピーピー”とブザーが鳴ります。
 - ・ エンジンスイッチノブが“II”の位置にある。
 - ・ セレクトレバーが P 以外の位置にある。
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいない。
 - ・ パーキングブレーキが解除されている。
- 走行中は、トランクオープンスイッチを引いてもパワートランクを開くことはできません。
- パワートランクにこの車専用 (Honda 純正品) 以外のアクセサリや字光式ナンバープレートを取り付けしないでください。パワートランクが確実に開閉しないことがあります。
- パワートランクが開いている状態で、バッテリーやヒューズを交換した場合は、自動で閉まらなくなります。その場合は、手動でパワートランクを閉めると機能が復帰します。



イージートランククローザー

手動でパワートランクを半ドア状態の位置まで閉めると、自動的に閉まります。

注意

- 半ドア状態の位置からパワートランクが自動的に閉まるため、手などをはさまないように注意してください。

アドバイス

- イージートランククローザーが作動しているときは、無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

知識

- イージートランククローザー作動中にパワートランクのトランクオープンスイッチを引くと作動が止まり、半ドア状態のままになります。また、トランクオープンスイッチを引いたままパワートランクを閉めると、イージートランククローザーは作動しません。

はさみ込み防止機構

自動で開閉中に障害物を検知すると、はさみ込み防止機構が作動して、パワートランクが反対側に動きます。

このとき、“ピーピーピー”とブザーが鳴ります。

⚠ 注意

- はさみ込み防止機構は、万一のときに障害物を検知して、パワートランクにはさまれてしまうことやパワートランクが損傷するのを防ぐためのものです。

パワートランクを開閉するときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認し、頭をぶついたり、手などをはさんだり、他のものとぶつからないようにしてください。

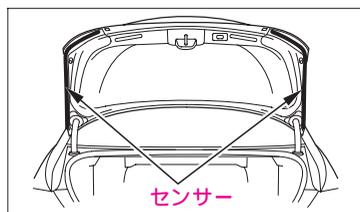
特にお子さまには気をつけてください。

- パワートランクを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。また、センサーがある部分でもはさみ込みを検知できない領域があります。

手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- パワートランク両側にあるセンサーに触れていると閉まりません。また、センサーを鋭利な物などで傷つけないでください。センサーが切断されると、自動で閉めることができなくなります。





パワートランク落下防止機構

パワートランクを自動で開けたとき、パワートランクにこの車専用以外のアクセサリを取り付けていたり積雪などがあると、全開直後に自動で閉まる場合があります。

積雪などの重みによるパワートランクの落下を検知すると、落下防止機構が作動して自動で閉まります。

落下防止機構が作動しているときは、“ピー”という連続音のブザーが鳴り続けます。

知識

- パワートランクにはこの車専用（Honda純正品）以外のアクセサリを取り付けしないでください。
- パワートランクに積雪がある場合は、パワートランクを作動させる前に雪を取り除いてください。
- パワートランク落下防止機構が作動した場合は車から離れて、パワートランクが全閉するまでお待ちください。
- 自動で全開した直後に、手動でパワートランクを閉めようとするとき落下防止機構が作動することがあります。
- 落下防止機構が作動し続ける場合はHonda販売店で点検を受けてください。

Hondaスマートキー閉じ込み防止装置

トランク内にHondaスマートキーを置いたままトランクを閉めると、ブザーが鳴り(6回)トランクが開きます。Hondaスマートキーを取り出してから、再度トランクを閉めてください。

Hondaスマートキーは必ず携帯し、トランク内に置かないでください。Hondaスマートキーがトランク内にあっても、位置、周囲の環境、電波状態などにより作動が不安定となり、トランクが開かないことがあります。

Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴り、トランクが開いたときに上から手で押さえつけると、トランクを閉じることができます。

このとき、ブザーが約10秒間鳴り続けますが、グローブボックス内のトランクメインスイッチが“ON”のときは、ブザーが鳴っている間にトランクオープンスイッチを引くと、トランクを開けることができます。

ブザーが鳴っている間にトランクを開けなかった場合、トランクは開かなくなります。

知識

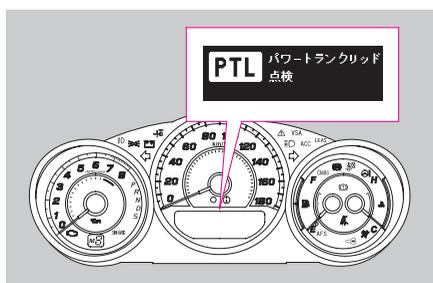
- トランクに入れる荷物などに、Hondaスマートキーが入っていないことを確認してください。
- Hondaスマートキーをトランク内に閉じ込めてしまったときは、Honda販売店へご連絡ください。
- 次のようなときにも、Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴ります。
 - ・ Hondaスマートキーがトランクに近づきすぎているとき
 - ・ Hondaスマートキーがリヤシエルフ上にあるとき
 - ・ Hondaスマートキーがリヤシート¹の背もたれや座席に近づきすぎているとき
- トランク内にHondaスマートキーを残したまま、トランクを何度も開閉すると保護機能が働きトランクが開かなくなります。
- トランク内にHondaスマートキーがある場合でも、自動でパワー²トランクを閉じているときに走行を始めると、ブザーは鳴りますがトランクは開きません。



パワートランク警告表示

パワートランクが異常のときに、マルチインフォメーションディスプレイに“パワートランクリッド点検”が表示されません。

マルチインフォメーションディスプレイ
124ページ



アドバイス

- 警告が表示されたときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
- 警告が表示されているときは、パワートランクの開閉は手動で行ってください。
トランクが開かないとき

403ページ

トランクの開閉

注意

- トランクを閉めるときは手などを
はさまないように注意してくださ
い。
- エンジンをかけた状態で手荷物を
出し入れするときは、排気管の後
方に立たないでください。
やけどなど思わぬけがをすること
があります。
- トランクルーム内には人を乗せな
いください。
ブレーキや加速、衝突のときなど
にけがをすることがあります。
- トランクは中から開けることはで
きません。お子さまが入らないよ
う注意してください。

アドバイス

- トランクが開かないとき

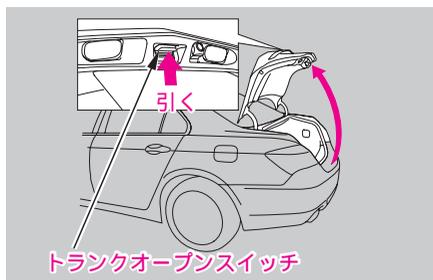
403ページ

知識

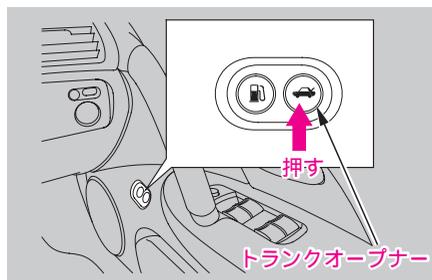
- トランクを開けたまま走行しない
でください。
車内に排気ガスが侵入するおそれ
があります。
- 運転席ドアを施錠したあとにトラ
ンクを閉めると、施錠されてトラ
ンクが開かなくなります。
- トランクを閉めるときは次のこと
に気をつけてください。
 - ・ Hondaスマートキーをトラン
ク内に置き忘れないでください。
 - ・ トランク上面を強く押さえない
でください。
- トランクは途中までしか開けてい
ないと自重で閉まることありま
す。
- 風にあおられて閉まることあり
ます。特に風の強いときは、ご注
意ください。



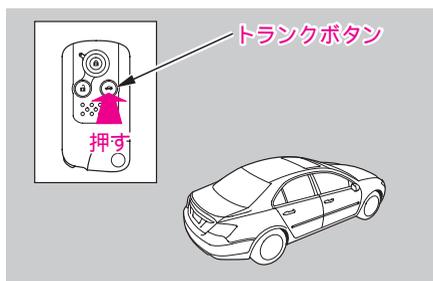
トランクオープンスイッチで行う場合
トランクオープンスイッチを引くと、トランクを開けることができます。開けるときはトランクを静かに引き上げます。



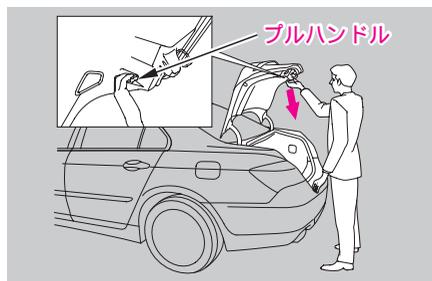
トランクオープナーで行う場合
運転席ドアにあるトランクオープナーを押すと解錠され、トランクが浮き上がります。



キーレスエントリーで行う場合
トランクボタンを約1秒押すとトランクが解錠され浮き上がります。



閉めるときはプルハンドルを利用すると便利です。

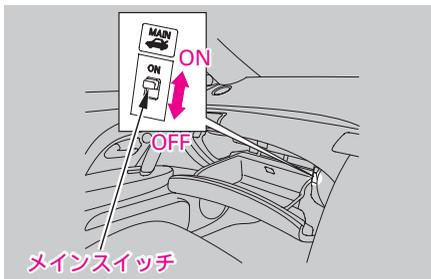


知識

- 次の場合、キーレスエントリーのトランクボタンでは開けられません。
 - ・ エンジンスイッチノブが「0」以外するとき
 - ・ エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき

トランクメインスイッチ

グローブボックス内のメインスイッチを“OFF”にするとトランクを開けることができなくなります。



Hondaスマートキー閉じ込み防止装置

トランク内にHondaスマートキーを置いたままトランクを閉めると、ブザーが鳴り(6回)トランクが開きます。

Hondaスマートキーを取り出してから、再度トランクを閉めてください。

Hondaスマートキーは必ず携帯し、トランク内に置かないでください。Hondaスマートキーがトランク内にあっても、位置、周囲の環境、電波状態などにより作動が不安定となり、トランクが開かないことがあります。

Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴り、トランクが開いたときから手で押さえつけると、トランクを閉じることができます。

このとき、ブザーが約10秒間鳴り続けますが、グローブボックス内のトランクメインスイッチが“ON”のときは、ブザーが鳴っている間にトランクオープンスイッチを引くと、トランクを開けることができます。

ブザーが鳴っている間にトランクを開けなかった場合、トランクは開かなくなります。

知識

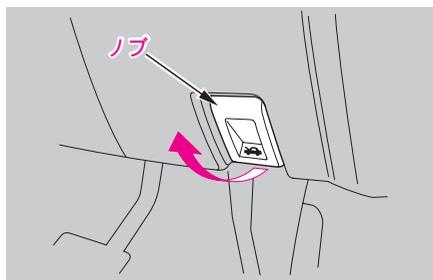
- トランクに入れる荷物などに、Hondaスマートキーが入っていないことを確認してください。
- Hondaスマートキーをトランク内に閉じ込めてしまったときは、Honda販売店へご連絡ください。
- 次のようなときにも、Hondaスマートキー閉じ込み防止ブザーが鳴ります。
 - ・Hondaスマートキーがトランクに近づきすぎているとき
 - ・Hondaスマートキーがリヤシエルフ上にあるとき
 - ・Hondaスマートキーがリヤシートの背もたれや座席に近づきすぎているとき
- トランク内にHondaスマートキーを残したまま、トランクを何度も開閉すると保護機能が働きトランクが開かなくなります。



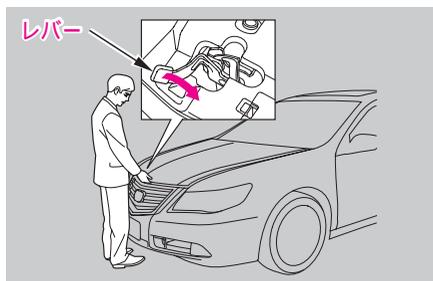
ボンネット

開けかた

- ① 運転席足元のノブを引きます。



- ② ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを右へ押しながら開けます。

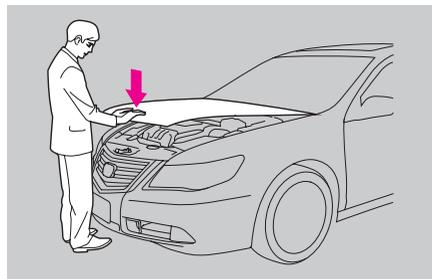


知識

- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

閉めかた

ボンネットを下げ、ボンネット中央前端的のロック部を手で押さえつけるように閉めます。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。

注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

知識

- ボンネットが完全に閉まっていないうままで走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。
- ボンネットが閉まりにくいときは、ボンネットを少し開けてから下に軽く勢いをつけ、押し付けて閉めてください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

**指定燃料：無鉛プレミアムガソリン
(無鉛ハイオク)**

タンク容量：73ℓ

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
 - ・有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
 - ・高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
 - ・軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

知識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、一時的に無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。無鉛レギュラーガソリンの長期使用は、エンジン破損に結びつく場合があります。

●燃料補給のしかた

警告

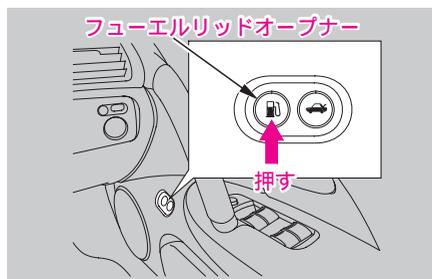
- 燃料補給時は火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・エンジンは必ず止めてください。
 - ・タバコなどの火気を近づけないでください。
 - ・こぼれた燃料はすみやかに拭き取ってください。
 - ・燃料の取り扱い、屋外で行ってください。
- 燃料補給作業は身体の静電気を除去してから行ってください。静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。



知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。再度、静電気を除去してください。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

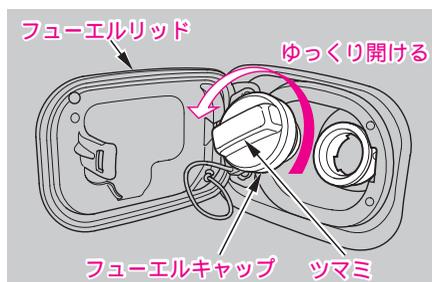
- ① 運転席ドアにあるフューエルリッドオープナーを押してリッドを開けます。



アドバイス

- フューエルリッドが開かないとき
402ページ

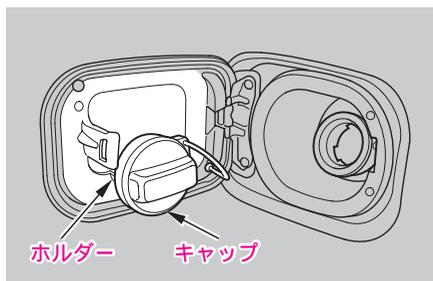
- ② フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
- ③ ツマミを持ってフューエルキャップをゆっくり回して開けます。



⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

- ④ キャップはフューエルリッドにあるホルダーにかけてください。



- ⑤ 給油ノズルを奥まで差し込んで補給します。
燃料タンクが満タンになると給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

⚠ 注意

- 給油ノズルの自動停止後は、追加補給しないでください。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

🎓 知識

- 気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

- ⑥ キャップを“カチッ”という音が1回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠ 注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。



パワーウィンドー

エンジンスイッチノブが「II」のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

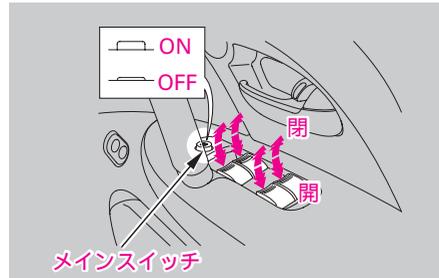
- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

ウィンドーの開閉

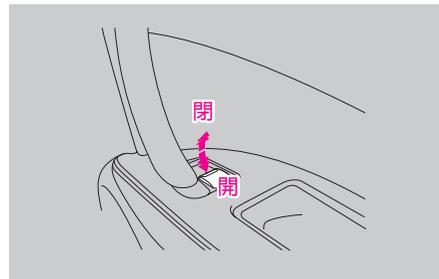
スイッチを軽く操作している間、作動します。
強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。
閉めるとき…スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・その他のドアスイッチ



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

メインスイッチ

スイッチを押すごとに“ ON ”が “ OFF ” が切り換わります。

ON ……すべてのウィンドーの操作ができます。

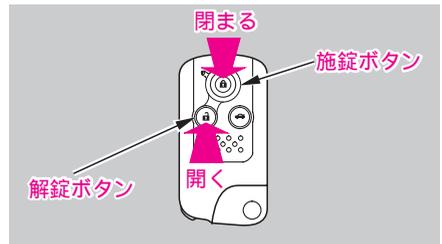
OFF ……運転席以外のウィンドーは操作できません。

キーレスエントリーで開閉するとき

キーレスエントリーで施錠(解錠)後、約10秒以内であれば、再度施錠(解錠)ボタンを押し続けると、押し続けている間すべてのドアのパワーウィンドーが閉まり(開き)ます。

サンルーフ装備車はサンルーフも閉まり(開き)ます。

ボタンを押し続けている途中でパワーウィンドーの開閉動作が止まってしまった場合は、再度同じ操作を繰り返してください。



知識

- 以下の条件のときは、キーレスエントリーを使ってパワーウィンドーの開閉は行えません。
 - ・エンジンスイッチノブが“ 0 ” (プッシュオフ)以外のとき
 - ・ドアが開いているとき(閉めるときのみ)
 - ・エンジンスイッチに内蔵キーが差し込まれているとき
- キーレスエントリーを使ったパワーウィンドーの開閉機能を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

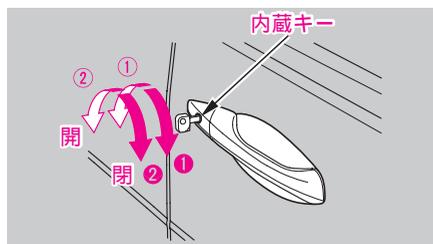


運転席ドアのキーシリンダーで開閉するとき

運転席ドアに内蔵キーを差し込んで施錠(解錠)後、内蔵キーを戻してから約10秒以内であれば再度施錠(解錠)則いっばいに回したままにしている間、すべてのドアのパワーウィンドーが閉まり(開き)ます。

サンルーフ装備車はサンルーフも閉まり(開き)ます。

内蔵キーを回している途中でパワーウィンドーの開閉動作が止まってしまった場合は、再度同じ操作を繰り返してください。



知識

- 以下の条件のときは、運転席ドアのキーシリンダーでパワーウィンドーの開閉は行えません。
 - ・エンジンスイッチノブが「II」のとき
 - ・ドアが開いているとき(閉めるときのみ)
- 運転席ドアのキーシリンダーでのパワーウィンドーの開閉機能を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

注意

- 車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて行ってください。いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

キーオフオペレーション

エンジンスイッチノブを“II”から“I”または“0”にしてから約10分間は、パワーウィンドーの操作ができます。

ただし、エンジンスイッチノブを“II”から“I”または“0”にしてから約10分以内に、フロントドアを開けてから閉めると、パワーウィンドーの操作はできなくなります。

知識

- キーオフオペレーションの作動時間の設定やその機能を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

- キーオフオペレーションが機能している間は、キーレスエントリーまたは内蔵キーでのパワーウィンドーの開閉はできません。

キーレスエントリーで

開閉するとき 76ページ

運転席ドアのキーシリンダーで

開閉するとき 77ページ

はさみ込み防止機構

ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などはさまないように注意してください。

知識

- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、閉めたいドアのスイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しそれぞれのドアのスイッチでドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを閉め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

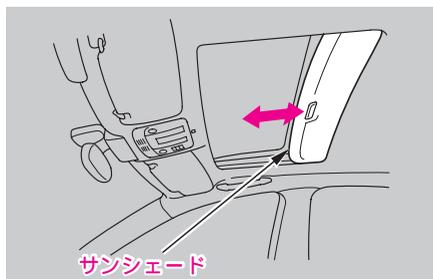


サンルーフ

タイプ別注文装備

サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。サンルーフを開けると同時に開きます。サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全開できません。



知識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出ることがあります。

開閉

エンジンスイッチノブが「II」のときサンルーフの開閉ができます。



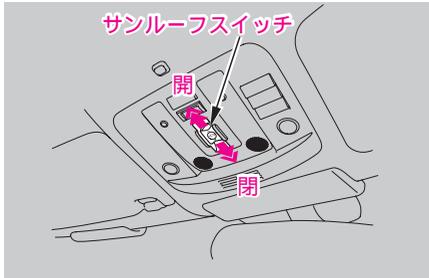
チルトアップ操作

サンルーフスイッチを押すと、自動でサンルーフ後部が上がります(チルトアップ状態)。サンルーフスイッチを前側に軽く操作している間、閉まる方向に作動します(チルトダウン)。強く操作すると自動で全閉します。



開閉操作

サンルーフスイッチを軽く操作している間、サンルーフが作動します。強く操作すると自動で全開(全閉)します。



サンルーフが自動開閉中に、スイッチを軽く操作すると停止します。

⚠ 警告

- サンルーフを開閉するとき、手や顔などをはさまないようにしてください。サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- サンルーフが停止した後はサンルーフスイッチを押し続けしないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたリ荷物に乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。

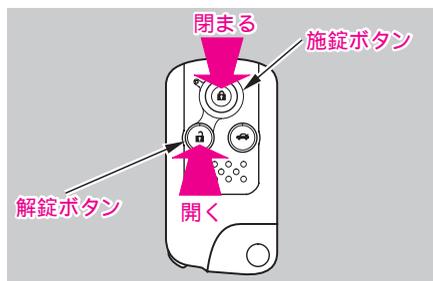
🎓 知識

- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。



キーレスエントリーで開閉するとき
キーレスエントリーで施錠(解錠)後、約
10秒以内であれば再度施錠(解錠)ボタ
ンを押し続けると、押し続けている間サン
ルーフとすべてのドアのウィンドーが閉
まり(開き)ます。

ボタンを押し続けている途中でサンルーフ
の開閉動作が止まってしまった場合は、
再度同じ操作を繰り返してください。



知識

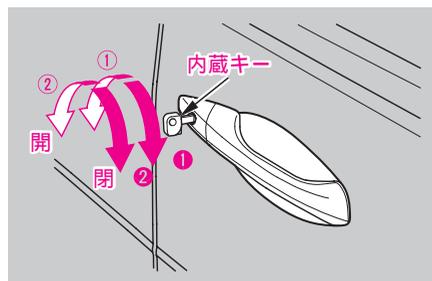
- 以下の条件のときは、キーレスエ
ントリーでサンルーフの開閉は行
えません。
 - ・エンジンスイッチノブが“0”
(プッシュオフ)以外のとき
 - ・ドアが開いているとき(閉める
ときのみ)
 - ・エンジンスイッチに内蔵キーが
差し込まれているとき
- キーレスエントリーを使ったサン
ルーフの開閉機能を解除するこ
とができます。

カスタマイズ機能 330ページ

運転席ドアのキーシリンダーで開閉する
とき

運転席ドアに内蔵キーを差し込んで施錠
(解錠)後、内蔵キーを戻してから約10秒
以内であれば再度施錠(解錠)削いっぱ
いに回したままにしている間、サンルーフ
とすべてのドアのウィンドーが閉まり
(開き)ます。

内蔵キーを回している途中でサンルーフ
の開閉動作が止まってしまった場合は、
再度同じ操作を繰り返してください。



知識

- 以下の条件のときは、運転席ドア
のキーシリンダーでサンルーフの
開閉は行えません。
 - ・エンジンスイッチノブが“II”の
とき
 - ・ドアが開いているとき(閉める
ときのみ)
- 運転席ドアのキーシリンダーでの
サンルーフの開閉機能を解除する
ことができます。

カスタマイズ機能 330ページ

キーオフオペレーション

エンジンスイッチノブを“II”から“I”または“0”にしてから約10分間は、サンルーフの操作ができます。

ただし、エンジンスイッチノブを“II”から“I”または“0”にしてから約10分以内に、フロントドアを開けてから閉めると、サンルーフの操作はできなくなります。

知識

- キーオフオペレーションの作動時間の設定やその機能を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

- キーオフオペレーションが機能している間は、キーレスエントリーまたは内蔵キーでのサンルーフの開閉はできません。

キーレスエントリーで

開閉するとき 81ページ

運転席ドアのキーシリンダーで

開閉するとき 81ページ

はさみ込み防止機構

サンルーフを閉じているとき、またはチルトダウンしているときに、枠とサンルーフガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、サンルーフの作動が停止して自動で反対方向に動きます。

注意

- サンルーフを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などははさまないように注意してください。

知識

- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、サンルーフを閉めることができなくなったときは、応急処置としてスイッチを軽く閉方向に押し続けると、サンルーフを閉めることができます。サンルーフが完全に閉まるまで、そのままスイッチを押し続けてください。応急処置後はHonda販売店で点検を受けてください。

1 車を運転する前に

各部の開閉



Handwriting practice area consisting of multiple horizontal dashed lines on a white background, intended for writing practice.

セキュリティーシステム

セキュリティー(盗難防止)システムは、イモビライザーシステムとセキュリティーアラームシステムにより、お車を盗難から守るための装置です。

イモビライザーシステムについて

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

アドバイス

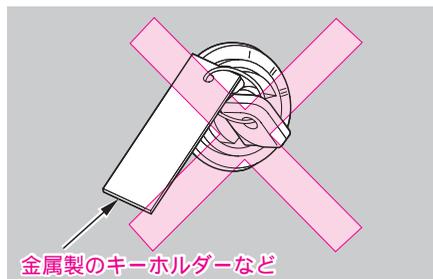
- システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

イモビライザーシステムは、車両とキーとの電子照合を行うとき、微弱な電波を使用しています。次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。

イモビライザーシステム表示灯

143ページ

- ・ 近くに強い電波を発する設備があるとき。
- ・ キーが金属物に触れたり覆われているとき。



- ・ 他の車両のイモビライザーシステム用のキーが近くにあるとき。





セキュリティアラームシステムについて

このシステムは、Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーを使わずにドアを開けたり、ボンネットやトランクなどを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

警報装置について

警報装置は、セキュリティアラームシステムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ・ ドアまたはトランクをHondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーを使わずに開けようとしたとき
- ・ トランクやボンネットをこじ開けようとしたとき
- ・ エンジンスイッチノブを“II”にしたとき
- ・ 内蔵キーでエンジンスイッチを“II”にしたとき

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

警報装置は、セキュリティアラームシステムを止めるまで最大5分間作動します。(ホーンおよび非常点滅表示灯は1回の警報作動につき約30秒間作動し、その警報作動が最大10回行われます。)

知識

- セキュリティアラームシステムの作動、非作動の設定を変更することができます。(工場出荷時は、作動に設定されています。)

カスタマイズ機能 330ページ

警報装置の止めかた

Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーで解錠すればその時点で警報装置は止まります。

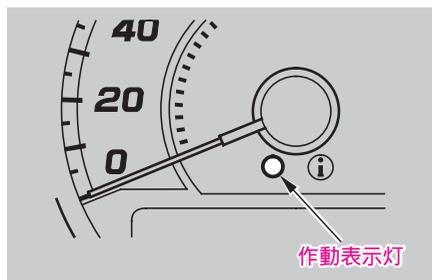
セットのしかた

次の操作がすべて行われると自動的にセキュリティアラームシステムがセットされます。

- ・ エンジンスイッチノブを“0”（プッシュオフ）にする。
- ・ 内蔵キーを使っているときは、エンジンスイッチを“0”にして内蔵キーを抜く。
- ・ ボンネットを閉める。
- ・ すべてのドアとトランクを閉め、運転席ドアを施錠する。

上記がすべて行われると、メーター内にある作動表示灯が点滅を始めます。約15秒後に点滅間隔が変わり、セキュリティアラームシステムがセットされたことを知らせます。

作動表示灯は、セキュリティアラームシステムがセットされている間は、点滅を続けます。



セットを解除するときは、Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーでドアを解錠します。作動表示灯が消灯し、セットが解除されたことを知らせます。



🎓 知識

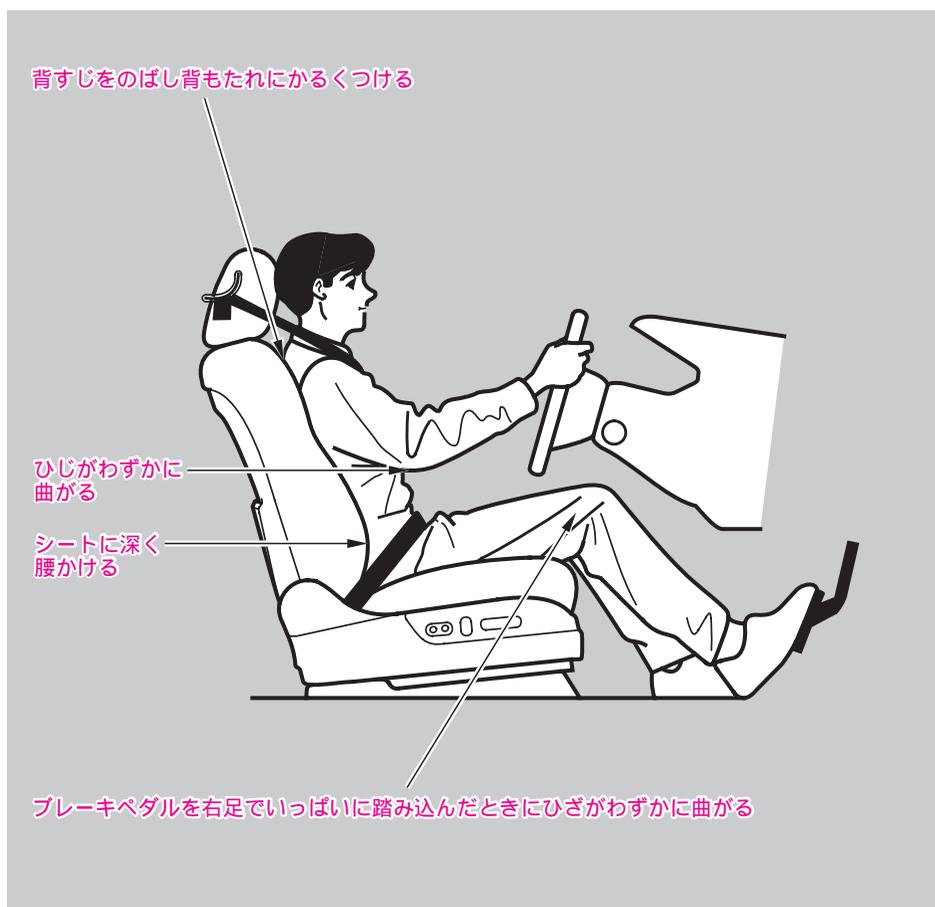
- 車から離れるときは、セキュリティーアラームシステムがセットされ、作動していることを作動表示灯で確認してください。
- ボンネット、ドア、トランクのすべてが完全に閉まっていないと、セキュリティーアラームシステムはセットされません。確実に閉まっていることを確認してください。ボンネットについては実際に手で押さえつけて確認してください。
ボンネット 71ページ
- 車内に人が乗っている状態またはウィンドーやサンルーフが開いた状態でもセキュリティーアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐため、人が乗っている状態またはウィンドーやサンルーフが開いた状態ではセキュリティーアラームシステムをセットしないでください。
- セキュリティーアラームシステムをセットしたあとに、バッテリーあがりなどでバッテリーの充電・交換をする際は、警報装置が作動する場合がありますので、Hondaスマートキーあるいはキーレスエントリー、内蔵キーでドアを解錠し、セキュリティーアラームシステムを解除してください。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- シートの調節は走行する前に行ってください。

フロントシート

知識

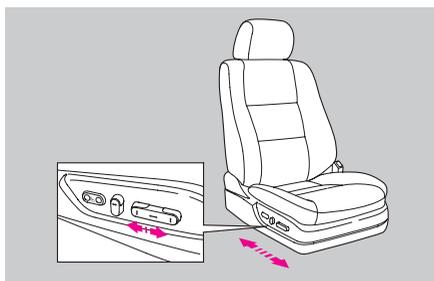
- 運転席シートは、調節した位置を記憶させることができます。

ドライビングポジション

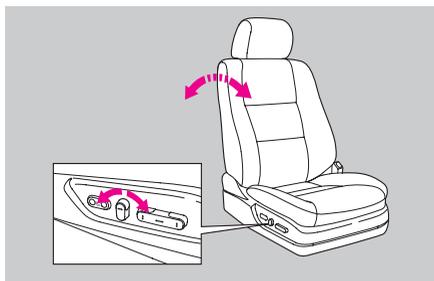
システム

102ページ

前後位置の調節

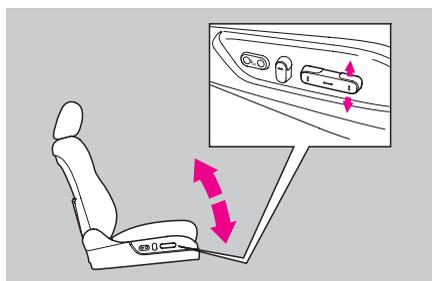


背もたれの調節

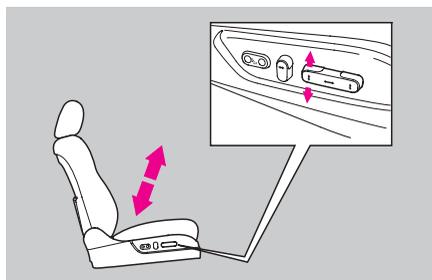


高さの調節

シートクッション前端(チルト)



シート全体



知識

- スイッチ中央部を操作すると、シートクッション前端とシート全体の高さの調節が同時に行えます。



ランバーサポート

背もたれ腰部の硬さを調節できます。



スイッチの前側を押すと硬くなり、後ろ側を押すとやわらかくなります。



ヘッドレストの調節

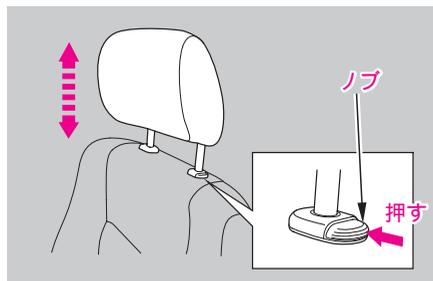
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

アクティブヘッドレストについて

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動します。

ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。



⚠ 注意

- ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けしないでください。万一追突されたときにアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

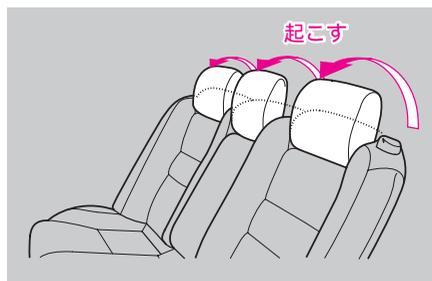
🎓 知識

- アクティブヘッドレストは、追突されたときのみ作動し、作動後は元の位置に戻ります。

リヤシート

ヘッドレストの使いかた

使用するときは走行する前に必ずヘッドレストを固定されるまで起こしてください。



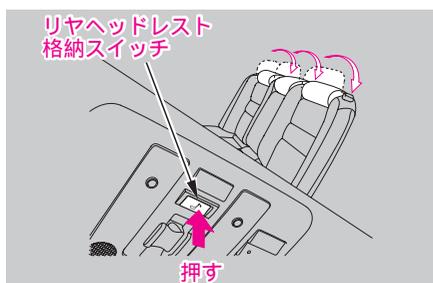
⚠ 警告

- 後席に乗車するときは、ヘッドレストを格納した状態で走行しないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず起こしてください。



リヤヘッドレスト格納スイッチ
エンジンスイッチノブが「II」のとき使え
ます。

車を後退させるときなど視界の妨げにな
るときは、リヤヘッドレスト格納スイッ
チを押してヘッドレストを格納してくだ
さい。



知識

- ヘッドレストを格納するときは、リヤシートに乗っている人の手などをはさまないようにしてください。
- リヤシェルフに物を置かないでください。衝突のときなどにこれらの物が飛ぶことがあります。

ハンドル・バックミラーの調節

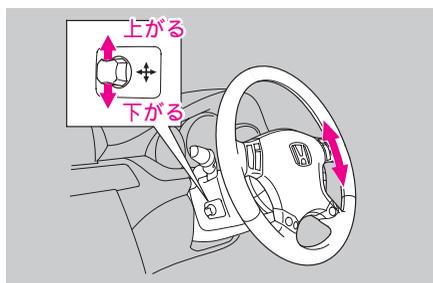
電動チルト/テレスコピックステアリング(電動上下/前後調節式ハンドル)

ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。

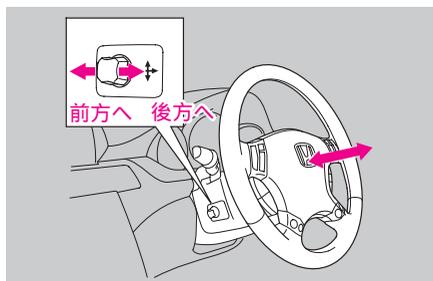


スイッチを操作して調節します。

上下調節



前後調節



知識

- 調節は走行する前に行ってください。
- 調節した位置を記憶させることができます。

ドライビングポジション

システム

102ページ



はね上げ動作について

エンジンスイッチノブを“0”にして手を離したとき、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたときに、ハンドルが自動的にはね上がり最も前方の位置に動きます。

エンジンスイッチノブを押し込んだとき、または内蔵キーをエンジンスイッチに差し込むと、ハンドルは元の位置に戻ります。

知識

- 次のような操作を行うと、ハンドルのはね上げ・復帰の動作が止まります。
 - ・ ハンドルの調節スイッチを操作したとき
 - ・ プリセットボタン、メモリーボタンを操作したとき
 ドライビングポジションシステム 102ページ
 - ・ セレクトレバーをPから他の位置に切り換えたとき。
- 復帰動作中にエンジンスイッチノブを“0”(プッシュオフ)にしたとき、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたときは、再度はね上げ動作をします。
- ハンドルのはね上げ動作を行わないようにすることができます。
 カスタマイズ機能 330ページ

知識

- バッテリーやヒューズを交換した場合は、チルト/テレスコピックの位置を記憶させるための原点(最も前方、最も上方)の記憶が消去されるため再検知が必要になります。この場合は以下の対応を行ってください。
 エンジンスイッチノブを押し込んで手を離す、または内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んで抜くと、ハンドルが自動で原点(最も前方、最も上方)に動き原点を検知します。

ルームミラー

知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

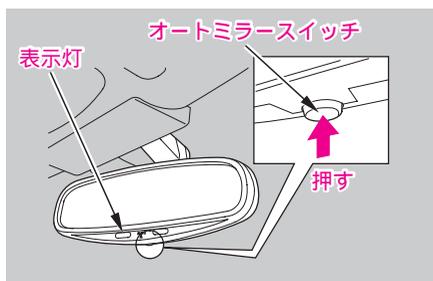
防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を自動的に弱くできます。

エンジンスイッチノブが「II」で、オートミラースイッチが「ON」のとき作動します。オートミラースイッチを押すごとに「ON」⇄「OFF」が切り換わります。「ON」のとき表示灯が点灯します。

後続車のライトでルームミラー内のセンサーが周囲より明るい光を感知すると、自動的にライトなどの反射が弱くなります。

セレクトレバーをRに入れているときは解除されます。

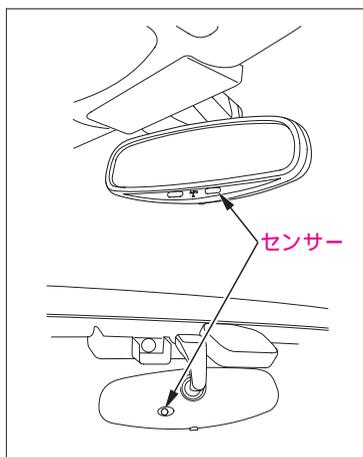


知識

- オートミラースイッチを「ON」にすると、ドアミラーも連動して防眩します。

ドアミラー 97ページ

- アクセサリーをつり下げてセンサーをふさいだり、ガラススクリーナーを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が悪くなったりして、正しく作動しなくなることがあります。





ドアミラー

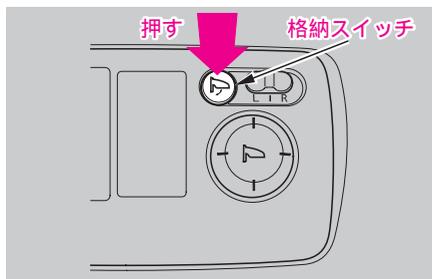
知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

格納のしかた

エンジンスイッチノブが「II」のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。

格納スイッチを押すとミラーがたたまります。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。

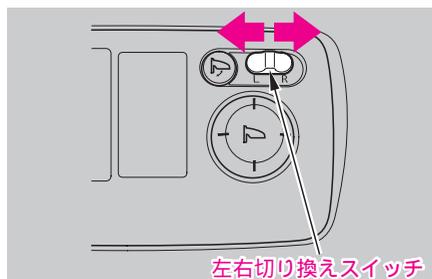


直接手で格納することもできます。

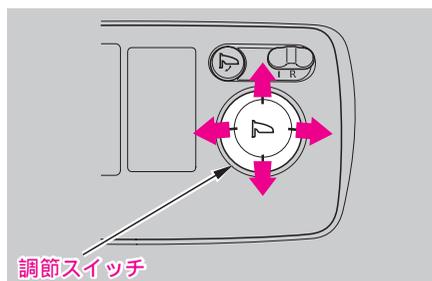
角度調節のしかた

エンジンスイッチノブが「II」のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。



- ②調節スイッチで角度を調節します。



直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

知識

- 調節した位置を記憶させることができます。

ドライビングポジション

システム

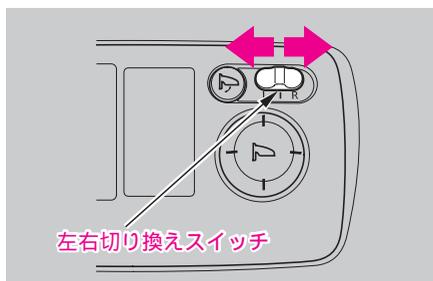
102ページ

リバース連動ドアミラー

後退時、車両の側面視界をよりよく確保するため、セレクトレバーのリバースと連動してドアミラーが自動的に下向きになります。



- ① エンジンスイッチノブが“II”で、ドアミラーの左右切り換えスイッチがL側またはR側にあることを確認します。



- ② セレクトレバーをRの位置にすると左右切り換えスイッチを動かした側のミラーが下向きになります。
- ③ セレクトレバーをR以外の位置にすると元の位置に戻ります。

知識

- 次の場合にも、ミラーが元の位置に戻ります。
 - ・ 左右切り換えスイッチを中間位置にしたとき
 - ・ エンジンスイッチノブを“II”以外にしたとき
- リバース連動ドアミラーは、ドアミラーの左右切り換えスイッチが中間位置にあるときは作動しません。作動させるには、左右切り換えスイッチをL側またはR側にしてください。



防眩式ドアミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を自動的に弱くできます。



エンジンスイッチノブが[※] II で、オートミラースイッチが[※] ON のとき作動します。

オートミラースイッチ 96ページ

オートミラースイッチを押すごとに“ ON ⇄ OFF ”が切り換わります。“ ON ”のとき表示灯が点灯します。

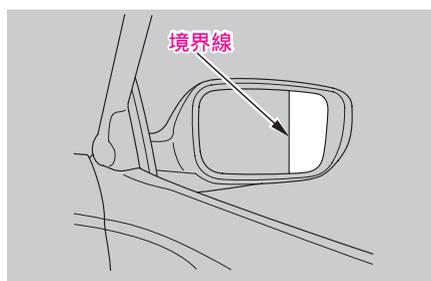
後続車のライトでルームミラー内のセンサーが周囲より明るい光を感知すると、自動的にライトなどの反射が弱くなります。

セレクトレバーを R に入れているときは解除されます。

広角タイプドアミラー

ミラー表面にある境界線の内側と外側で曲率の異なる鏡を使用し、外側は通常のドアミラーよりも広い視界を映すことができます。

死角を少なくし、後方視認性と安全性を向上させます。

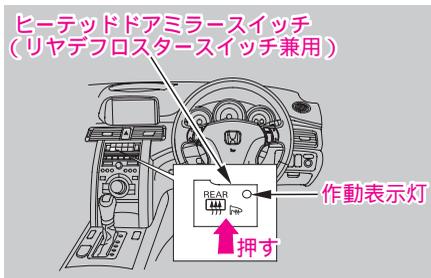


知識

- 境界線より外側に映る物は、通常のドアミラーよりも遠くにあるように見えます。

ヒートドドアミラー

ヒートドドアミラースイッチ(リヤデフロスタースイッチ兼用)を押すとミラーが暖められ曇りが取れます。



エンジンスイッチノブが“ II ”のとき、スイッチを押すと“ ON ”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“ OFF ”になり、作動表示灯は消灯します。

知識

- ヒートドドアミラースイッチを押すと、リヤガラスの曇り取りも同時に機能します。

リヤデフロスター 185ページ

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“ OFF ”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- エンジンスイッチノブを“ II ”にしたとき、外気温が5 以下の場合は、自動的に“ ON ”になります。スイッチを押すか、自動で“ ON ”になった場合、“ ON ”のまま約10分経過後自動的に“ OFF ”になります。



アクアクリーンミラー (親水ミラー)

タイプ別装備

ミラー表面には、付着した雨滴を膜のように広げる親水効果を持つコーティングをほどこしており、雨天時などにおける後方視認性を向上させます。

ミラー表面に汚れなどが付着して親水効果が低くなったときは、水道水をかけて洗い流し、太陽光を当てることにより効果が回復します。

親水効果を早く回復させたいとき

419ページ

アドバイス

- フロントドアガラスに撥水剤やボディにワックスを塗布するときは、ミラー表面に撥水剤やワックスが付着しないようにドアミラーを布などで覆ってください。
ミラー表面にこれらの物が付着すると親水効果を失います。
- ミラー表面が凍結しているときは、ヒートドドアミラースイッチを“ON”にするか、温水や水道水を使って溶かしてください。解氷剤を使ったり、プラスチックの板を使って削り落とすと、ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。
- 砂の付いた布や油膜取り剤(コンパウンドなど)でミラー表面をこすらないでください。
ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。

知識

- 汚れや水滴を拭き取るときは、きれいな布で拭き取ってください。
- 水洗いでミラーの汚れが落ちない場合は、家庭用中性洗剤を使って柔らかい布でミラー表面を拭き取ることで回復できます。
- 次のようなときは、一時的に親水効果が低下しますが異常ではありません。親水効果は数日間の日射で回復します。
 - ・素手でミラーに触れたり油のついた布などでミラー表面を拭き取ったとき。
 - ・自動洗濯機のワックスがミラー表面に付着したとき。
 - ・長期間、地下駐車場など日の当たらないところに駐車したとき。
親水効果を早く回復させたいとき 419ページ
- 自動洗濯機で洗車するときは、ミラー表面に洗剤やワックスが付着しないようドアミラーを格納してください。
格納のしかた 97ページ

ドライビングポジションシステム

ドライビングポジションシステムについて

次の位置を2種類記憶させ、それぞれの位置に自動で調節させることができます。

運転席シート	・前後位置 ・背もたれの角度 ・上下位置
ハンドル	・上下位置 ・前後位置
左右 ドアミラー	・上下位置 ・左右位置
ヘッドアップ ディスプレイ	・映像の上下位置

インテリジェント・ナイトビジョンシステム装備車

ドライバー1のHondaスマートキーまたはキーレスエントリーでドアを解錠するとプリセットボタン1で記憶した位置に、ドライバー2のHondaスマートキーまたはキーレスエントリーでドアを解錠するとプリセットボタン2で記憶した位置に自動で調節されます。

内蔵キーでドアを解錠すると、プリセットボタン1(ドライバー1)またはプリセットボタン2(ドライバー2)で記憶したどちらか一方の位置に自動で調節されます。

内蔵キー 45ページ

運転席シートと左右ドアミラーは運転席ドアを開けたときに、ハンドルは、エンジンスイッチノブを押し込んだときまたは、内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んだときに、調節されます。

ヘッドアップディスプレイは、インテリジェント・ナイトビジョンシステム作動時に調節されます。

知識

- 解錠時のメモリーシート連動機能を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ



記憶のさせかた

知識

- 操作は走行する前に行ってください。

- ① エンジンスイッチノブを“II”にします。
- ② 運転席シート、ハンドル、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイを適当な位置に調節します。

フロントシート 90ページ

電動チルト/テレスコピック

ステアリング 94ページ

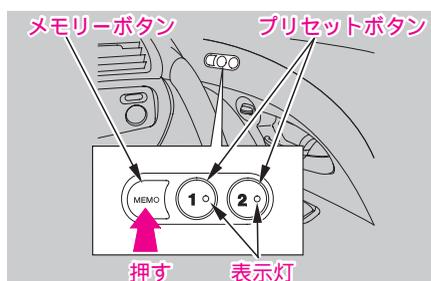
ドアミラー 97ページ

ヘッドアップディスプレイ

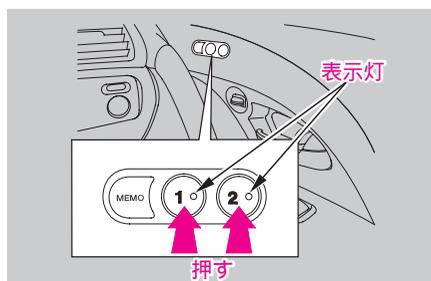
インテリジェント・ナイト

ビジョンシステム取扱説明書

- ③ メモリーボタンを押します。“ピッ”と1回音がして、プリセットボタン内の表示灯が2つとも点滅します。



- ④ ボタン内の表示灯が2つとも点滅している間(メモリーボタンを押してから5秒以内)に“1”または“2”のプリセットボタンを、“ピッピッ”と2回音がするまで押します。記憶されると押したボタン内の表示灯が点灯します。“1”と“2”の2つのドライビングポジションを記憶することができます。



記憶の消去

新しく位置を記憶させると、前の記憶は消去されます。バッテリーやヒューズを外した場合にも、記憶は消去されます。

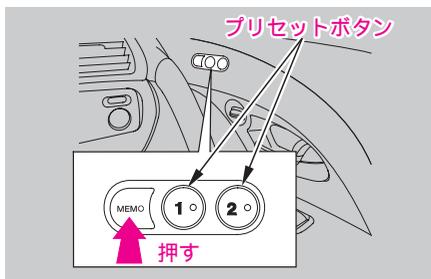
記憶の呼び出しかた

プリセットボタンを押すと記憶させたドライビングポジションを呼び出すことができます。

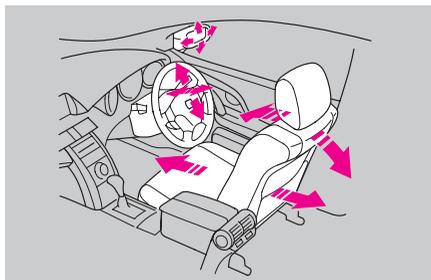
知識

- 操作は走行する前に行ってください。

- ①セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- ②運転者のドライビングポジションを記憶させた側のプリセットボタンを押します。



- ③運転席シート、ハンドル、ドアミラーが自動的に動き出し、ボタン内の表示灯が点滅します。ヘッドアップディスプレイは、インテリジェント・ナイトビジョンシステム作動時に調節されます。



- ④記憶させた位置に調節されるとピピッと2回音がして、ボタン内の表示灯が点灯します。



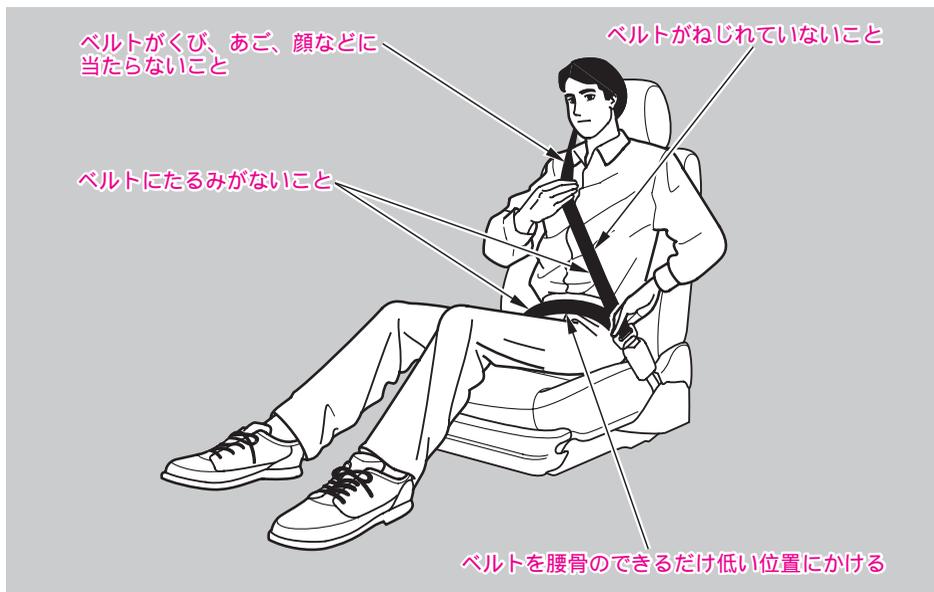
知識

- エンジンスイッチノブが「0」(プッシュオフ)のときまたは、内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、運転席シートとドアミラーのみが調節されます。エンジンスイッチノブを押し込んだときまたは、内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んだときに、ハンドルも自動的に調節され、“ピッピッ”と2回音がします。
- 次のような操作を行うと、自動調節の動作が止まります。
 - ・ シート、ハンドル、ドアミラーの調節スイッチを操作したとき
 - ・ プリセットボタン、メモリーボタンを操作したとき
 - ・ セレクトレバーをPから他の位置に切り換えたとき

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト:

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト:

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

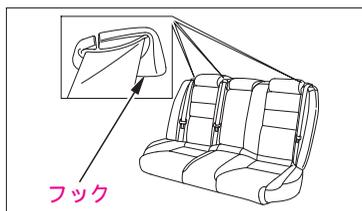
チャイルドシート固定機構付きシートベルト 114ページ



三点式シートベルト

知識

- リヤシートのシートベルトを使うときは、フックから取り外さないでください。



テンションリデューサー(前席のみ)

ベルト着用時の圧迫感を軽減する装置です。エンジンスイッチノブが「II」でシートベルトを着用したときに、はたらかみます。

シートベルトリマインダー(非着用警報装置)

エンジンスイッチノブを「II」にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点灯し続けます。

また、エンジンスイッチノブを「II」にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。

(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも、一定回数を超えるとブザーは止まります。
- セレクトレバーをRに入れたときは、後退位置警報装置のチャイムが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

114ページ

知識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた 115ページ

シートベルトプリテンショナー(前席のみ)

244ページ

E-プリテンショナー(前席のみ)

ACC/LKAS装備車

246ページ

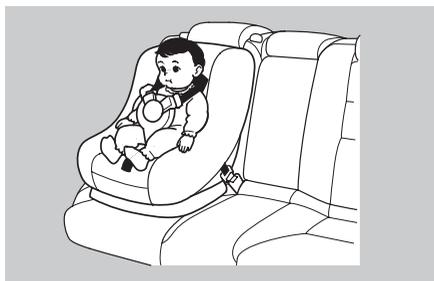
お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

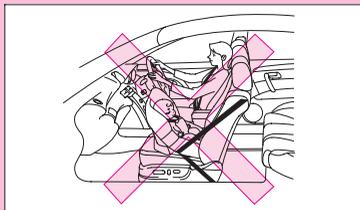
お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。
- ISOFIX対応以外のチャイルドシートは、シート形状などにより、チャイルドシートを正しく取り付けできない席があります。このようなときは、他の席で試してください。または、この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。トップテザーアンカレッジにトップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。
後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

車両限定型ISOFIX取付装置 →116ページ

- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISOFIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～10	～75	～12か月
幼児用 (チャイルド) シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用 (ジュニア) シート	15～32	100～135	4才～10才

車両限定型ISOFIXチャイルドシート

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年令
乳児用 (ベビー) シート	～9	～70	～9か月
幼児用 (チャイルド) シート	9～18	70～100	9か月～4才

シートベルトの取り扱い、手入れ

- 次のような場合はベルト一式を交換してください。

- ・ ベルトを着用した状態で事故にあったとき。
- ・ シートベルトプリテンショナーが作動したとき。

シートベルトプリテンショナー

244ページ

- ・ ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたとき。
- シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めず。

着用のしかた

三点式シートベルト

- ① 正しい運転姿勢でシートにすわります。
(88ページ)
- ② タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ④ ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。



- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させます。



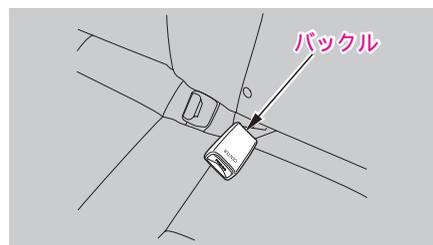
- ⑥外すときはバックルのPRESSボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



後席中央

タングプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。バックルに“CENTER (センター)”の表示があります。

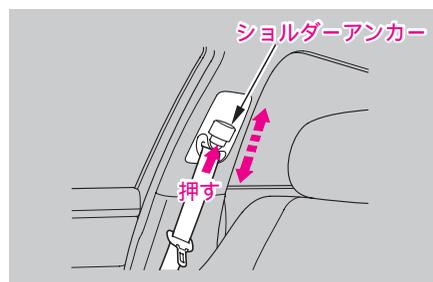


ショルダーアンカーの高さ調節

(前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。

通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。



⚠ 注意

- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

後席の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かさないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。

取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

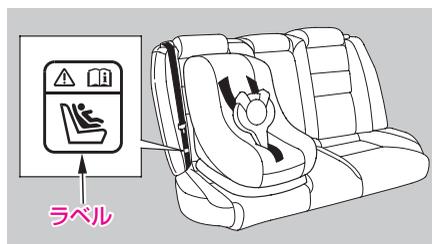
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

🎓 知識

- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるとき
車両限定型ISOFIX
取付装置 →116ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

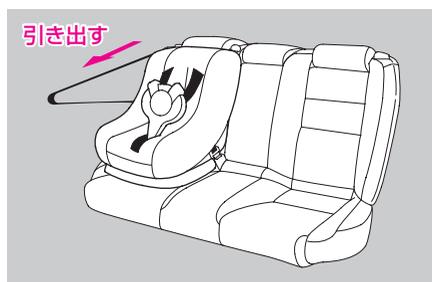
- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。



- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ「カチリ」と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせます。その後、ベルトをゆっくりと引き、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出ししてください。

⚠ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

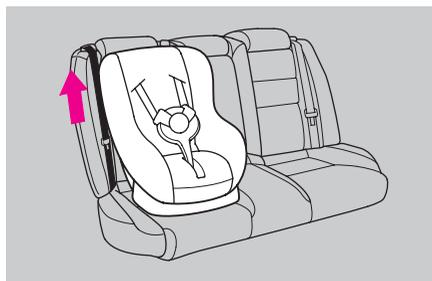


⚠ 注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



車両限定型ISOFIX取付装置 (後席外側 2 座席)

後席外側の 2 座席には、車両限定型 ISOFIXチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

この車用に認可を取得した車両限定型 ISOFIXチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。

後席に後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。

ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

知識

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

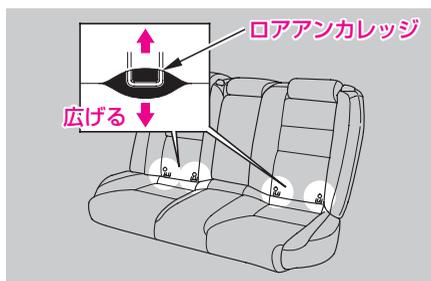
チャイルドシート固定機構付き
シートベルト →114ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①エンジンスイッチノブが“II”のときにリヤヘッドレスト格納スイッチを押してリヤヘッドレストを倒します。

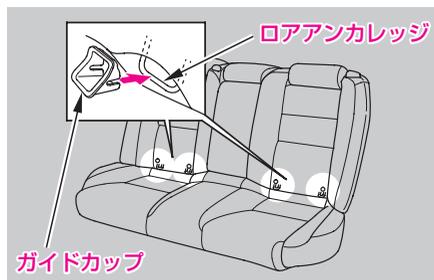


- ②シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、ロアアンカレッジの位置を確認します。

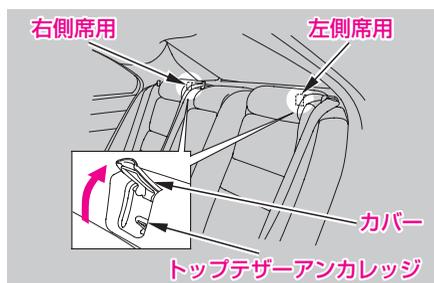




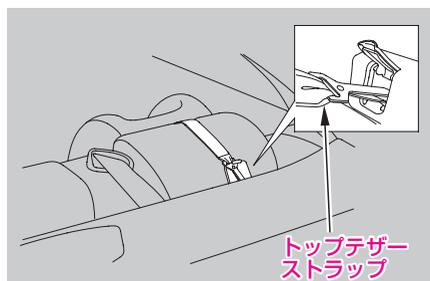
- ③異物やシートベルトなどをかみ込まないようにチャイルドシートに同梱のガイドカップをロアアンカレッジに差し込みます。



- ④チャイルドシートを取り付ける座席の真後ろ側のカバーを開けて、トップテザーアンカレッジの位置を確認します。

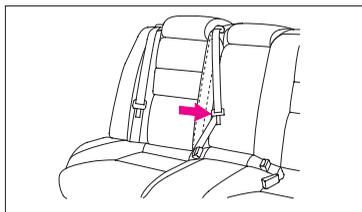


- ⑤チャイルドシートとトップテザーストラップをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。

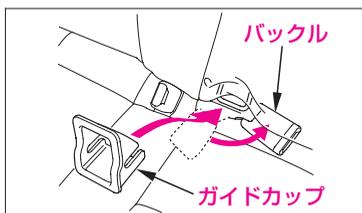


知識

- 右側席にガイドカップを差し込むときは、中央席シートベルトを右側席シートベルトのバックルよりも中央席寄りに動かしてください。



- 左側席にガイドカップを差し込むときは、中央席シートベルトのバックルを左側席のシートクッションと背もたれのすき間に押し込んでから差し込んでください。



- 左側席にチャイルドシートを取り付けたときは、中央席はご使用になれません。

注意

- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるときは、ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどのかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

● 取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。

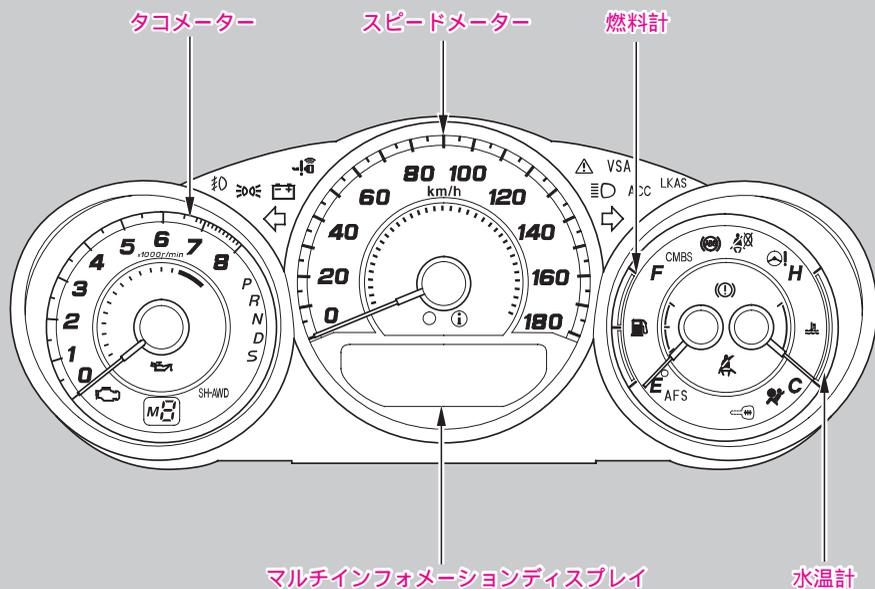
2

車を運転するときに

メーター	120	非常点滅表示灯(ハザード)	
イルミネーション		スイッチ	177
コントロール	122	ワイパー/ウォッシャー	
マルチインフォメーション		スイッチ	178
ディスプレイ	124	フロントガラス熱線	
表示について	125	スイッチ	184
警告表示について	131	リヤデフロスタースイッチ	185
		ホーンスイッチ	186
表示灯	138	運転のしかた	
警告灯	146	エンジンのかけかた	188
セーフティインジケーター	157	パーキングブレーキ	191
警告灯の電球切れの点検	158	セレクトレバーの	
スイッチの使いかた		操作	194
エンジンスイッチノブ		オートマチック車の運転の	
(Hondaスマートキーで		しかた	201
操作するとき)	160	クルーズコントロール	209
内蔵キーを使ってエンジン		SH-AWD(スーパーハンドリ	
スイッチを操作するとき	168	ングオールホイール	
ライトスイッチ	172	ドライブシステム)	
フォグライトスイッチ	176	SH-AWDのしくみ	214
方向指示器(ウィンカー)		運転するときは	215
スイッチ	177	取り扱いについて	217

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数 ……………6,800 rpm

- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

燃料計

エンジンスイッチノブが[Ⓔ] II のとき、燃料の残量を示します。

“ E ”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について 72ページ

水温計

エンジンスイッチノブが[Ⓔ] II のとき、エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“ H ”の目盛りより下側をさすのが正常です。

アドバイス

- 針が[Ⓔ] H の目盛りに入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき

374ページ

イルミネーション コントロール

+、- スイッチを押すと、メーター表示の明るさが車幅灯点灯時と消灯時にそれぞれ別々に調節できます。

エンジンスイッチノブが「II」のとき+、- スイッチを押して明るさを調節します。

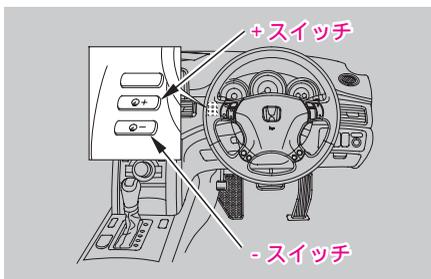
明るくするとき...

+ スイッチを押します。明るさが最大になると“ピッ”という電子音が鳴ります。

暗くするとき...

- スイッチを押します。明るさが最小になると“ピッ”という電子音が鳴ります。

車外の明るさに応じてお好みで調節してください。

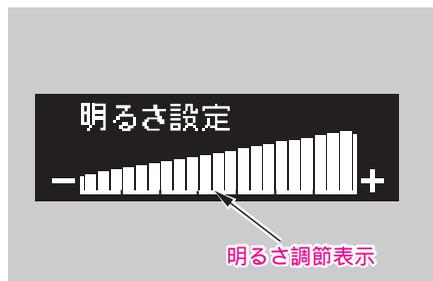


知識

- スイッチを押し続けると、連続して明るさが変わります。

明るさ調節表示

+、- スイッチを押して明るさを調節すると、マルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わりみず。■が右に増えて行くほどメーターが明るく表示されます。



知識

- マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が出ているときは明るさ調節表示は表示されません。通常表示に戻ってから、明るさを調節してください。

警告表示について 131ページ



🎓 知識

- 次の動作をしたときは、元の表示に切り換わります。
 - ・ 調節後約5秒すぎたとき。
 - ・ インフォメーション(①)スイッチを押したとき
- 車幅灯が点灯しているときは、車外の明るさに合わせてメーターの明るさが自動で切り換わります。外が明るいときは昼間(車幅灯消灯時)の明るさに、外が暗いときは夜間(車幅灯点灯時)の減光した明るさになります。
- 車幅灯が点灯し、メーターの明るさが減光されたときに、 が右にいっぱい(明るさ最大)になるまで + スイッチを押し、再度 + スイッチを押すと、メーターの明るさの減光を手動で解除することができます。このとき“ピッ”という電子音が鳴ります。
メーターの明るさを元に戻すときは、- スイッチを押してください。このときにも“ピッ”という電子音が鳴ります。

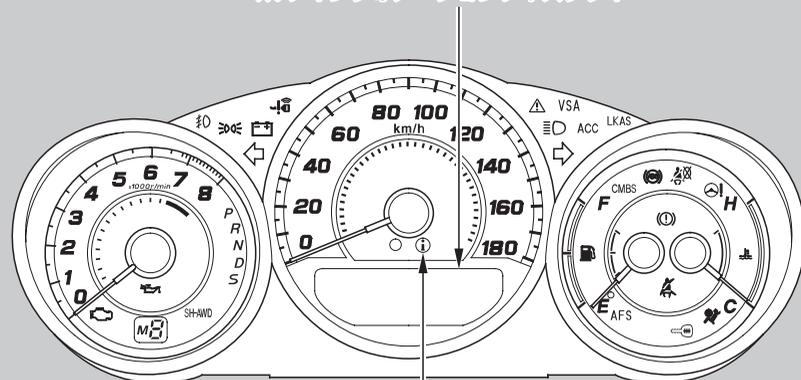
🎓 知識

- 運転席ドアを開けると、メーターが減光した状態で点灯します。(ウェルカムメーター照明)
- 次のようなとき、メーターの照明は消灯します。
 - ・ 運転席ドアを開けてから、何もせずに約3分経過したとき。
 - ・ 運転席ドアを閉めてから、何もせずに約30秒経過したとき。
 - ・ エンジンスイッチノブを“II”から“I”または“0”(プッシュオン)に回してから約10秒経過したとき
 - ・ 内蔵キーでエンジンスイッチを“II”から“I”または“0”に回してから約10秒経過したとき

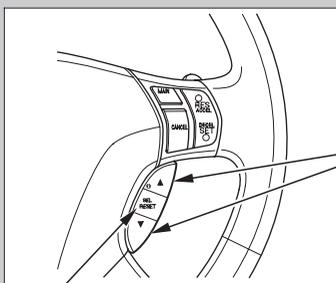
マルチインフォメーション ディスプレイ

イラストは代表例を掲載しています。

マルチインフォメーションディスプレイ



①マーク



インフォメーション(①)スイッチ

SEL/RESETスイッチ

知識

- 運転席ドアを開けるとメーターの目盛りが点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに“Welcome”のメッセージが表示されます。(ウェルカムメーター照明)
- エンジンスイッチノブを“II”にすると、マルチインフォメーションディスプレイに、解錠時に識別されたドライバー 1 (“DRIVER1”)またはドライバー 2 (“DRIVER2”)が表示されます。
- エンジンスイッチノブを“II”から“0”にすると、マルチインフォメーションディスプレイに“Good bye”が表示されます。



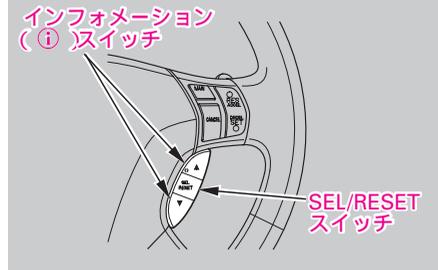
表示について

異常を検知すると、警告表示が割り込み表示され、約 5 秒後に通常表示に戻ります。また、ディスプレイの上部に ⓘ マークが点灯します。

警告表示について 131 ページ

表示の切り換え

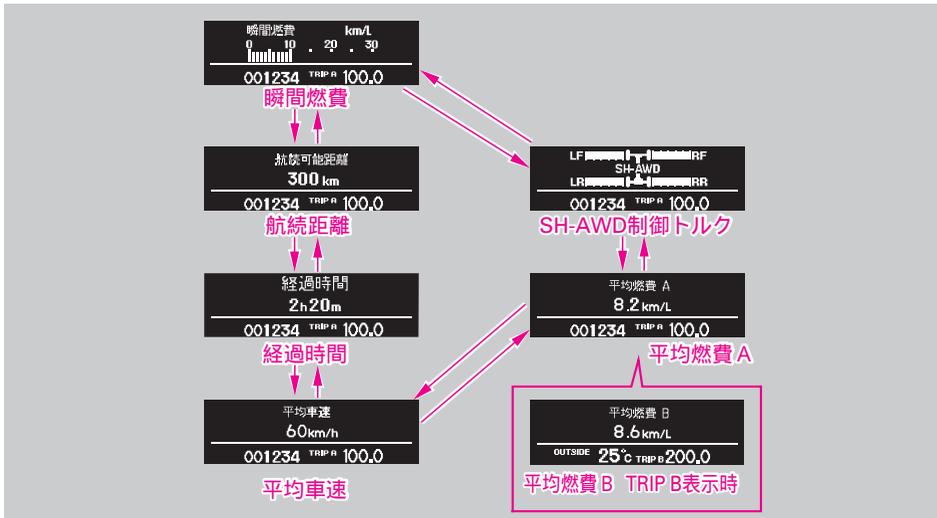
インフォメーション(ⓘ)スイッチまたは SEL/RESET スイッチを押すごとに、マルチインフォメーションディスプレイの画面表示が切り換わります。



・インフォメーション(ⓘ)スイッチ

スイッチを押すごとに画面表示が次のように切り換わります。

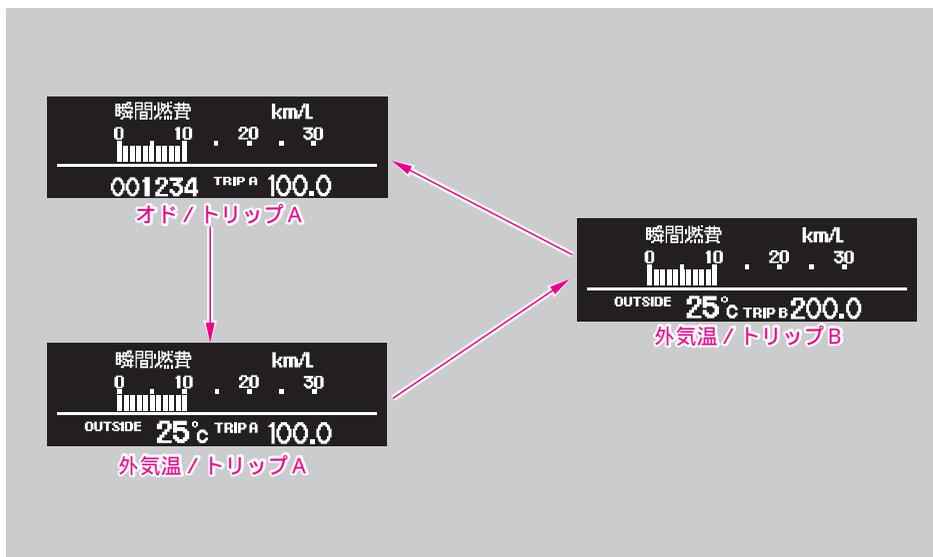
“平均燃費 B”を表示させるには、SEL/RESET スイッチで“TRIP B”を表示させてください。



・SEL/RESETスイッチ

スイッチを押すごとに画面表示が次のように切り換わります。

“TRIP A”または“TRIP B”を表示中にSEL/RESETスイッチを約2秒以上押し続けると、トリップメーターとそれぞれの平均燃費がリセットされます。





瞬間燃費表示

エンジンスイッチノブが「II」のとき、瞬間燃費をバーグラフにkm/Lで表示します。

航続距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離をkmで表示します。

知識

- 表示される航続距離は実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

知識

- エンジンを停止すると経過時間表示はリセットされます。

知識

- 経過時間表示のリセット条件を“TRIP A”、“TRIP B”に変更することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

“TRIP A”または“TRIP B”設定時

- ・“TRIP A”または“TRIP B”でSEL/RESETスイッチを操作してリセットするまでの経過時間を表示します。
- ・エンジン停止中は計算されません。

トリップメーターのリセット

126ページ

- 経過時間表示はリセット条件の設定を変更したときにはリセットされません。
そのときの経過時間は設定された条件でリセットが行われるまで引き続き計算されます。
- 経過時間表示は99時間59分まで表示できます。

平均車速表示

“TRIP A”をリセットしてからの平均車速をkm/hで表示します。

知識

- エンジン停止中は計算されていません。

平均燃費表示

トリップメーター(“TRIP A”、“TRIP B”)と連動し、それぞれの平均燃費を約10秒間ごとに更新して、km/Lで表示します。

リセット

“TRIP A”または“TRIP B”がリセットされると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

トリップメーター 129ページ

知識

- 停車時または低速走行中にリセットしたときは、走行を始めてから燃費の計算を開始します。
- 表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。
- “TRIP A”、“平均燃費 A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

“TRIP A”、“平均燃費 A”
給油連動時

“TRIP A”、“平均燃費 A”は給油と連動して自動的にリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

SH-AWD制御トルク表示

四輪の駆動力を表示します。

イラストは表示例です



バーグラフの目盛りが外側に増えるほど駆動力が大きくなります。

SH-AWDシステム 214ページ



オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

表示の切り換え 125ページ

知識

- 走行距離が999.9kmを超えると0kmに戻ります。
- “TRIP A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

“TRIP A”給油連動時

“TRIP A”は給油と連動して自動的にリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

知識

- “TRIP A”または“TRIP B”をリセットすると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

平均燃費表示 128ページ

- “TRIP A”をリセットすると平均車速もリセットされます。
- “TRIP A”または“TRIP B”のリセットと連動させて、経過時間表示をリセットさせることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

外気温表示

外気温を測定し表示します。

外気温が下がってきて3°C以下になったとき、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示します。

警告表示について 131ページ



知識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など(車速約30 km/h以下)は正しい外気温を表示しないことがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイの割り込み表示は、エンジンスイッチノブを“II”にしてから最初に3°C以下に下がったときにのみ作動します。

外気温補正の設定

マルチインフォメーションディスプレイを使って、外気温表示の表示温度に補正をかけることができます。+3°Cから-3°Cの間で設定できます。

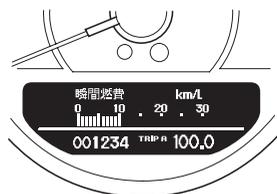
カスタマイズ機能 330ページ



警告表示について

異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が割り込まれます。このとき同時に警告音も鳴ります。

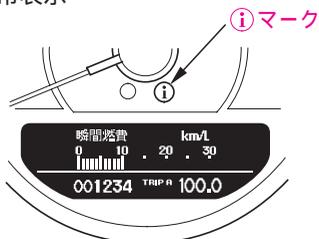
通常表示



割り込み表示



通常表示



警告表示がマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

① マークが点灯しているときにインフォメーション(①)スイッチを押すと、警告表示を再表示させることができます。

知識

- 警告音の音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

表示一覧

マルチインフォメーションディスプレイに表示される警告表示の一覧です。
表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

表示について

表示①は、車の異常を検知すると表示されます。MAINスイッチが“ON”のときはACC/LKAS作動時の表示になります。

また、通常表示に戻ったあとも、インフォメーション(①)スイッチを押すと表示されます。表示②は停車中に、表示①を表示したあとに表示されます。

表示 ①	ACC/LKAS 作動時	表示 ②	処置(参照先)
 ブレーキ液量 低下		-	ブレーキ警告灯 149ページ
 ブレーキシステム 点検		 急ブレーキを 避けて下さい	
 パーキングブレーキを 解除して下さい		-	
 エンジン油圧異常		 エンジンオイルを 点検して下さい	油圧警告灯 150ページ
 エンジンシステム 点検		 高速での走行を 避けて下さい	PGM-FI警告灯 150ページ
 充電システム 点検		 充電が できません	充電警告灯 151ページ
 トランスミッション 点検		 急発進、急加速を 避けて下さい	トランスミッション警告灯 151ページ



表示①	ACC/LKAS 作動時	表示②	処置(参照先)
 シートベルトを 着用して下さい	  シートベルト を着用して 下さい	-	シートベルト非着用 警告灯 151ページ
 給油して下さい	  給油して 下さい	-	燃料残量警告灯 152ページ
 燃料センサ 点検	  燃料センサ 点検	-	Hondaスマートキー システム警告灯 152ページ
 Hondaスマートキー システム点検	  Honda スマートキー 点検	-	Hondaスマートキー 電池消耗警告 167ページ
 キー電池残量低下	  キー 電池残量 低下	 キーの電池を 交換して下さい	Hondaスマートキー 持ち去り警告 165ページ
 キーが 見つかりません	  キーが 見つかりません	 キーの位置を 確認して下さい	アダプティブ クルーズコントロール (ACC)警告灯 153ページ
 ACCシステム 点検	  ACC システム点検	-	レーンキープアシスト システム(LKAS)警告灯 153ページ
 LKASシステム 点検	  LKAS システム点検	-	

表示①	ACC/LKAS 作動時	表示②	処置(参照先)
 助手席 サイドエアバッグ 停止中	 100 km/h 助手席 サイドエアバッグ 停止中	 正しい乗車姿勢を 取ってください	サイドエアバッグ自動停止 表示灯 142ページ
 エアバッグシステム 点検	 100 km/h エアバッグ システム点検	-	SRSエアバッグシステム 警告灯 154ページ
 アンチロック ブレーキ点検	 100 km/h アンチロック ブレーキ点検	-	アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯 153ページ
 VSAシステム 点検	 100 km/h VSA VSA システム点検	-	ビークルスタビリティ アシスト(VSA : 車両挙動安定化制御 システム)警告灯 154ページ
 CMBSシステム 点検	 100 km/h CMBS CMBS システム点検	-	追突軽減ブレーキ(CMBS) 警告灯 155ページ
 CMBS レーダー汚れ	 100 km/h CMBS レーダー汚れ	 CMBS レーダーを 拭いて下さい	追突軽減ブレーキ(CMBS) レーダー汚れ表示 262ページ
 AFSシステム 点検	 100 km/h AFS AFS システム点検	-	アダプティブフロント ライティングシステム(AFS) 警告灯 155ページ
 LIGHT CONTROL オートライト システム点検	 100 km/h LIGHT CONTROL オート ライトシステム 点検	-	オートライトコントロール 172ページ



表示 ①	ACC/LKAS 作動時	表示 ②	処置(参照先)
 パワーステアリングシステム点検		-	エレクトリックパワーステアリング (EPS) 警告灯 / パワーステアリング(ECPS) 警告灯 156ページ
 SH-AWD システム点検		-	SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム) 警告灯 157ページ
 SH-AWD デフ 高温		-	エンジンのかけかた 188ページ
 スタートシステム点検		-	エンジンの冷却システムに異常があります。すみやかに Honda 販売店で点検を受けてください。
 ラジエーターシステム点検		-	ポップアップフードシステム警告表示 272ページ
 ポップアップフードシステム点検		-	別冊のインテリジェント・ナイトビジョンシステム取扱説明書をご覧ください。
 NIGHT VISION ナイトビジョンシステム点検		-	

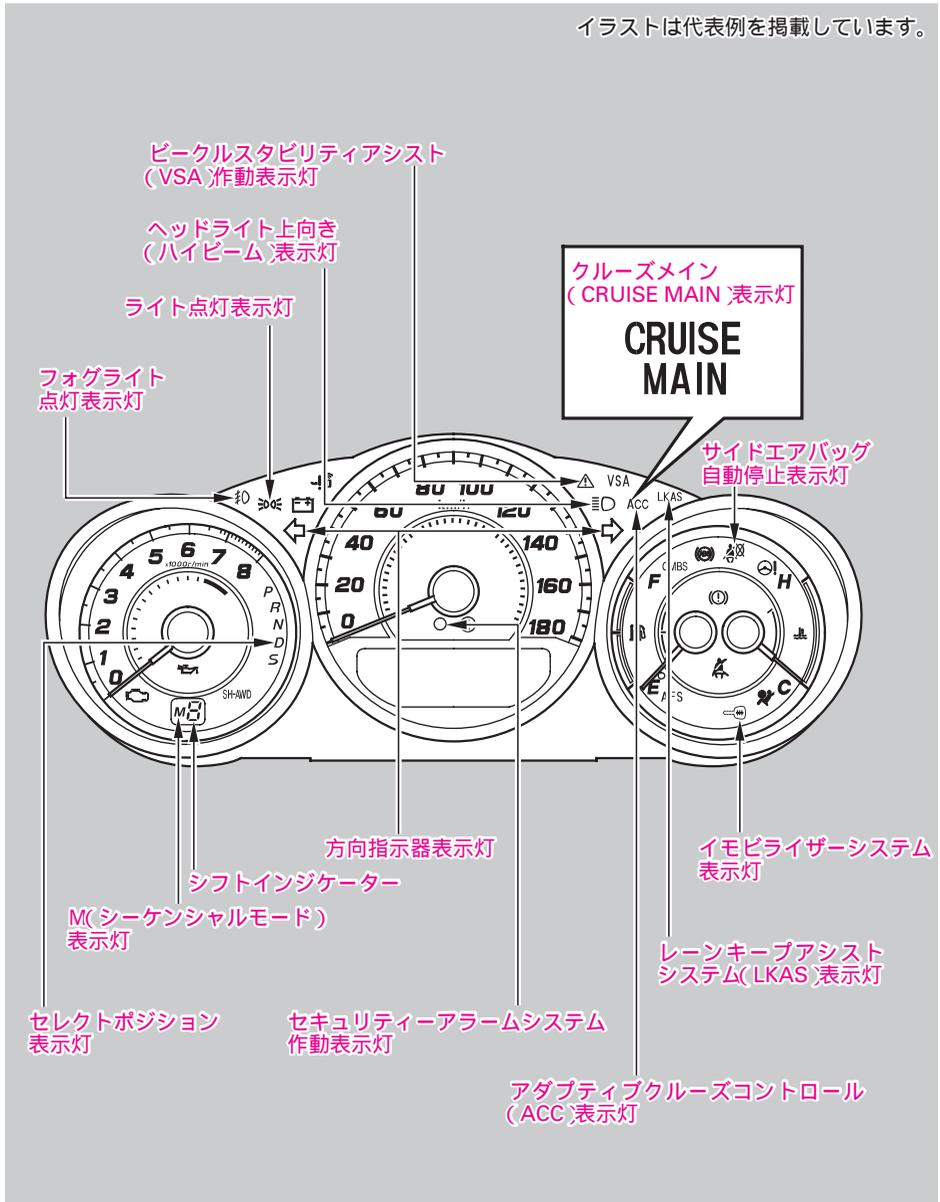
表示①	ACC/LKAS 作動時	表示②	処置(参照先)
 ウォッシャー液を 補充して下さい		-	ウォッシャー液を補給してく ださい。
 外気温低下 注意		-	外気温低下表示 130ページ
 PTL パワートランクリッド 点検		-	パワートランク警告表示 67ページ
 ドアとトランクが 開いています		-	ドアやトランクが閉まってい ないときに表示されます。 ドアやトランクを完全に閉め てください。



表示 ①	ACC/LKAS 作動時	表示 ②	処置(参照先)
エンジンスイッチノブが“1”です エンジンスイッチノブを“0”にしてください	-	-	エンジンスイッチノブ 警告ブザー 164ページ
エンジンスイッチノブが“1”です エンジンスイッチノブを“0”にしてください キーが差し込まれています	-	-	内蔵キー抜き忘れ 警告ブザー 171ページ
ライトが点灯しています	-	-	ライト消し忘れ 警告ブザー 173ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載しています。





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ				
	LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
 方向指示器表示灯					
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯					
 ライト点灯表示灯					
 フォグライト点灯表示灯					
 セキュリティー アラームシステム 作動表示灯 表示灯					
 セレクトポジション 表示灯					
 シフトインジケーター					
 M(シーケンシャルモード) 表示灯					
 サイドエアバッグ 自動停止表示灯					
 イモビライザーシステム 表示灯					

: 標準装備

表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ				
	LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
 クルーズメイン (CRUISE MAIN)表示灯			-		
 アダプティブクルーズ コントロール(ACC) 表示灯(緑色)	-	-		-	-
 レーンキープアシスト システム(LKAS) 表示灯(緑色)	-	-		-	-
 ビークルスタビリティ アシスト(VSA)作動表示灯					

: 標準装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違った物を使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

393、395ページ

電球(バルブ)のワット数

446ページ



ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



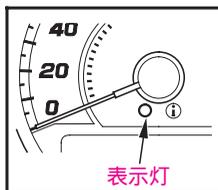
ライト点灯表示灯

ライトスイッチが[※]OFF以外のとき(ただし、“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



フォグライト点灯表示灯

フォグライトスイッチが[※]ON[※]で、ライトスイッチが[※]OFF以外のとき(ただし“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



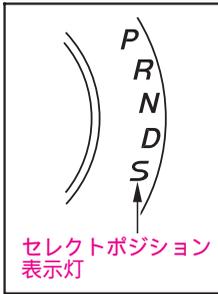
セキュリティーアラームシステム作動表示灯

セキュリティーアラームシステムがセットされているときに点滅します。

セキュリティーアラーム

システムについて

85ページ



**セレクトポジション表示灯
(トランスミッション警告灯兼用)**
使用中のセレクトレバー位置が表示されます。
トランスミッションが異常のときには、
Dが点滅します。

トランスミッション警告灯 151ページ



シフトインジケータ
シーケンシャルモード時はギヤの位置が
表示されます。

シーケンシャルモード 197ページ



M(シーケンシャルモード)表示灯
セレクトレバーがSでシーケンシャルモ
ードのときに点灯します。

シーケンシャルモード 197ページ



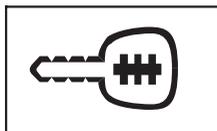
サイドエアバッグ自動停止表示灯
乗員姿勢検知システムにより、助手席用
サイドエアバッグの作動を自動停止して
いるときに点灯します。

また、マルチインフォメーションディス
プレイに“助手席サイドエアバッグ停止
中”正しい乗車姿勢を取って下さい”が
表示されます。



点灯したときは
上体を起こして座ってください。また、
小さなお子さまの場合は、後席に乗せて
ください。

乗員姿勢検知システム 237ページ



イモバイザーシステム表示灯

エンジンスイッチノブを“ II ”にすると、数秒間点灯してから消灯します。点灯中は車両とキーとの電子照合を行っています。

点滅したときは

エンジンを始動することはできません。

- ・ Hondaスマートキーを使っているときは、エンジンスイッチノブを“ 0 ” (プッシュオフ)にしてから、もう一度エンジンスイッチノブを押し込んで、エンジンスイッチノブを“ II ”にしてください。
- ・ 内蔵キーを使っているときは、エンジンスイッチを“ 0 ”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“ II ”にしてください。

エンジンスイッチノブを次のようにしたときも、数回点滅します。

- ・ Hondaスマートキーを使ってエンジンスイッチノブを“ II ”から“ 0 ” (プッシュオフ)にしたとき
 - ・ 内蔵キーを使ってエンジンスイッチを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしたとき
- イモバイザーシステムについて

84ページ

アドバイス

- エンジンスイッチノブを“ II ”にしても表示灯が点灯しないときや、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

CRUISE MAIN

クルーズメイン(CRUISE MAIN)
表示灯

ACC/LKAS非装備車

CRUISEスイッチを押して“ ON ”にする
と点灯します。

クルーズコントロール 209ページ

ACC

アダプティブクルーズコントロール
(ACC)表示灯(アダプティブクルー
ズコントロール(ACC)警告灯兼用)

ACC/LKAS装備車

MAINスイッチを押して、“ ON ”にする
と緑色で点灯します。

詳細については、別冊のACC / LKAS取
扱説明書をご覧ください。

LKAS

レーンキープアシストシステム
(LKAS)表示灯(レーンキープアシ
ストシステム(LKAS)警告灯兼用)

ACC/LKAS装備車

MAINスイッチを押して、“ ON ”にする
と緑色で点灯します。

詳細については、別冊のACC / LKAS取
扱説明書をご覧ください。



ビークルスタビリティアシスト
(VSA：車両挙動安定化制御システム)作動表示灯

VSAが作動中に点滅します。

VSAを“OFF”にしたときと、VSAに異常があるときに点灯します。

250ページ

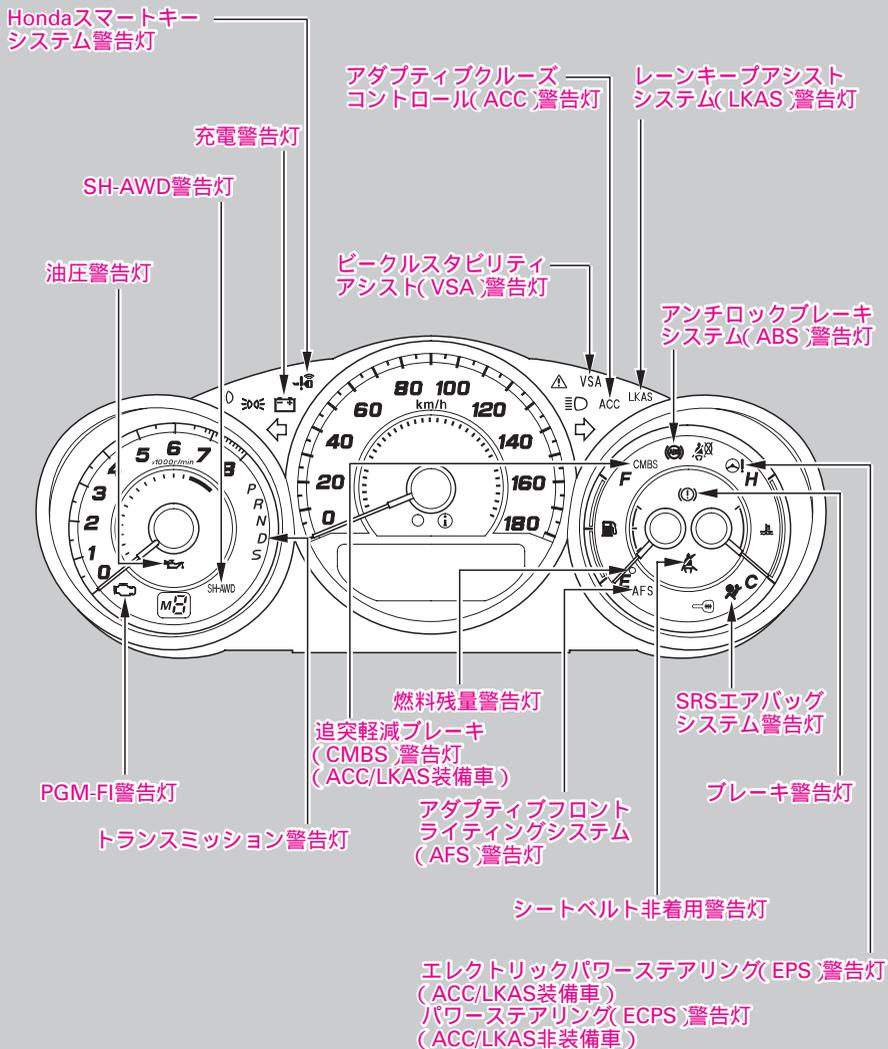
 知識

- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSA警告灯 154ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
 ブレーキ警告灯					
 油圧警告灯					
 PGM-FI 警告灯					
 充電警告灯					
 トランスミッション警告灯 (セレクトポジション 表示灯兼用)					
 シートベルト非着用警告灯					
 燃料残量警告灯					
 Hondaスマートキー システム警告灯					
 アダプティブクルーズ コントロール(ACC) 警告灯(橙色)	-	-		-	-

: 標準装備

警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
 レーンキープアシストシステム(LKAS) 警告灯(橙色)	-	-		-	-
 アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯					
 SRSエアバッグシステム 警告灯					
 ビークルスタビリティアシスト(VSA) 警告灯					
 追突軽減ブレーキ(CMBS) 警告灯	-	-		-	-
 アダプティブフロントライティングシステム(AFS) 警告灯					
 エレクトリックパワーステアリング(EPS) 警告灯 / パワーステアリング(ECPS) 警告灯					
 SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム) 警告灯					

: 標準装備



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に解除されていないときに点灯します。この状態で走行するとブザーが鳴ります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告

192ページ

ブレーキ液量がいちじるしく減少しているときにも点灯します。また、ABSが異常のときABS警告灯と同時に点灯することがあります。

また、マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにHonda販売店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ液量が正常で、アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯と同時に点灯したときは、アンチロックブレーキシステム(ABS)の異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯

249ページ



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



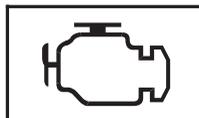
点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。



- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点灯したときは

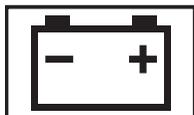
運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

点滅したときは

- ①走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分間以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。
- ②エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。



- 警告灯が点滅した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。



充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

トランスミッションが異常のときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチノブを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダー(非着用警報装置)が作動し、点灯し続けます。

また、エンジンスイッチノブを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。

(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

知識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも一定回数を超えると、ブザーは止まります。
- セレクトレバーをRに入れたときは、後退位置警報装置のチャイムが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。
- シートベルト非着用警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ



警告灯

燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が10ℓ前後になったときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

燃料の補給 72ページ

燃料計に異常があるときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

ガソリンの量を正しく表示できませんので、走行距離に注意して、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



Hondaスマートキーシステム警告灯

Hondaスマートキーシステムが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

- ・運転中に点灯したとき。
- ・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- ・エンジンスイッチノブが“0”のときに数秒間点灯したとき

アドバイス

- 警告灯が点灯した場合は、Hondaスマートキーを使わずに、内蔵キーを使ってください。

内蔵キー 45ページ



ACC

アダプティブクルーズコントロール
(ACC)警告灯(アダプティブクルーズコントロール)(ACC)表示灯兼用)

ACC/LKAS装備車

ACCが異常のとき橙色で点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。
詳細については、別冊のACC / LKAS取
扱説明書をご覧ください。

LKAS

レーンキープアシストシステム
(LKAS)警告灯(レーンキープアシス
トシステム)(LKAS)表示灯兼用)

ACC/LKAS装備車

LKASが異常のとき橙色で点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。
詳細については、別冊のACC / LKAS取
扱説明書をご覧ください。



アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。

249ページ



SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステムとシートベルトシステム警告灯兼用)

次のシステムの異常を検出すると点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

SRS エアバッグシステム 220ページ

サイドエアバッグシステム /

サイドカーテンエアバッグシステム

228ページ

シートベルトプリテンショナー

244ページ

E-プリテンショナー

246ページ



ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯

VSAが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

253ページ

知識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- ブレーキアシストの装置に異常があるとVSA警告灯が点灯します。
- VSA警告灯が点灯したときはブレーキアシストは作動しません。



CMBS

追突軽減ブレーキ(CMBS)警告灯

ACC/LKAS装備車

追突軽減ブレーキ(CMBS)が異常のとき、または「OFF」のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

エンブレムの汚れなどで前方の車両を検知できず、システム停止したときも点灯します。

CMBSの停止について 260ページ

CMBSの自動停止について 261ページ

AFS

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)警告灯

AFSが異常のときに点滅します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

運転中にAFS警告灯が点滅したときは、安全な場所に停車しエンジンスイッチノブを「I」または「0」に回してから、エンジンを再始動してください。そのとき警告灯が消灯すれば正常です。

消灯しないときや再び点滅したときは、通常走行に支障はありませんがお早めにHonda販売店で点検を受けてください。

アダプティブフロントライティング

システム(AFS) 174ページ

また、ヘッドライト点灯時にAFS OFFスイッチを押してAFSを作動停止状態にすると点灯します。

知識

- ヘッドライトが点灯していないときは警告灯は消灯します。



エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯

ACC/LKAS装備車

パワーステアリング(ECPS)警告灯

ACC/LKAS非装備車

EPS/ECPSが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイ
にも警告が表示されます。



点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

知識

- 警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合もあります。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと、警告灯が点灯しハンドル操作が重くなる場合があります。このときは、エンジンを再始動すると警告灯が消灯します。

ACC/LKAS装備車

停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。

システムの温度が下がると復帰します。

システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。



SH-AWD

SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム)警告灯

SH-AWDシステムが動力伝達装置や機能に異常をきたすおそれがあると判断したときに点滅します。

また、SH-AWDシステムが異常のときに点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

215ページ

点滅したときは

運転中に点滅した場合は、安全な場所に車を停めて、セレクトレバーをPの位置にして、アイドリング運転を行い、消灯するまでお待ちください。

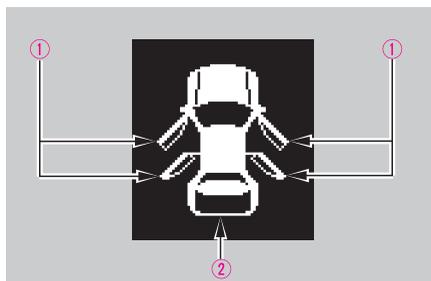
警告灯が消灯しないときは、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

点灯したときは

運転中に点灯した場合は、前輪駆動での走行になります。急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

セーフティインジケーター

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



① ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。

② トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。



トランクを完全に閉めてください。

警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチノブを「II」にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、Honda販売店にご連絡ください。

- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- Hondaスマートキーシステム警告灯
(数秒後消灯)
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) 警告灯
(数秒後消灯)
- レーンキープアシストシステム (LKAS) 警告灯
(数秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約 6 秒後消灯)
- ビークルスタビリティアシスト (VSA : 車両挙動安定化制御システム) 警告灯
(数秒後消灯)
- 追突軽減ブレーキ (CMBS) 警告灯
(数秒後消灯)
- アダプティブフロントライティングシステム (AFS) 警告灯
(数秒後消灯)
- エレクトリックパワーステアリング (EPS) 警告灯
(エンジン始動後消灯)
- パワーステアリング (ECPS) 警告灯
(エンジン始動後消灯)
- SH-AWD (スーパーハンドリングオーラルホイールドライブシステム) 警告灯
(数秒後消灯)

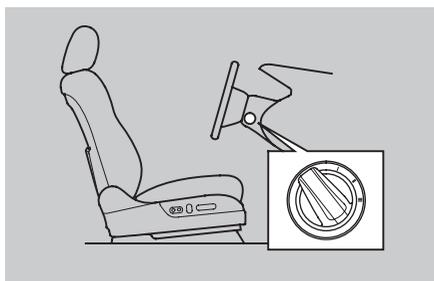
2 車を運転するときに

警告灯



スイッチの使いかた

エンジンスイッチノブ
(Hondaスマートキーで
操作するとき)



0

(プッシュオフ)
エンジンスイッチノブがロ
ックされる位置です。

0

(プッシュオン)
エンジンスイッチノブを押
して、ロックが解除され
るとエンジンスイッチノブ
を回すことができます。

I

エンジンをかけずにラジ
オなどのアクセサリを
使用するときの位置
です。

II

運転するときの位置
です。

III

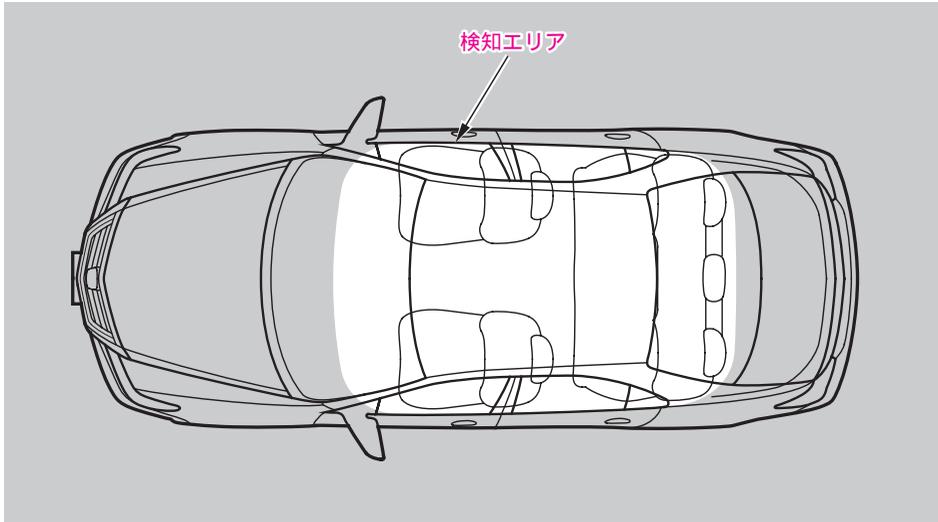
エンジン始動位置
です。ノブを“III”
に回した後に、“II”
に戻してください。自
動でエンジンが始動
します。



エンジン始動の作動範囲

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上やリヤシェルフ、グローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れやトランク内を除く車内です。

エンジンのかけかた 188ページ

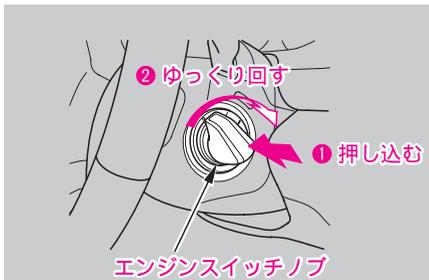


知識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
- 次のような場合、システムがHondaスマートキーを認識できないため、エンジンスイッチノブの操作ができず、エンジンが始動できないことがあります。
 - ・ インストルメントパネル上やリヤシェルフ、グローブボックスや各種小物入れなどにHondaスマートキーを置いたとき。
 - ・ Hondaスマートキーを入れている物(バッグやポケット)の中に、携帯端末などの電波を発する物やノイズを発する物があるとき。
- 車外にHondaスマートキーがあっても、ドアやドアガラスに近づき過ぎている場合は、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチノブを“ 0 ”から“ I ”へ回すとき

- ①エンジンスイッチノブを押し込みます。
- ②エンジンスイッチノブのロックが解除されると“ピッ”とブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったら、エンジンスイッチノブを“ I ”へゆっくり回します。



🎓 知識

- ロック解除のブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

エンジンスイッチノブが“ 0 ”から“ I ”に回らないとき

(ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを回せば容易に回ります。もし、エンジンスイッチノブが回らない場合は、もう一度エンジンスイッチノブを押し直してゆっくりと回してください。Hondaスマートキーの作動不良などにより、エンジンスイッチノブが回せない場合は、いったんエンジンスイッチノブを戻し、内蔵キーを使ってエンジンスイッチを回してください。

内蔵キーを使ってエンジンスイッチを
操作するとき

168ページ

エンジンスイッチノブを“0”に回すとき

- ・セレクトレバーをPにします。
- ・エンジンスイッチノブを“0”に回します。

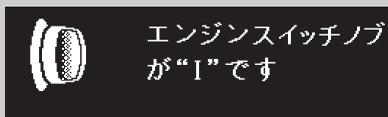
車から離れるときは、エンジンスイッチノブを“0”にしてから離れるようにしてください。

 知識

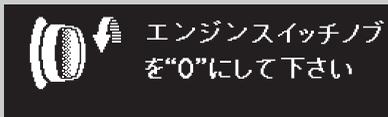
- エンジンスイッチノブを“0”にするときは、途中の位置で止めずに“0”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“1”または“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- エンジンスイッチノブが“0”以外では、Hondaスマートキーで施錠できません。車から降りてドアを閉めたときや、Hondaスマートキーで施錠しようとしたとき警告ブザー(ピピピピピピ)が鳴ったときは、車の状態を確認してください。
Hondaスマートキー持ち去り警告
165ページ
- エンジンスイッチノブを“0”にするとハンドルがロックされます。
- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチノブが“0”まで回りません。

エンジンスイッチノブ警告ブザー

エンジンスイッチノブが「I」のときマルチインフォメーションディスプレイに“エンジンスイッチノブが「I」です”と表示されます。



このとき車を離れようとする（運転席ドアを開けると）、マルチインフォメーションディスプレイに“エンジンスイッチノブを「0」にして下さい”と表示され、“ポーン、ポーン、…”と警告ブザーが繰り返し鳴り、エンジンスイッチノブを“0”にしていないことを知らせます。



知識

- 次の場合に運転席ドアを開けたときにもブザーが鳴ります。
 - ・ エンジンスイッチノブが「0」の位置で、ノブを押し込んでいる場合
- エンジンスイッチノブ警告ブザーの音量を変えることができます。
カスタマイズ機能 330ページ



Hondaスマートキー持ち去り警告

Hondaスマートキーシステムでは、誤操作や車両盗難防止のために警告音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに警告を表示します。

警告音が鳴り警告表示が出た場合は、必ず車両およびHondaスマートキーの確認を行ってください。



Hondaスマートキーをエンジン始動の作動範囲外に持ち出してドアを閉めると、Hondaスマートキー持ち去り警告が作動します。

エンジン始動の作動範囲 161ページ

警告ブザーの種類

警告ブザーは、車内警告ブザーと車外警告ブザーの2種類があります。

・車内警告ブザー

“ピーッピーッピーッピーッピーッ”と6回鳴ります。

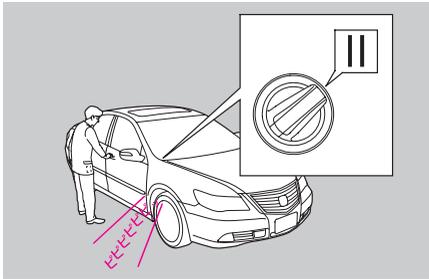
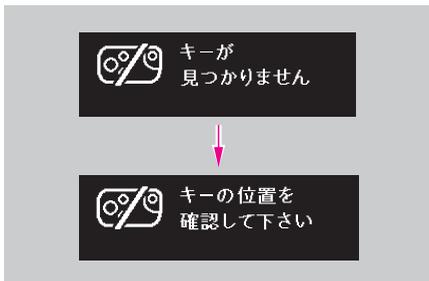
・車外警告ブザー

“ピピピピピピ”と6回鳴ります。

知識

- Hondaスマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチノブを“0 (プッシュオフ)”にすると、エンジンスイッチノブの操作ができなくなります。
エンジンスイッチノブを操作するときは、Hondaスマートキーを持っていることを確認してください。
- 窓からの受け渡しでは、Hondaスマートキーの持ち去りを検知せず、警告は作動しません。
- エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーがあってもHondaスマートキーの携帯状態や周囲の環境、電波状態などにより、Hondaスマートキーの位置を認識できないときも、警告が行われず。
故障ではありませんが、Hondaスマートキーを携帯していることを確認してください。

エンジンスイッチノブが「II」のとき
マルチインフォメーションディスプレイ
に「キーが見つかりません」キーの位置
を確認して下さい」と表示され、車内警
告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

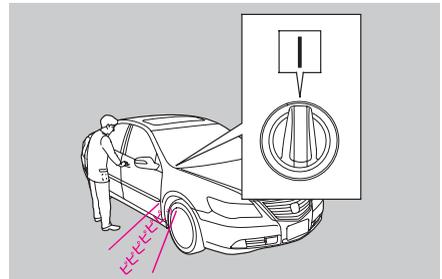


🎓 知識

- 車内警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

エンジンスイッチノブが「I」または「0」
(プッシュオン)のとき
車外警告ブザーが鳴ります。





Hondaスマートキー持ち去り警告が出たときは

エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーを戻して、ドアを閉めると警告が解除されます。

エンジン始動の作動範囲内であってもHondaスマートキーの位置や状態、周囲の環境や電波状態などにより、警告が解除されず、再度Hondaスマートキー持ち去り警告が行われることがあります。故障ではありませんが、Hondaスマートキーを携帯していることを確認してください。

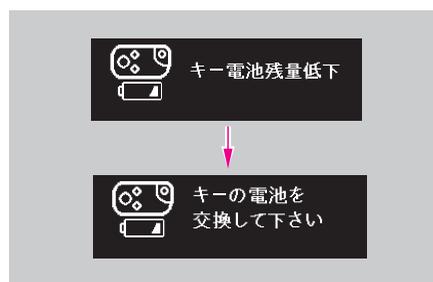
警告状態が続く場合は、Hondaスマートキーの携帯位置を変更することをお勧めします。

Hondaスマートキー電池消耗警告

Hondaスマートキーの電池が消耗するとマルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、車内警告ブザーが鳴ります。

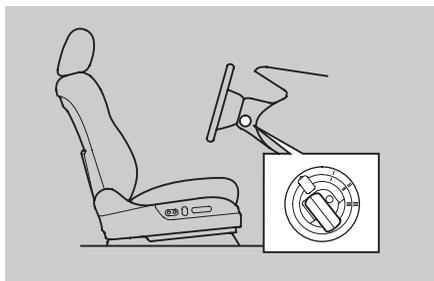
マルチインフォメーションディスプレイに電池残量を示す表示が出た場合や作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。

電池交換のしかた 401ページ



内蔵キーを使って エンジンスイッチを 操作するとき

Hondaスマートキーによるエンジンスイッチノブの操作や、エンジンの始動ができない場合は、内蔵キーを使ってエンジンスイッチの操作や、エンジンの始動をすることができます。



エンジンスイッチ

0

内蔵キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。
キーを“III”に回した後に、“II”に戻してください。自動でエンジンが始動します。

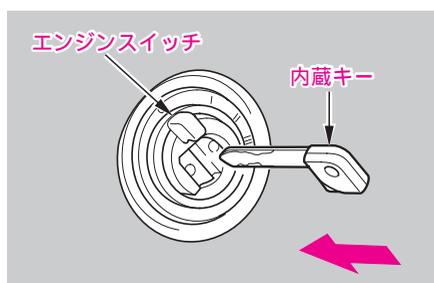


エンジンスイッチノブの外しかた
内蔵キーをエンジンスイッチノブの穴に差し込んで、挿入方向に押し込みながらエンジンスイッチノブを手前に引き、エンジンスイッチノブを外します。

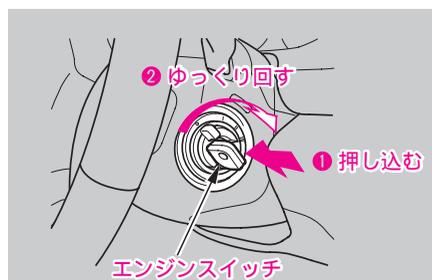


エンジンスイッチを“0”から“Ⅰ”へ回すとき

①エンジンスイッチに内蔵キーを図の向きで差し込みます。



②内蔵キーを押し込んでエンジンスイッチを“0”から“Ⅰ”に回すとハンドルロックが解除できます。



内蔵キーを抜くとき

- ・セレクトレバーをPに入れます。
- ・“0”まで回して内蔵キーを抜きます。

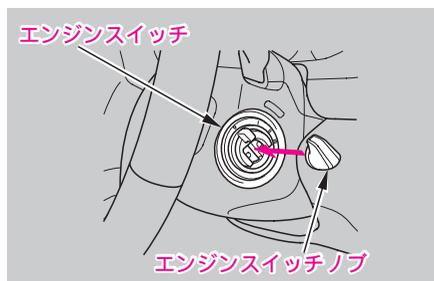
🎓 知識

- 内蔵キーをエンジンスイッチから抜くと、ハンドルがロックされます。
- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らず、内蔵キーを抜くことができません。

“ 0 ”から“ I ”に内蔵キーが回らないとき
(ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながら内蔵キーを
回せば容易に回ります。

エンジンスイッチノブの取り付けかた
エンジンスイッチノブをエンジンスイッ
チに“カチッ”と音がするまで差し込みま
す。



知識

- エンジンスイッチを“ 0 ”にするときは、途中の位置で止めずに“ 0 ”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“ I ”または“ II ”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“ 0 ”にしてください。



内蔵キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが「I」のとき
エンジンスイッチが「I」のときマルチインフォメーションディスプレイに「エンジンスイッチノブが「I」です」と表示されます。



エンジンスイッチノブ
が「I」です

このとき車を離れようとする（運転席ドアを開けると）、マルチインフォメーションディスプレイに「エンジンスイッチノブを「0」にして下さい」と表示され、「ポーン、ポーン、…」と警告ブザーが繰り返し鳴り、エンジンスイッチを「0」にしていなことを知らせます。



エンジンスイッチノブ
を「0」にして下さい

エンジンスイッチが「0」のとき
エンジンスイッチが「0」で内蔵キーを差し込んだまま車を離れようとしたとき（運転席ドアを開けたとき）、マルチインフォメーションディスプレイに「キーが差し込まれています」と表示され、「ポーン、ポーン、…」と警告ブザーが繰り返し鳴り、内蔵キーの抜き忘れを知らせます。



キーが
差し込まれています

知識

- 内蔵キー抜き忘れ警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

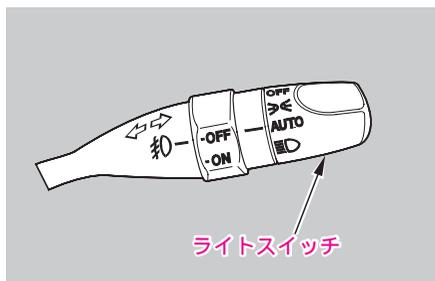
ライトスイッチ

ライトの点灯・消灯

自動で使うとき

(オートライトコントロール)

エンジンスイッチノブが「II」のとき使えます。ライトスイッチを「AUTO」の位置にすると、車外の明るさによってヘッドライトや車幅灯などが自動的に点灯・消灯します。



車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドライトが点灯します。車外が明るくなると、逆の順に消灯します。

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 141ページ

知識

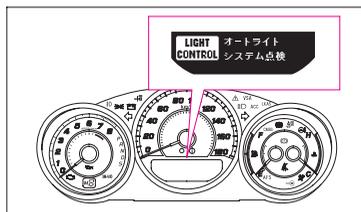
- ライト類の点灯、消灯のタイミングセンサーの感度を5段階で設定できます。

カスタマイズ機能 330ページ

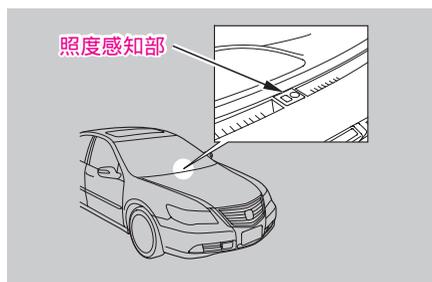
知識

- 昼間、濃い霧などにより視界が悪いときには、自動では点灯しません。手動で点灯してください。
- マルチインフォメーションディスプレイに「オートライトシステム点検」と表示されたときには、手動位置に切り換えてお使いください。

お早めにHonda販売店で点検を受けてください。



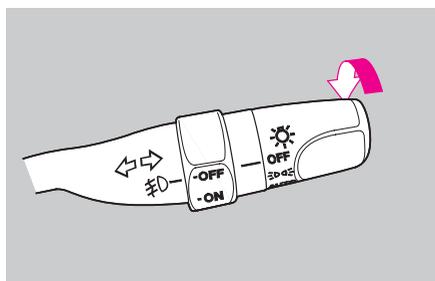
照度感知部は図の位置にあります。感知部の上に物を置かないでください。





手動で使うとき

エンジンスイッチノブの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	消灯
ヘッドライト	-	点灯
車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 141ページ

知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- ディスチャージヘッドライトのバルブは、点灯・消灯を繰り返すとバルブの寿命が短くなる特性があります。

ライト消し忘れ警告ブザー

ライトを点灯したままエンジンスイッチノブを「0 (プッシュオフ)」にする、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いて、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、「ポーン…」と警告ブザーが連続して鳴りマルチインフォメーションディスプレイに「ライトが点灯しています」と表示されライトの消し忘れを知らせます。

ライトが
点灯しています

知識

- ライト消し忘れ警告ブザーの音量を変えることができます。
カスタマイズ機能 330ページ

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

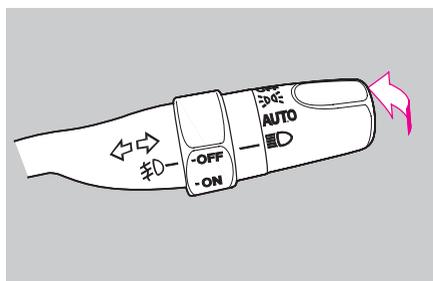
レバーを前方へ押すと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

141ページ

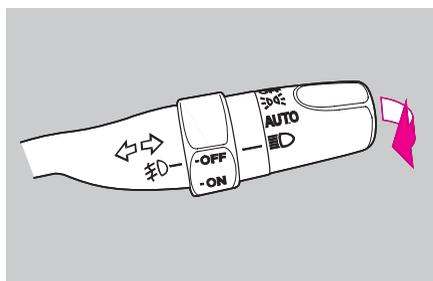


知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

追越合図(パッシング)

レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。



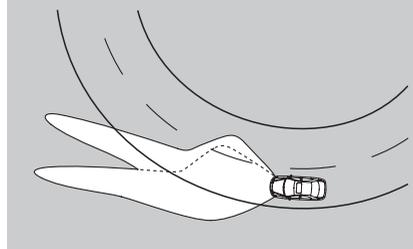
アダプティブフロントライティングシステム(AFS)

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)は、カーブ走行時および交差点での右左折において、旋回方向側のヘッドライト(ロービーム側)の配光をハンドルの操作角に応じて進行方向に振り分ける機能で、夜間走行時の視認性を向上させることができます。

直進時



カーブでの作動イメージ



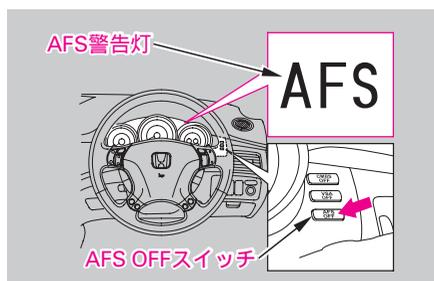


作動について

AFS機能はエンジンを始動すると自動的に“ON”になります。ヘッドライトを点灯させるとAFSが作動します。

AFS機能を作動させたくないとき

ライト類が点灯しているとき、AFS OFFスイッチを押すとAFS機能が“OFF”になり、メーター内のAFS警告灯が点灯します。スイッチを押すたびに“OFF”、“ON”を繰り返します。



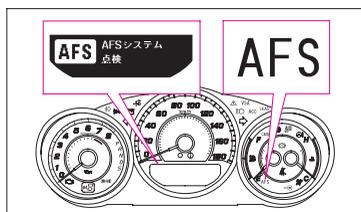
知識

- エンジンスイッチノブを“0”または“Ⅰ”から“Ⅱ”にした直後は、ヘッドライトを点灯させてもAFSは作動しません。そのまま20km/h以上でしばらく走行するとAFSの作動が始まります。

また、しばらく走行後ヘッドライトを点灯した場合は車速が約10km/h以上になると作動が始まり、約5km/h以下になると作動が停止します。

知識

- セレクトレバーがRの位置のときは、AFS機能は作動しません。
- 滑りやすい路面などでタイヤが空転したときはAFS警告灯が点滅しAFSの制御を停止することがあります。
- 運転中にAFS警告灯が点滅したときは、安全な場所に停車しエンジンスイッチノブを“Ⅰ”または“0”に回してから、エンジンを再始動してください。そのとき警告灯が消灯すれば正常です。消灯しないときや再び点滅したときは、通常走行に支障はありませんがお早めにHonda販売店で点検を受けてください。また、マルチインフォメーションディスプレイにも“AFSシステム点検”が表示されます。



- エンジンスイッチノブを“0”または“Ⅰ”から“Ⅱ”にすると、作動確認のために一度ヘッドライト(ロービーム側)が動きます。

知識

- 応急用スペアタイヤを装着したときは、AFS機能が正常に作動しなくなる場合がありますので、AFS OFFスイッチを押して“OFF”にしてください。また、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 雪の斜面などにヘッドライトが反射して運転の妨げになるときは、AFS OFFスイッチを押して“OFF”にしてください。

オートレベリング機能

ヘッドライトには、積載時などの車両の姿勢の変化に応じて光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が装備されています。

アドバイス

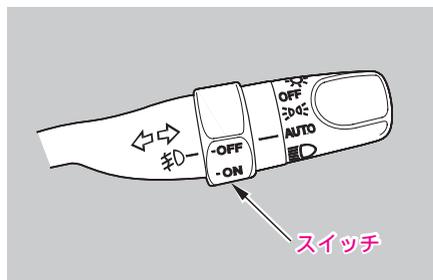
- ヘッドライト光軸の上下方向に異常を感じたときはHonda販売店で点検を受けてください。

フォグライトスイッチ

ライトスイッチが“OFF”以外のとき(“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)スイッチをON(“霧”)にするとフォグライトが点灯します。

同時にメーター内の表示灯が点灯します。

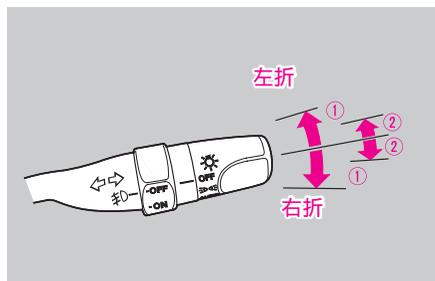
フォグライト点灯表示灯 141ページ





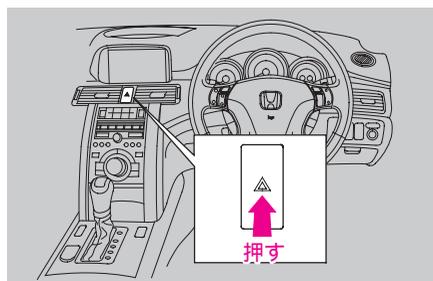
方向指示器(ウィンカー) スイッチ

エンジンスイッチノブが[※] II のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。故障でやむをえず路上駐車するときに使います。



知識

- 非常時にのみお使いください。完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー/ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- から拭きをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター 288ページ

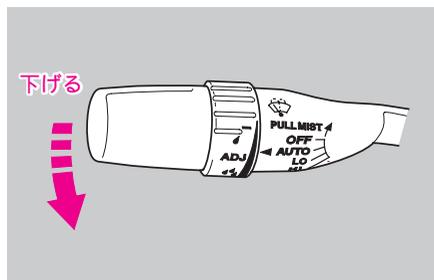
🎓 知識

- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチノブを“0”または“I”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。

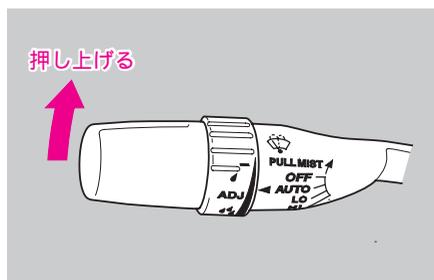


エンジンスイッチノブが「II」のとき使えます。

ワイパースイッチ



- OFF 停止
- AUTO(自動) 雨量に応じて自動
で制御するとき
- L(低速) 普通雨量のとき
- H(高速) 雨量の多いとき

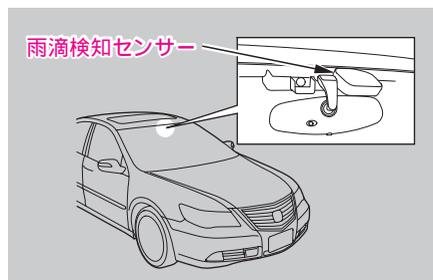


- MIST
レバーを押し上げている間、高速で作動
します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

自動で使うとき

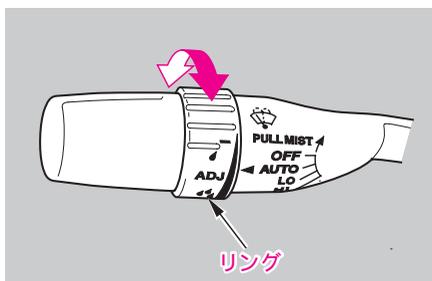
レバーを「AUTO」にすると、ワイパーが1回作動し、その後は自動作動に切り換わります。

フロントガラス上部にある雨滴検知センサーが検出した雨滴量に応じて、停止、間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。



・センサー感度の調節

リングを回すとセンサー感度の調節ができます。



位置	感度
● -	鈍感
ADJ	↑ ↓
● +	敏感

鈍感……雨滴に対して、より鈍感に反応してワイパーを作動します。

敏感……雨滴に対して、より敏感に反応してワイパーを作動します。

⚠ 注意

- エンジンスイッチノブが「II」でレバーが「AUTO」のとき、雨滴検知センサー上部のガラス面に手で触れたり、布で拭き取ったりすると、ワイパーが作動することがあり、手をけがしたりワイパーが損傷することがあります。フロントガラスの手入れをするときは、レバーを必ず「OFF」にしてください。

🎓 知識

- 降雨、降雪時でも、雨や雪が雨滴検知センサーに当たらないと、ワイパーが作動しないことがあります。また、雪が雨滴検知センサーに当たっても雪の種類によっては正しく検出できないことがあります。この場合には、レバーを「LO」または「HI」に切り換えてください。
- センサー上部のガラス面が汚れていたり氷結すると、ワイパーが正常に作動しないことがあります。この場合は、ガラス上の異物を取り除いてください。
- 雨滴検知センサーに、泥、指紋、油膜、虫などが付着すると、ワイパーが作動することがあります。
- レバーが「AUTO」の位置でエンジンを始動した場合、すでにガラスに付いている雨滴を雨滴検知センサーが検知しないことがあります。この場合は、レバーを「MIST」にして一度雨滴を拭き取ってください。



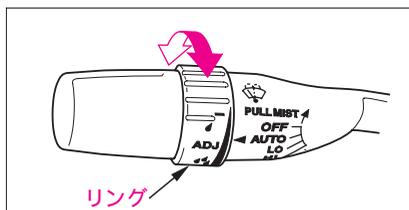
知識

- 雨滴量が変化しているのにワイパーが一定間隔で作動しているときなどは、雨滴検知センサーが故障しているおそれがあります。このようなときは、ワイパースイッチの切り換えは手動で行い、Honda販売店で点検を受けてください。なお、雨滴検知センサーが故障しているときは、レバーが「AUTO」の位置でもオート作動を中断して、間欠作動に切り換わります。間欠作動の間隔のセットは、リングを回して行います。
- ワイパーの自動作動を、間欠作動、車速連動作動に変更することができます。また、間欠作動中、車速連動作動中の発進時の作動を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

“間欠作動”、“車速連動”設定時

- ・ 間欠作動の間隔のセットはリングを回して行います。



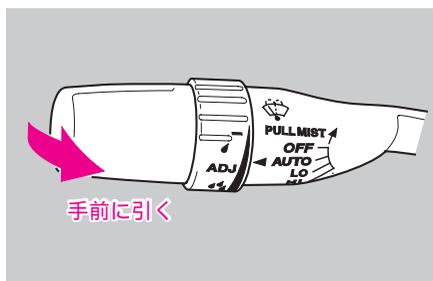
位置	間隔
	長い
	↑ ↓
	短い

“車速連動”設定時

- ・ 間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約4秒短くなります。また、発進時にワイパーが1回作動します。
- ・ リングを間欠時間の短い方へいっぱい回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。

ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離した後さらに2～3回作動します。



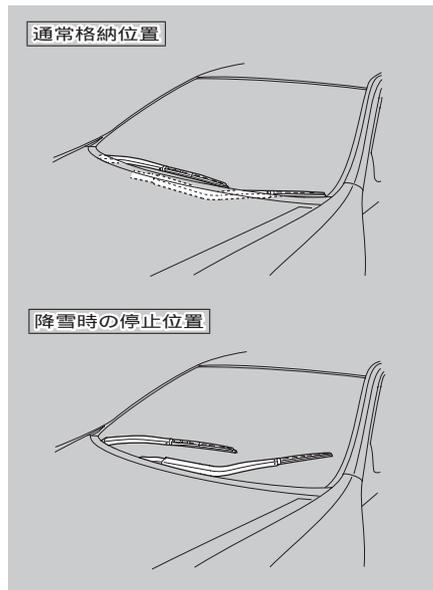
知識

- ウォッシャースイッチとワイパー作動の連動を解除することができます。

カスタマイズ機能 330ページ

ワイパーアームの停止位置について

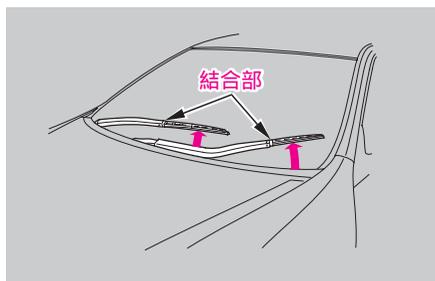
積雪などによりワイパーブレードが凍結するおそれがある場合は、ワイパーアームを通常格納位置にせず、あらかじめ降雪時の停止位置で止めておくようにしてください。





ワイパーアーム停止位置の切り換え

降雪時の停止位置への切り換えは、ワイパーアームとワイパーブレードの結合部を持って、ガラスに沿って引き上げてください。



通常位置に戻したい場合は、結合部上部を押しガラスに沿って下げてください。

アドバイス

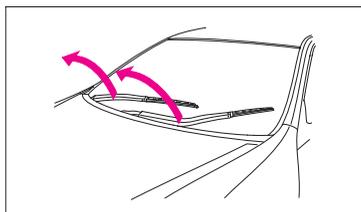
- ワイパーブレードのみを持って引き上げないでください。ワイパーブレードが変形するおそれがあります。必ず結合部を持ってください。

知識

- 降雪時、通常格納位置で使っているときに、ワイパーブレードの下部にたまった雪によって“降雪時の停止位置”に切り換わります。雪のたまり方によっては、切り換わずにコツンコツンと音がすることがあります。この場合は降雪時の停止位置に切り換えて、雪を取り除いてください。
- ワイパーブレードラバーの交換のときなどワイパーアームを起こすときは、降雪時の停止位置に引き上げてから、起こしてください。

ワイパーブレードラバーの交換

412ページ



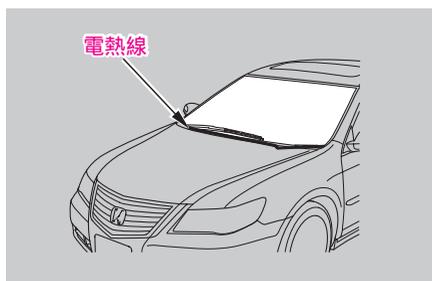
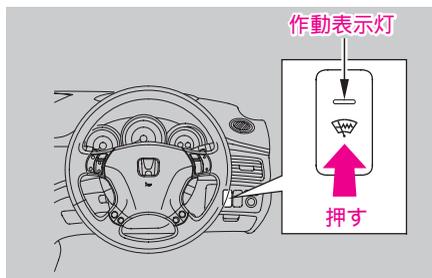
フロントガラス熱線スイッチ

タイプ別装備

フロントガラスの下端を暖め、凍結によるワイパーブレードラバーの損傷、雪や氷などの固着を防ぐことができます。また、固着した雪や氷の除去を容易にします。



エンジンスイッチが「II」のときスイッチを押すと「ON」になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと「OFF」になり、作動表示灯は消灯します。



知識

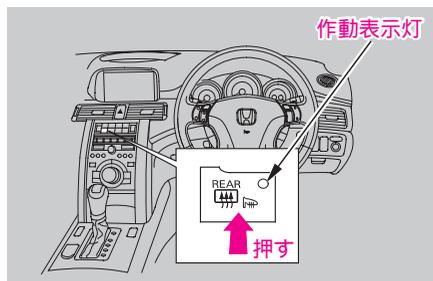
- この装置は消費電力が大きいので長時間使わないでください。“ON”のままであっても、約15分経過後自動的に“OFF”になります。また、長時間にわたる連続使用も行わないでください。エンジンの回転が低いときも長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。



リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

▼
エンジンスイッチノブが「II」のときスイッチを押すと「ON」になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと「OFF」になり、作動表示灯は消灯します。



知識

- リヤデフロスタースイッチを押すと、ドアミラーの曇り取りも同時に機能します。

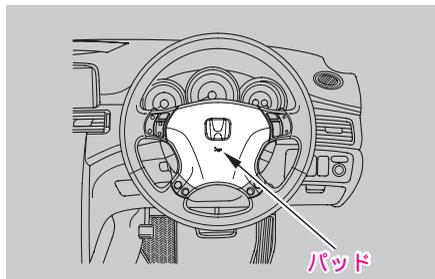
ヒータードアミラー

100ページ

- この装置は消費電力が大きいため曇りが取れたら「OFF」にしてください。「ON」のままであっても、外気温に応じて約5分～40分経過後自動的に「OFF」になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布で拭いてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



2 車を運転するときに

スイッチの使いかた



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

Hondaスマートキーは運転者が携帯してください。

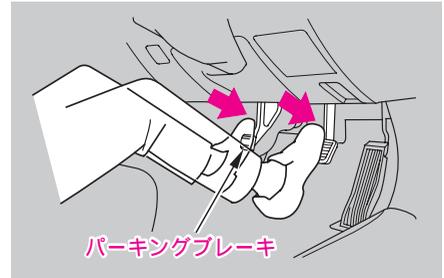
車内にHondaスマートキーを残したまま、降車しないでください。

また、電池の消耗などでHondaスマートキーが正常に作動しないときは、内蔵キーを使ってエンジンを始動してください。

内蔵キーを使ってエンジンスイッチを操作するとき 168ページ

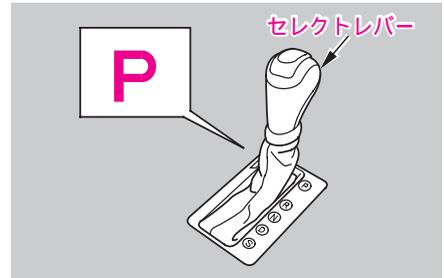
① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作 191ページ



② セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 194ページ





③ ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

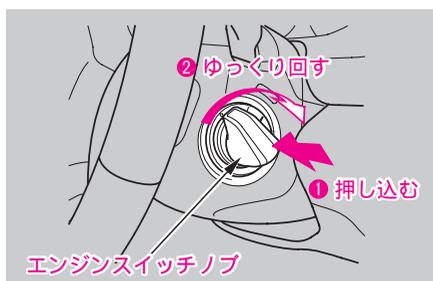
④ **Hondaスマートキー使用時**

エンジンスイッチノブを押し込みます。“ピッ”というブザーが鳴ったら、エンジンスイッチノブを回すことができます。

また、ハンドルがドライバー 1 もしくはドライバー 2 で記憶させた位置に自動的に調節されます。

ドライビングポジションシステム

102ページ



内蔵キーでエンジンを始動するとき

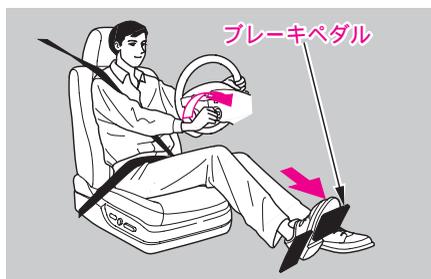
エンジンスイッチに内蔵キーを差し込むとハンドルがドライバー 1 もしくはドライバー 2 で記憶させた位置に自動的に調節されます。

ドライビングポジションシステム

102ページ

内蔵キーを押すとエンジンスイッチを回すことができます。

⑤ アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチノブを“III”に回してから“II”に戻します。



知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。

🎓 知識

- 周囲の電波状態などによりエンジンが始動できないことがあります。

イモビライザーシステムについて

84ページ

- エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“ II ”にした直後（イモビライザーシステム表示灯点灯中）は、エンジンが始動できないことがありますので、表示灯が消灯するのを確認してから、スターターを回すことをおすすめします。

イモビライザーシステム表示灯

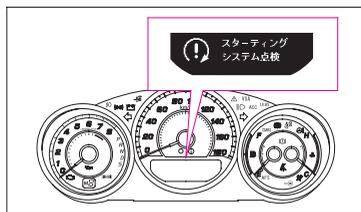
143ページ

- スターターが回り始めてから所定時間（6～10秒）以内にエンジンが始動しなかった場合は、スターターは自動的に停止します。スターターが停止するまでの時間はエンジンの状態によって変化します。
- エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“ II ”に戻さずに連続してスターターを回したときは、所定時間（19～25秒）以上は回りません。連続してスターターを回してもエンジンが始動しなかったときは、一度エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“ I ”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

スターターが停止するまでの時間はエンジンの状態によって変化します。

🎓 知識

- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。
- マルチインフォメーションディスプレイに“スターティングシステム点検”が表示されたときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。





パーキングブレーキ

かけるとき

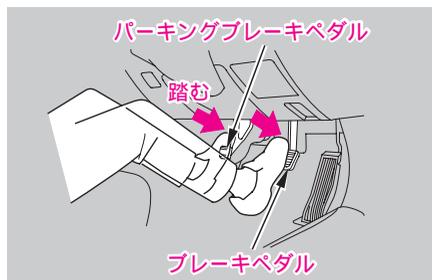
左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。



後輪ブレーキが効きます。

解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを踏み込み、ゆっくりと離します。



⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

🎓 知識

- パーキングブレーキをかけたあとに再度かけなおしたいときは、一度解除してからもう一度踏み込んでください。
- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

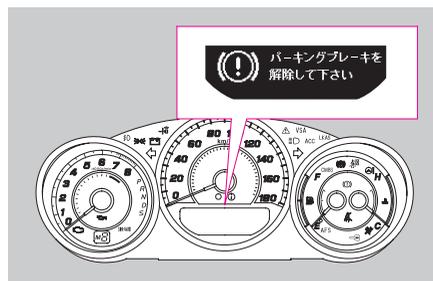
寒冷時のパーキングブレーキの

取り扱い 432ページ

パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー
パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行(車速約7 km/h以上)するとブザーが鳴り、パーキングブレーキの戻し忘れを知らせます。パーキングブレーキを完全に解除するとブザーは止まります。

また、マルチインフォメーションディスプレイに“パーキングブレーキを解除して下さい”と表示されます。

ブレーキ警告灯 149ページ



パーキングブレーキを解除するときは、一旦停車してから操作してください。

🎓 知識

- 停車(車速約3 km/h以下)するとブザーによる警告は一旦止まります。
- パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ



A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 16 lines spaced evenly down the page.

セレクトレバーの操作

それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“0”に戻す位置。

知識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチが“0”まで回りません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

知識

- チャイムの音量を変えることができます。 カスタマイズ機能 330ページ

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためPで行ってください。)

D

通常の走行をする位置。
(1速から5速まで自動的に変速されます。)
一時的にシーケンシャルモードにすることができます。

S

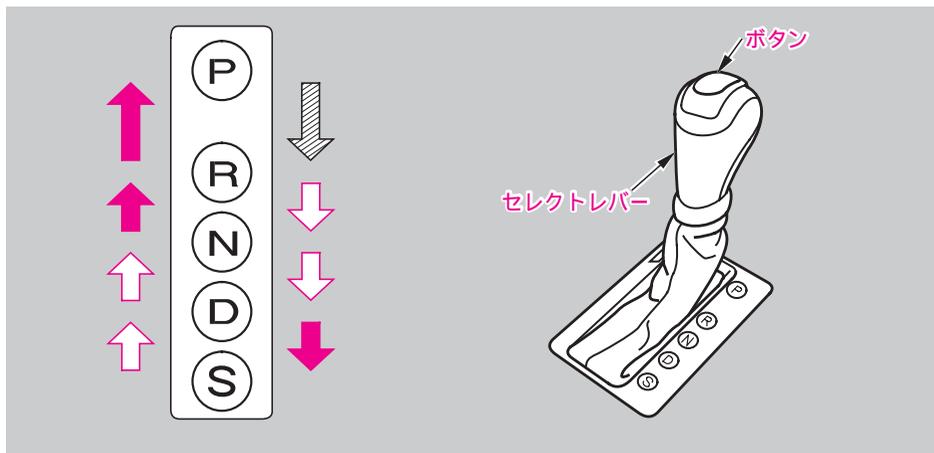
ドライブ

シーケンシャルモードにする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)
シフトスイッチを操作すると、シーケンシャルモードに切り換わります。

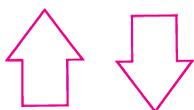
シーケンシャルモード 197ページ



セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- Pのときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチノブが「I」または「0」のときは、ブレーキペダルを踏んでもPから他の位置に切り換えられません。いつもボタンを押して操作すると、意に反してP R Sに入れてしまうおそれがあります。
 ⬆️⬇️の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲(km/h)	変速範囲
D	0 ~	1↔2↔3↔4↔5速(自動)
シーケンシャルモード	0 ~	1↔2↔3↔4↔5速(手動)
S	0 ~	1↔2↔3↔4速(自動)
シーケンシャルモード		1↔2↔3↔4↔5速(手動)

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジnbrakeがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🚗 アドバイス

- シーケンシャルモードでは自動的にシフトアップしません。
エンジン故障などの原因となりますので、下記の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。

限界回転数6,800 rpm

🎓 知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。



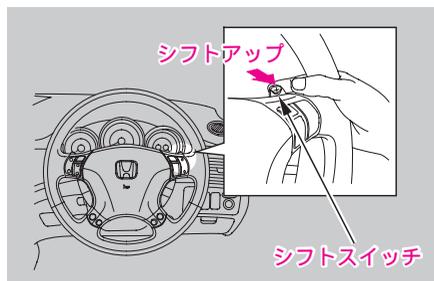
シーケンシャルモード

ハンドルにあるシフトスイッチを使って、ハンドルから手を離さずに手で変速できます。

マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

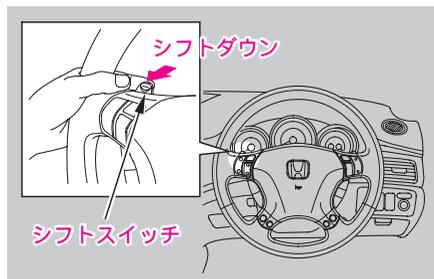
シフトアップするとき

スイッチの + 側を引くとシフトアップ (高速ギヤに変速) します。



シフトダウンするとき

スイッチの - 側を引くとシフトダウン (低速ギヤに変速) します。

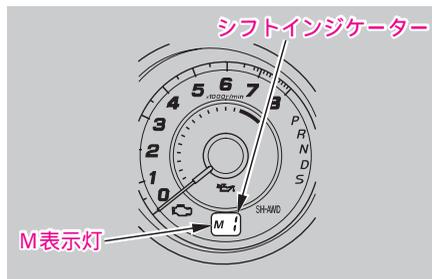


知識

- シフトスイッチの操作 1 回で、ギヤを 1 段変速します。連続して操作したときは、ギヤを連続して変速します。シフトスイッチを引いたままでは、連続変速しません。続けて変速するときは、一旦シフトスイッチから指を離してから操作してください。
- シフトスイッチを引いたまま、もう一方のシフトスイッチを引いても変速しません。
- シフトスイッチの + 側と - 側を同時に引いても変速しません。

シーケンシャルモードにするとメーター内にあるシフトインジケータにギヤの位置を表示します。

セレクトレバーが S のときは、M 表示灯が点灯します。



セレクトレバーがDのとき

走行中に、シフトスイッチを引くとシーケンシャルモードがセットされます。シーケンシャルモードのときに定速で走行している状態や加速状態になると、シーケンシャルモードは自動で解除されますので、カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

セレクトレバーがSのとき

停車中や走行中に、シフトスイッチを引くとシーケンシャルモードがセットされます。

15km/h以下になると、自動的に1速にシフトダウンします。車速が上がっても、自動的にシフトアップはしません。

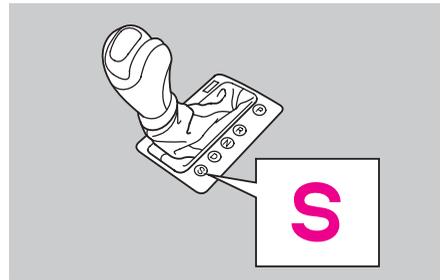
発進は1速または2速でのみ行うことができます。

知識

- セレクトレバーをSにしたときは、1速から4速の自動変速になります。シーケンシャルモードにするときは、シフトスイッチを引いてください。

シーケンシャルモードを解除するとき

セレクトレバーをSからDに動かすと、シーケンシャルモードが解除され、M表示灯とシフトインジケーターは消灯します。



M(シーケンシャルモード)表示灯

197ページ

セレクトレバーがDのときは、定速で走行している状態や加速状態になると、通常のD(ATモード)に戻ります。



2 速固定モードの使いかた

セレクトレバーが S のときに停止または 15km/h 以下でシフトスイッチの + 側を引くと、2 速固定モードになり 2 速に固定されます。雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。

2 速固定モードのときに、シフトスイッチの + 側か - 側を引くと、2 速固定モードは解除されます。

操作受けつけ車速

シーケンシャルモードでは、以下の条件のときにシフトスイッチを操作すると変速します。

	シフトアップ	シフトダウン
1 速 ↔ 2 速	0 km/h 以上	50km/h 以下
2 速 ↔ 3 速	15km/h 以上	100km/h 以下
3 速 ↔ 4 速	27km/h 以上	150km/h 以下
4 速 ↔ 5 速	55km/h 以上	——

また、シフトダウン時(5 速 4 速、4 速 3 速、3 速 2 速および 2 速 1 速)に速度範囲を超えているときは、表示灯が点滅(最大約 1 秒間)します。点滅している間に車速が速度範囲内に下がったときはシフトダウンを行います。

知識

- シーケンシャルモード(セレクトレバー S)では、発進は1速または2速(2速固定モードのとき)で行えます。
- 以下の場合、自動的にシフトダウンすることがあります。
 - ・ 15km/h以下になると、1速になります。
 - ・ 2速固定モードのときは15km/h以下になっても2速のまま変速されません。
 - ・ 5速で55km/h以下になると、4速になります。
 - ・ 5速で55～80km/hのときに、登坂時に車速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは4速になることがあります。
 - ・ 4速で27km/h以下になると、3速になります。
 - ・ 4速で27～55km/hのときに、登坂時に車速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは3速になることがあります。

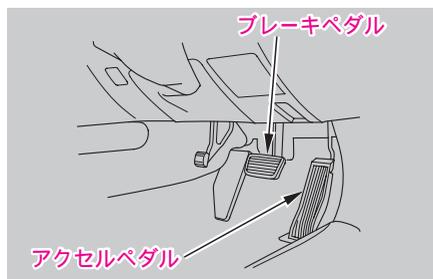


オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーがPに入っていることを確認。

知識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

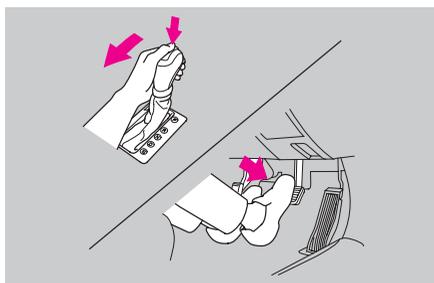


知識

- イモビライザーシステム表示灯が点滅しているとエンジンを始動することができません。
イモビライザーシステム
84ページ
イモビライザーシステム表示灯
143ページ
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ① 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD、後退はRに入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ② レバーの位置を目で再確認。
③ パーキングブレーキを解除する。
④ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(149ページ)
⑤ ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

🎓 知識

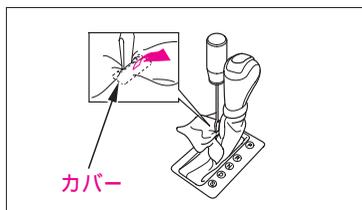
- セレクトレバーをP N以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- オートマチック車は、発進時の速度をアクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。



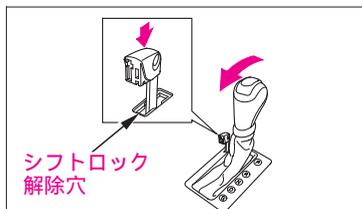
知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも P から他の位置に切り換えられないときは、

- ① ドライバーの先端に布等をまいてシフトロック解除穴のカバーを外します。



- ② シフトロック解除穴に内蔵キーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

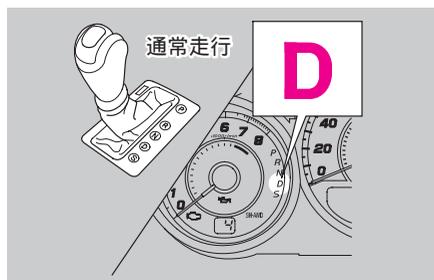
- ・ パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・ アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・ 車が動き出す感触を確認しながら、
- ・ パーキングブレーキを解除して発進。

走行

走行中はセレクトレバーをNにしないでください。

知識

- Nにするとエンジンプレーキが全く効かなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またNにしても燃費の差はほとんどありません。



通常走行

セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から5速まで自動的に変速されます。

・シーケンシャルモード走行
停車中や走行中に、シフトスイッチを引くとシーケンシャルモードがセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

シーケンシャルモード 197、198ページ



急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをSにしておくと、より力強い走行ができます。

下り坂走行

下り坂をDのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、シフトスイッチの-側を引いて、走行速度に合わせて、ギヤを一段ずつ落としてください。

注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して効が悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ 24ページ

停車

- ① D のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で P N 以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが P N 以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを N に入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが P N 以外
のとき、思わぬ急発進の原因
になります。



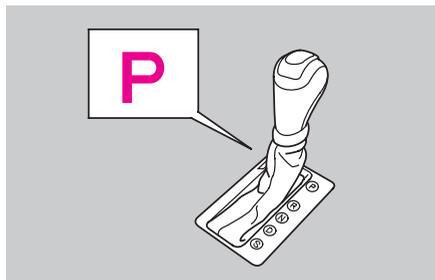
知識

- 停車後、再発進するときは、思い
違いのないようセレクトレバーが
D にあることを確認してください。
- セレクトレバーが N でもエンジン
が冷えているときは、トランスミ
ッションオイルの粘性により車が
わずかに動き出すことがあります
ので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキング
ブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



🎓 知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

⚠️ 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP/N以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

🎓 知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(D、S)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(R)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。



クルーズコントロール

ACC/LKAS非装備車

高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車道を定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。

車速は、D、Sまたはシケンシャルモードでは2速以上のとき約30～100km/hの範囲で希望値に設定できます。

また、アクセルペダルを踏まずに車速を上げ下げしたり、一時的な減速後、もとの車速に自動的に戻すことができます。

：ACC / LKAS装備車については、別冊のACC / LKAS取扱説明書をご覧ください。

⚠ 警告

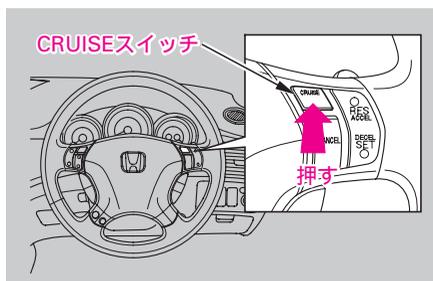
- クルーズコントロールはつぎのような道路では使用しないでください。
道路状況によっては、思わぬ事故につながります。
 - ・混んでいて車間距離が十分とれない道路、急カーブのある道路（道路状況にあった速度で走行できません。）
 - ・急な下り坂のある道路（エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。）
 - ・凍結や積雪などで滑りやすい道路（タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。）

🎓 知識

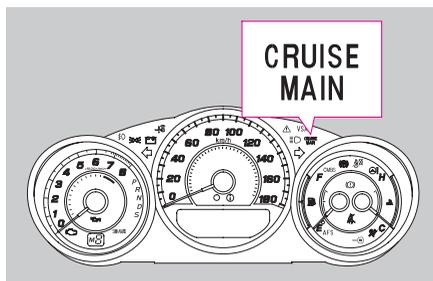
- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速を保てない場合があります。

希望車速をセットし、定速走行をしたいときの操作

- ① CRUISE(クルーズ)スイッチを押して、クルーズコントロールを“ON”にします。



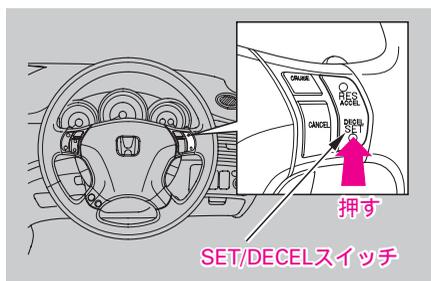
“ON”のとき、メーター内のCRUISE MAIN表示灯が点灯します。



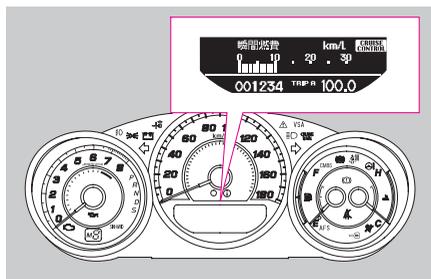
🎓 知識

- エンジンスイッチノブを“ I ”または“ 0 ”にするとCRUISEスイッチは自動的に“ OFF ”になります。

- ② アクセルペダルを加減して希望の車速になったらSET/DECELスイッチを押して離します。
(スイッチを離れたときの車速にセットされます。)



車速がセットされ自動定速走行になると、マルチインフォメーションディスプレイ内に“ CRUISE CONTROL ”が表示されます。(設定車速は表示されません。)



🎓 知識

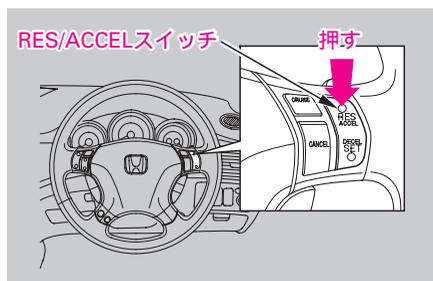
- 自動定速走行をしないときは、安全のためCRUISEスイッチを押して“ OFF ”にしておいてください。



設定車速を上げたいとき

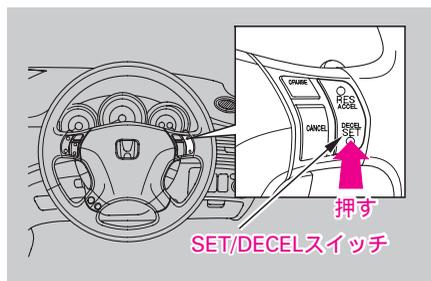
RES/ACCELスイッチで車速を上げる場合

- ・スイッチを1回ずつ押す
... 1回押すごとに約1.5km/hずつ車速が上がります。
- ・スイッチを押し続ける
...押し続けた分だけ車速が上がります。
(スイッチを離れたときの車速にセットされます。)



アクセルペダルで車速を上げる場合
アクセルペダルを踏んで加速し、希望の車速になったときにSET/DECCELスイッチを押して離します。

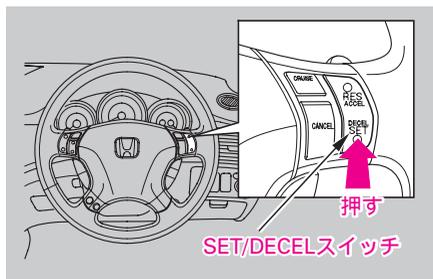
(スイッチを離れたときの車速にセットされます。)



設定車速を下げたいとき

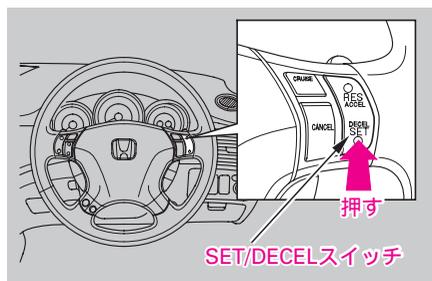
SET/DECELスイッチで車速を下げる場合

- ・スイッチを1回ずつ押す
... 1回押すごとに約1 5km/hずつ車速が下がります。
- ・スイッチを押し続ける
...押し続けた分だけエンジンブレーキで減速をし、車速が下がります。
(スイッチを離れたときの車速にセットされます。)



ブレーキペダルで車速を下げる場合
ブレーキペダルを踏んで減速し希望の車速になったときに、ブレーキペダルから足を離し、SET/DECELスイッチを押し

て離します。
(スイッチを離れたときの車速にセットされます。)

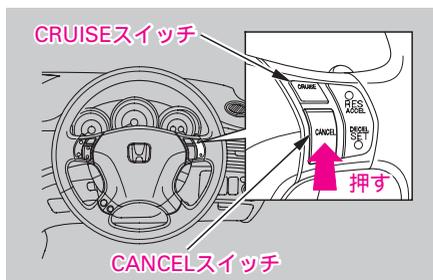




解除するとき

次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。

- ・CANCEL(キャンセル)スイッチを押したとき。
- ・ブレーキペダルを踏んだとき
- ・CRUISEスイッチを押したとき。
- ・セレクトレバーをNにしたとき。

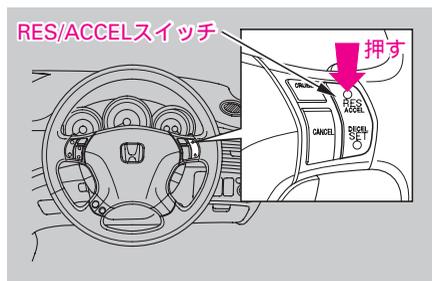


知識

- 自動定速走行が解除されると、マルチインフォメーションディスプレイの「CRUISE CONTROL」の表示が消灯します。
- 車速が約25km/h以下になると、自動定速走行が自動で解除されません。

解除前の設定車速に戻したいとき

自動定速走行を解除した後、車速が約30 km/h以上になっている場合は、RES/ACCELスイッチを押すと、解除前に設定した車速まで戻り、再び自動定速走行ができます。



知識

- 次の操作をして自動定速走行を解除したときは、RES/ACCELスイッチを押しても車速の復帰はできません。もう一度、車速を設定し直してください。
 - ・CRUISEスイッチを押したとき。
 - ・車速が約25km/h以下になったとき。

SH-AWD

(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム)

SH-AWDのしくみ

SH-AWDとは

SH-AWDシステムとは、運転操作や走行状況に応じて四輪の駆動力を自在に制御するシステムです。

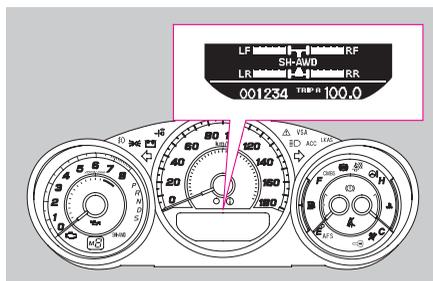
カーブを曲がる速度には限界がありますので、カーブの手前では、十分に速度を落としてください。

作動について

エンジンを始動すると作動します。

四輪の駆動力はマルチインフォメーションディスプレイに表示することができます。

SH-AWD制御トルク表示 128ページ



知識

- 制御トルク表示は走行状況によって変化します。減速時や定速走行時には、一部または四輪の表示が消えることがあります。
- ACCまたはLKASが「ON」のときは、制御トルク画面は表示されません。



運転するときは

四輪駆動車(SH-AWD 装備車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

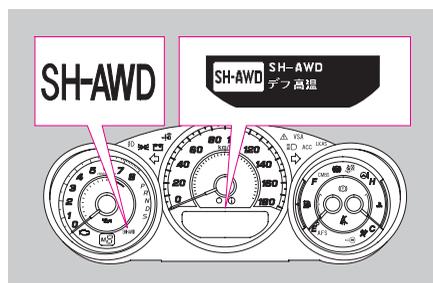
四輪駆動車(SH-AWD 装備車)は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は前輪駆動車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム) 警告灯

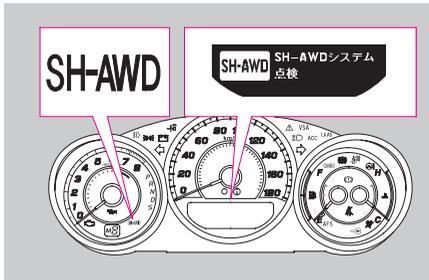
メーター内に組み込まれており、SH-AWDシステムが動力伝達装置や機能に異常をきたすおそれがあると判断したときは点滅します。

このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“ SH-AWD デフ 高温 ”が表示されます。



また、SH-AWDシステムが異常のとき点灯します。

このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“SH-AWDシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が運転中に点滅したときは、安全な場所に停めて、セレクトレバーをPの位置にして、アイドリング運転を行い消灯するまで待ちます。警告灯が点滅したまま運転を続けると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
 - 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- なお、この場合は前輪駆動での走行になります。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は慎重に行ってください。

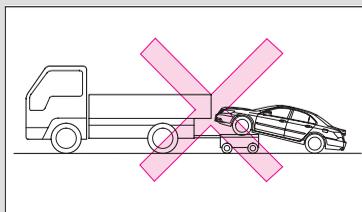


取り扱いについて

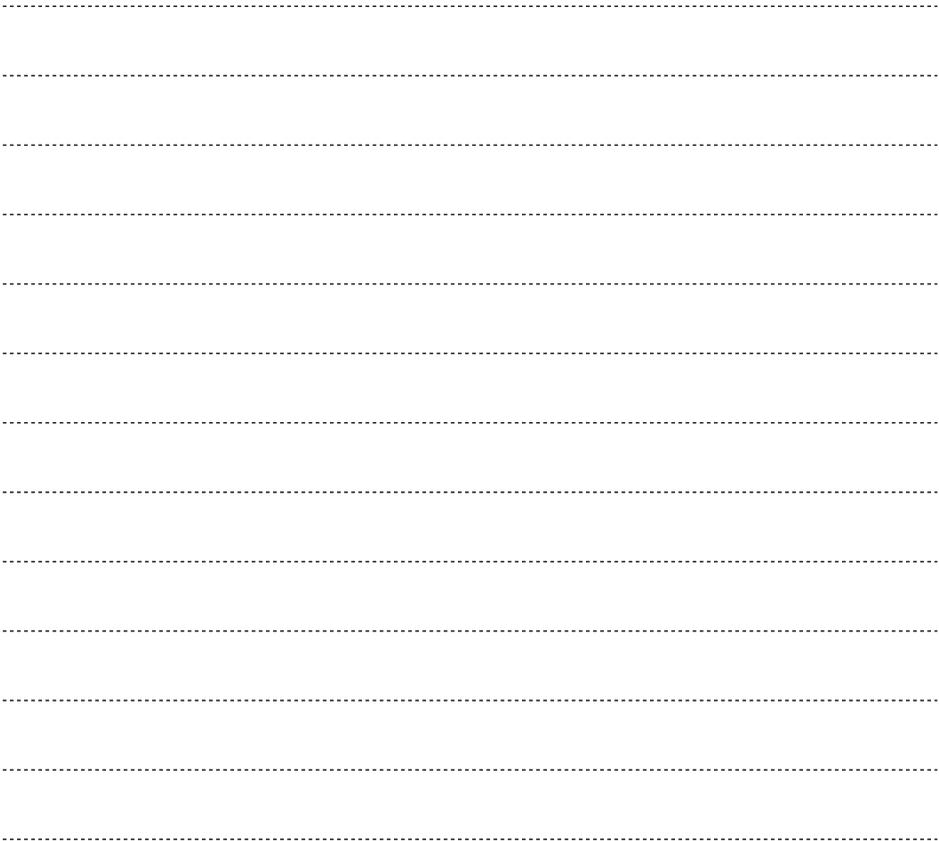
アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

けん引 362ページ



- フロントタイヤを連続して空転させないでください。フロントタイヤを連続して空転させると動力伝達装置に悪影響をあたえます。



安全装備

3

SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	220
作動するとき	222
作動しないとき	223
SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために	224
お子さまを乗せるときは	225
取り扱いについて	226
サイドエアバッグシステム / サイドカーテンエアバッグシステム	
サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムのしくみ	228
作動するとき	232
作動しないとき	234
サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために	235
乗員姿勢検知システム (助手席のみ)	237
お子さまを乗せるときは	239
取り扱いについて	240
シートベルトプリテンショナー	
シートベルトプリテンショナーのしくみ	244
取り扱いについて	245
E-プリテンショナー	
E-プリテンショナーのしくみ	246
取り扱いについて	247

アンチロックブレーキシステム(ABS)	
ABSのしくみ	248
運転のしかた	248
取り扱いについて	249
ピークルスタビリティアシスト(VSA)	
VSAのしくみ	250
運転のしかた	251
取り扱いについて	252
追突軽減ブレーキ(CMBS)	
CMBSのしくみ	254
追突警報について	258
CMBSの停止について	260
CMBSの自動停止について	261
取り扱いについて	262
ブレーキアシスト	
ブレーキアシストのしくみ	266
取り扱いについて	266
ポップアップフードシステム	
ポップアップフードシステムのしくみ	268
作動するとき	269
作動しないとき	270
取り扱いについて	271
その他の安全装備	273

SRSエアバッグシステム (運転席 / 助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS : サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

どのように作動するか

エンジンスイッチノブが「II」のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

SRSエアバッグの作動は、衝突状況とシートベルトの着用の有無により異なります。

そのため、運転席または助手席のSRSエアバッグが片側のみ作動することがあります。

注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



📖 知識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界を妨げません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



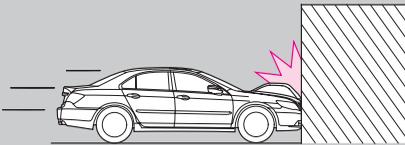
作動後



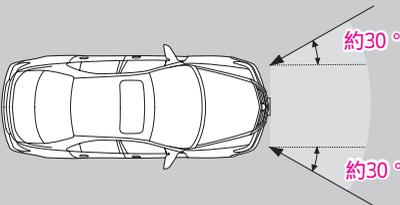
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

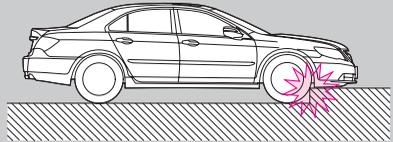


知識

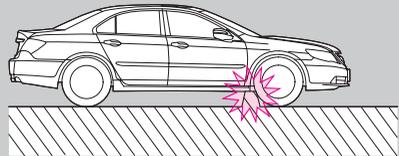
- 衝撃を吸収できる物(車やガードレールのように変形する物)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

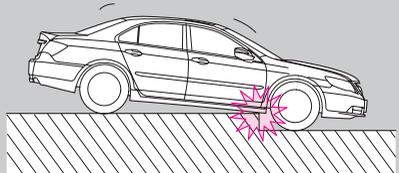
縁石などに衝突したとき



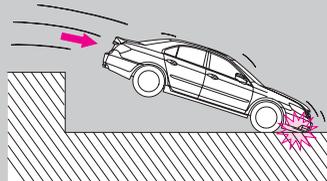
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



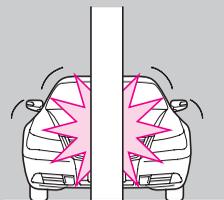
高いところから落ちたとき



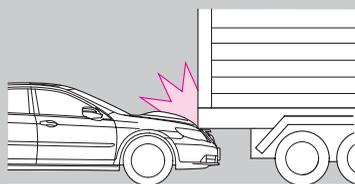


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

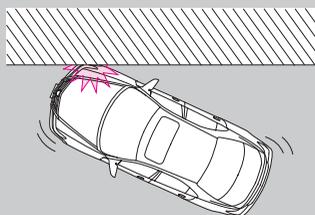
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



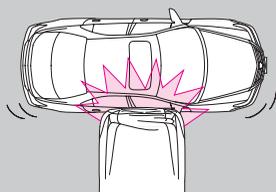
知 識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

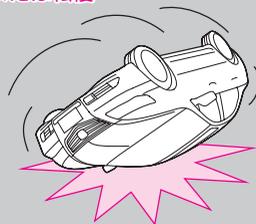
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

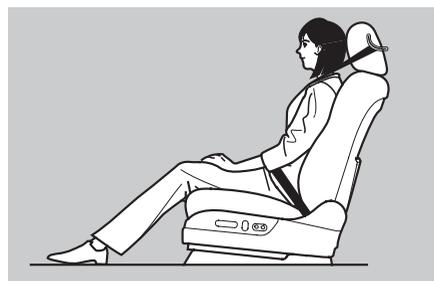


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



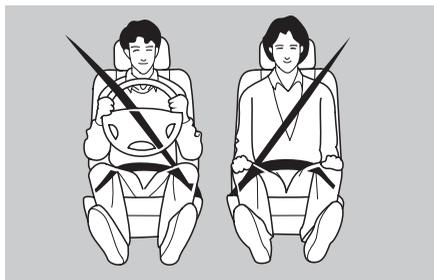
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

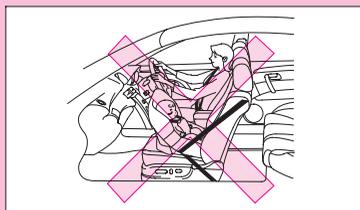
正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

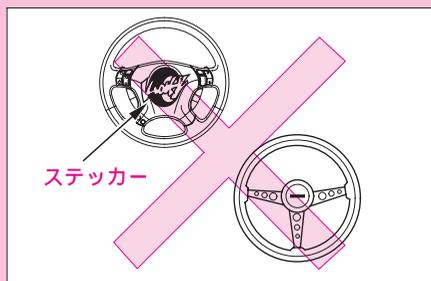
また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。





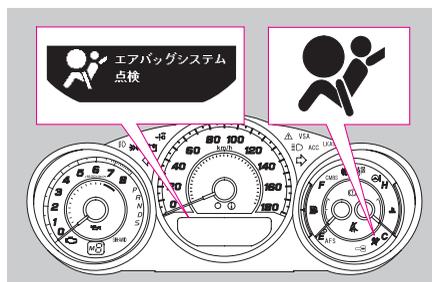
知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイに“エアバッグシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

サイドエアバッグシステム / サイドカーテンエアバッグシステム

サイドエアバッグシステムおよび サイドカーテンエアバッグシステムのしくみ

サイドエアバッグシステムおよび サイドカーテンエアバッグシステムとは

衝突により、サイドエアバッグ(運転者または助手席同乗者)およびサイドカーテンエアバッグが膨らんで乗員と車両側面の間に入り込むことにより、車両側面と乗員の頭部や胸部などが衝突するときの衝撃を緩和する装置です。

サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

どのように作動するか

エンジンスイッチノブが“II”のとき、側面からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(頭部や胸部に重傷を及ぼすような場合)を検知するとシステムが作動し、衝撃を受けた側のサイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らんで乗員と車両側面の間に入り込むことにより、車両側面と乗員の頭部や胸部などが衝突するときの衝撃を緩和します。助手席側は乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム 237ページ

⚠ 注意

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らんだ直後は、エアバッグ構成部品に触れないでください。構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知識

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは膨らんだあとにしぼみます。
- サイドエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席サイドエアバッグシステム

サイドエアバッグ収納部



作動時



助手席サイドエアバッグシステム

助手席用サイドエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

サイドエアバッグ収納部



作動時





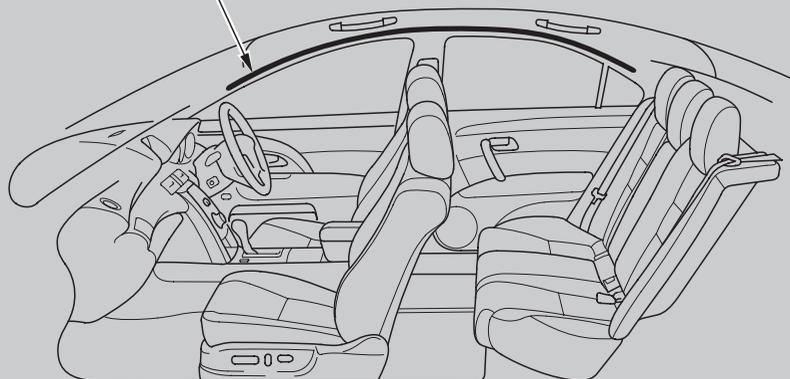
サイドカーテンエアバッグシステム

助手席側にもサイドカーテンエアバッグが収納されています。

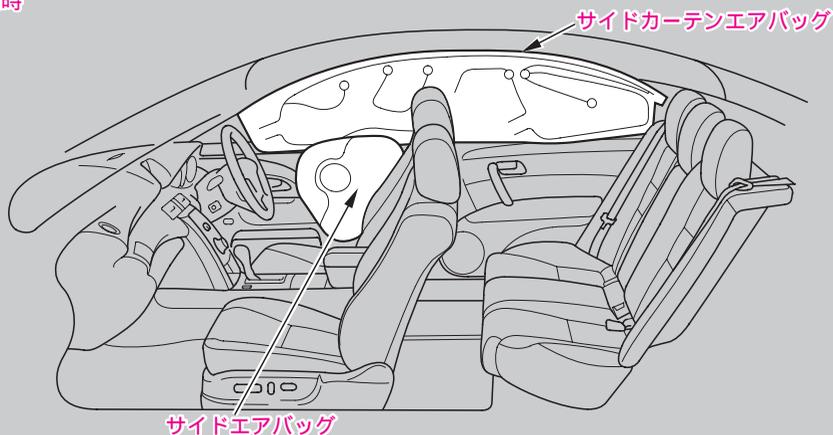
助手席側サイドカーテンエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

サイドカーテンエアバッグ収納部

イラストは運転席側を示します。



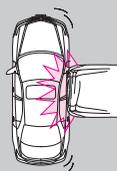
作動時



作動するとき

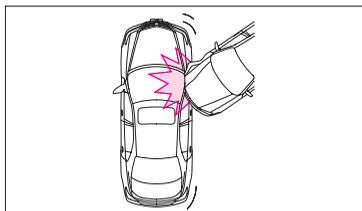
次のような場合に作動します。

約30km/h以上の速度で自車と同等の車が真横から側面衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



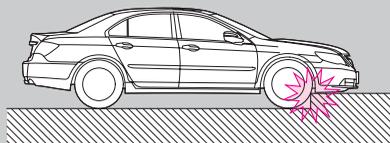
知識

- 側面に斜めから衝突された場合、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

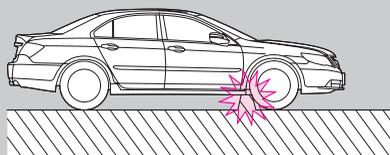


次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

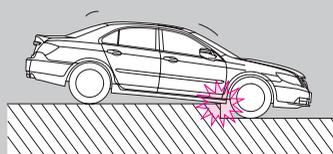
縁石などに衝突したとき



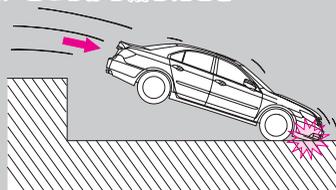
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



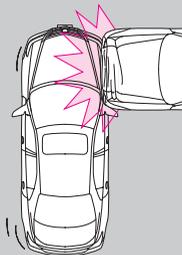
高いところから落ちたとき





次のような場合、作動しないことがあります。

乗員付近以外の側面に衝突されたとき



車高の高い車に側面衝突されたとき



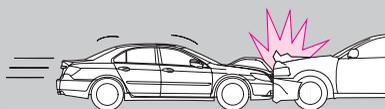
知識

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

作動しないとき

低い速度での衝突や次のような場合、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないので作動しません。ただし、状況によっては、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが作動することがあります。

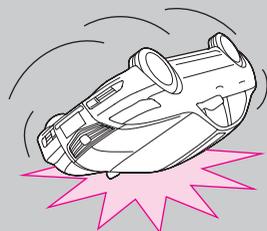
正面衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

- 事故の状況と、形態によっては、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが作動することがあります。

助手席側は、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断した場合は、サイドエアバッグの作動を自動停止します。

乗員姿勢検知システム 237ページ



サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

正しい乗車姿勢で

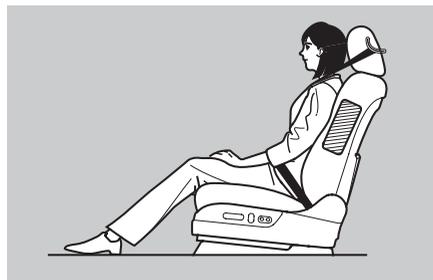
運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



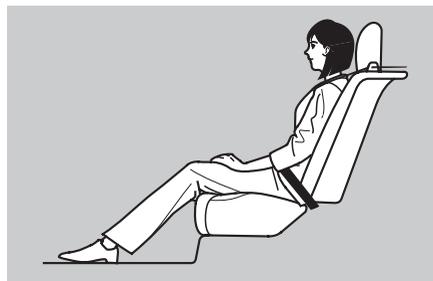
助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



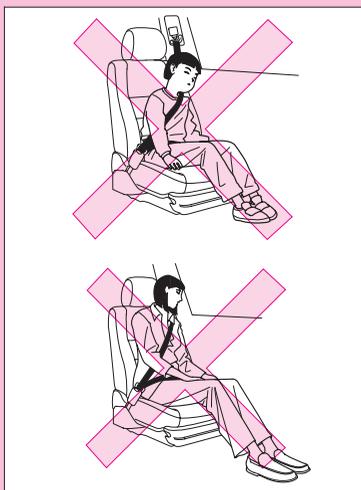
後席(外側)

シートに深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



⚠ 注意

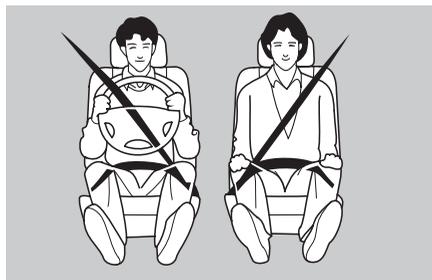
- ドアに寄りかからないようにしてください。サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。



- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグの各格納部に手や顔などを必要以上に近づけないでください。また、後席同乗者は前席の背もたれを抱えないでください。
サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。





乗員姿勢検知システム(助手席のみ)

乗員姿勢検知システムとは

乗車時の姿勢が不適切な場合、サイドエアバッグが膨らむことにより重大な傷害を受けるおそれがあるため、助手席乗員の姿勢を検知し、サイドエアバッグの作動を自動的に停止する装置です。



知識

- シート表皮の裏にセンサーが取り付けられているため、次のような場合には、乗員姿勢検知システムが正常に機能しないおそれがあります。
 - ・ シートの背もたれがぬれているとき。
 - ・ 金属など電気を通す物が接しているとき。
 - ・ シートにクッションなどを装着しているとき。
 - ・ ダウンジャケット等の厚い上着を着ているとき。
 - ・ 水分を含んだ物を助手席に置いているとき。

サイドエアバッグの作動を自動停止するとき

次のような場合、サイドエアバッグの作動を自動停止します。このときメーター内のサイドエアバッグ自動停止表示灯が点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイに“助手席サイドエアバッグ停止中”正しい乗車姿勢を取ってください”が表示されます。

小さなお子さまがドアに寄りかかって、サイドエアバッグがとび出す付近に頭があるようなとき



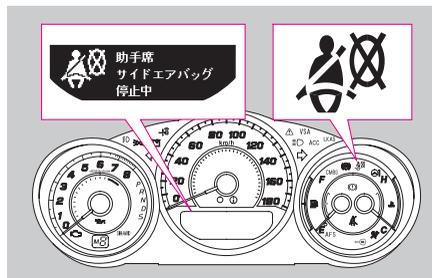
知識

- 次のような場合でも、サイドエアバッグの作動を自動停止することがあります。
 - ・ 小柄な大人の方が上のイラストと同じような姿勢をとったとき。
 - ・ 大人の方が前かがみになる。または、寝そべっていて、ドア側に寄りかかっているとき。

サイドエアバッグ自動停止表示灯

メーター内に組み込まれており、乗員姿勢検知システムが乗車姿勢を不適切であると判断し、サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。また、マルチインフォメーションディスプレイに“助手席サイドエアバッグ停止中” “正しい乗車姿勢を取ってください”が表示されます。

表示灯が点灯したときは、上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。



エンジンスイッチノブを“II”にしたときに約5秒間点灯して消えるのが正常です。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

アドバイス

- 表示灯が次のような状態になったときは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・正しい乗車姿勢をとっても消灯しないとき、あるいは助手席に乗員がいないのに消灯しないとき。
 - ・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約5秒経過しても消灯しないとき

知識

- 次のような場合は、表示灯が点灯することがあります。表示灯が点灯しているときは、サイドエアバッグの作動を自動停止します。
 - ・シートの背もたれがぬれているとき。
 - ・金属など電気を通す物が接しているとき。
 - ・水分を含んだ物を助手席に置いているとき。

取り扱いについて

⚠ 注意

- サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ドアやその周辺にカップホルダーなどを取り付けないでください。
また、シートとドアの間付近に傘などの物を置かないでください。
サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグはドアに沿って膨らむため、正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- フロントシートにこの車専用のHonda純正用品(シートカバーなど)以外を取り付けないでください。サイドエアバッグはシートの背もたれ外側に収納されていて、シート表皮のぬい目を破って膨らむため、正常に機能しなくなるおそれがあります。
- フロントシートの背もたれを倒した状態でとびはねるなど、サイドエアバッグ収納部に無理な力を加えないでください。





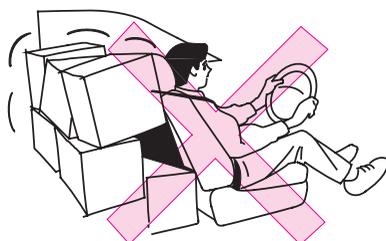
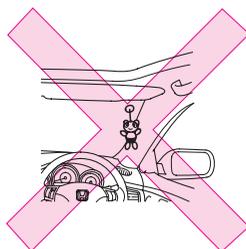
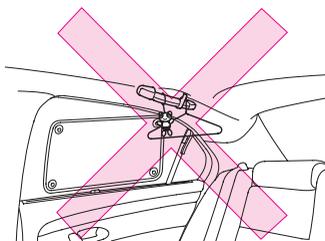
⚠ 注意

- グラブレードに物をかけないでください。

コートフックには、ハンガーや重い物、とがった物をかけないでください。フロントガラス、ドアガラスに物やアクセサリーなどを取り付けないでください。フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けないでください。

サイドカーテンエアバッグが正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。

- フロント、センター、リヤの各ピラーやルーフなど、サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えたりしないでください。
- エアバッグが収納されているルーフサイド、フロント、センター、リヤの各ピラーやルーフに傷がついていたり、ひび割れがある時は、そのまま使用せずにHonda販売店で交換してください。
- 座席に荷物を載せるときは、ドアガラス下端部の高さを越えないようにしてください。サイドカーテンエアバッグが正常に機能しなくなったり、作動時に荷物が飛ぶことがあります。



知 識

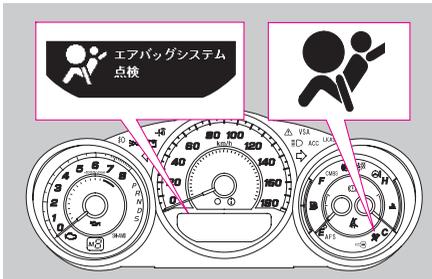
- フロントシートまわり、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品を取り付ける場合は、サイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとサイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。



SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステムとシートベルトシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、サイドエアバッグユニットまたはサイドカーテンエアバッグユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイに「エアバッグシステム点検」が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、サイドエアバッグシステム、サイドカーテンエアバッグシステムまたは、乗員姿勢検知システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

・運転中に点灯したとき

・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき

必要なときにサイドエアバッグおよびサイドカーテンエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

シートベルト プリテンショナーとは

前方向や側面からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

どのように作動するか

エンジンスイッチノブが「II」のとき、前方向や側面からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠ 注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
 - ・ シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト 106ページ

- ・ 正しい運転（乗車）姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 88ページ

🎓 知識

- シートベルトプリテンショナーは、シートベルトを着用していないと作動しません。
- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。Honda販売店で交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

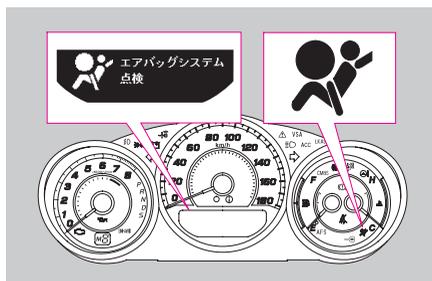
🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステム警告灯とシートベルトシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイに“エアバッグシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき。
 - ・ エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

E-プリテンショナー

ACC/LKAS装備車

E-プリテンショナーのしくみ

E-プリテンショナーとは

衝突するおそれがあるときなどに、運転席と助手席のシートベルトを衝突前に巻き取ることで、シートベルトの拘束効果を高める装置です。

どのように作動するか

前方の車両に追突するおそれがあるときに、追突軽減ブレーキ(CMBS)と連動して作動し、シートベルトを巻き取ります。また、ブレーキアシストとも連動して作動します。

作動後は、巻き取ったシートベルトをもとの状態に戻します。



追突軽減ブレーキ(CMBS) 254ページ
ブレーキアシスト 266ページ

⚠️ 注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとE-プリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
 - ・ シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト 106ページ

- ・ 正しい運転姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 88ページ

🎓 知識

- E-プリテンショナーは、シートベルトを着用していないと作動しません。
- 衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動した場合は、シートベルトを引き出せなくなります。Honda販売店で交換してください。
- E-プリテンショナーのみが作動したときは、交換する必要はありません。
- VSA警告灯が点灯しているときは、E-プリテンショナーは作動しません。



取り扱いについて

⚠ 注意

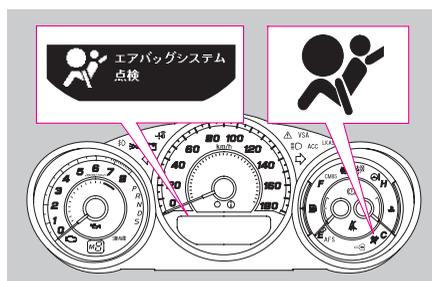
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置付近の修理をする場合は、E-プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。

SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステム警告灯とシートベルトシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、E-プリテンショナーユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。
また、マルチインフォメーションディスプレイに“エアバッグシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにE-プリテンショナーが作動しないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



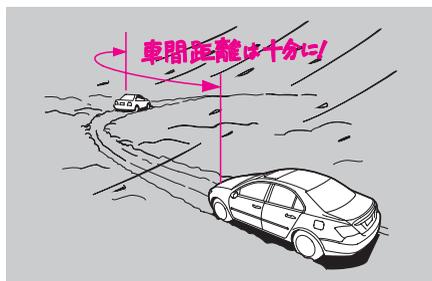
- ・低速(車速約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

知識

- エンジン始動後、最初の発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

運転のしかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
 - ・また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
 - ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。
- このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





取り扱いについて

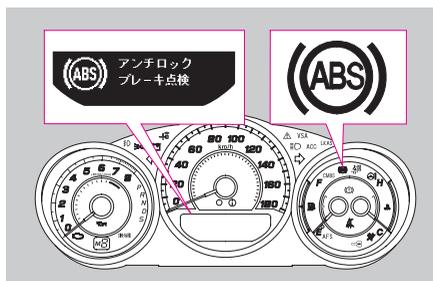
知 識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイに“アンチロックブレーキ点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ビークルスタビリティアシスト(VSA) (車両挙動安定化制御システム)

VSAのしくみ

VSAとは

ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

ABS(アンチロックブレーキシステム)機能

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする機能です。

TCS(トラクションコントロールシステム)機能

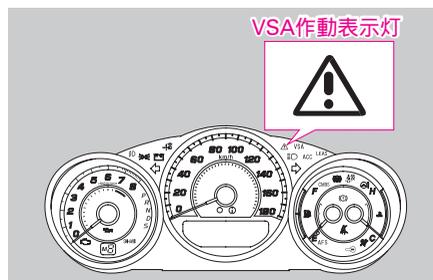
滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする機能です。

横滑り抑制機能

急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

作動について

TCS機能と横滑り抑制機能は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。TCS機能または横滑り抑制機能が作動中は、メーター内のVSA作動表示灯が点滅します。



VSA作動表示灯は、エンジンスイッチノブを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。



運転のしかた

アドバイス

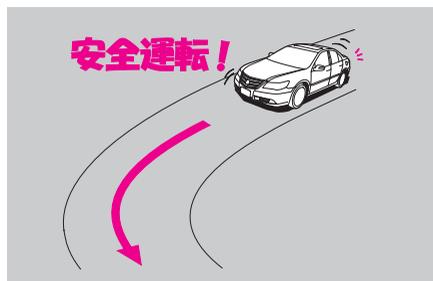
- 表示灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中にVSA警告灯と同時に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

知識

- 発進時等にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。
- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- ・カーブの手前では十分に速度を落としてください。
- ・雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。



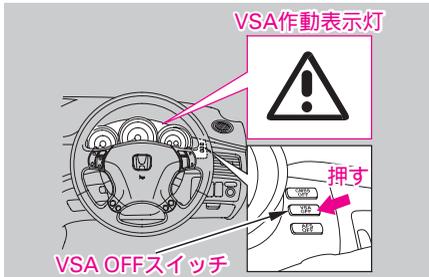
取り扱いについて

VSAを作動させたくないとき

新雪やぬかるみから脱出したいときにVSA OFFスイッチでVSAを“OFF”にすると、エンジントルク抑制機能が停止し、駆動輪が回転しやすくなるので効果的な場合があります。

この際、TCS機能と横滑り抑制機能が“OFF”になるため、走行には十分気を付けてください。

VSAが“OFF”のときは、メーター内のVSA作動表示灯が点灯します。



VSAを使用しないときは、OFFスイッチをブザー(ピッ)が鳴るまで押します。
VSAを使用するときは、再度OFFスイッチをブザー(ピッ)が鳴るまで押します。

知識

- TCS機能または横滑り抑制機能が作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

アドバイス

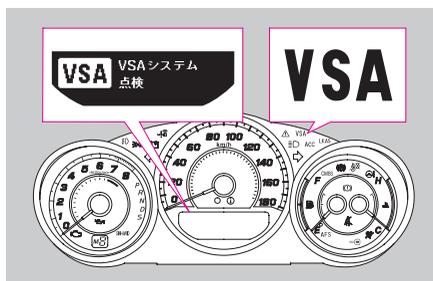
- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなることがあります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。



ビークルスタビリティアシスト (VSA) 警告灯

メーター内に組み込まれており、VSAが異常のときに点灯します。

また、マルチインフォメーションディスプレイに“VSAシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- なお、この場合でも通常走行には支障はありません。

🎓 知識

- けん引されたときやけん引したときは、警告灯が点灯することがあります。この場合はエンジンを再始動させて警告灯が消灯すればVSAは正常です。
- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- VSA装備車は、ブレーキアシストの装置に異常があると、VSA警告灯が点灯します。

ブレーキアシスト 266ページ

追突軽減ブレーキ(CMBS)

ACC/LKAS装備車

CMBSのしくみ

CMBSとは

自車が前方の車両にほぼ真後ろから追突するおそれがあるときに、運転者のブレーキ操作を支援し、追突するときの衝撃を軽減する装置です。

CMBSは、追突を自動で回避したり、自動で車を停止させるシステムではありません。

CMBSの機能には限界がありますので、運転するときはシステムを過信せず、常に前方および周囲の状況に気をつけて、安全運転を心がけてください。

警告

- CMBS装備車であっても、正しく運転しないと追突など思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。運転するときは、前方および周囲の状況に応じて、常に適切なブレーキ操作およびハンドル操作をしてください。
- 悪天候(雨、霧、雪など)のときは、前方の車両を正しく検知することができず、CMBSが作動しないことがあります。

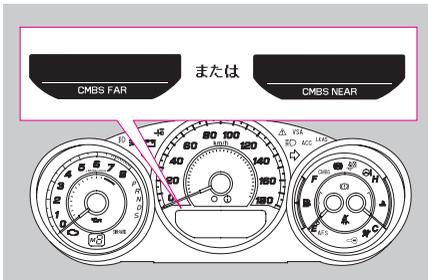
CMBSは、フロントグリルのエンブレムの奥に取り付けられているレーダーセンサーから発信した電波で前方にある車両を検知します。

レーダーセンサーについて 262ページ



作動について

エンジンスイッチノブを“ II ”にすると、CMBSは“ ON ”になり、追突警報の設定 (CMBS FARまたはCMBS NEAR) がマルチインフォメーションディスプレイ下部に約 2 秒間表示されます。



追突警報の設定について 258ページ
 マルチインフォメーションディスプレイ
 124ページ

CMBSを停止するとき

CMBSの作動を“ OFF ”にすることができます。

CMBSの停止について 260ページ

知識

- CMBSを“ OFF ”にしていたときは、エンジンスイッチノブを“ II ”にしてもCMBSは“ OFF ”のままです。このときはマルチインフォメーションディスプレイ下部に“ CMBS OFF ”が表示され、CMBS警告灯も点灯します。再度CMBSを“ ON ”にするときは、OFFスイッチを約 1 秒以上押します。
- エンジン始動時、またはエンジンスイッチノブを“ II ”にするときは、車を静止した状態で行ってください。また、駐車場のターンテーブルなどで車の向きを変える場合は、エンジンスイッチノブを“ 0 ”にしてください。車両が動いているときにエンジンスイッチノブを“ II ”にすると、ヨーレートセンサーが正しく作動しなくなり、走行中に前方の車両を正しく検知できないことがあります。

約15km/h以上の速度で走行しているときに、自車の前方に追突する危険がある車両を検知すると作動し、追突警報(警告ブザーと警告表示)と弱いブレーキで運転者に注意をうながします。続いて追突するときの衝撃を軽減するためのブレーキが作動します。

追突警報について 258ページ

約15km/h以上の速度で、ほぼ真後ろから追突する危険があるとき



知識

- 前方の車両と自車との速度差が、約15km/h以下の場合、CMBSによるブレーキは作動しません。
- 運転者が追突を回避するために、ブレーキ操作やハンドル操作を行うと、運転者の操作を優先してCMBSは作動しないことがあります。
- CMBSによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

CMBSによるブレーキが作動するときは、E-プリテンショナーも作動して、運転席と助手席のシートベルトを巻き取り、拘束効果を高めます。

E-プリテンショナー 246ページ

知識

- CMBSによる弱いブレーキが作動するときは、運転者に前方の車両への注意をうながすため、運転席のE-プリテンショナーも作動してシートベルトを2～3回軽く引き込みます。ただし、状況によっては、シートベルトの軽い引き込みをしない場合があります。



作動しないとき

前方にある車両の検知には限界があるため、次のような場合には、CMBSは作動しません。

- ・前方にある車両との車間距離がいちじるしく短いとき。
- ・交差点などで、自車の前方に車が飛び出したとき。

知識

- 次のような場合には、前方にある車両を正しく検知することができず、CMBSが作動しない場合があります。
 - ・自車の前方に車両が割り込み、急な減速を行ったとき。
 - ・急加速を行って前方の車両に接近しているとき。
 - ・悪天候のとき(雨、霧、雪のときなど)。
 - ・フロントグリルのエンブレムが汚れているとき。

エンブレムが汚れたとき

262ページ

- 前方の車両との部分的な衝突や接触のおそれがあっても、CMBSが作動しない場合があります。
- 道路状況(カーブなど)、自車の状況(ハンドルの操作や車線内の位置)および前方の車両の状況(車の向き)によっては、前方の車両を正しく検知できず、CMBSが作動しない場合があります。

知識

- 自転車や2輪車に対しては、CMBSが作動しない場合があります。
- 歩行者や動物に対しては、CMBSは作動しません。

追突以外での作動について

次のような場合には、CMBSが作動することがあります。車間距離を確保し、適切な速度で走行してください。

- ・追い越しや交差点などで、前方の車両や対向車に接近して走行するとき。
- ・低いゲートや狭いゲートなどを規制速度を超えるような速度で通過しようとするとき。

知識

- 道路状況(カーブなど)や自車の状況(ハンドルの操作や車線内の位置)によっては、一時的にとりまの車線の車や周囲の物(電柱や標識など)を検知して、CMBSが作動する場合があります。
- 道路の段差や落下物に対して、CMBSが作動する場合があります。

追突警報について

前方の車両に追突するおそれがある場合に、警告ブザーと警告表示で前方への注意を運転者にうながします。

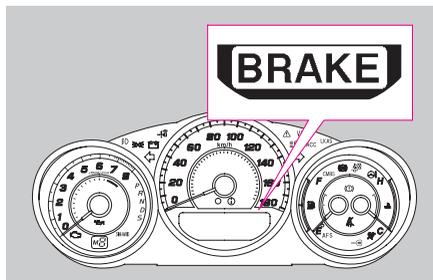
この場合は、ブレーキペダルを踏むなど、適切な操作を行ってください。

警告ブザー

ブザー(ピッピッピッ...)が鳴ります。

警告表示

マルチインフォメーションディスプレイに“BRAKE”が橙色で点滅します。



知識

- 警告ブザーなどのブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 330ページ

追突警報の設定について

追突するおそれがある車両に対して、追突警報が作動する距離を2段階に調節することができます。

NEAR... 距離が近くなります。

FAR... 距離が遠くなります。

工場出荷時は、“NEAR”に設定されています。

知識

- 設定を“CMBS NEAR”にすると追突警報の開始が遅くなり、“CMBS FAR”にすると追突警報の開始が早くなります。道路状況に合わせてお使いください。なお、ブレーキの作動開始は変わりません。

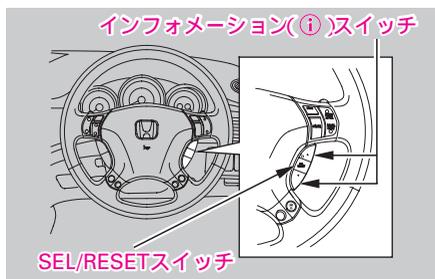


・設定のしかた

- ①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押すと、マルチインフォメーションディスプレイが“カスタマイズエントリー”画面に切り換わります。

知識

- インフォメーション(①)スイッチを押すごとに、画面上の項目の選択ができ、SEL/RESETスイッチを押して決定します。



- ②“CMBS設定”を選択し、決定すると、“CMBS設定”画面に切り換わります。



知識

- 走行中、またはセレクトレバーがP以外のときにインフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押すと、“CMBS設定”画面に切り換わります。
“CMBS設定”画面に切り換わってから約10秒間操作をしないと自動的に通常表示に戻ります。

- ③“NEAR”が“FAR”を選択し、決定します。



- ④ “ FAR(NEAR)”に設定しました “が約3秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。



知識

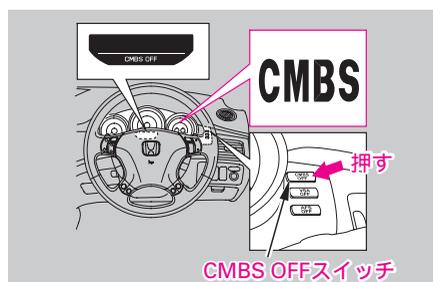
- 走行中、またはセレクトレバーが P 以外のときは通常表示に戻ります。このときマルチインフォメーションディスプレイ下部に “ CMBS FAR(NEAR) ” が約 5 秒間表示されます。

- ⑤ “ 戻る ” を選択すると通常表示に切り換わります。

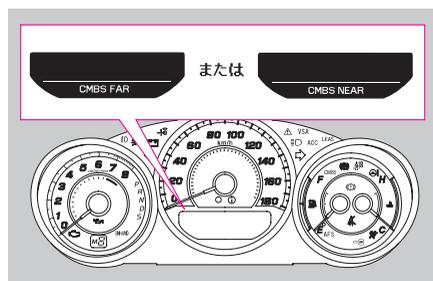


CMBSの停止について

CMBSを使用しないときは、CMBS OFF スイッチを約 1 秒以上押します。CMBS を “ OFF ” にすると CMBS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイ下部に “ CMBS OFF ” が表示されます。このときブザー（ピー）も同時に鳴ります。



CMBSを使用するときは、再度CMBS OFFスイッチを約 1 秒以上押します。CMBSを “ ON ” にするとCMBS警告灯が消灯し、マルチインフォメーションディスプレイ下部に “ CMBS FAR ” または “ CMBS NEAR ” が表示されます。このときブザー（ピー）も同時に鳴ります。

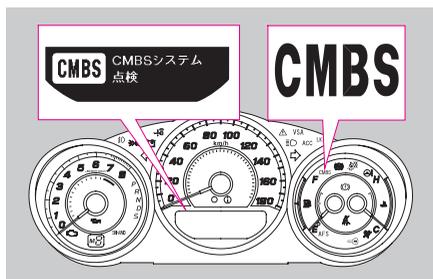




CMBSの自動停止について

次の場合には、CMBSが自動で停止され、メーター内のCMBS警告灯が点灯します。また、マルチインフォメーションディスプレイに“CMBSシステム点検”が表示されます。

- ・タイヤの異常を検出したとき。
- ・山岳路や悪路などを長時間走行したとき
- ・パーキングブレーキをかけたまま走行したとき。



CMBSが作動できる状態になると、CMBSは自動で復帰します。

知識

- 次のような場合にも、CMBSは自動で停止します。
 - ・ 悪天候のとき(雨、霧、雪のときなど)
 - ・ フロントグリルのエンブレムに汚れが付いたとき。
エンブレムが汚れたとき

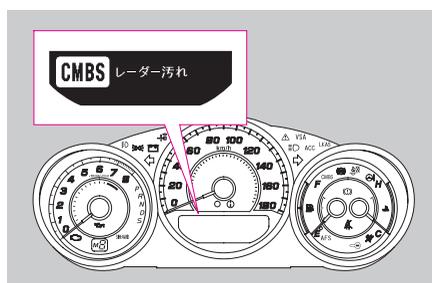
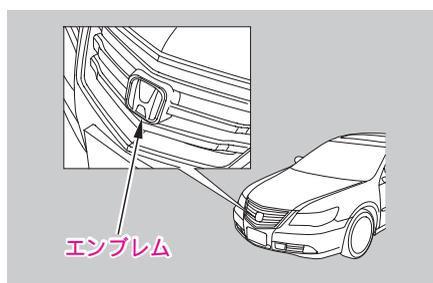
262ページ

取り扱いについて

CMBSのレーダーセンサーは、フロントグリルのエンブレムの奥に取り付けられています。

エンブレムが汚れて、前方の車両を検知できなくなると、CMBSが自動で停止し、メーター内のCMBS警告灯が点灯します。また、マルチインフォメーションディスプレイに“レーダー汚れ”、“レーダーを拭いて下さい”が表示されます。

この場合は、エンブレムの汚れをやわらかい布などできれいに拭き取り、エンジンを再始動してください。



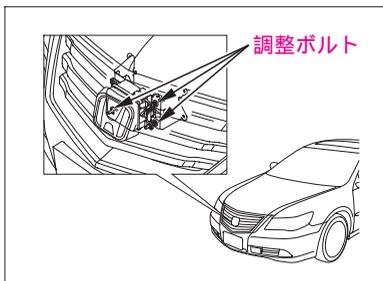
知識

- 交通量が少なく、レーダーセンサーから発信した電波を反射する物が少ない道路を走行すると、マルチインフォメーションディスプレイに“レーダー汚れ”が一時的に表示されることがあります。
- エンブレムの汚れを拭き取った後に、エンジンを再始動しなかったときでもシステムは復帰しますが、状況により復帰に時間がかかることがあります。

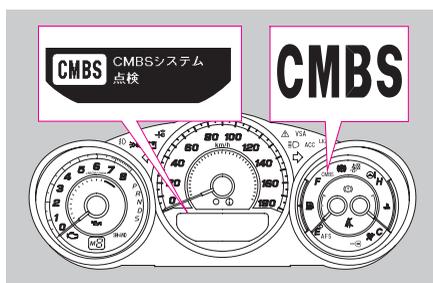


知識

- システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。
 - ・ エンブレムは常にきれいな状態にしてください。
 - ・ エンブレムの汚れがひどいときは、水や中性洗剤などで汚れを拭き取ってください。エンブレムを損傷する原因となりますので、ベンジン、シンナー類およびクレンザーなどの磨き粉類は使わないでください。
 - ・ エンブレムにステッカーなどを貼ったり、エンブレムを交換しないでください。レーダーの電波がさえぎられます。
 - ・ レーダーセンサー本体の横にある調整ボルトは回さないでください。
 - ・ レーダーセンサー本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。万一、衝撃が加わった場合は、CMBS OFFスイッチを約1秒以上押し、CMBSを「OFF」にし、Honda販売店にご相談ください。
 - ・ フロントグリル周辺の修理を行う際は、Honda販売店にご相談ください。
- CMBSのレーダーセンサーはACCのレーダーセンサーと共用しています。
- 次のようなときは、システムが正常に作動しないおそれがあります。
 - ・ トランクやリヤシートなどに重い荷物を積んで、車が傾いているとき。
 - ・ タイヤの空気圧が指定空気圧に調整されていないとき。
- サスペンションの改造はしないでください。車の傾きなどでシステムが正常に作動しないおそれがあります。
- 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると、システムが正常に作動しないおそれがあります。



追突軽減ブレーキ(CMBS)警告灯
メーター内に組み込まれており、CMBSが異常のときに点灯します。また、マルチインフォメーションディスプレイに“CMBSシステム点検”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“II”にしたときに数秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチノブを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- 警告灯が点灯しているときは、CMBSは作動しません。

知識

- 次の場合にもCMBS警告灯が点灯します。
 - ・CMBSを“OFF”にしているとき。
 - ・CMBSが自動で停止したとき。
 - ・悪天候のとき(雨、霧、雪のときなど)。
 - ・フロントグリルのエンブレムに汚れが付いたとき。
エンブレムが汚れたとき

262ページ

- VSA警告灯が点灯するとCMBS警告灯も同時に点灯します。

3.安全装備

追突軽減ブレーキ(CMBS)



ブレーキアシスト

ブレーキアシスト のしくみ

ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きい制動力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

作動について

- ・ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。
- ・ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり作動音が聞こえることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。
そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ・E-プリテンショナー装備車は、ブレーキアシストの作動と同時に運転席と助手席のシートベルトが引き込まれます。

E-プリテンショナー 246ページ

取り扱いについて

知識

- VSA警告灯が点灯しているときは、ブレーキアシストは作動しません。なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。



Area with horizontal dashed lines for writing.

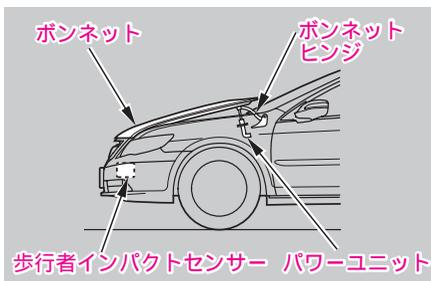
ポップアップフードシステム

ポップアップフードシステムのしくみ

ポップアップフードシステムとは前方向からの衝突時にボンネットを持ち上げてエンジンルーム内の空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃を緩和する装置です。

どのように作動するか

エンジンスイッチが「II」のとき、設定速度以上の走行時に歩行者やその他の物体との衝突により、歩行者インパクトセンサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、ボンネットが持ち上がります。



警告

- ポップアップフードシステムが作動した直後は、パワーユニットが熱くなっているため、重大なやけどなど思わぬけがをすることがあります。冷めるまではパワーユニットに触れないでください。

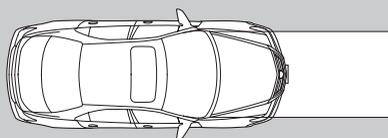
知識

- ボンネットが完全に閉まっていないと、十分な効果を得られない場合があります。走行前に必ず確認してください。
- ポップアップフードシステムのいかなる部品も自分で取り外したり交換しないでください。必ずHonda販売店で交換してください。
- システム作動後はボンネットを開けないでください。システム作動後、Honda販売店まで運転する場合は、持ち上がったボンネットが視界の妨げにならないことを確認した後、速度を落とし十分に注意して運転してください。



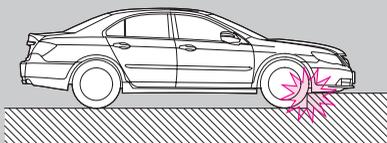
作動するとき

約25km/h以上の速度で設定以上の衝撃をフロントバンパーの真正面から受けたときと同等か、それ以上の衝撃を受けたときに作動します。

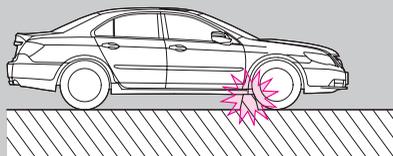

 知識

- 衝撃を吸収できる物を持っているような歩行者と衝突した場合、システムが作動しないことがあります。
- また、軽い物、小さな動物や他の小さな物体でも高速で衝突した場合、システムが作動することがあります。

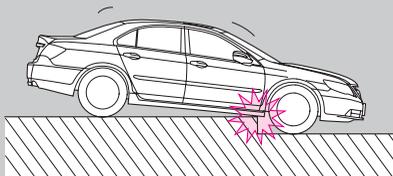
縁石などに衝突したとき



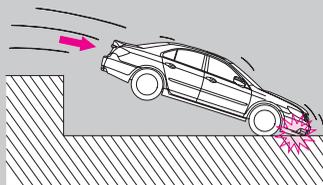
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき

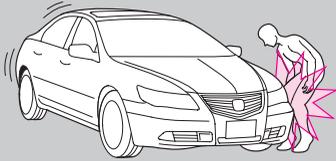


高いところから落ちたとき

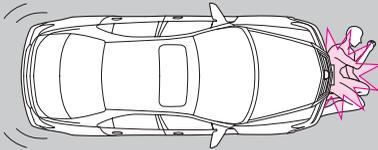


衝突の位置、衝撃の度合い、角度、車速によって、作動しないことがあります。

斜め方向や横からの歩行者との衝突



道路に寝転がっていた歩行者との衝突



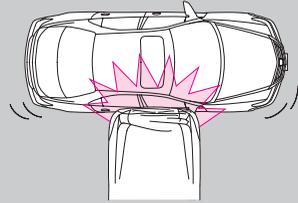
知識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いは異なりますので、損傷状態の大小とポップアップフードシステムの作動とは必ずしも一致しません。

作動しないとき

低い速度での衝突や次のような場合、歩行者保護の効果がないので、作動しません。

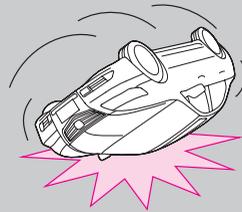
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

- 事故の状況、形態によっては、ポップアップフードシステムが作動することがあります。



取り扱いについて

アドバイス

- 四輪とも同一指定サイズのタイヤをお使いください。サイズの異なるタイヤを使用すると車両速度を誤認識してポップアップフードシステムが正常に機能しなくなることがあります。

知識

- システムを非作動にする改造をしないでください。ポップアップフードシステムは歩行者の保護に効果のある重要な安全装備です。
- ポップアップフードシステムの構成部品と配線の取り外し、分解などはありません。不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- パワーユニットに損傷を与えないでください。パワーユニットに荷重を加えたり、ボンネットを激しく閉めないでください。
- フロントバンパー内の歩行者インパクトセンサーに損傷を与えないでください。
- フロントバンパー周辺を損傷したときは、システムが作動していなくてもHonda販売店で点検を受けてください。フロントバンパー内の歩行者インパクトセンサーやバンパー取り付け部が損傷すると正常に機能しなくなるおそれがあります。
フロントバンパーに損傷を与えないように、駐車場での車止めや、道路の縁石との接触、段差のある場所への乗り入れなど、十分に注意をして走行してください。
- フロントバンパーやボンネットをHonda純正品以外に交換しないでください。正常に機能しなくなります。
- フロントバンパーにこの車専用のHonda純正品以外を取り付けしないでください。また、ボンネットに物を取り付けしないでください。ポップアップフードシステムが正常に機能しなくなるおそれがあります。
- ポップアップフードシステムの構成部品と配線の近くにHonda純正品以外のアクセサリーを取り付けしないでください。
- 助手席用フロントシートまわりの修理、フロントバンパー周辺の修理、ボンネットやダッシュボード周辺の板金塗装や修理、ワイパーの修理をする場合はポップアップフードシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。

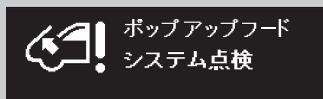
知識

- ポップアップフードシステム装着車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとポップアップフードシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとポップアップフードシステムの誤作動につながります。(Honda純正品は除く)

ポップアップフードシステム 警告表示

システムの異常を検出するとマルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。

(ACC/LKAS非使用時)



(ACC/LKAS使用時)



警告

- 警告が表示されたときはシステムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店にて点検を受けてください。必要なときにポップアップフードシステムが作動しないおそれがあり、歩行者との衝突時に、歩行者の深刻な障害や死亡につながります。



その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。

(31ページ)

ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。

(109ページ)

シートベルトリマインダー

(非着用警報装置)

シートベルトの未着用をランプとブザーで知らせ、ベルトの着用を促します。

(109ページ)

ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

ドライブを快適にする装備

4

インフォメーション
ディスプレイ
表示について ……277

エアコン
吹き出し風の調節 ……279
エアコンインデックス ……281
オートエアコン ……282
エアクリンフィルター ……293
シートヒーター/シート
ベンチレーション ……295
シートヒーター ……298

オーディオ ……300
アンテナ ……301

リヤカメラシステム
リヤカメラシステムに
ついて ……302
画面に表示される映像の
範囲 ……303
ガイド線の消しかた ……304
色調整のしかた ……305
画面調整のしかた ……306

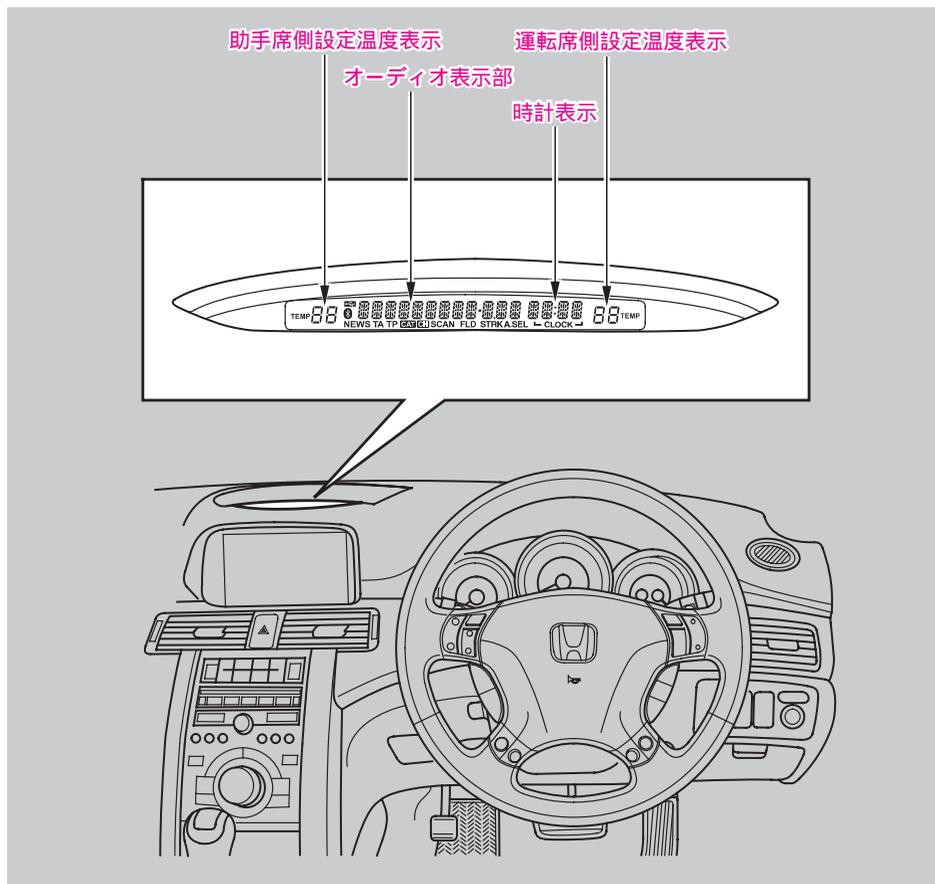
照明灯
室内灯 ……309
マップランプ ……310
エンジンスイッチ照明灯 ……311
フットランプ ……312
ドア開閉灯 ……313
ドアハンドル照明灯 ……313
ドアポケット照明灯 ……315

室内装備品
リヤサンシェード ……316
サイドサンシェード ……317

シガレットライター ……318
灰皿 ……319
サンバイザー ……320
チケットホルダー ……321
アームレスト
(後席ひじ掛け) ……321
小物入れ ……322
カップホルダー ……324
コートフック ……326
荷物フック ……326
トランクフロアフック ……327
AV入力端子 ……327
アクセサリーソケット ……328
USB接続端子 ……329
ETQ(有料道路自動料金支払い
システム)車載器 ……329

カスタマイズ機能
カスタマイズ機能について ……330
カスタマイズ機能と
Hondaスマートキーの
非連動について ……352
設定をリセットする ……354

インフォメーションディスプレイ



知識

- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の減光を解除すると、インフォメーションディスプレイの減光も解除されます。

イルミネーションコントロール 122ページ



表示について

インフォメーションディスプレイは、次のような表示を行います。

1 オーディオ表示

オーディオが「ON」のとき、作動について表示します。

オーディオの操作については、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

2 時計表示

エンジンスイッチノブが「I」または「II」のとき、時刻を表示します。

知識

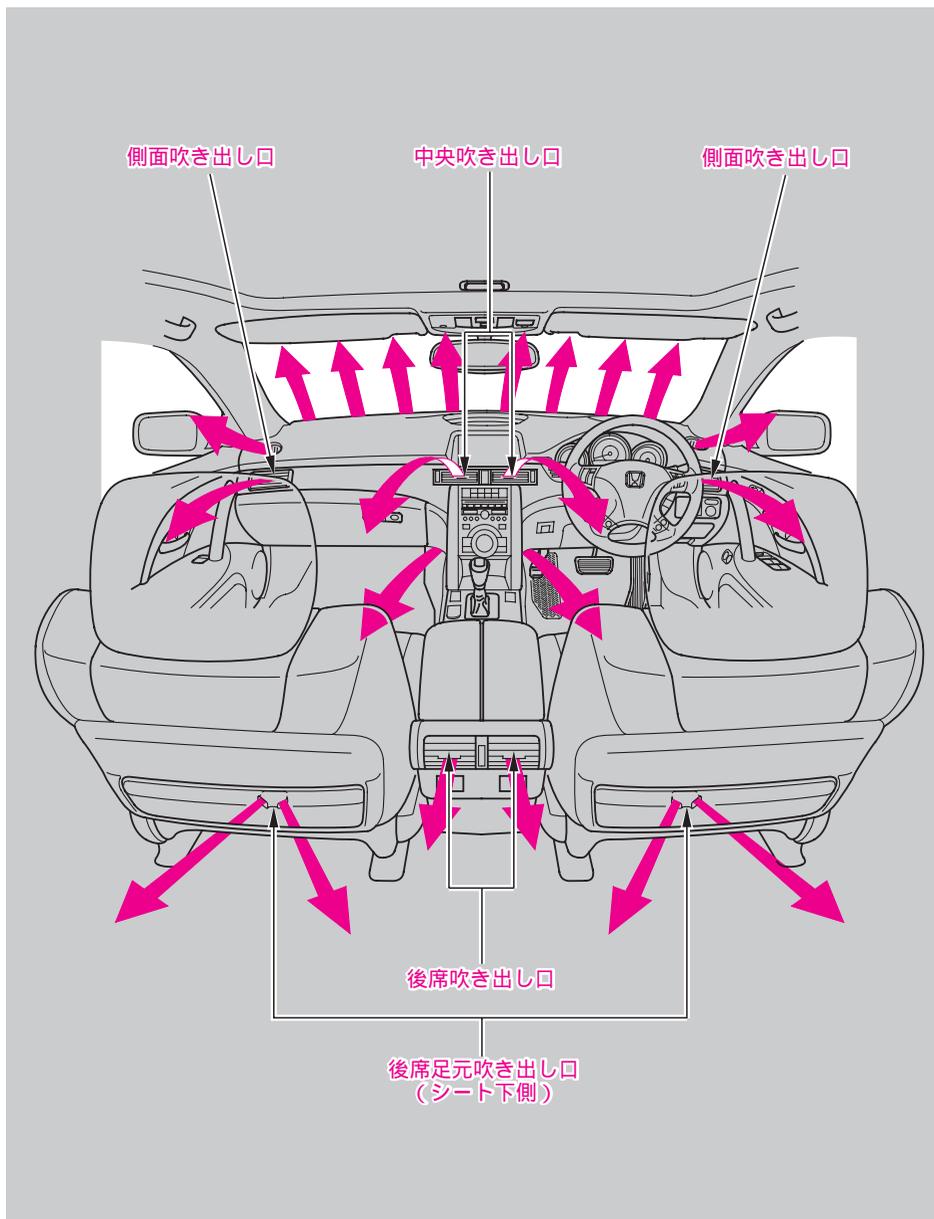
- 時計は、人工衛星(GPS)からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

3 温度表示

エアコンが作動しているとき、運転席側および助手席側の温度を表示します。

エアコンの操作について 282ページ

エアコン





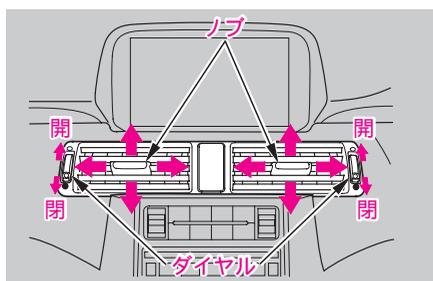
吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

吹き出し口はダイヤルで開閉できます。送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。

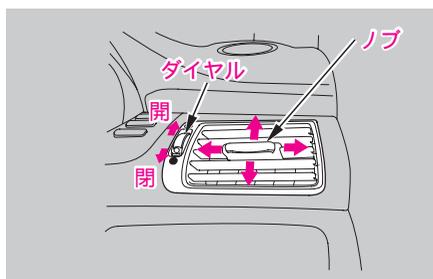
- …………… 吹き出し口が開きます。
- …………… 吹き出し口が閉じます。

中央吹き出し口

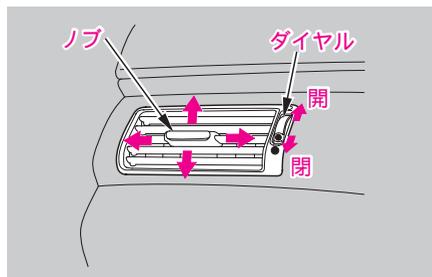


側面吹き出し口

・運転席側



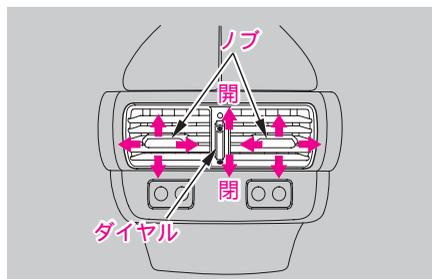
・助手席側

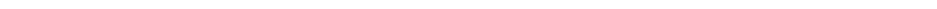
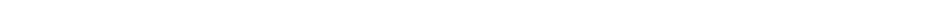


知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

後席吹き出し口

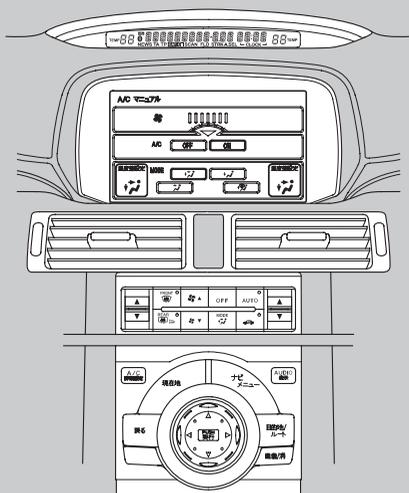






エアコンインデックス

オートエアコン



- ・オートエアコンを使うとき ……………282
- ・マニュアルで使うとき ……………284
- ・上半身への送風の温度を
調節するとき ……………287
- ・前面 / 側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) ……288
- ・音声でエアコンを調節するとき ……290
- ・エアコンを常用しないとき ……292
- ・温度感知装置 ……………292

エアコンの設定はドライバー 1、ドライバー 2 でそれぞれ個別に行うことができます。また、ドライバー 1、ドライバー 2 の前回の設定が次に使用されるときまでそれぞれ保持されます。

オートエアコン

オートエアコンを使うとき

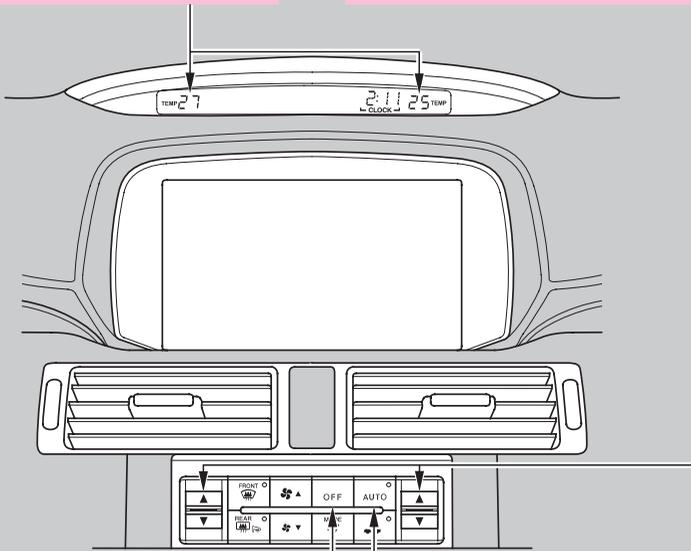
エンジンをかけた状態で使います。

温度表示

運転席側および助手席側の設定温度を表示します。表示温度は室温設定時の目安となります。

温度調節スイッチ

スイッチを押して温度を調節します。



OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示灯点灯)
風量、吹き出し口や内外気の切り換え、エアコンの「ON/OFF」などが自動制御されます。



通常の使いかた

- ①AUTOスイッチを押します。(AUTOスイッチの表示灯点灯)
- ②運転席側または助手席側の温度調節スイッチを操作して温度を設定します。

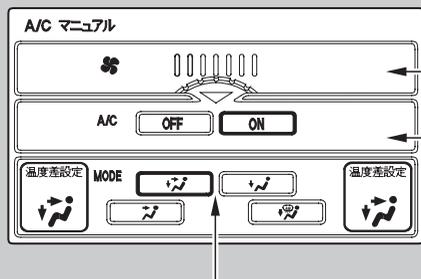
停止するときはOFFスイッチを押します。

知識

- デフロスターを作動させると、運転席側の設定温度に切り換わります。
- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節スイッチをむやみに押さないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。
- 設定温度表示で“L”は最大冷房を“H”は最大暖房を示します。

マニュアルで使うとき

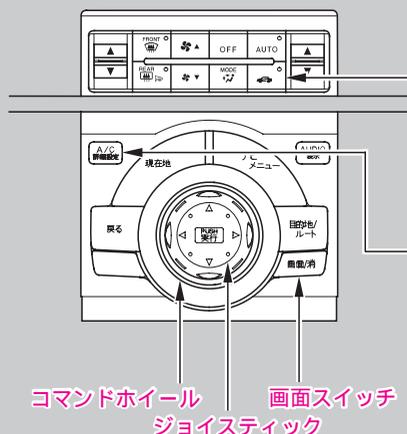
A/C詳細設定スイッチを押して、ナビゲーションシステムの画面にA/Cマニュアル画面を表示させます。



ファンスピード切り換え操作画面
(右ページ参照)

エアコン操作画面
(右ページ参照)

MODE操作画面
(286ページ参照)



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

A/C詳細設定スイッチ

スイッチを押すとナビゲーションシステムの画面にA/Cマニュアル画面が表示されます。もう一度押すとA/Cマニュアル画面は消えます。

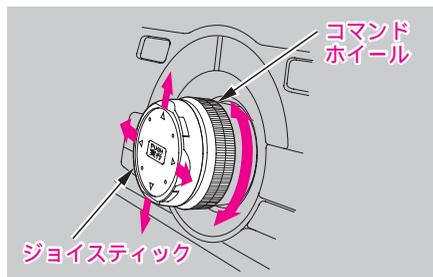
各スイッチや操作を組み合わせることで使うことができます。

AUTO(自動)で使用中でも調節したスイッチの機能が優先されます。このときAUTOスイッチの表示灯は消えますが、調節した機能以外は自動制御されます。

AUTO(自動)に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

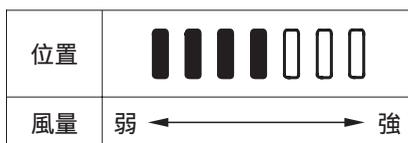


A/Cマニュアル画面での操作



- ① ジョイスティックを上下左右に倒して調節する項目の操作画面を選択します。
- ② コマンドホイールを回してお好みの設定に切り換えます。

ファンスピード切り換え操作画面



ファンスピードの切り換えを行います。ジョイスティックを倒してファンスピード操作画面を選択し、コマンドホイールを回して設定します。

エアコン操作画面

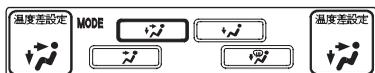


エアコンの“ON”と“OFF”の切り換えを行います。ジョイスティックを倒してエアコン操作画面を選択し、コマンドホイールを回して設定します。

知識

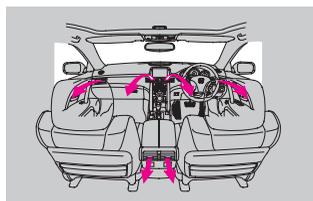
- A/Cマニュアル画面が表示されているときに画面スイッチを押すと、画面調整モードに切り換わります。
詳細に関しては、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

MODE操作画面



吹き出し口の切り換えを行います。
ジョイスティックを倒してMODE
操作画面を選択し、コマンドホイール
を回して設定します。

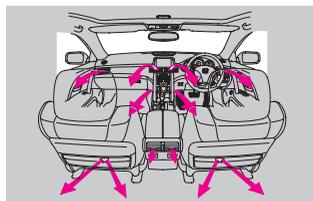
上半身に送風したいとき



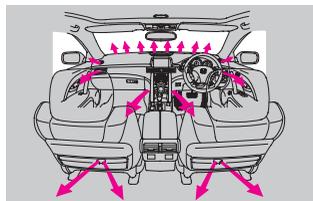
上半身、足元に送風したいとき

上半身への送風の温度を調節するとき

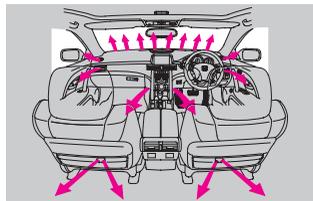
右ページ参照



足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを
取りたいとき

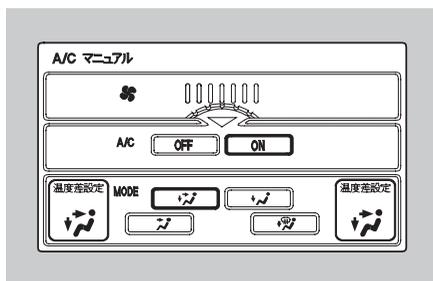




上半身への送風の温度を調節するとき

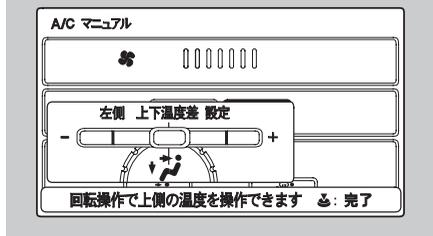
足元への送風の温度を維持しつつ、上半身への送風の温度を寒め、暑めに調節することができます。運転席側と助手席側で別々に設定することができます。

- ①  モードを選ばると、MODE操作画面内の左右に“温度差設定”が表示されます。

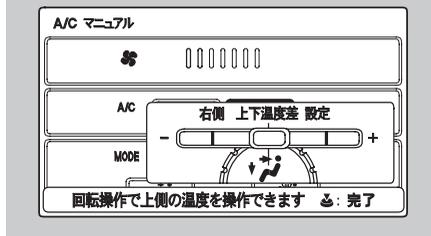


- ② ジョイスティックを右に倒すと運転席側、左に倒すと助手席側を設定できます。

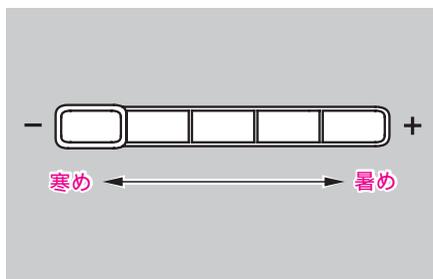
(助手席側)



(運転席側)



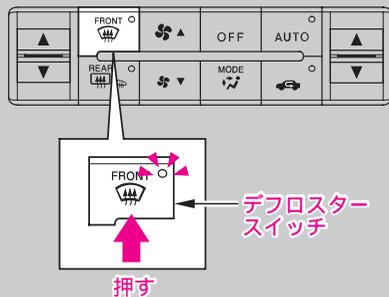
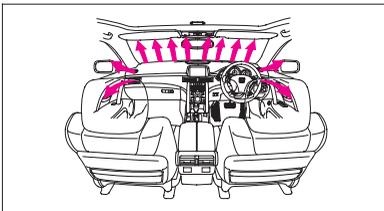
- ③ コマンドホイールを回して、足元に対しての上半身の温度を設定します。右に回すと暑め、左に回すと寒めに設定されます。



前面 / 側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)
デフロスタースイッチを押します。

デフロスタースイッチ

ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。

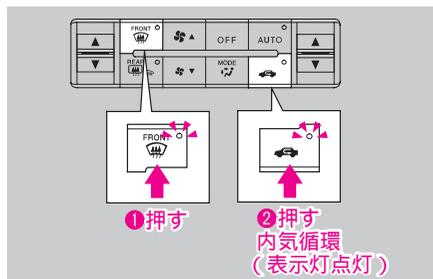


知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。
- デフロスター作動中は運転席側の設定温度に切り換わります。



急速に霜を取りたいとき



知識

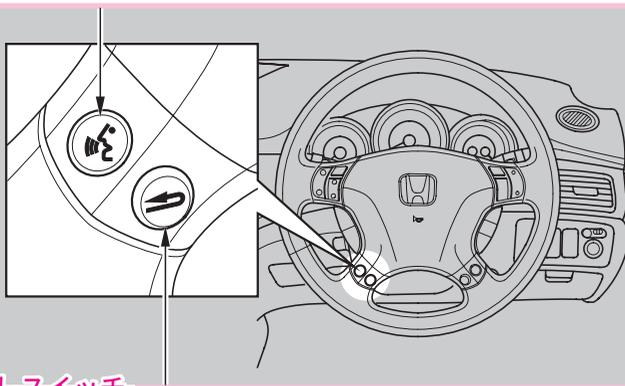
- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

音声でエアコンを調節するとき

Honda インターナビシステムが拡張モードのときに、音声で調節することができます。拡張モードへの切り換え方法は、別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

発話スイッチ

スイッチを押すと、音声でエアコンを操作できます。



取り消しスイッチ

操作を取り消したいときに押します。

使いかた

- ① 発話スイッチを押します。
- ② 「ピッ」と音が鳴ってから、目的の操作を言います。
例) エアコンを作動させるとき...「エアコンオン」と言います。

Honda インターナビシステムが音声を認識すると、「エアコンをオンします...」と言ってエアコンを作動します。

音声を認識できずに操作ができなかったときは、もう一度発話スイッチを押して操作します。

音声を誤認識して別の操作をしてしまったとき

取り消しスイッチを押してから、もう一度発話スイッチを押して、目的の操作を言い直します。

音声操作の一例

発した言葉	応答
えあこんおん(エアコンオン)	エアコンをオンします
えあこんおふ(エアコンオフ)	エアコンをオフします
あつい	設定温度を“ 1 ”下げます
さむい	設定温度を“ 1 ”上げます
ないき(内気)	“ 内気循環 ”にします
がいき(外気)	“ 外気導入 ”にします
にじゅうごど	設定温度を“ 25 ”にします (操作を受け付ける温度は18°C ~ 32°Cの間です。)

音声操作の詳細については、別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書 音声操作編をご覧ください。

エアコンを常用しないとき

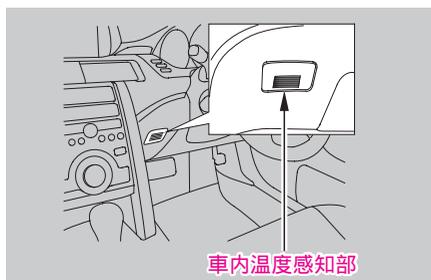
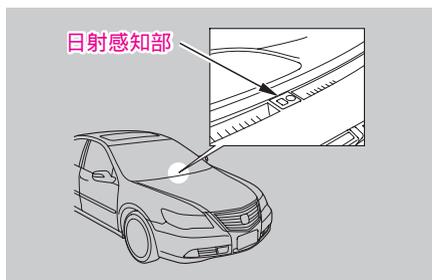
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。





エアークリーンフィルター

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんし、ディーゼル排ガス臭・タバコ臭などに脱臭効果のあるエアークリーンフィルターが取り付けられています。

エアークリーンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

また、芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなったり、脱臭寿命が短くなることがあります。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

知識

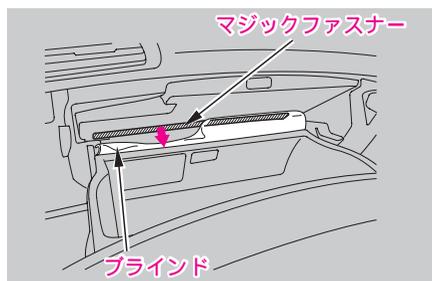
- グローブボックスの内側に交換時期が記載してあります。

交換のしかた

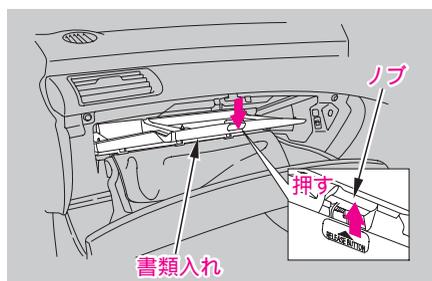
- ①グローブボックスを開けます。

グローブボックス 322ページ

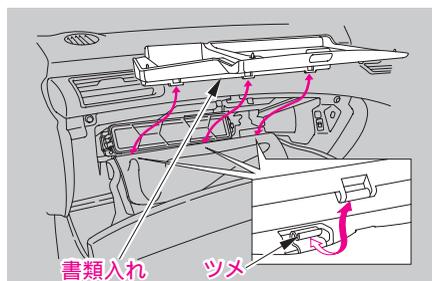
- ②マジックファスナーからブラインドをはがします。



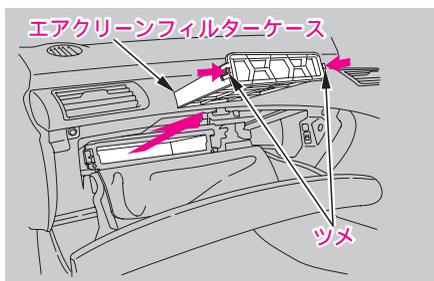
- ③ノブを押して書類入れを開きます。



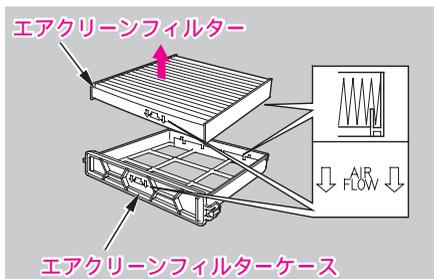
- ④ツメを広げ、書類入れを外します。



- ⑤左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースを引き出します。



- ⑥ケースからエアクリーンフィルターを取り出して新品と交換します。交換するときはケースとフィルターの“ AIR FLOW ”マークの矢印が同じ方向(下向き)になるように確実に取り付けてください。

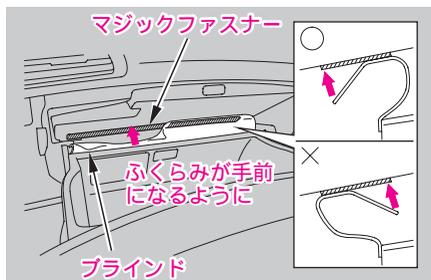


知識

- エアクリーンフィルターを交換するときは、フィルターの取り付け方向に注意してください。取り付け方向を間違えると、フィルターの効果を十分に発揮しません。

- ⑦取り付けるときは、逆の手順で行います。

マジックファスナーにブラインドを取り付けるときは、ふくらみが手前になるように取り付けます。





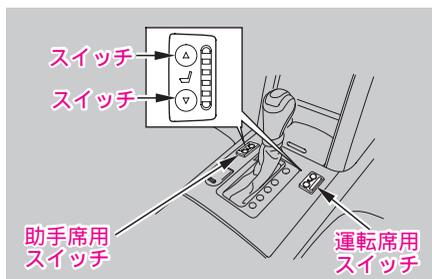
シートヒーター/ シートベンチレーション

タイプ別装備

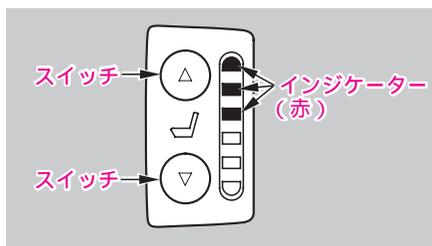
運転席、助手席のシートを暖めたり、ベンチレーション(送風)させることができます。エンジンスイッチノブが「II」のとき使えます。

シートヒーターを使うとき

ヒーターを使うときは、スイッチを押します。



ヒーターは自動的に「HI」にセットされますので、ヒーターの温度を下げるときはスイッチを押し、温度を上げるときはスイッチを押しします。ヒーターを止めるときは、インジケータ(赤)が消灯するまでスイッチを押しします。



- ヒーターの温度は4段階に調節できます。
- HI - インジケータ(赤)が3個点灯します。
 - MID - インジケータ(赤)が2個点灯します。
 - LOW - インジケータ(赤)が1個点灯します。
 - OFF - インジケータが消灯します。

⚠ 注意

- 次のようなかたは、熱すぎたり低温やけどをすることがありますので、ご使用になるときは十分注意してください。

- ・ 乳幼児、お子さま、お年寄、病気のかた、体の不自由なかた。
- ・ 皮ふの弱いかた。
- ・ 疲労の激しいかた。
- ・ 深酒やねむけをさそう薬(睡眠薬、かぜ薬など)を使用されたかた。

また、毛布や座ぶとんなどの保温性の高いものをかけて使用すると、低温やけどをすることがあります。

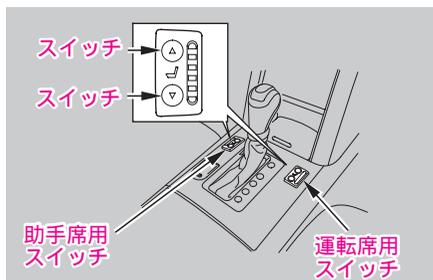
🎓 知識

- この装置は消費電力が大きいため、エンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- 凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針や釘など鋭利な物を突きさしたりしないでください。
- シートの手入れには、シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターおよびシート表面を損傷するおそれがあります。
- 前席シートヒーターを“ HI ”にしていると約5分後に自動的に“ MID ”に切り替わります。また、“ MID ”のままで使用していると約60分で自動的に“ LOW ”に切り替わります。
- 助手席の背もたれには、サイドエアバッグシステムの乗員姿勢検知システムのセンサーが装備されているため、ヒーター機能はありません。
- インジケーターが消灯している状態でスイッチを押すと、ベンチレーションが作動します。

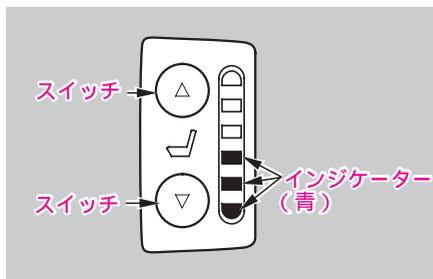


シートベンチレーションを使うとき

ベンチレーションを使うときは スイッチを押します。



ベンチレーションは自動的に「HI」にセットされますので、ベンチレーションを弱めるときは スイッチを押し、強めるときは スイッチを押します。ベンチレーションを止めるときは、インジケータ(青)が消灯するまで スイッチを押します。



ベンチレーションの強弱は4段階に調節できます。

- HI - インジケータ(青)が3個点灯します。
- MID - インジケータ(青)が2個点灯します。
- LOW - インジケータ(青)が1個点灯します。
- OFF - インジケータが消灯します。

知識

- インジケータが消灯している状態で スイッチを押すと、ヒーターが作動します。

シートヒーター

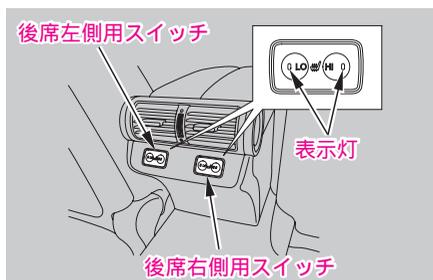
タイプ別装備

後席のシートを暖めることができます。
エンジンスイッチが「II」のとき使えます。



スイッチを「HI」側が「LO」側に押します。
シートを早く暖めたいときは「HI」側を押し
ます。暖まったら「LO」側にしてくだ
さい。作動中、押ししている側の表示灯が
点灯します。スイッチを切るときは、反
対側を軽く押し、表示灯を消します。

スイッチの 状態	シートヒーターの 状態
LO HI 	LO
LO HI 	OFF
LO HI 	HI

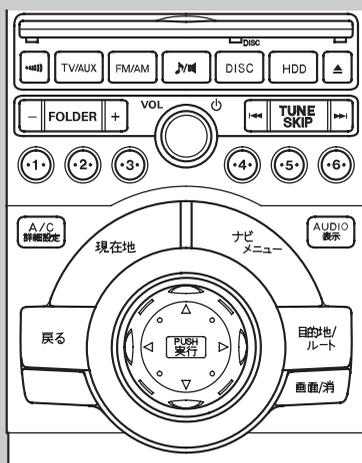
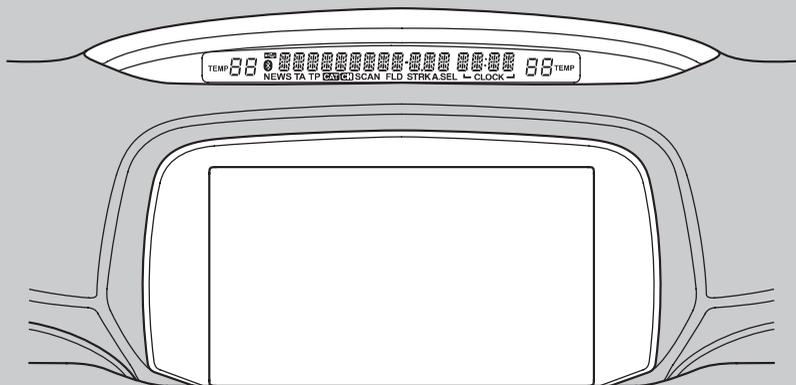


⚠ 注意

- 次のようなかたは、熱すぎたり低温やけどをすることがありますので、ご使用になるときは十分注意してください。
 - ・ 乳幼児、お子さま、お年寄、病気のかた、体の不自由なかた。
 - ・ 皮ふの弱いかた。
 - ・ 疲労の激しいかた。
 - ・ 深酒やねむけをさそう薬(睡眠薬、かぜ薬など)を使用されたかた。
- また、毛布や座ぶとんなどの保温性の高いものをかけて使用すると、低温やけどをすることがあります。

オーディオ

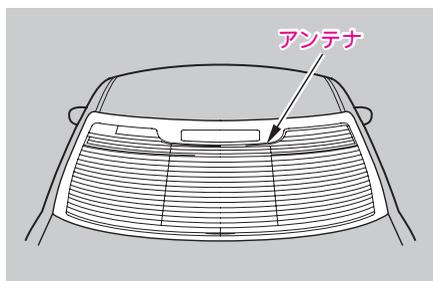
オーディオ・テレビ・DVDの取り扱いについては、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。





アンテナ

リヤガラス内側にアンテナ線があります。



知識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

リヤカメラシステム

リヤカメラシステムについて

リヤカメラシステムは、エンジンスイッチノブが「II」のとき、セレクトレバーをRの位置に入れるとナビゲーションシステムの液晶画面に車両後方の映像を表示させるシステムです。リヤカメラシステムは、後退時に車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。

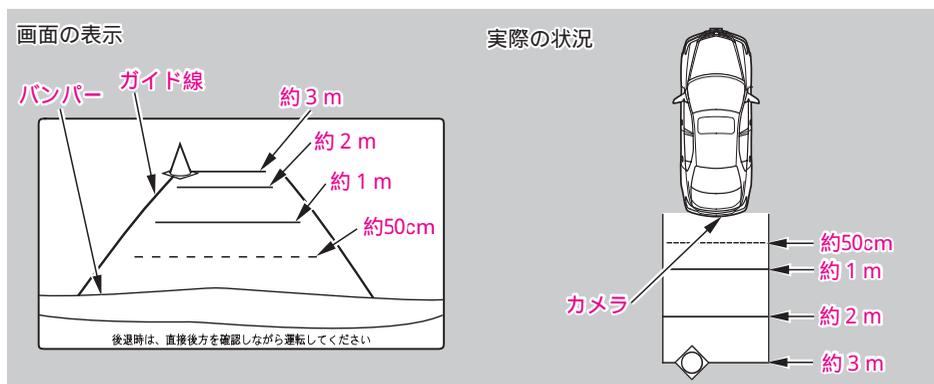
注意

- 後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。また画面を見るときは、必要最小限にしてください。
画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。



画面に表示される映像の範囲

車両後方約 3 m まで表示されます。



知識

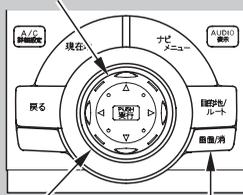
- リヤカメラシステムの映像は、ナビゲーション画面よりも優先して表示されます。
- エンジン始動直後は、セレクトレバーを R の位置に入れてもリヤカメラシステムのガイド線は表示されません。
- リヤカメラシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパーの下にある物は表示されません。
- カメラのレンズが汚れていると、鮮明な映像が表示されません。
レンズが汚れたときは、水や中性洗剤、ガラスクリーナーなどで汚れを拭き取ってください。(ベンジンやシンナー、クレンザーなどの磨き粉類は絶対に使わないでください。レンズが破損する原因となります。)
- 次の場合、映像が見えにくくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 夜間または暗い所。
 - ・ カメラのレンズに直接光が入ったとき。(カメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ます)
 - ・ カメラの温度が高いとき。
 - ・ カメラのレンズに水滴が付いたとき。

ガイド線の消しかた

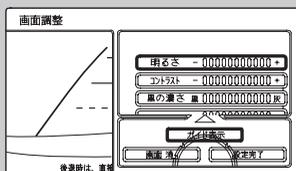
画面に表示しているガイド線を消すことができます。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- ② エンジンスイッチノブを“II”にして、セレクタレバーをRにします。
- ③ 画面スイッチを押すと、画面調整画面が表示されます。

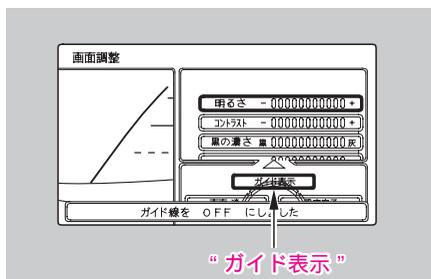
ジョイスティック



コマンドホイール 画面スイッチ



- ④ ジョイスティックを下に倒し、コマンドホイールを回して「ガイド表示」を選び、ジョイスティックを押します。



もう一度ガイド線を表示するときは、①～④の操作を繰り返します。

知識

- 安全のためにエンジンを停止した状態で操作を行ってください。

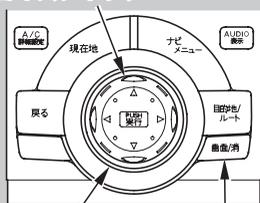


色調整のしかた

画面の色合いと色の濃さを調整することができます。

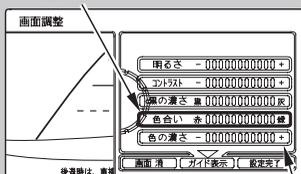
- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- ② エンジンスイッチノブを“II”にして、セレクトレバーをRにします。
- ③ 画面スイッチを押します。
- ④ コマンドホイールを回して色合いまたは色の濃さを選び、ジョイスティックを押して調整したい項目を決定します。

ジョイスティック



コマンドホイール 画面スイッチ

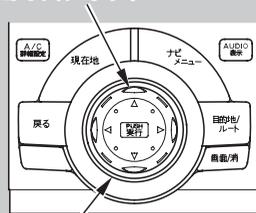
色合い



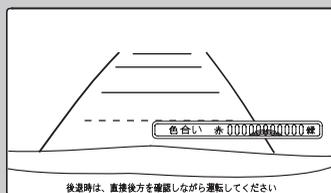
色の濃さ

- ⑤ コマンドホイールを回して調整し、ジョイスティックを押すと、元の画面に戻ります。
色合い……………赤↔緑
色の濃さ……………-(薄い)↔+(濃い)

ジョイスティック



コマンドホイール



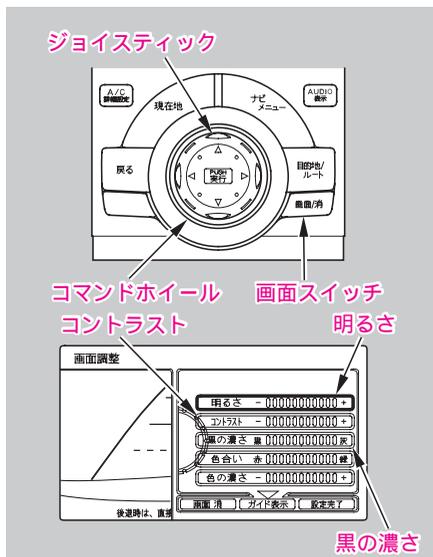
知識

- 安全のためにエンジンを停止した状態で操作を行ってください。

画面調整のしかた

画面の明るさやコントラスト、黒の濃さを調整することができます。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- ② エンジンスイッチノブを“II”にして、セレクトレバーをRにします。
- ③ 画面スイッチを押します。
- ④ コマンドホイールを回して明るさ、コントラストまたは黒の濃さを選び、ジョイスティックを押して調整したい項目を決定します。



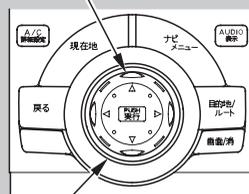
- ⑤ コマンドホイールを回して調整し、ジョイスティックを押すと、元の画面に戻ります。

明るさ……………-(暗い)↔+(明るい)

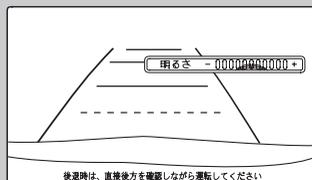
コントラスト……-(弱い)↔+(強い)

黒の濃さ……………黒↔灰

ジョイスティック



コマンドホイール



知識

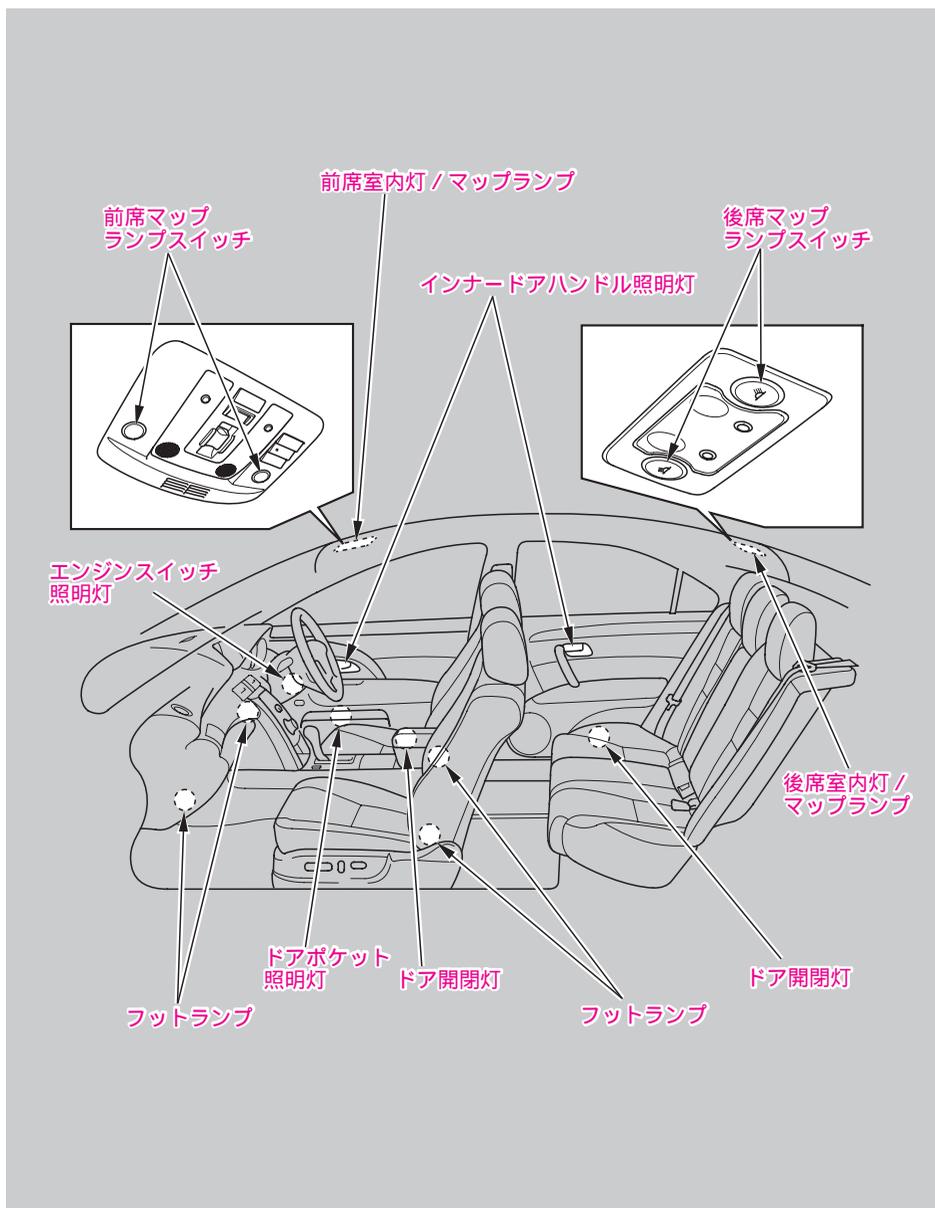
- 安全のためにエンジンを停止した状態で操作を行ってください。

4.ドライブを快適にする装備

リヤカメラ
システム



照明灯





室内灯

室内灯スイッチ

前席室内灯、後席室内灯を次のように点灯、消灯することができます。



“ON”スイッチ

スイッチを押すと、前後室内灯はドアの開閉に関係なく点灯します。

“DOOR”スイッチ(表示灯点灯)

スイッチを押すと表示灯が点灯します。前後室内灯はドアを開けると点灯し、閉めると約30秒後に減光しながら消灯します。

次の場合にも点灯し、約30秒後に減光しながら消灯します。

- ・運転席ドアを解錠したとき
(ウェルカムライト機能)
- ・エンジンスイッチノブを“0”(プッシュオフ)にしたとき
- ・内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたとき

知識

- 前席室内灯の“ON”スイッチを押して点灯しているときは、室内灯はドアを閉めても消灯しません。

“OFF”スイッチ

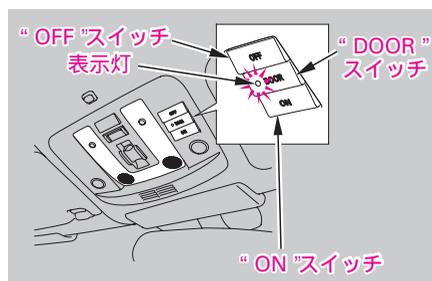
スイッチを押すと、前後室内灯はドアの開閉に関係なく消灯します。

知識

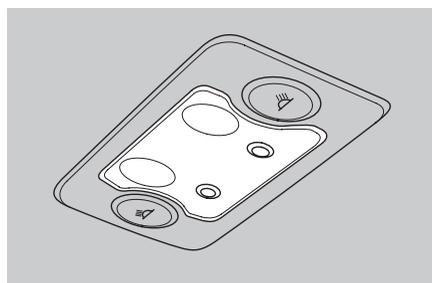
- 前席マップランプと後席マップランプのスイッチを押して点灯しているときでも消灯します。
- “OFF”スイッチで消灯した場合でも、前席マップランプと後席マップランプのスイッチを押せば再度点灯します。

マップランプ 310ページ

前席室内灯



後席室内灯



知識

- 次の操作を行ったときは、室内照明は減光せずにすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチノブが“0” (プッシュオフ) 以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれている状態で運転席ドアを閉めたとき
- 室内照明の点灯時間を変更することができます。
(工場出荷時は、30秒に設定されています。)

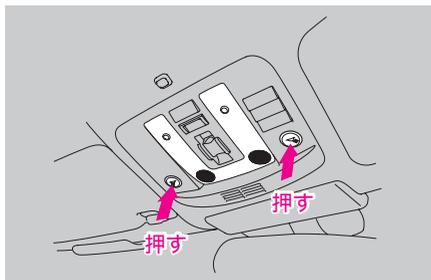
カスタマイズ機能 330ページ

- エンジンスイッチノブが“0” (プッシュオフ) 以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “DOOR”スイッチの表示灯が点灯中、エンジンスイッチノブが“0” (プッシュオフ) のとき、または内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約15分後に減光しながら消灯します。
但し、次のような状態のときは各照明灯は消灯しません。
 - ・ 前席室内灯、後席室内灯は、マップランプのスイッチを押してマップランプが点灯している状態のとき

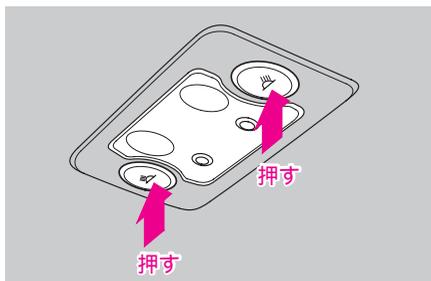
マップランプ

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

前席用



後席用



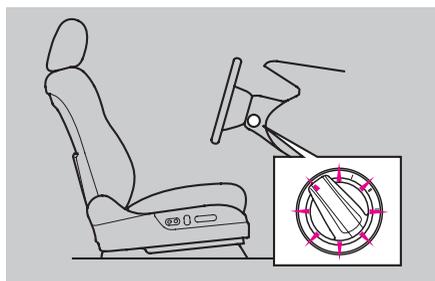
知識

- “DOOR”スイッチの表示灯が点灯中でドアが開いているときは、マップランプスイッチを押しても消灯しません。
- 車外からすべてのドアを施錠するとマップランプは消灯します。



エンジンスイッチ照明灯

運転席ドアを開けると点灯します。
運転席ドアを閉めると約30秒後に消灯します。



知識

- 次の操作を行ったときは、エンジンスイッチ照明灯はすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチノブが“0”（プッシュオフ）以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれている状態で運転席ドアを閉めたとき
- 室内照明の点灯時間を変更することができます。（工場出荷時は、30秒に設定されています。）

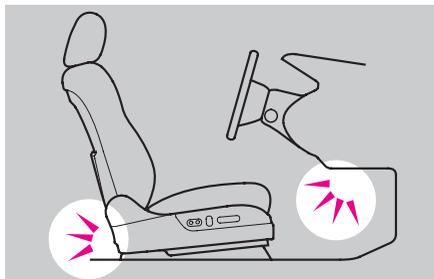
カスタマイズ機能 330ページ
- エンジンスイッチノブが“0”（プッシュオフ）以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもエンジンスイッチ照明灯は点灯しません。
- エンジンスイッチノブが“0”（プッシュオフ）のとき、または内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると、約15分後に消灯します。

フットランプ

ドアを開けると点灯します。
エンジンスイッチノブが“ 0 (プッシュオフ) ”のとき、または内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、運転席ドアを閉めると約30秒後に消灯します。

それ以外のときは、ドアを閉めると消灯します。

ライトスイッチが“ OFF ”以外のとき (“ AUTO ”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ) フットランプが点灯します。



知識

- 次の操作を行ったときは、フットランプはすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチノブが“ 0 ” (プッシュオフ) 以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれている状態で運転席ドアを開めたとき
- 室内照明の点灯時間を変更することができます。
(工場出荷時は、30秒に設定されています。)

カスタマイズ機能 330ページ

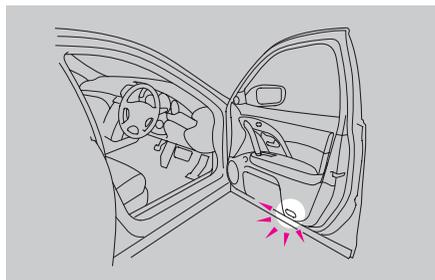
- エンジンスイッチノブが“ 0 (プッシュオフ) ”以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもフットランプは点灯しません。
- エンジンスイッチノブが“ 0 (プッシュオフ) ”のとき、または内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると、約15分後に消灯します。



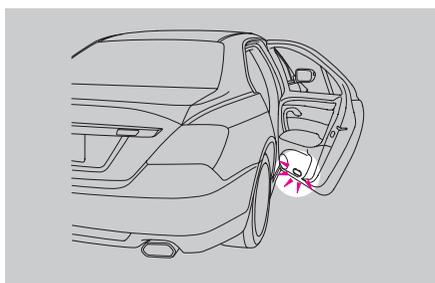
ドア開閉灯

ドアを開けると点灯します。
閉めると消灯します。

前席ドア



後席ドア



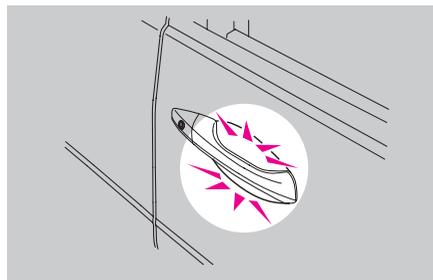
知識

- バッテリー保護のためドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

ドアハンドル照明灯

アウタードアハンドル照明灯

キーレスエントリー、内蔵キーを使ってドアを解錠(施錠)すると点灯(消灯)します。



知識

- キーレスエントリーまたは内蔵キーを使って解錠して、ドアを開けなかった場合は、約30秒後に消灯します。

インナードアハンドル照明灯

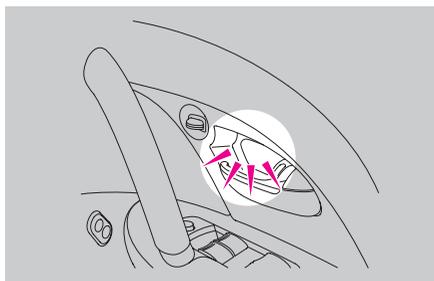
ドアを開けると点灯し、閉めると約30秒後に消灯します。

また、次の場合にも点灯しその後消灯します。

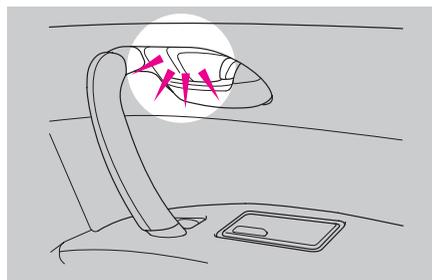
- ・車内からドアを解錠したとき
- ・エンジンスイッチノブを“0”(プッシュオフ)にしたとき
- ・内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたとき

ライトスイッチが“OFF”以外のとき(“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)照明灯が点灯します。

前席



後席



知識

- 次の操作を行ったときは、インナーハンドル照明灯はすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
 - ・ エンジンスイッチノブが“0”(プッシュオフ)以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれている状態で運転席ドアを開めたとき
- エンジンスイッチノブが“0”(プッシュオフ)以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもインナーハンドル照明灯は点灯しません。
- エンジンスイッチノブが“0”(プッシュオフ)のとき、または内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。



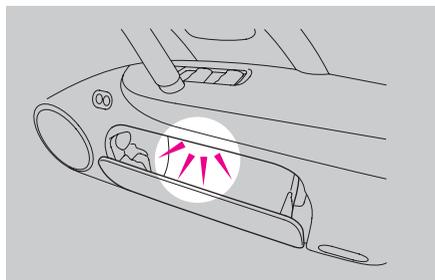
ドアポケット照明灯

ドアを開けると点灯し、閉めると約30秒後に消灯します。

また、次の場合にも点灯しその後消灯します。

- ・車内からフロントドアを解錠したとき
- ・エンジンスイッチノブを“0 (プッシュオフ)”にしたとき
- ・内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたとき
- ・エンジンスイッチノブが“0 (プッシュオフ)”以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれている状態で運転席ドアを閉めたとき

ライトスイッチが“OFF”以外のとき (“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)照明灯が点灯します。



知識

- 次の操作を行ったときは、ドアポケット照明灯はすぐに消灯します。
 - ・ 運転席ドアを施錠したとき。
- エンジンスイッチノブが“0 (プッシュオフ)”以外、または内蔵キーがエンジンスイッチに差し込まれているときは、運転席ドアを解錠してもドアポケット照明灯は点灯しません。
- エンジンスイッチノブが“0 (プッシュオフ)”のとき、または内蔵キーがエンジンスイッチから抜かれているときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると、約3分後に消灯します。

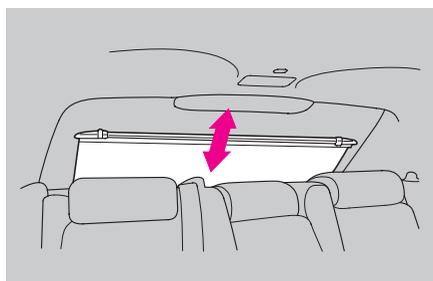
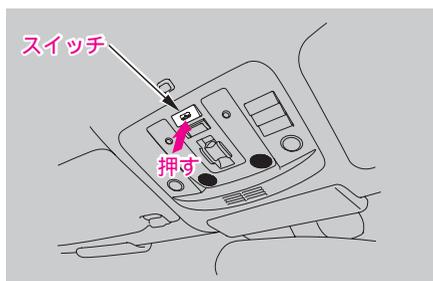
室内装備品

リヤサンシェード

タイプ別装備

エンジンスイッチノブが[※]II のときリヤサンシェードの上昇・下降ができます。スイッチを押すごとにリヤサンシェードが上昇・下降します。

セレクトレバーをRに入れると、自動的に下降します。自動的に再上昇はしませんので、上昇させるときはセレクトレバーをR以外に入れ、再度スイッチを押してください。



⚠ 警告

- リヤサンシェードに手をかけないでください。リヤサンシェード収納時に、布や手を巻き込むなど思わぬ事故につながるばかりでなく、故障により、後方の視界を確保できなくなるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- リヤサンシェードを操作するときには、故障の原因にならないように、次のことをお守りください。
 - ・ リヤシェルフの上に荷物などを置かないでください。
 - ・ リヤサンシェードに無理な力を加えないでください。
- リヤサンシェードの操作中に、途中で止まった場合は、障害物の有無を確認してください。



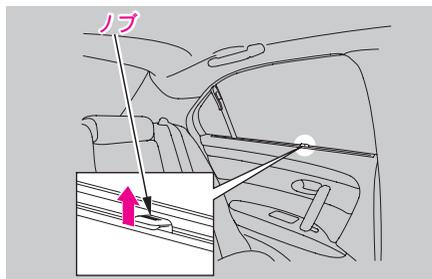
知識

- リヤサンシェードを頻繁に上昇・下降を繰り返していると、一時的にリヤサンシェードの作動が停止することがあります。故障ではありません。数秒後にスイッチを押して操作を再開してください。
- セレクトレバーをRに入れても、すぐにR以外の位置に動かした場合は、リヤサンシェードは自動的に下降しません。
- リヤサンシェードをお手入れする場合は、エンジンスイッチノブを“0”にして中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、フレームやスクリーンを強く引っ張らないように汚れを落としてください。
- リヤサンシェードが動かなくなった場合は無理な力を加えずに、Honda販売店で点検を受けてください。

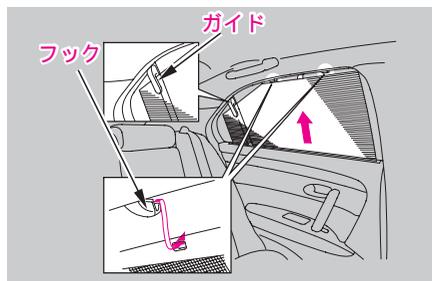
サイドサンシェード

タイプ別装備

使用するときにはノブを持って引き上げます。



サンシェードをガイドに通し、フックにかけてください。



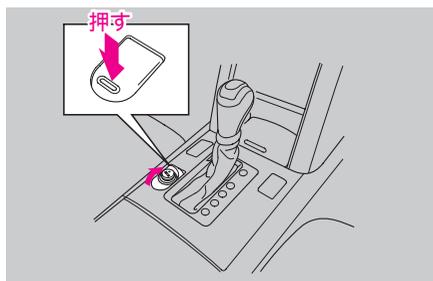
注意

- フックにはサンシェード以外の物はかけないでください。衝突時サイドカーテンエアバッグの展開の妨げになるおそれがあります。また、走行中は、窓を閉めてください。風にあおられてサンシェードがフックから外れるおそれがあります。

シガレットライター

エンジンスイッチノブが「I」または「II」のときだけ使えます。

▼
矢印部分を押しとフタが浮き上がります。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターの差し込み口からは、Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、Honda販売店で点検を受けてください。

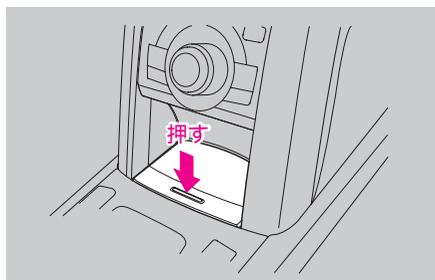


灰皿

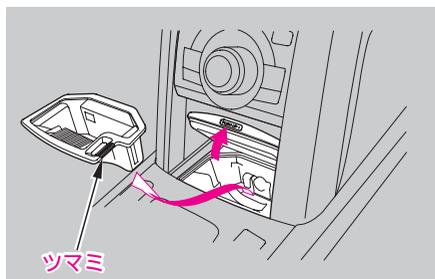
ライトスイッチが“ OFF ”以外のとき (“ AUTO ”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ) 照明灯が点灯します。

前席用

灰皿はフタを押すと開きます。



清掃するときは、フタを押し上げて灰皿を浮かし、つまみを持って取り外します。

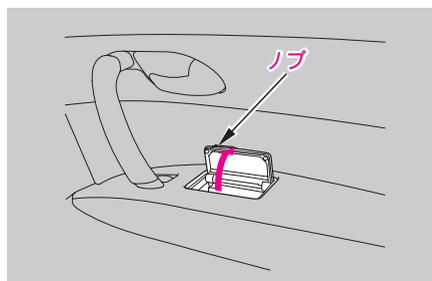


知識

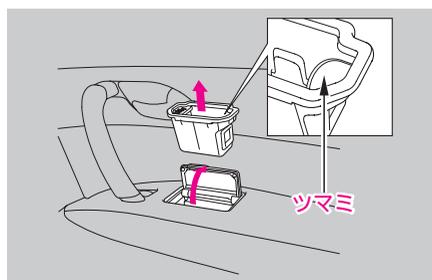
- 前席用灰皿を取り外すときは、セレクトレバーをNの位置にすると、取り外しやすくなります。

後席用

灰皿はノブを引いて開きます。



清掃するときはつまみを持って、灰皿本体を引き抜きます。



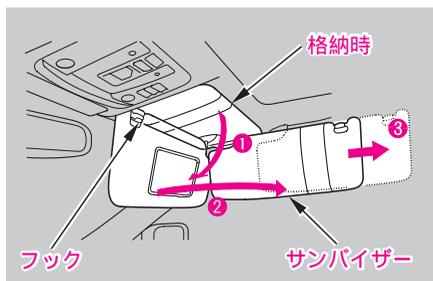
注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすい物を入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。

サンバイザーは必要に応じて引き伸ばすことができます。



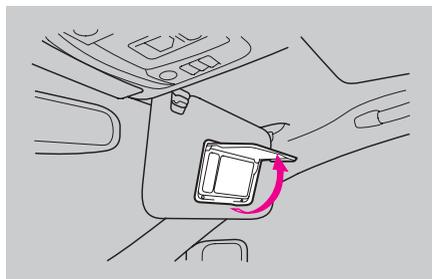
元に戻すときは、逆の手順で行います。

⚠ 注意

- サンバイザーを伸ばしたまま元の位置へ戻さないでください。伸ばしたまま戻すと、ルームミラーが隠れ、後方の視界の妨げになり危険です。

バニティミラー(化粧鏡)

サンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。



フタを開けると照明灯が点灯します。

🎓 知識

- 使わないときはフタを閉じておいてください。
バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。



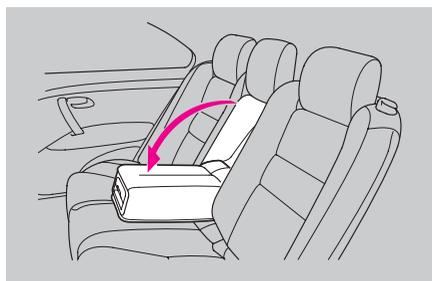
チケットホルダー

運転席側のサンバイザーにあります。



アームレスト(後席ひじ掛け)

引き出してアームレストとして使えます。



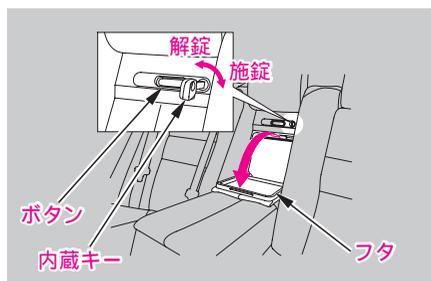
⚠ 注意

- シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。

アームレストスルー

ボタンを押すと、開きます。トランクルーム内の小物の出し入れができます。フタは元に戻して押しつければ、固定されます。

内蔵キーを差し込んで施錠(解錠)することができます。



⚠ 警告

- 走行中は荷物の出し入れはしないでください。
急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

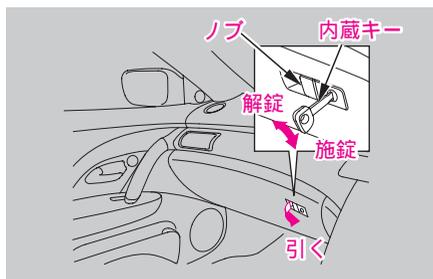
小物入れ

グローブボックス

ノブを引くと開きます。

内蔵キーを差し込んで施錠(解錠)できます。

ライトスイッチが“ OFF ”以外のとき
 (“ AUTO ”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ) 照明灯が点灯します。



⚠ 警告

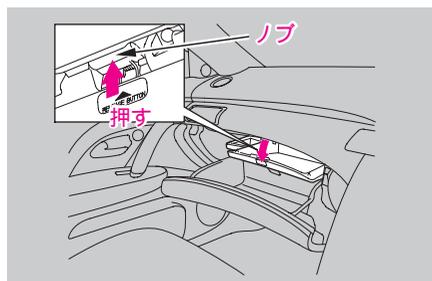
- 走行中は、グローブボックスのフタを必ず閉めてください。グローブボックスのフタが開いていると、衝突したときなどにフタにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

書類入れ

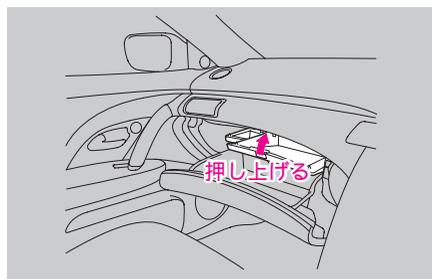
グローブボックスの中に書類入れがあります。

車検証、取扱説明書などを入れておくのに便利です。

開けるときはノブを押します。



閉めるときは上へ押し上げます。



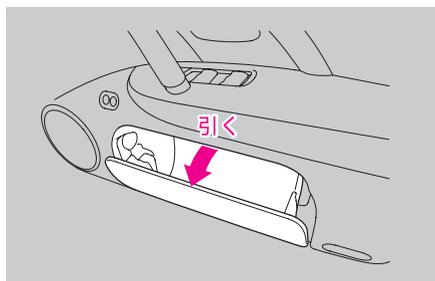


ドアポケット

前席ドアポケットは、手前に引くと開きます。

ライトスイッチが“OFF”以外のとき (“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)照明灯が点灯します。

ドアポケット照明灯 315ページ



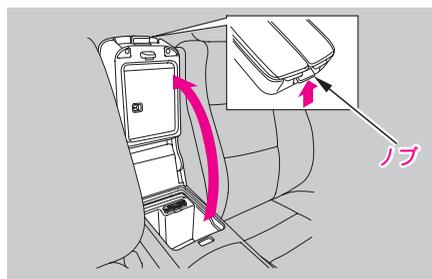
知識

- 重い物 (約1 5kg以上) を入れないでください。重い物を入れた場合、ドアを閉めたときドアポケットが開くことがあります。また、物を出し入れた後は、ドアポケットを閉めてください。
- 安全のため、走行中はドアポケットを開けておいてください。

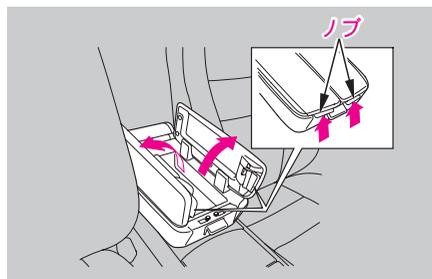
コンソールボックス

下側のノブを引くと開きます。

ライトスイッチが“OFF”以外のとき (“AUTO”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)照明灯が点灯します。



フタの中も小物入れとして使えます。上側の左右いずれかのノブを引いて開けます。



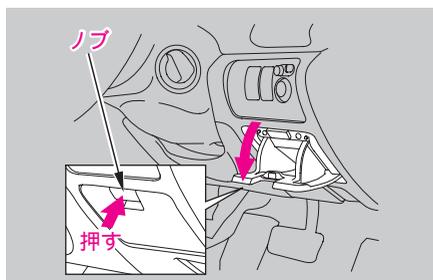
警告

- フタを開けたまま、走行しないでください。急ブレーキ等で収納物が飛び出すことがあります。

コインポケット

ノブを押すと開きます。小銭を入れておく
と有料道路の料金所などで便利です。

ライトスイッチが“ OFF ”以外のときに
（“ AUTO ”のときは車幅灯やヘッドライ
トが点灯しているときのみ）照明灯が点
灯します。



カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

⚠ 注意

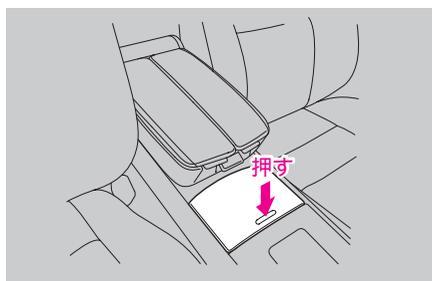
- オーディオやスイッチなどの電装
品に飲み物などをこぼさないよう
に注意してください。
故障の原因となったり、車両火災
につながるおそれがあります。
万一、電装品に飲み物をこぼした
ときは、Honda販売店にご相談
ください。

🎓 知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の
動きなどで飲み物がこぼれること
があります。
熱い飲み物などはやけどのおそれ
がありますので注意してください。

前席用

カップホルダーを使うときは、フタを押
します。

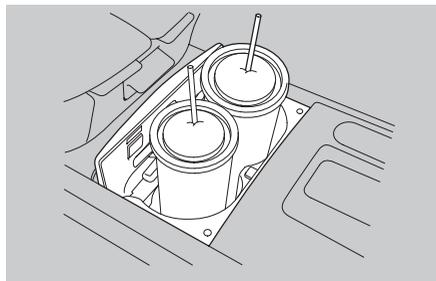
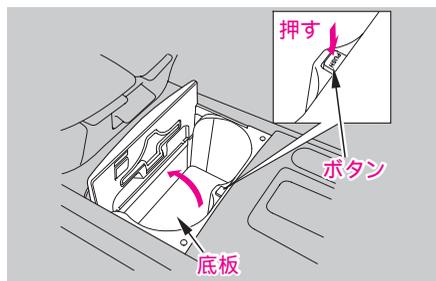




仕切板を使うときは、フタにあるノブを引き上げてください。ノブを引き上げると仕切板がたおれます。カップなどを置いて不安定なときに、使うと便利です。

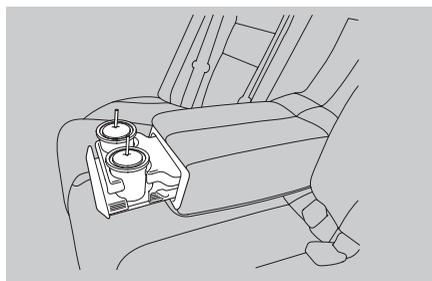
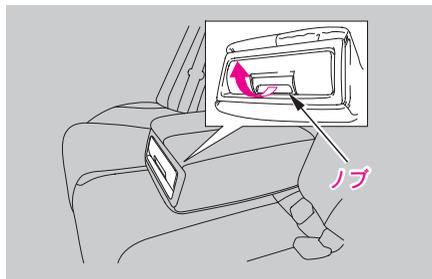


ボタンを押すと底板が起き上がります。背の高いカップのときなどは底板を起こします。



後席用

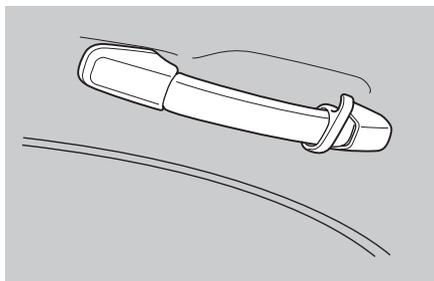
アームレストを引き出して使います。カップホルダーは、ノブを引き上げると手前へ出てきます。



格納するときは、そのまま押し込みます。

コートフック

後席右側のグラブレールにあります。

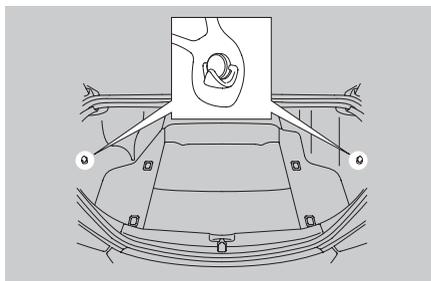


⚠ 注意

- コートフックにハンガーや重い物、とがった物をかけないでください。サイドカーテンエアバッグが作動したときに、これらの物が飛んでけがをするおそれがあります。服をかけるときは、ハンガーを使用せずにコートフックに直接服をかけてください。

荷物フック

トランクルーム内にフックがあります。



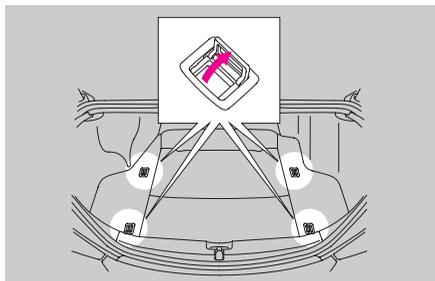
🎓 知識

- 重い物(約 3 kg 以上)や大きな物をかけないでください。特に、重い物をかけるとフックが外れることがあります。



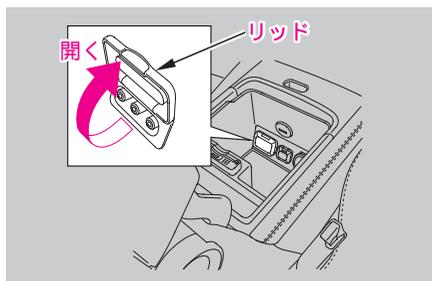
トランクフロアフック

フックを引き起こして使います。ネットなどで荷物を固定するときに便利です。



AV入力端子

使用するときには、カバーを開けて、入力端子にビデオ機器などの端子を差し込みます。



詳細に関しては、別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書をご覧ください。

アクセサリースOCKET

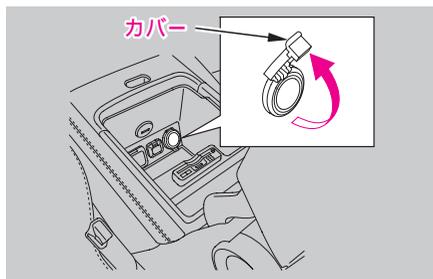
エンジンスイッチノブが「I」または「II」のときだけ使えます。

▼
コンソールボックスの中にアクセサリースOCKETがあります。

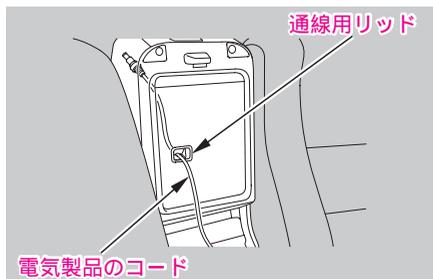
カバーを開けて使用します。

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

(消費電力120W[12ボルト、10アンペア]まで使用できます。)



電気製品のコードをコンソールボックスのフタにはさんで損傷しないように通線用リッドに通してください。



知識

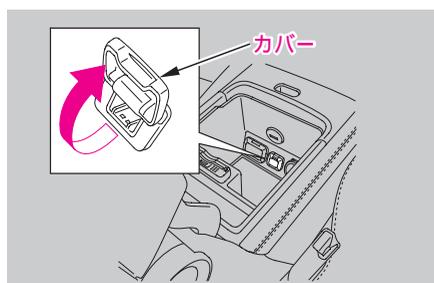
- Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリースOCKETを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。
- 通線用リッドに切り込みを入れる際はHonda販売店にご相談ください。



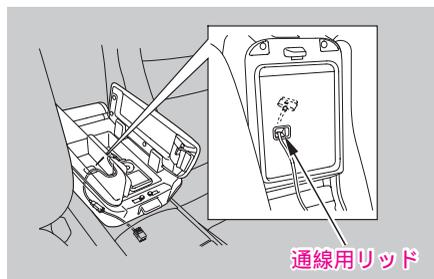
USB接続端子

付属のケーブルを使って、市販のポータブルオーディオなどを、コンソールボックスの中にあるUSB接続端子に接続してきてることができます。

カバーを開けて使います。



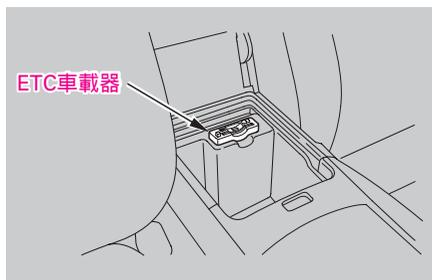
ポータブルオーディオなどのコードをコンソールボックスのフタにはさんで損傷しないように通線用リッドに通してください。



詳細に関しては、別冊のHondaインターナビシステムの取扱説明書をご覧ください。

ETC(有料道路自動料金支払いシステム)車載器

コンソールボックスの中にあります。



詳細に関しては、別冊のHondaインターナビシステムの取扱説明書をご覧ください。

カスタマイズ機能

カスタマイズ機能について

マルチインフォメーションディスプレイを使って、一覧にある機能の設定を変更することができます。ドライバー 1 のHondaスマートキーまたはキーレスエントリーで解錠したときは、ドライバー 1 の設定ができます。ドライバー 2 のHondaスマートキーまたはキーレスエントリーで解錠したときは、ドライバー 2 の設定ができます。

カスタマイズ項目一覧

カスタマイズグループ	カスタマイズメニュー	選択できる設定内容	工場出荷時の設定
CMBS設定 ACC/LKAS装備車	CMBS警報タイミング 258ページ	FAR	NEAR
		NEAR	
ACC設定 ACC/LKAS装備車	先行車検知音 ACC/LKAS取扱説明書	有り	有り
		無し	
ナイトビジョン設定 インテリジェント・ナイトビジョンシステム 装備車	ナイトビジョン イルミコントロール インテリジェント・ナイト ビジョンシステム取扱説明書	40%	100%
		60%	
		80%	
		100%	
	ナイトビジョン起動設定 インテリジェント・ナイト ビジョンシステム取扱説明書	AUTO	MANUAL
MANUAL			
メーター設定 338ページ	外気温表示補正 130ページ	+ 3°C ~ - 3°C	± 0°C
	トリップ A の給油連動リセット 129ページ	連動	非連動
		非連動	

：ドライバー 1、ドライバー 2 の個別設定はできません。



カスタマイズグループ	カスタマイズメニュー	選択できる設定内容	工場出荷時の設定
メーター設定 338ページ	アラーム音量	大	中
	ACC/LKAS警告ブザー ACC/LKAS取扱説明書		
	インテリジェント・ナイト ビジョンシステムブザー インテリジェント・ナイト ビジョンシステム 取扱説明書		
	警告表示について 131ページ	中	
	シートベルト非着用警告ブザー 151ページ		
	エンジンスイッチノブロック解除 ブザー 162ページ		
	エンジンスイッチノブ警告ブザー 164ページ		
	内蔵キー抜き忘れ警告ブザー 171ページ	小	
	Hondaスマートキー持ち去り 車内警告ブザー 165ページ		
	ライト消し忘れ警告ブザー 173ページ		
パーキングブレーキ戻し忘れ 警告ブザー 192ページ			
リパースチャイム 194ページ			
CMBS警告ブザー 258ページ			
経過時間のリセット条件	IGN OFF	IGN OFF	
切り替え	TRIP A		
127ページ	TRIP B		

：“カスタマイズの連動”を“非連動”に設定すると、工場出荷時の設定に戻ります。（“メモリーシート連動”のみ“非連動”の設定になります。）

カスタマイズ機能とHondaスマートキーの非連動について 352ページ

：ドライバー 1、ドライバー 2 の個別設定はできません。

📖 知識

- カスタマイズしたすべての設定を初期化し、一度に工場出荷時の設定に戻すことができます。

設定をリセットする 354ページ

カスタマイズグループ	カスタマイズメニュー	選択できる設定内容	工場出荷時の設定
ポジション設定 340ページ	メモリーシート連動 102ページ	連動	連動
		非連動	
	チルト/テレスコ自動跳ね上げ 94ページ	作動	作動
		非作動	
Hondaスマートキーシステム設定 342ページ	アンサーバック・ブザー音量 49、50、56ページ	大	大
		小	
	ドアハンドル操作 アンサーバック・ブザー 49、50、56ページ	作動	作動
		非作動	
	カスタマイズの連動 43ページ	連動	連動
非連動			
ライティング設定 344ページ	インテリアライト点灯時間 309、310ページ	15秒	30秒
		30秒	
		60秒	
	オートライト感度 172ページ	MAX	MID
		HIGH	
		MID	
		LOW	
	MIN		

：“カスタマイズの連動”を“非連動”に設定すると、工場出荷時の設定に戻ります。（“メモリーシート連動”のみ“非連動”の設定になります。）

カスタマイズ機能とHondaスマートキーの非連動について 352ページ

4.ドライブを快適にする装備

カスタマイズ
機能



カスタマイズグループ	カスタマイズメニュー	選択できる設定内容	工場出荷時の設定
ドア/ウィンドウ 設定 346ページ	自動ドアロック連動機能 55ページ	車速連動	車速連動
		シフト連動	
		非連動	
	自動ドアアンロック連動機能 55ページ	シフト連動	シフト連動
		IG OFF連動	
		非連動	
	キーレス・アンサーバック 51ページ	作動	作動
		非作動	
	キーレス・リロック時間 51ページ	30秒	30秒
		60秒	
		90秒	
	セキュリティ機能 85ページ	作動	作動
非作動			
パワーウィンドウ(サンルーフ) キーシリンダー連動 77、81ページ	連動	連動	
	非連動		
パワーウィンドウ(サンルーフ) キーレス連動 76、81ページ	連動	連動	
	非連動		
パワーウィンドウ(サンルーフ) キーオフタイマー時間 78、82ページ	0秒	10分	
	45秒		
	10分		
ワイパー設定 350ページ	オートワイパー動作 181ページ	オート	オート
		間欠動作	
		車速連動	
	ワイパーウォッシャー連動 182ページ	連動	連動
		非連動	
	ワイパー発進時動作 181ページ	作動	作動
非作動			

：“カスタマイズの連動”を“非連動”に設定すると、工場出荷時の設定に戻ります。（“メモリーシート連動”のみ“非連動”の設定になります。）

カスタマイズ機能とHondaスマートキーの非連動について 352ページ

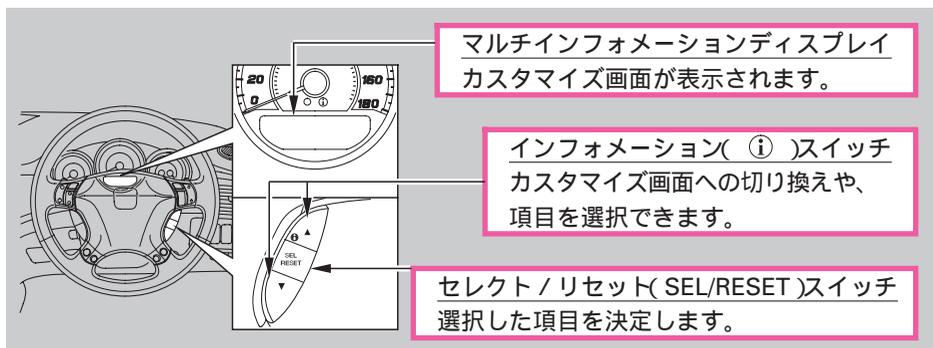
知識

- カスタマイズしたすべての設定を初期化し、一度に工場出荷時の設定に戻すことができます。

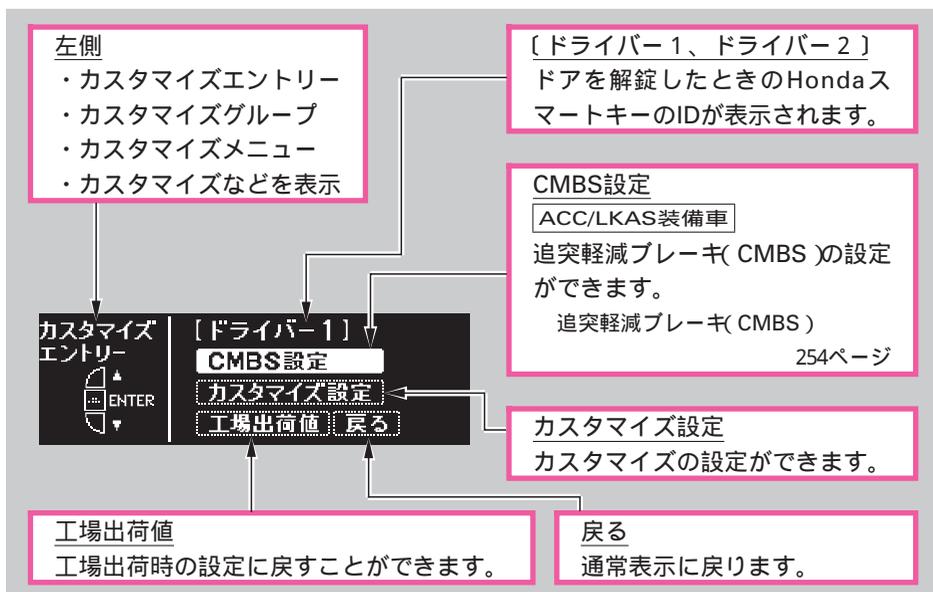
設定をリセットする 354ページ

スイッチの使いかたとカスタマイズ画面の見かた

スイッチ



カスタマイズ画面



知識

- 選択している項目は、背景が白くなります。



カスタマイズのしかた

エンジンスイッチノブが「II」で、セレクトレバーがPのときにカスタマイズ操作を行うことができます。例として「トリップAの給油連動リセット」を「連動」に設定する方法を説明します。

知識

- カスタマイズ操作の途中で、エンジンスイッチノブを「I」または「0」にしたたり、セレクトレバーをP以外にしたときは、通常表示に戻ります。このとき、変更途中の設定は変更されず元の設定のままになります。

- ①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押すと、マルチインフォメーションディスプレイが「カスタマイズエントリー」画面に切り換わります。

インフォメーション(①)スイッチ

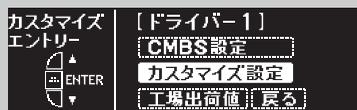


SEL/RESETスイッチ

知識

- インフォメーション(①)スイッチを押すごとに、画面上の項目の選択ができ、SEL/RESETスイッチを押して決定します。

- ②「カスタマイズ設定」を選択し、決定すると「カスタマイズグループ」画面に切り換わります。



- ③カスタマイズグループの「メーター設定」を選択し、決定すると「カスタマイズメニュー」画面に切り換わります。

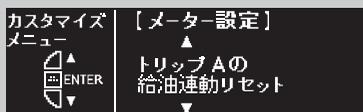


🎓 知識

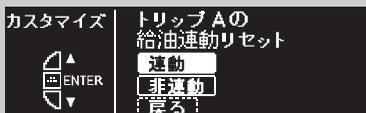
- カスタマイズグループおよびカスタマイズメニューの編成はカスタマイズ項目一覧で確認できます。

カスタマイズ機能 330ページ

- ④ “カスタマイズメニュー”の “トリップ A の給油連動リセット” を選択し、決定すると “カスタマイズ” 画面に切り換わります。



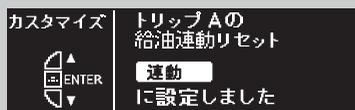
- ⑤ “連動” を選択し決定します。



🎓 知識

- “戻る” を選択すると、設定されずに 1 つ前の画面へ戻ります。

- ⑥ “連動に設定しました” が約 2 秒間表示された後、“カスタマイズエントリー” 画面に戻ります。



- ⑦ “戻る” を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

🎓 知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る” を選択せずに手順②～⑥を繰り返し行います。

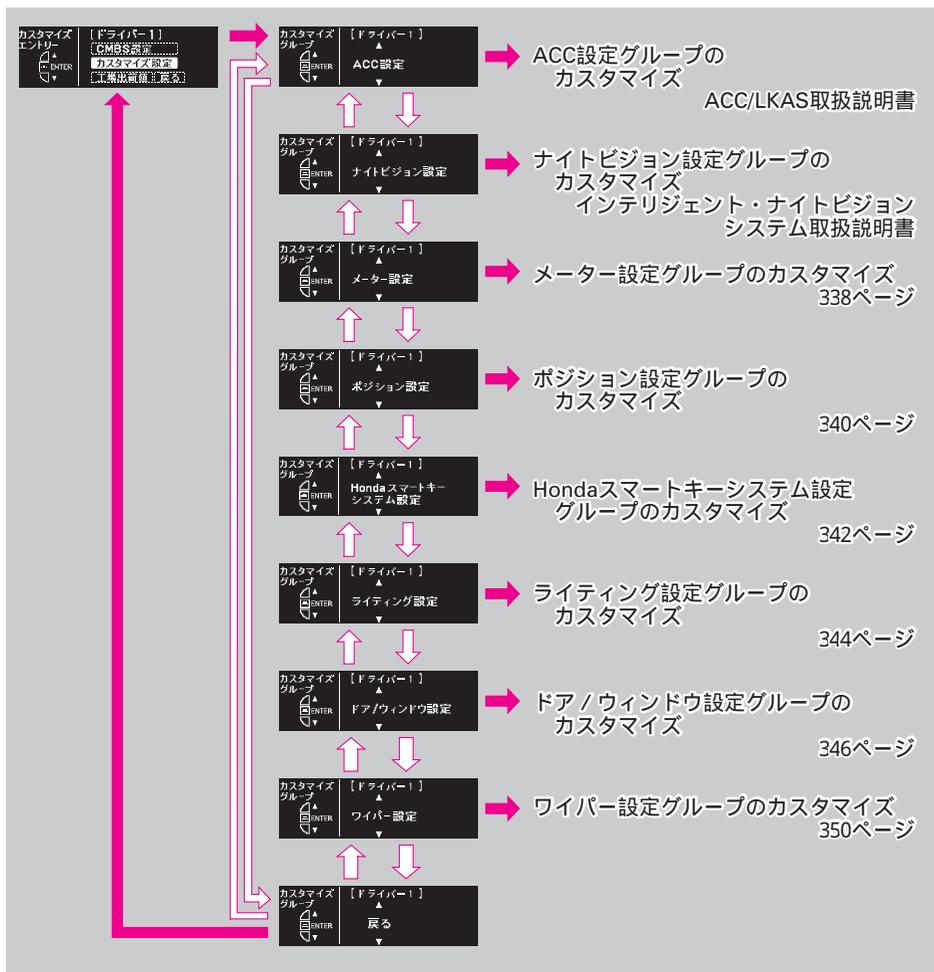


カスタマイズグループの選びかた

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

➡ インフォメーション(①)
スイッチを押す。(選択)

➡ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)



メーター設定グループのカスタマイズ

① ‘カスタマイズグループ’画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

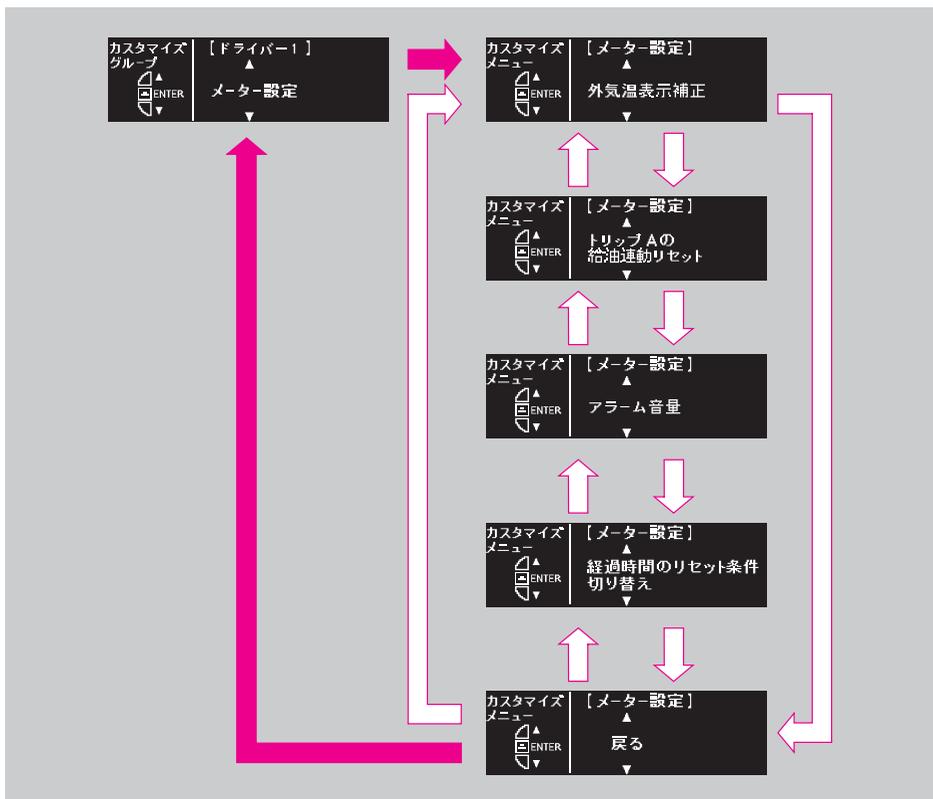
② ‘カスタマイズグループ’画面から‘メーター設定’を選択し、決定すると‘カスタマイズメニュー’画面に切り換わります。

③ カスタマイズしたい機能の‘カスタマイズメニュー’を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

⇒ インフォメーション(①)スイッチを押す。(選択)

⇒ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





④ 設定したい内容の表示を選択し、決定します。

 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	± 0 °C	外気温表示が + 3 °C ~ - 3 °C の範囲で 1 °C ごとに補正できます。
	+ 3 °C ~ - 3 °C	
	連動	TRIP A および平均燃費Aが給油時に自動的にリセットします。
	非連動	TRIP A および平均燃費Aは給油時に自動的にリセットしません。
	大	アラーム類の音量を3段階で設定できます。
	中	
	小	
	IGN OFF	エンジンを停止すると、経過時間表示がリセットします。
	TRIP A	TRIP A をリセットすると、経過時間表示がリセットします。
	TRIP B	TRIP B をリセットすると、経過時間表示がリセットします。

知識

- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

⑤ “...に設定しました”が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⑥ “戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返して行います。

ポジション設定グループのカスタマイズ

①「カスタマイズグループ」画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

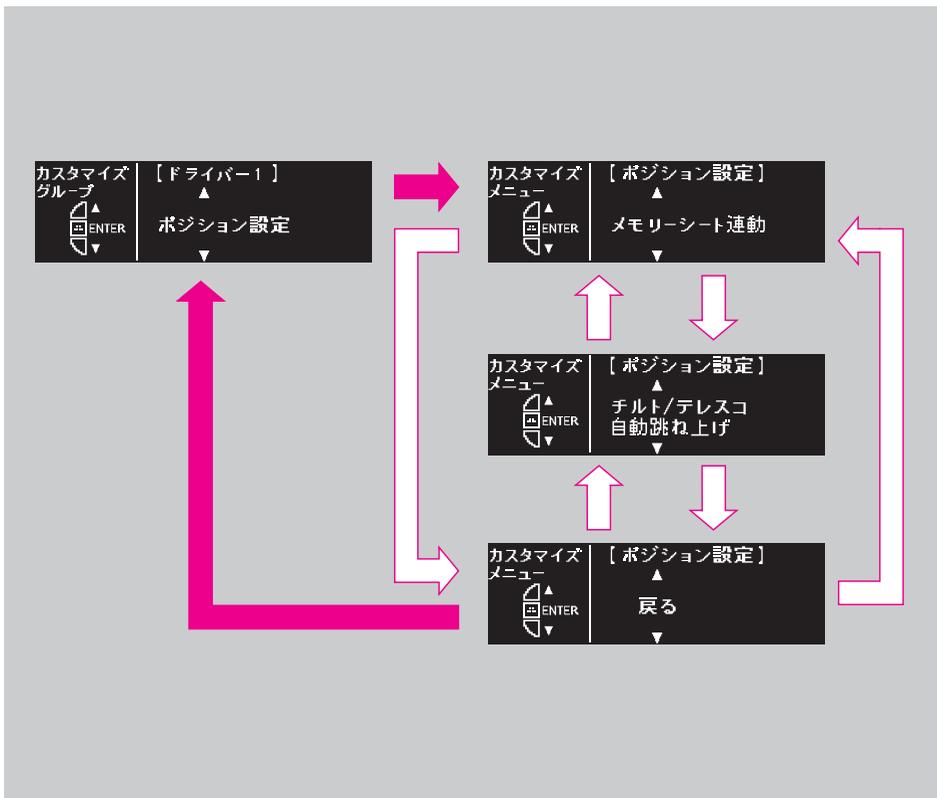
②「カスタマイズグループ」画面から「ポジション設定」を選択し、決定すると「カスタマイズメニュー」画面に切り換わります。

③カスタマイズしたい機能の「カスタマイズメニュー」を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

⇨ インフォメーション(①)スイッチを押す。(選択)

➡ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





④設定したい内容の表示を選択し、決定します。

 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	連動	Hondaスマートキーまたはキーレスエントリーで解錠するとシート、ドアミラー、ハンドル、ヘッドアップディスプレイ(インテリジェント・ナイトビジョンシステム装備車)の位置がメモリーされた位置に自動的に調節されます。
	非連動	Hondaスマートキーまたはキーレスエントリーで解錠するとシート、ドアミラー、ハンドル、ヘッドアップディスプレイ(インテリジェント・ナイトビジョンシステム装備車)の位置がメモリーされた位置に自動的に調節されません。
	作動	エンジンスイッチノブを“0 (プッシュオフ)”にしたとき、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたときに自動的にハンドルが跳ね上がります。
	非作動	エンジンスイッチノブを“0 (プッシュオフ)”にしたとき、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いたときに自動的にハンドルは跳ね上がりません。

知識

- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

⑤“...に設定しました”が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⑥“戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返し行います。

Hondaスマートキーシステム設定グループのカスタマイズ

① カスタマイズグループ画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

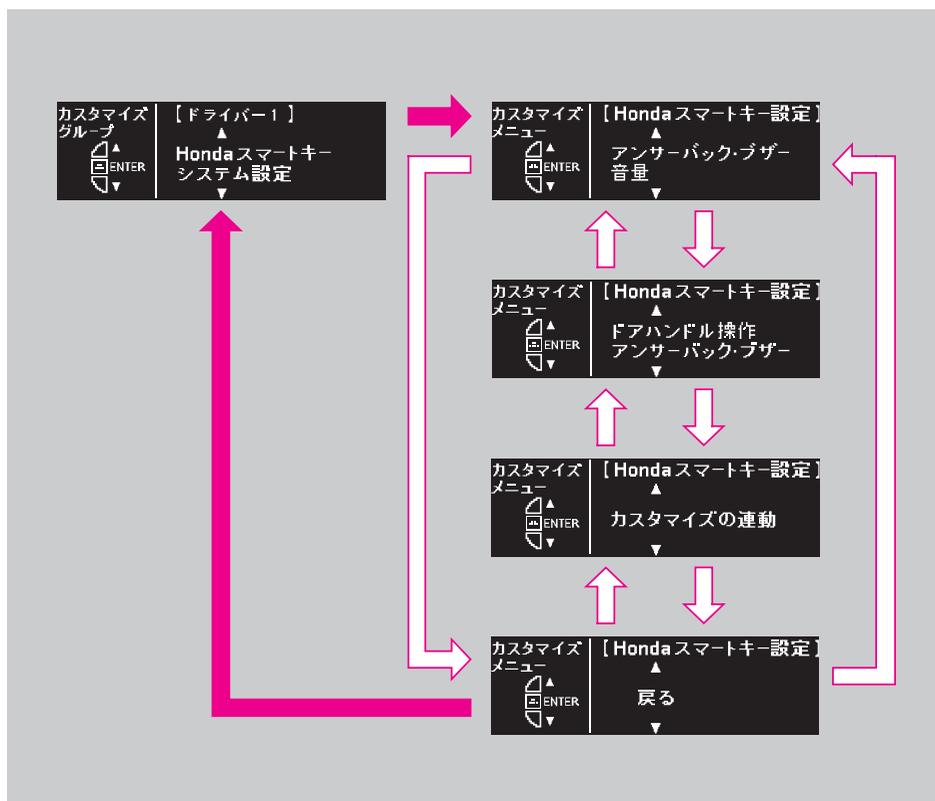
② カスタマイズグループ画面から“Hondaスマートキーシステム設定”を選択し、決定すると“カスタマイズメニュー”画面に切り換わります。

③ カスタマイズしたい機能の“カスタマイズメニュー”を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

⇨ インフォメーション(①)スイッチを押す。(選択)

➡ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





④設定したい内容の表示を選択し、決定します。

 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	大	Hondaスマートキーを使って施錠・解錠するときのブザー音量を大きくします。
	小	Hondaスマートキーを使って施錠・解錠するときのブザー音量を小さくします。
	作動	Hondaスマートキーを使って施錠・解錠したときにブザーが鳴ります。
	非作動	Hondaスマートキーを使って施錠・解錠したときにブザーは鳴りません。
	連動	カスタマイズ機能がHondaスマートキーまたはキーレスエントリーのドライバー1、ドライバー2に連動します。
	非連動	カスタマイズ機能がHondaスマートキーまたはキーレスエントリーのドライバー1、ドライバー2に連動しません。

: Hondaスマートキー持ち去り警告(車外警告ブザー)とHondaスマートキー閉じ込み防止ブザーの音量は切り換わりません。

知識

- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

⑤“...に設定しました”が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⑥“戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返し行います。

ライティング設定グループのカスタマイズ

①「カスタマイズグループ」画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

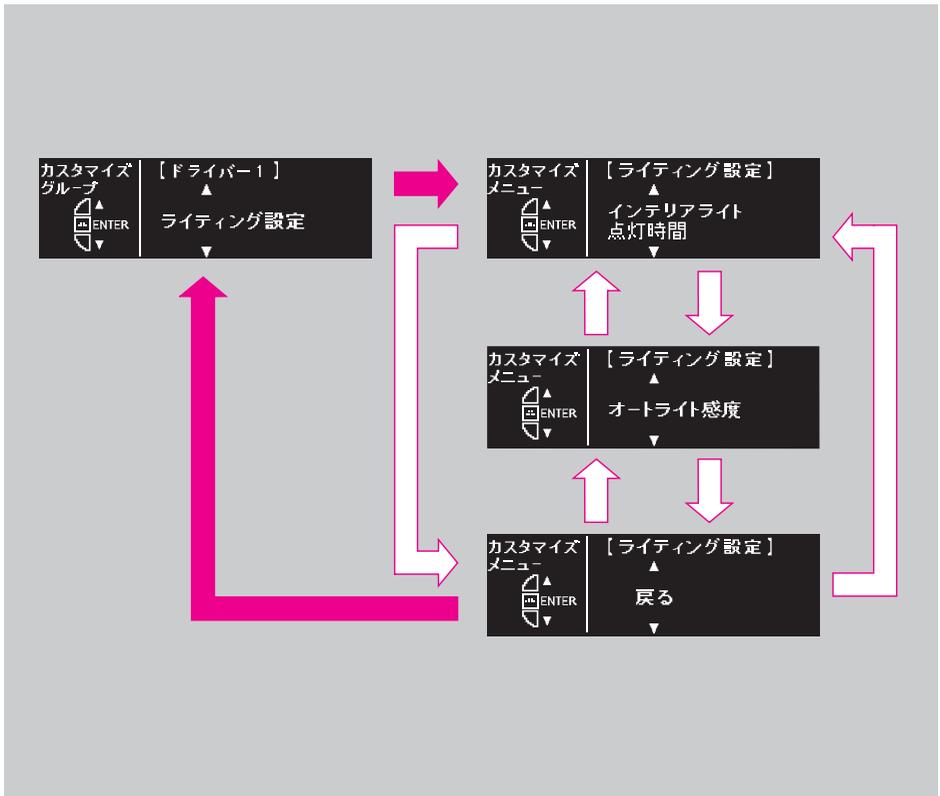
②「カスタマイズグループ」画面から「ライティング設定」を選択し、決定すると「カスタマイズメニュー」画面に切り換わります。

③カスタマイズしたい機能の「カスタマイズメニュー」を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

➡ インフォメーション(①)スイッチを押す。(選択)

➡ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





④ 設定したい内容の表示を選択し、決定します。

 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	60秒	ドアを開けてから約60秒後に室内灯が消灯します。
	30秒	ドアを開けてから約30秒後に室内灯が消灯します。
	15秒	ドアを開けてから約15秒後に室内灯が消灯します。
	MAX	オートライトコントロールのセンサーの感度を5段階で設定できます。 MAX : 外の明るさに対して、より敏感にライトを点灯、消灯します。 MIN : 外の明るさに対して、より鈍感にライトを点灯、消灯します。
	HIGH	
	MID	
	LOW	
	MIN	

知識

- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

⑤ “...に設定しました”が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⑥ “戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返して行います。

ドア/ウィンドウ設定グループのカスタマイズ

① “カスタマイズグループ”画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

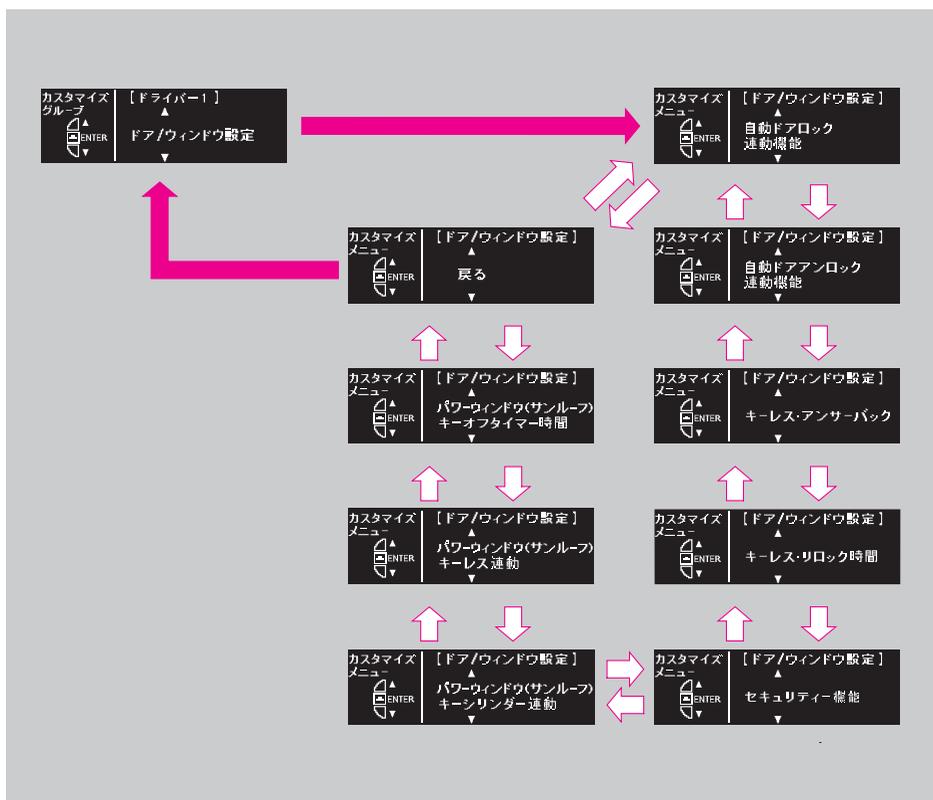
② “カスタマイズグループ”画面から“ドア/ウィンドウ設定”を選択し、決定すると“カスタマイズメニュー”画面に切り換わります。

③ カスタマイズしたい機能の“カスタマイズメニュー”を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

➡ インフォメーション(①)スイッチを押す。(選択)

➡ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





④設定したい内容の表示を選択し、決定します。

 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	非連動	自動的に施錠しません。
	車速連動	車速が約15km/h以上になると自動的に施錠します。
	シフト連動	セレクトレバーをPからP以外にすると自動的に施錠します。
	非連動	自動的に解錠しません。
	シフト連動	セレクトレバーをPにすると自動的に解錠します。
	IG OFF連動	エンジンスイッチノブを“II”から“I”または“0”にすると自動的に解錠します。
	作動	キーレスエントリーで施錠・解錠したときに非常点滅表示灯が点滅します。
	非作動	キーレスエントリーで施錠・解錠したときに非常点滅表示灯が点滅しません。
	90秒	キーレスエントリーで解錠後、約90秒以上ドアを開けないでいると、自動的に再度施錠します。
	60秒	キーレスエントリーで解錠後、約60秒以上ドアを開けないでいると、自動的に再度施錠します。
	30秒	キーレスエントリーで解錠後、約30秒以上ドアを開けないでいると、自動的に再度施錠します。

：工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	作動	施錠後、セキュリティアラームシステムが作動します。
	非作動	施錠後、セキュリティアラームシステムは作動しません。
	連動	内蔵キーを使ってパワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の開閉ができます。
	非連動	内蔵キーを使ってパワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の開閉はできません。
	連動	キーレスエントリーを使ってパワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の開閉ができます。
	非連動	キーレスエントリーを使ってパワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の開閉はできません。
	10分	エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから、約10分間はパワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の操作ができます。
	45秒	エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから、約45秒間はパワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の操作ができます。
	0秒	エンジンスイッチノブを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしてから、パワーウィンドーおよびサンルーフ(サンルーフ装備車)の操作はできません。

：サンルーフ非装備車はパワーウィンドーのみの操作となります。

 知識

- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

- ⑤ “...に設定しました”が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。
- ⑥ “戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

 知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返し行います。

ワイパー設定グループのカスタマイズ

① カスタマイズグループ画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

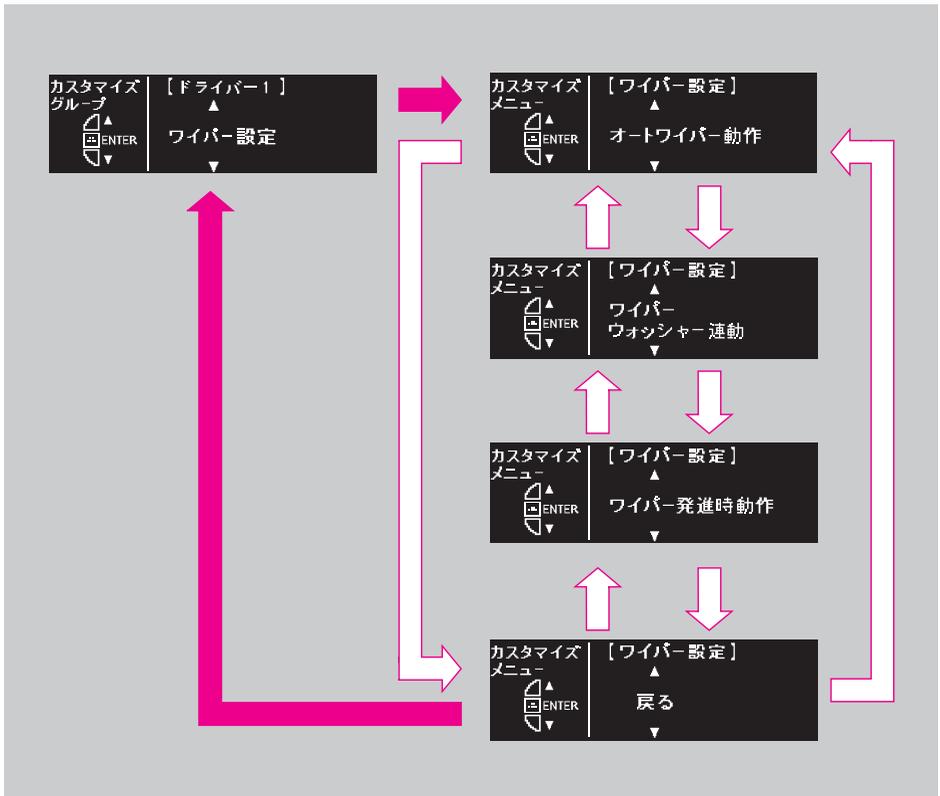
② カスタマイズグループ画面から「ワイパー設定」を選択し、決定すると「カスタマイズメニュー」画面に切り換わります。

③ カスタマイズしたい機能の「カスタマイズメニュー」を選択し、決定します。

インフォメーション(①)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとにカスタマイズ画面表示が次のように切り換わります。

➡ インフォメーション(①)スイッチを押す。(選択)

➡ SEL/RESETスイッチを押す。(決定)





④ 設定したい内容の表示を選択し、決定します。

 : 工場出荷時の設定

表示画面	設定	設定の内容
	オート	フロントガラスへの雨滴量に応じてワイパーが自動で作動します。
	間欠動作	ワイパーがリングの設定で作動します。
	車速連動	ワイパーの作動が車速と連動します。
	連動	ウォッシャー操作時にワイパーも作動します。
	非連動	ウォッシャー操作時にワイパーは作動しません。
	作動	ワイパーの間欠作動中または車速連動作動中、発進時にワイパーが1回作動します。
	非作動	ワイパーの間欠作動中または車速連動作動中、発進時にワイパーは作動しません。

知識

- “戻る”を選択すると、設定されずに1つ前の画面へ戻ります。

⑤ “...に設定しました”が約2秒間表示された後、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。

⑥ “戻る”を選択し、決定すると通常表示画面に戻ります。

知識

- 続けてカスタマイズ操作を行う場合は、“戻る”を選択せずに手順①～⑤を繰り返して行います。

カスタマイズ機能とHondaスマートキーの非連動について

他の人に車を貸すときなどに、カスタマイズ機能とHondaスマートキーを“非連動”にすることで、カスタマイズ項目の一部を初期設定値に戻すことができます。また、車が返却された場合には“連動”にすることで、前回カスタマイズした設定を復元させることができます。

“非連動”にするとき

①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押し続けて、“カスタマイズエントリー”画面を表示させます。

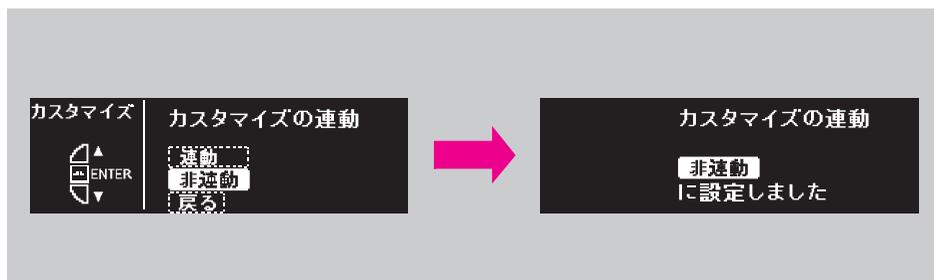
カスタマイズのしかた 335ページ

②“カスタマイズ設定”を選択し、決定すると“カスタマイズグループ”画面に切り換わります。

③カスタマイズグループの“Hondaスマートキーシステム設定”を選択し、決定すると“カスタマイズメニュー”画面に切り換わります。

④“カスタマイズの連動”を選択し、決定すると“カスタマイズ”画面に切り換わります。

⑤“非連動”を選択し、決定すると、“非連動に設定しました”が約2秒間表示され、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。



⑥“カスタマイズエントリー”画面で“戻る”を選択し、決定すると通常画面に戻ります。





知識

● CMBS装備車

カスタマイズ機能とHondaスマートキーを“非連動”にしているときでも、追突軽減ブレーキ(CMBS)の設定の変更は行うことができます。

追突軽減ブレーキ(CMBS) 254ページ

●カスタマイズ機能とHondaスマートキーを“非連動”に設定しているときは、カスタマイズを行うことができません。

●初期設定値に戻る項目と前回の状態が保持される項目があります。

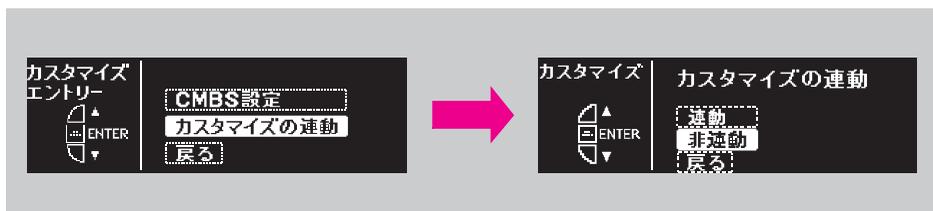
カスタマイズ項目一覧 330ページ

“連動”にするとき

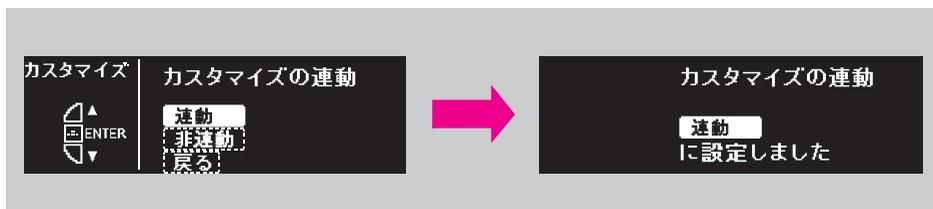
①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押し続けて、“カスタマイズエントリー”画面を表示させます。

カスタマイズのしかた 335ページ

②“カスタマイズの連動”を選択し、決定すると“カスタマイズ”画面に切り換わります。



③“連動”を選択し、決定すると、“連動に設定しました”が約2秒間表示され、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。



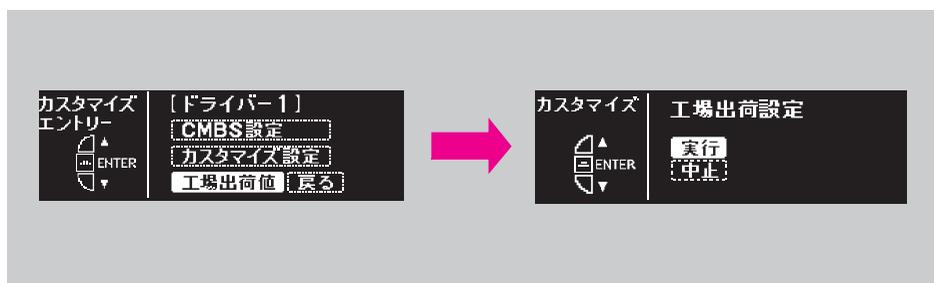
④“カスタマイズエントリー”画面で“戻る”を選択し、決定すると通常画面に戻ります。

設定をリセットする

カスタマイズ(設定変更)したすべての設定を、一度に工場出荷時の設定に戻すことができます。

- ①インフォメーション(①)スイッチを約3秒以上押し続けて、“カスタマイズエントリー”画面を表示させます。
- ②“工場出荷値”を選択し、決定すると、“工場出荷設定”画面に切り換わります。

カスタマイズ画面 334ページ



- ③“実行”を選択し、決定すると、“工場出荷設定にしました”が約2秒間表示され、“カスタマイズエントリー”画面に戻ります。
- ④“カスタマイズエントリー”画面で“戻る”を選択し、決定すると通常画面に戻ります。

知識

- 工場出荷時の設定に戻すと、カスタマイズした設定は消去されます。カスタマイズしていた設定に戻すには、再度カスタマイズを行ってください。

カスタマイズ機能について 330ページ

5

万一のとき

工具・スペアタイヤ・発炎筒
格納場所 ……356
工具の種類 ……357
発炎筒について ……357

故障したとき
踏切で動けなくなったとき ……358
高速道路で故障したとき ……358
道路で動けなくなったとき ……359
故障の修理について ……359

事故が起きたとき ……360

けん引
けん引されるとき
(ロープによるけん引) ……362
故障車をけん引するとき ……365

パンクしたとき
ジャッキの取り扱い ……366
応急用スペアタイヤ ……368
タイヤ交換 ……369

オーバーヒートしたとき
……………374

電気系統が異常のとき
バッテリーあがりのとき ……376
ライト類が点灯しないとき、
電気装置が
作動しないとき ……381
Hondaスマートキーの
電池が消耗したとき ……401
フューエルリッドが開か
ないとき ……402
トランクが開かないとき ……403

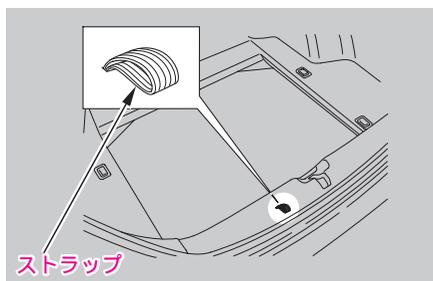
* 全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

工具・スペアタイヤ・発炎筒

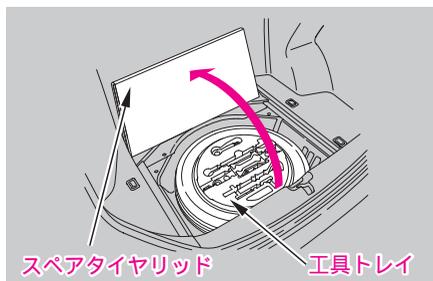
格納場所

スペアタイヤリッドの開けかた
工具やスペアタイヤを取り出すときは、
トランクを開けてスペアタイヤリッドを
持ち上げます。

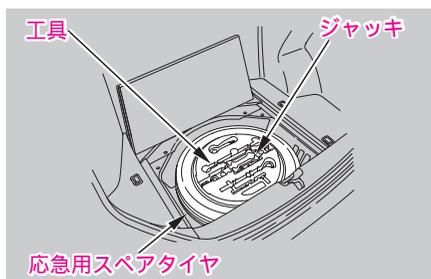
- ①ストラップを持ちスペアタイヤリッド
を持ち上げます。



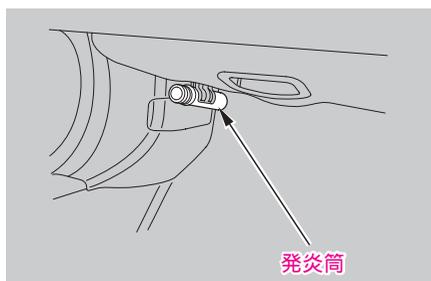
- ②スペアタイヤリッドを二つに折り、ト
ランク奥側に開けます。



工具・スペアタイヤ



発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。

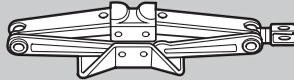


工具の種類

マイナスドライバー



グリップ



ジャッキ



ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)



ジャッキハンドルバー



アイボルト
(けん引用)

知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万ーのとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすい物のそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

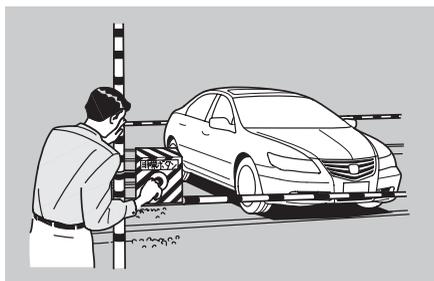
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔や身体に向けてやけどなどをすることがあるのでやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

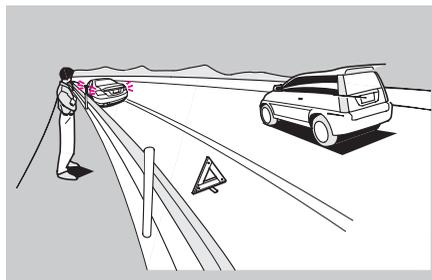
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



知識

- この車は、スターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

Honda販売店へお申しつください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くなるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

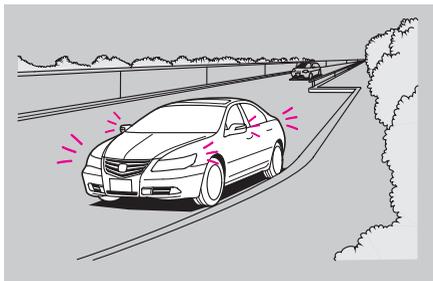
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

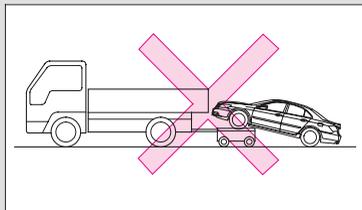
けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪を持ち上げてけん引してください。
- 前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。

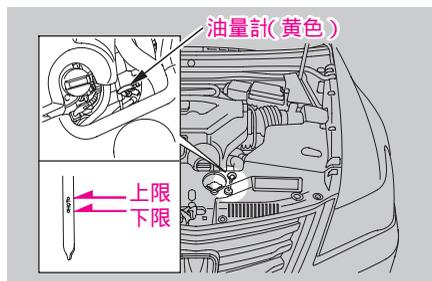
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。



けん引される時 (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

- ① トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪を持ち上げてけん引してください。

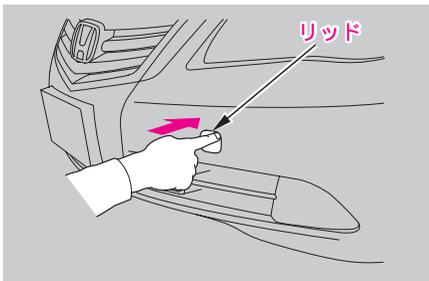


- ② スペアタイヤリッドを開け、工具トレイから、ジャッキハンドルバーとアイボルトを取り出します。

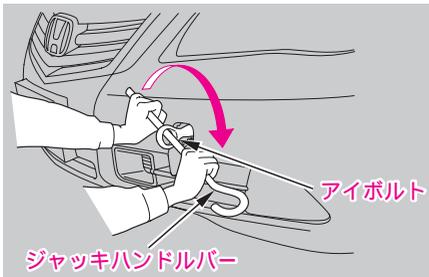
格納場所 356ページ

- ③ リッドの右端を図のように押して左端を浮かせます。

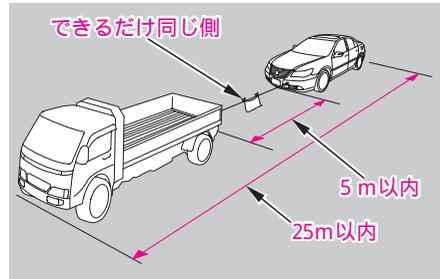
リッドの左端をめくり開きます。



- ④ アイボルトがガタつかない程度まで手で締めつけてから、ジャッキハンドルバーなどをかけて確実に締めつけます。



- ⑤ ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ⑥ エンジンをかけます。

エンジンがかからないときは、エンジンスイッチノブを“ I ”または“ II ”にします。

- ⑦セレクトレバーをN(ニュートラル)にします。
- ⑧パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してローブをたるませないようにしてください。
- ⑨速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

アドバイス

- アイボルトにローブをかけるときは、車体の破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・アイボルトは確実に取り付けてください。
 - ・アイボルト以外のところにローブをかけないでください。
 - ・けん引時にアイボルトに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・けん引ローブはできるだけ伸縮性のあるローブを使用してください。

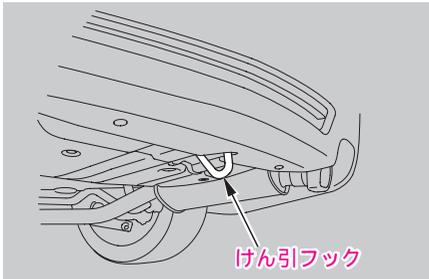
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がリブレーキが効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。



アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

パンクしたとき

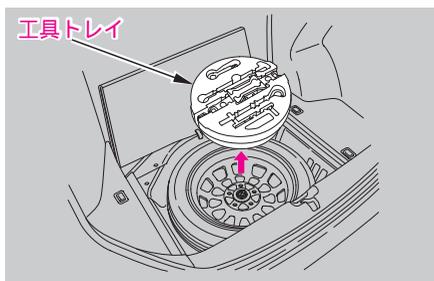
ジャッキの取り扱い

ジャッキの取り出しかた

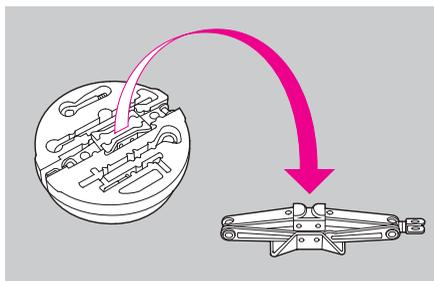
- ①スベアタイヤリッドを開け、工具トレイを取り出します。

スベアタイヤリッドの開けかた

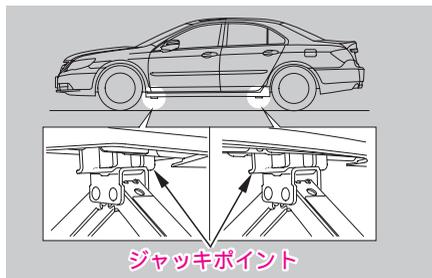
356ページ



- ②ジャッキを取り出します。



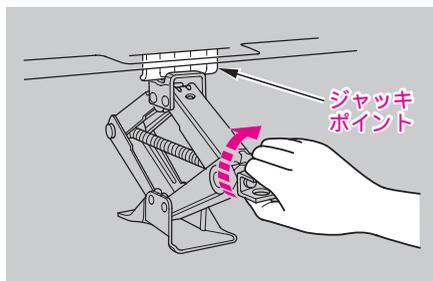
ジャッキをかける位置



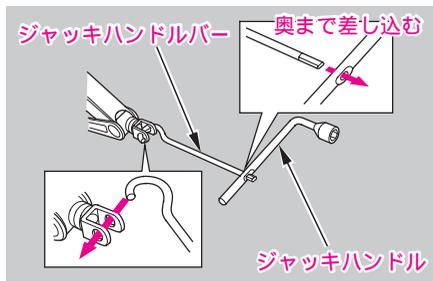


ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
- 万ー、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・エンジンをかけたままにしない。
 - ・地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・指定された位置以外にかけない。
 - ・人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

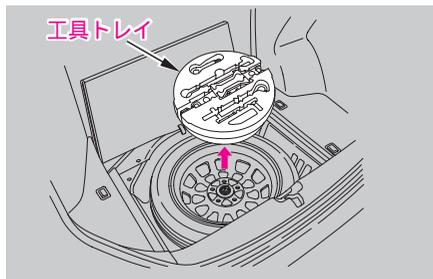
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

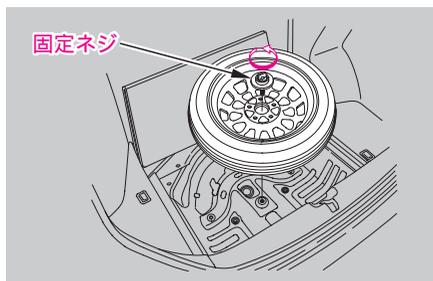
- ①スペアタイヤリッドを開け、工具トレイを取り出します。

スペアタイヤリッドの開けかた

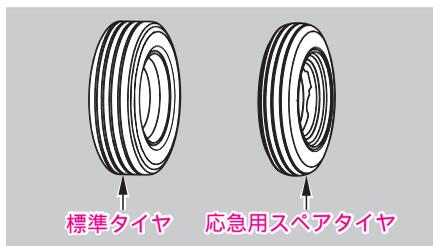
356ページ



- ②固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

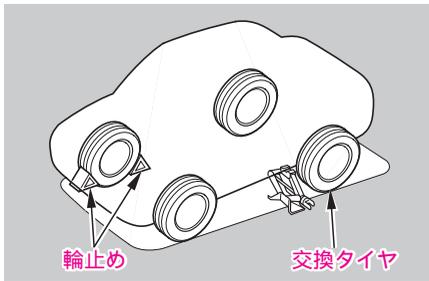
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。



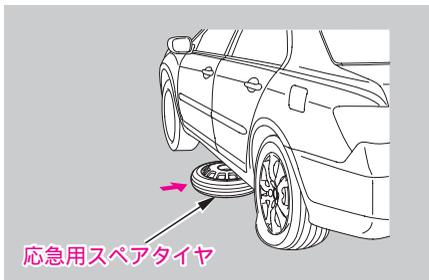
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。

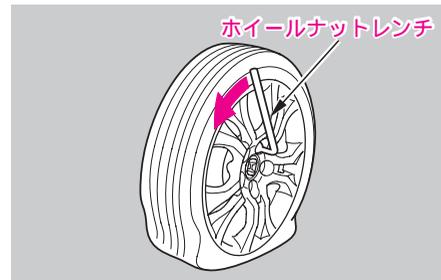


- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

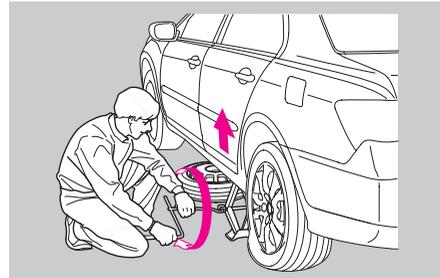


2 ジャッキで車体を上げる

- ①ジャッキをセットします。
ジャッキをかける位置 366ページ
- ②ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

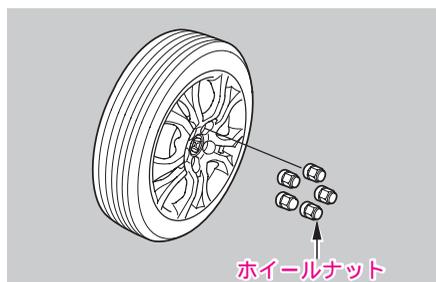


- ③タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



3 タイヤを交換する

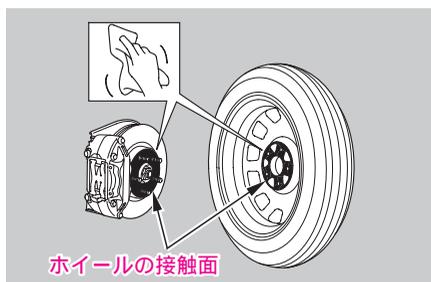
- ①ホイールナットを外し、タイヤを外します。



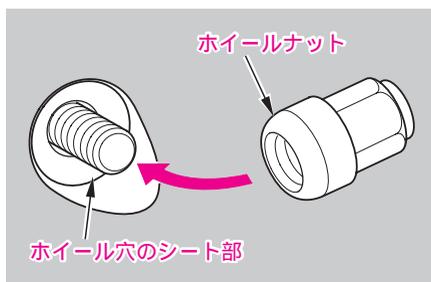
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



- ③応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。

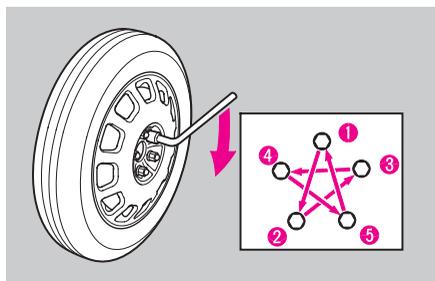




- ⑤ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかき締め付けます。

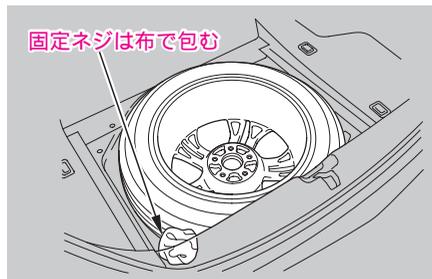
ホイールナット締め付けトルク:

118 - 147 N·m (12.0 - 15.0 kgf·m)



4 標準タイヤを収納する

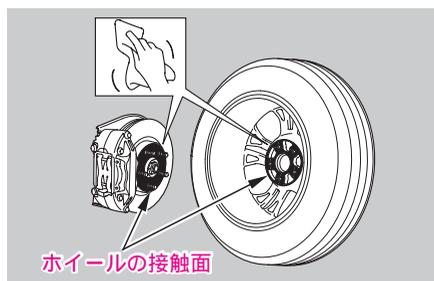
パンクした標準タイヤを応急スペアタイヤが収納されていた位置に押し込みます。



固定ネジは、布などに包んで走行中に転がらないようにしてください。

5 標準タイヤを取り付けるときは

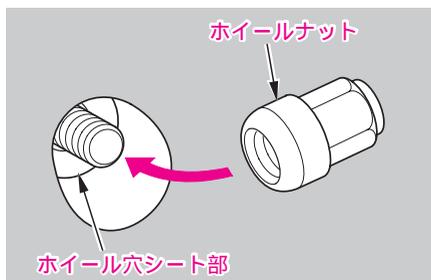
- ① 標準タイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

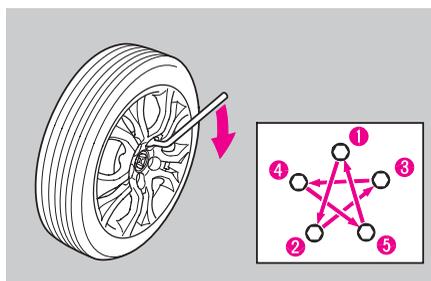
- ② 標準タイヤを取り付けます。
- ③ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク:

118 - 147 N·m (12.0 - 15.0 kgf·m)





アドバイス

- 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとSH-AWDやVSAが正常に機能しなくなることがあります。
- ACC / LKAS 装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や、摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとACC / LKASが正常に機能しなくなることがあります。

知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらHonda販売店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の固い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 449ページ
- パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・水温計の針が「H」の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

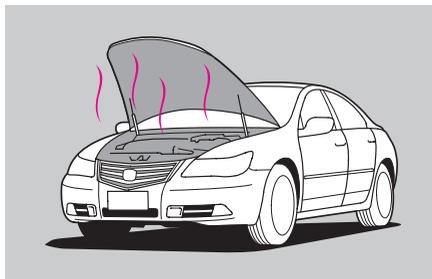
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。

冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

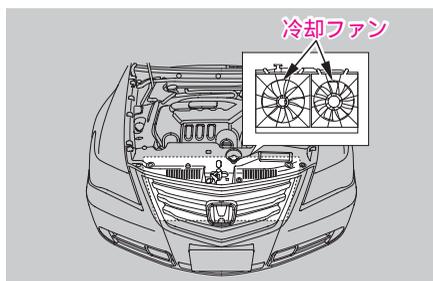


🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



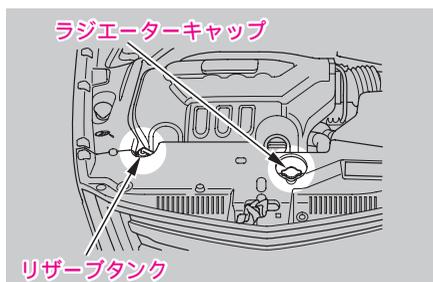
- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、Honda販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

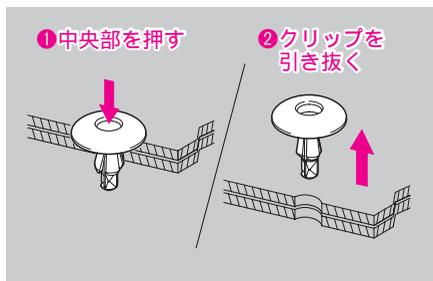
次のようなときは、バッテリーあがりと考えられます。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さいとき

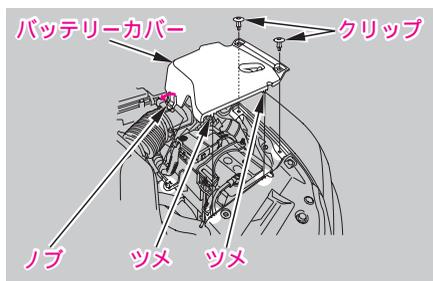
処置のしかた

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

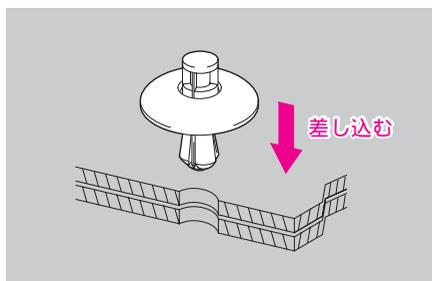
- ①クリップの中央部のピンをプラスドライバーなどで押し、クリップを引き抜きます。



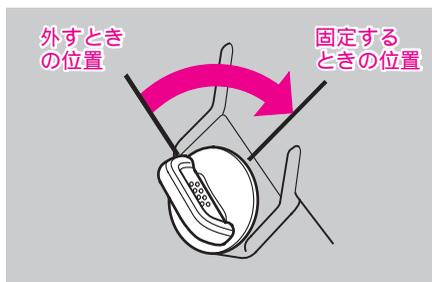
- ②ノブを左へ回します。
- ③ツメを外してバッテリーカバーを取り外します。



クリップを差し込むときは、中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



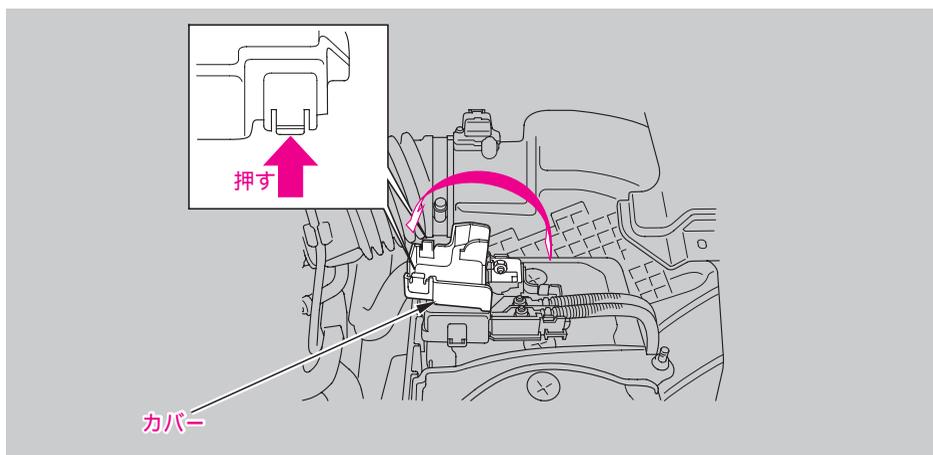
固定するときは、右へ回します。



バッテリーカバーを取り付けるときはツメを確実に差し込んでください。



④ + 端子のカバーを開けます。



⑤ ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

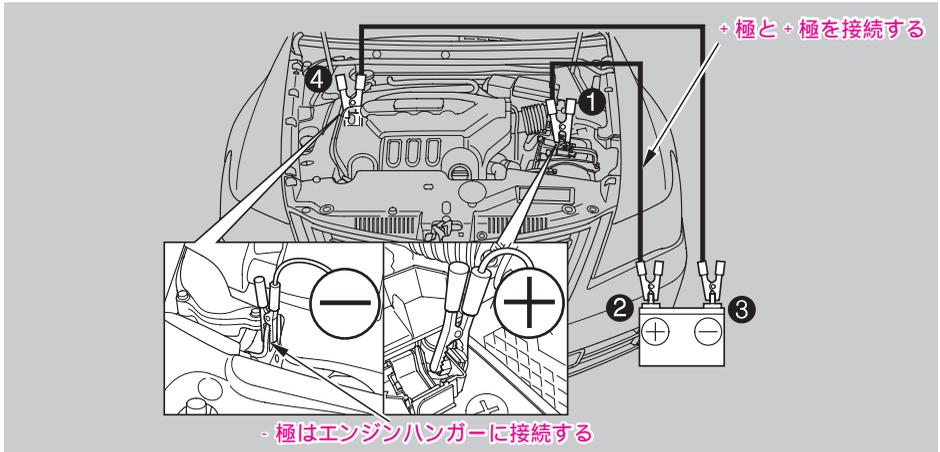
- ① 自車のバッテリーの + 端子
- ② 救援車のバッテリーの + 端子

2 本目

- ③ 救援車のバッテリーの - 端子
- ④ 自車のエンジンのアース線端子

 知識

- + 端子部に確実に接続してください。間違えてヒューズに接続すると、ヒューズが切れます。



- ⑥ 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
- ⑦ 自車のエンジンをかけます。
- ⑧ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑨ Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した身体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの - 端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ + 端子と - 端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- パワートランクを開けた状態でバッテリーを交換した場合は、パワートランクが自動で閉まらなくなります。
その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。
パワートランクオート作動の復帰 62ページ
- バッテリーを交換した後はパワーウィンドーのオート作動ができなくなります。
その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。
パワーウィンドーオート作動の復帰 78ページ
- バッテリーを交換した後はチルト/テレスコピックステアリングの位置を記憶させるための原点の記憶が消去されます。その場合は、原点を再検知させてください。
チルト/テレスコピックステアリング原点の再検知 95ページ
- バッテリーを交換した後はドライビングポジションシステムの記憶が消去されます。
その場合は、再度ドライビングポジションを記憶させてください。
ドライビングポジションシステムの記憶のさせかた 103ページ



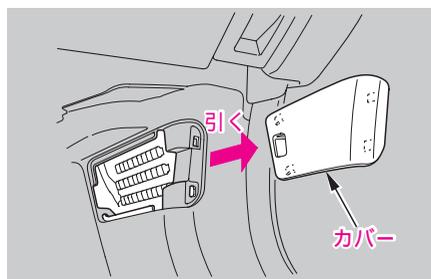
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球 (バルブ) 切れが考えられます。

- ① エンジンスイッチノブを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示と取扱説明書で確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス



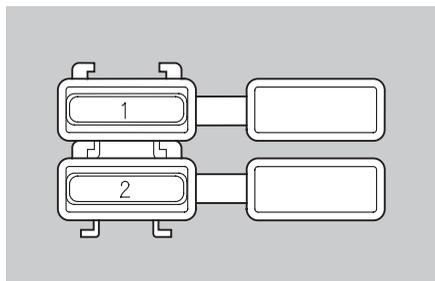
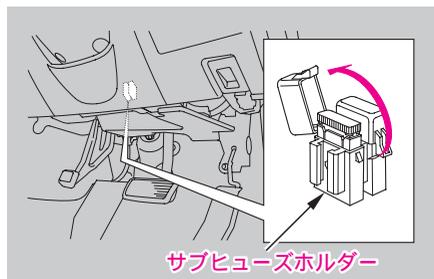
・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		ドライブバイワイヤ	15A
2		イグニッションコイル	15A
3		フロントガラス熱線	15A
4		LAFセンサー	15A
5		オーディオ/アンプ	7.5A
6		室内灯	7.5A
7		バックアップ	10A
8		ドアロック	20A
9		シガレットライター/ アクセサリソケット	20A
10		サイドエアバッグ 自動停止装置	7.5A
11		ワイパー	15A
12		後席シートヒーター	15A
13		助手席パワーシート リクライニング	20A
14		運転席パワーシート 前後スライド	20A
15		パワートランク	20A
16		運転席パワーシート リクライニング	20A
17		助手席パワーシート 前後スライド	20A
18		発電機	15A
19		フューエルポンプ	20A
20		イグニッションソレノイド	15A
21		メーター	10A
22		SRSエアバッグシステム	10A
23		PGM-FI ECU	7.5A
24		パワーウィンドー後席右側	20A

	表示	装備	容量
25		パワーテレスコ ステアリング	20A
26		パワーチルトステアリング	20A
27	DR 	パワーウィンドー 運転席	30A
28		サンルーフ	20A
29		オプション	10A
30		エアコン	7.5A
31		オプション	7.5A
32		アクセサリ	10A
33	-	-	-



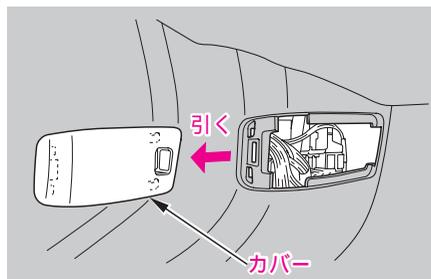
運転席足元のサブヒューズホルダー



・各ヒューズの装備と容量

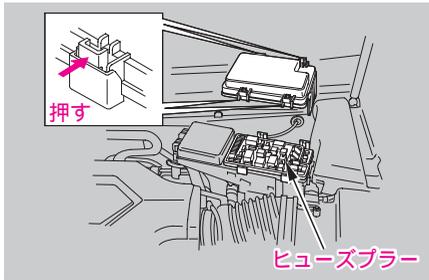
	表示	装備	容量
1		PGM-FI ECU(STRLD)	7.5A
2		PGM-FI ECU(STS)	7.5A

助手席足元のヒューズボックス



	表示	装備	容量
1		SH-AWD	30A
2		オーディオ/ プレミアムアンプ	30A
3	AS 	パワーウィンドー 助手席	30A
4		E-プリテンショナー 助手席	30A
5	RR-L 	パワーウィンドー 後席左側	20A
6	FR 	前席シートヒーター/ シートベンチレーション	20A
7		イルミネーション	7.5A
8		E-プリテンショナー 運転席	30A
9		エアコン	7.5A

エンジンルーム内のヒューズボックス

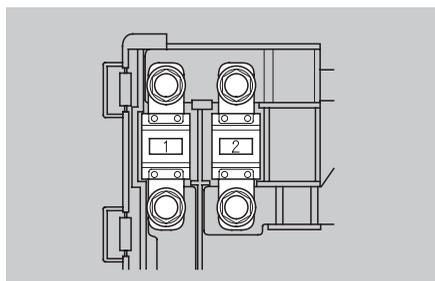
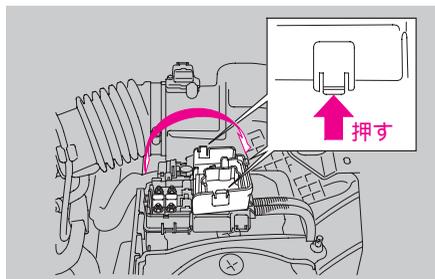


・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		左側ヘッドライト ロービーム	15A
2		リヤデフロスターリレー	30A
3		左側ヘッドライト ハイビーム	10A
4		車幅灯/尾灯	15A
5		右側ヘッドライト ハイビーム	10A
6		右側ヘッドライト ロービーム	15A
7		バックアップ	7.5A
8		PGM-FI ECU(IGP)	15A
9		ワイパー	30A
10		パワートランク	30A
11		フォグライト	10A
12		MGクラッチ	7.5A
13		ホーン/制動灯	15A
14		リヤデフロスター	40A
15		バックアップ/ アクセサリ	40A
16		非常点滅表示灯	15A
17		VSAモーター	30A
18		VSA	40A
19		オプション	40A
20		オプション	40A
21		ヒーターモーター	40A
22		ヒューズボックス 助手席	70A
		バッテリー	120A
23		イグニッション	50A
		パワーウィンドー	50A



エンジンルーム内のサブヒューズボックス



・各ヒューズの装備と容量

ACC/LKAS非装備車

	表示	装備	容量
1	RAD FAN	ラジエーターファン	50A

ACC/LKAS装備車

	表示	装備	容量
1		ラジエーターファン	50A
2		EPS	70A

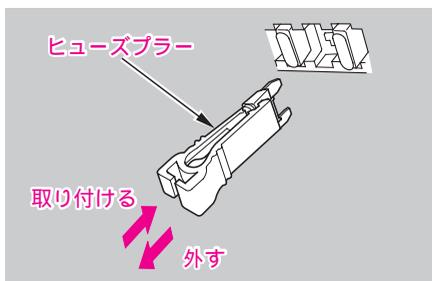
知識

- バッテリーの上にあるヒューズボックスを点検するときは、バッテリーカバーを外します。

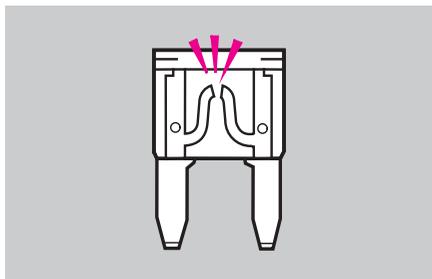
バッテリーカバーの取り外し

376ページ

ヒューズの外しかた
備え付けのヒューズプラーでヒューズを
外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量
のヒューズに交換します。

アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外の物は絶対に使わないでください。
配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。



🎓 知識

- パワートランクを開けた状態でヒューズを交換した場合は、パワートランクが自動で閉まらなくなります。

その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

パワートランクオート作動の
復帰 62ページ

- パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後もパワーウィンドーのオート作動ができなくなります。

その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

パワーウィンドーオート作動の
復帰 78ページ

- チルト/テレスコピックステアリングのヒューズが切れると、チルト/テレスコピックステアリングの位置を記憶させるための原点の記憶が消去されます。その場合は、原点を再検知させてください。

チルト/テレスコピック
ステアリング原点の再検知

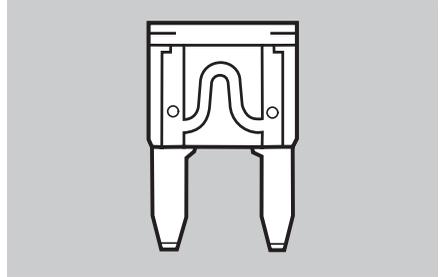
95ページ

- ドライビングポジションシステムのヒューズが切れると、ドライビングポジションシステムの記憶が消去されます。

その場合は、再度ドライビングポジションを記憶させてください。

ドライビングポジションシステム
の記憶のさせかた 103ページ

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。

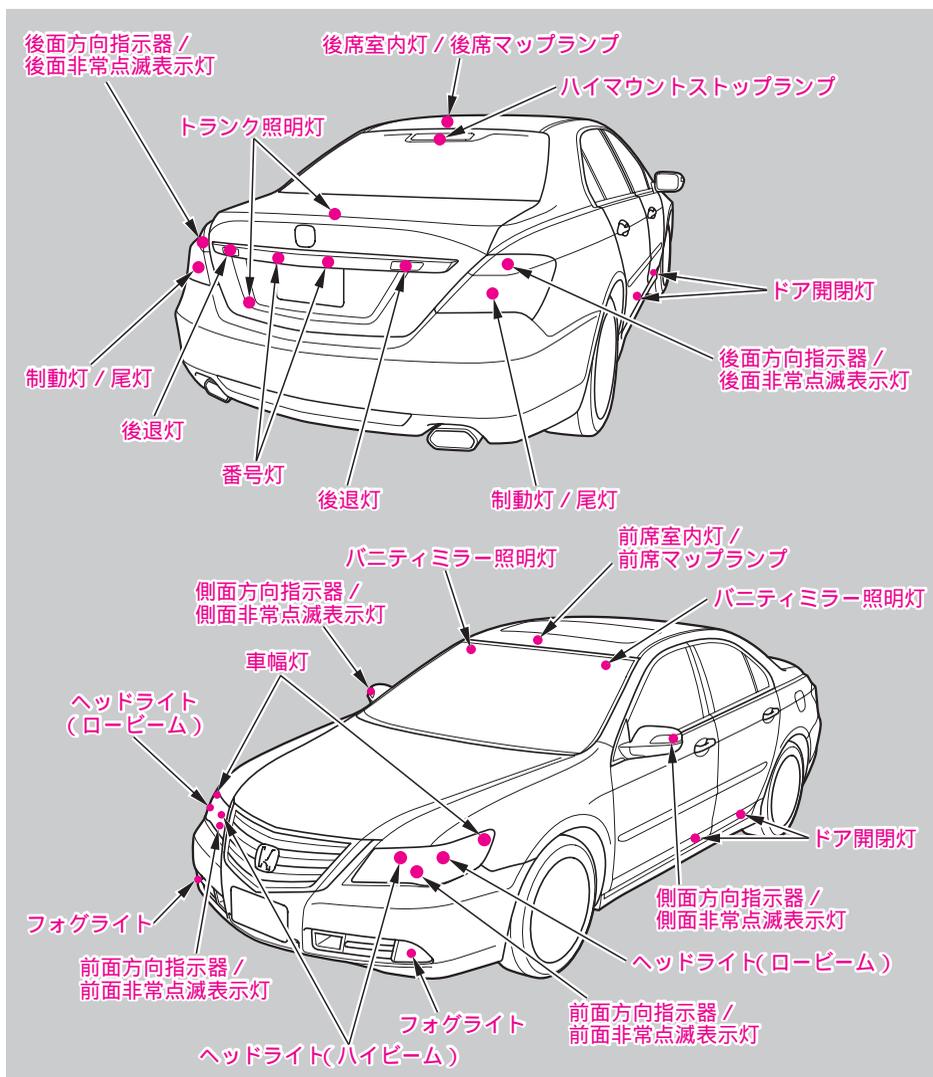
🎓 知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

電球 (バルブ) の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。





🎓 知識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違う物を使わないでください。
電球のワット数 446ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつかけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。

🎓 知識

- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、Honda販売店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)

ヘッドライト(ロービーム)の電球切れの点検、交換は必ずHonda販売店で行ってください。

⚠️ 注意

- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

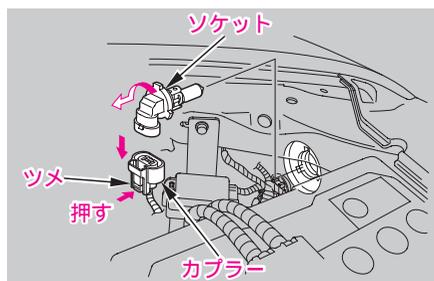
ヘッドライト(ハイビーム)

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて 389ページ

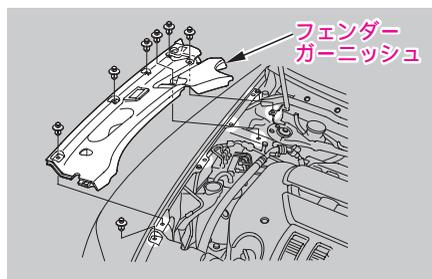
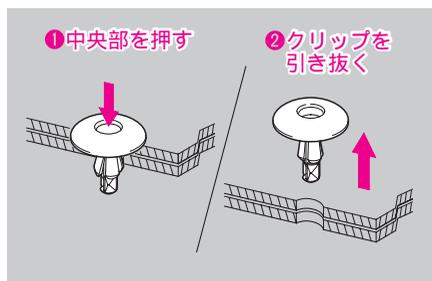
・左側

- ①バッテリーカバーを外します。
バッテリーカバーの取り外し
376ページ
- ②カプラーのツメを押しながら、ソケットからカプラーを抜き取ります。
- ③ソケットを左に回して電球を外します。



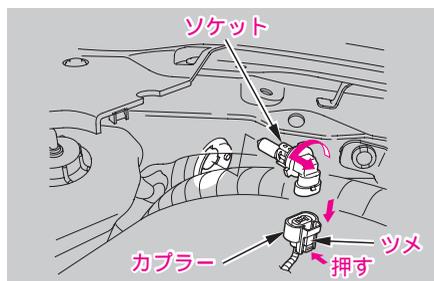
・右側

- ①クリップの中央部のピンをプラスチックドライバーなどで押し、クリップを引き抜いてフェンダーガーニッシュを外します。

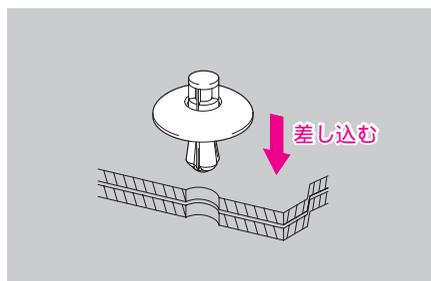




- ②カプラーのツメを押しながら、ソケットからカプラーを抜き取ります。
- ③ソケットを左に回して電球を外します。



フェンダーガーニッシュを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままフェンダーガーニッシュに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

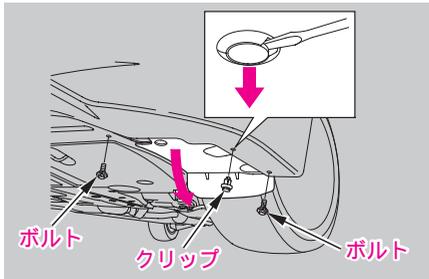


フォグライト

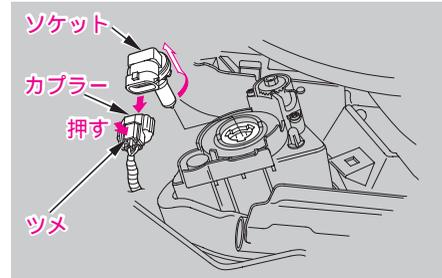
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて 389ページ

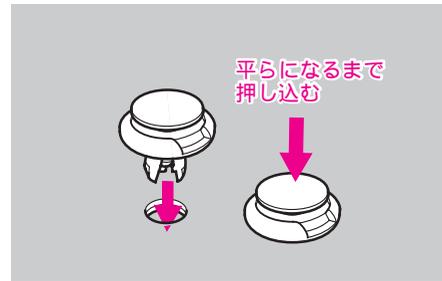
- ①クリップとボルトを外してインナーフェンダーを外側に引き出します。



- ②ツメを押しながらカプラーを外し、ソケットを左に回して外します。



インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。





前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯

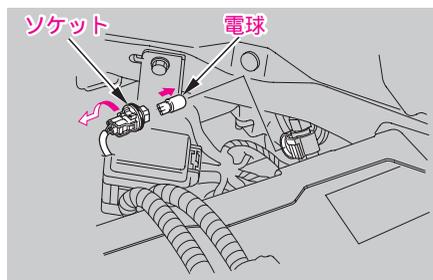
・左側

- ①バッテリーカバーを外します。

バッテリーカバーの取り外し

376ページ

- ②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



・右側

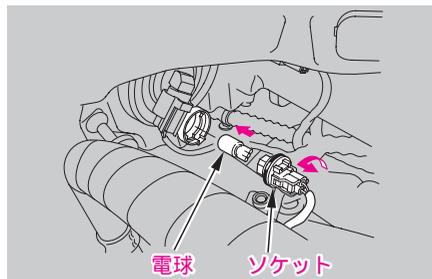
- ①フェンダーガーニッシュを外します。

フェンダーガーニッシュの

取り外し

390ページ

- ②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯

電球切れの点検、交換は、Honda販売店にご相談ください。

車幅灯

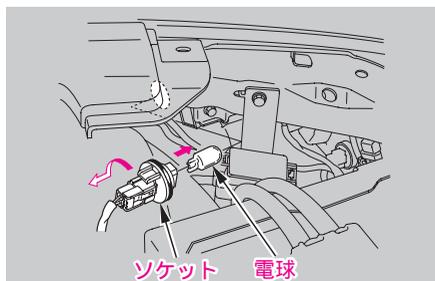
・左側

- ①バッテリーカバーを外します。

バッテリーカバーの取り外し

376ページ

- ②ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



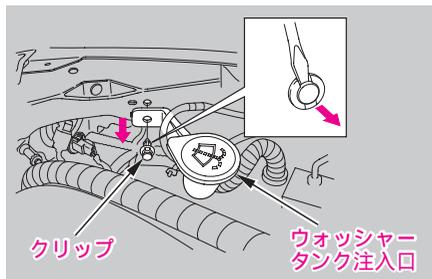
・右側

- ①フェンダーガーニッシュを外します。

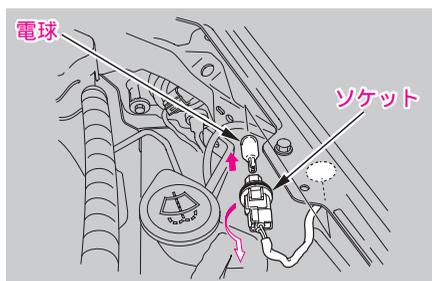
フェンダーガーニッシュの
取り外し

390ページ

- ②クリップを外し、ウォッシャータンクの注入口をずらします。

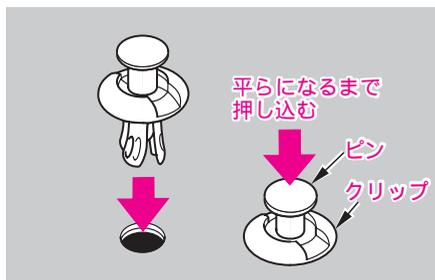


- ③ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



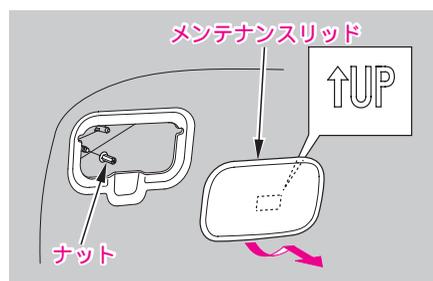


ウォッシャータンク注入口を固定するときは、クリップ中央部のピンを起こしたままウォッシャータンク注入口に差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

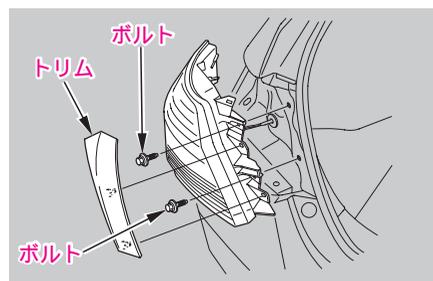


後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯

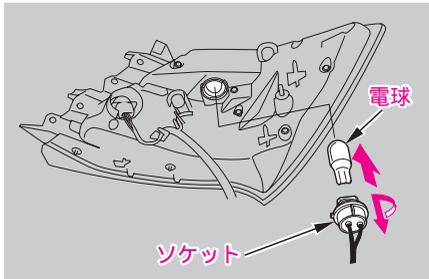
- ① トランク内のメンテナンススリッドを取り外します。
- ② ランプ本体を固定しているナットを外します。



- ③ トリムを取り外します。
- ④ ボルトを外してランプ本体を抜き取ります。

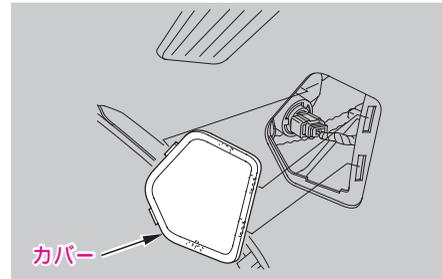


- ⑤ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

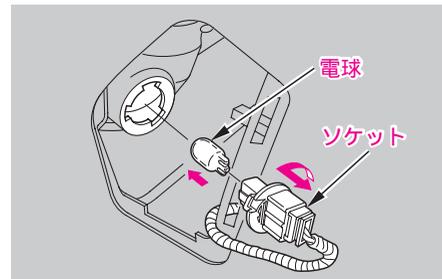


後退灯

- ①カバーを外します。



- ②ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。





制動灯 / 尾灯

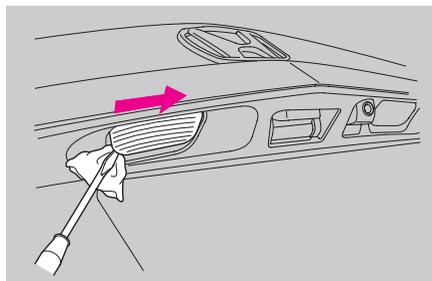
電球切れの点検、交換は、Honda販売店にご相談ください。

ハイマウントストップランプ

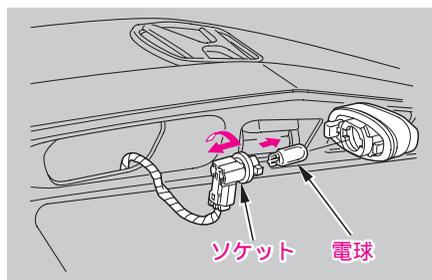
電球切れの点検、交換は、Honda販売店にご相談ください。

番号灯

①ランプ本体を外します。



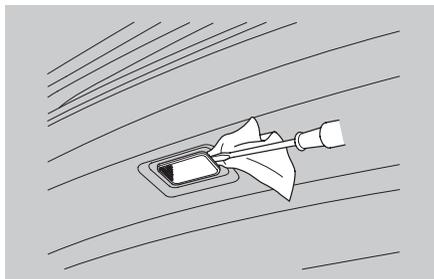
②ソケットを右へ回して外し、電球を抜き取ります。



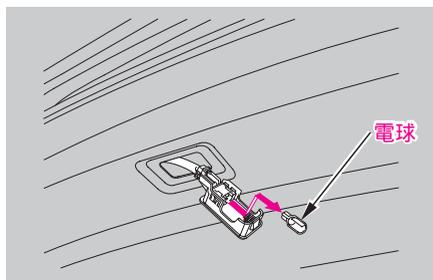
トランク照明灯

・トランク内

①ランプ本体を外します。

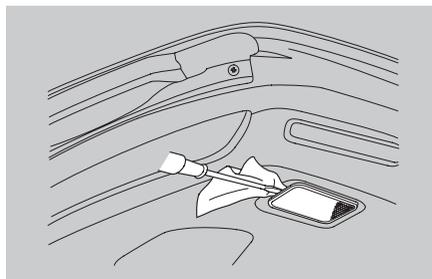


②電球を抜き取ります。

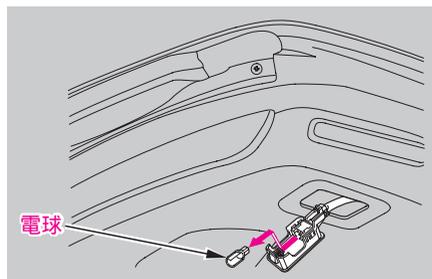


・トランクリッド

①ランプ本体を外します。

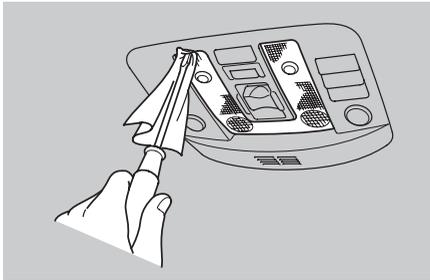


②電球を抜き取ります。

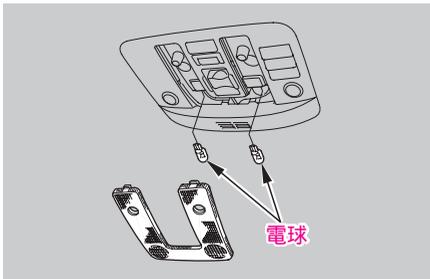


前席室内灯 / 前席マップランプ

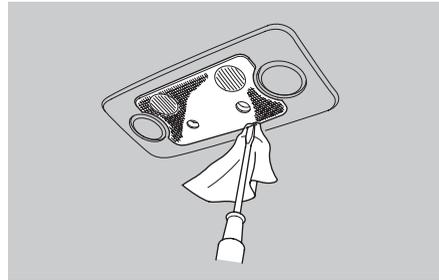
① レンズを外します。



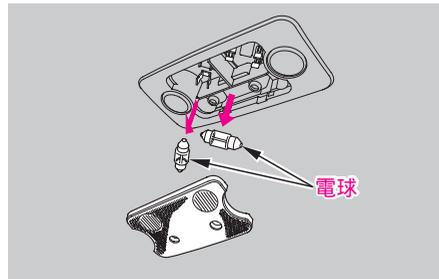
② 電球を抜き取ります。

後席室内灯 / 後席マップランプ

① レンズを外します。

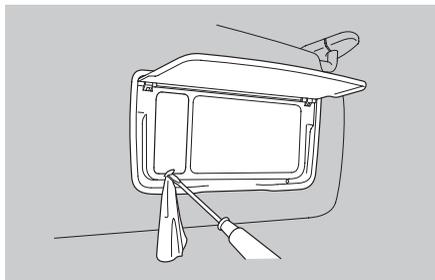


② 電球を抜き取ります。

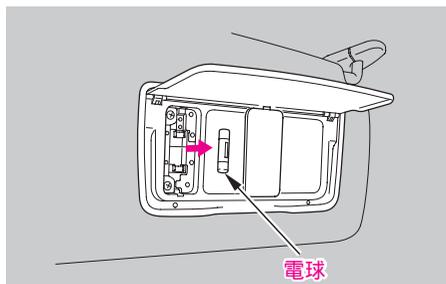


バニティミラー照明灯

① レンズを外します。

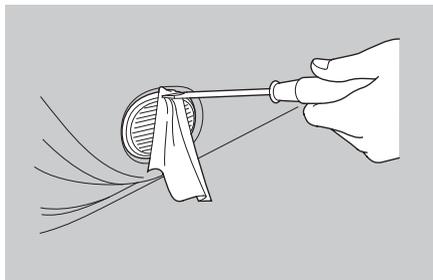


② 電球を抜き取ります。

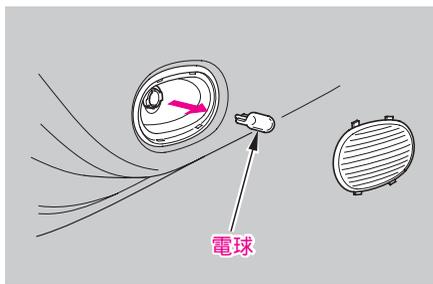


ドア開閉灯

① レンズを外します。



② 電球を抜き取ります。





Hondaスマートキーの電池が 消耗したとき

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での変換をおすすめします。

⚠ 注意

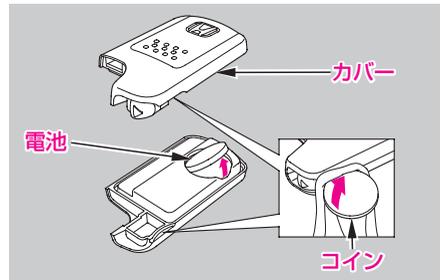
- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
飲み込むと、傷害を受けるおそれがあります。

🎓 知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

●Hondaスマートキーの電池交換 使用電池 …………… ボタン電池CR2032

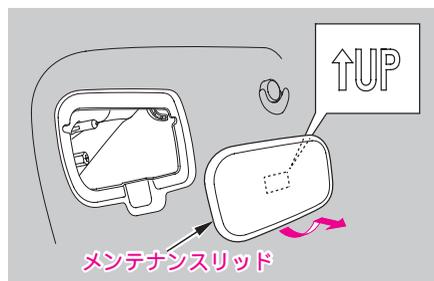
- ①内蔵キーを取り出します。
内蔵キーの取り出しかた →45ページ
- ②カバーに傷を付けないようにコインに布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。



フューエルリッドが 開かないとき

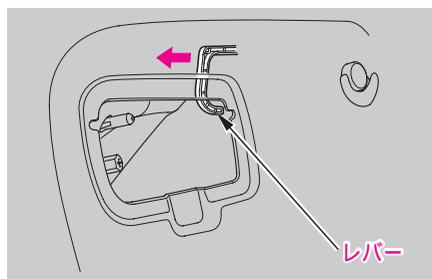
万一、フューエルリッドが開かなくなった場合は、応急処置としてトランク内からレバーを操作して開けてください。

- ① トランク内の左側面にあるメンテナ
ンスリッドを外します。



- ② レバーを後方へ引くと、フューエルリ
ッドが開きます。

燃料補給口 72ページ



知識

- 応急処置後はHonda販売店で点検を受けてください。

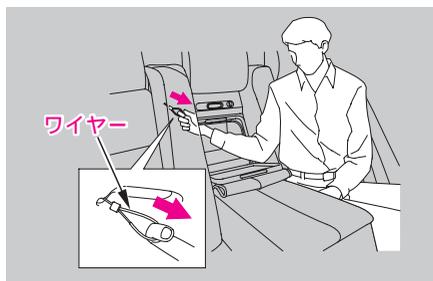


トランクが開かないとき

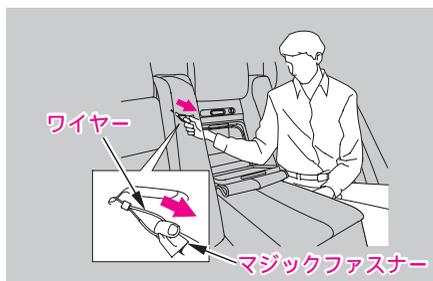
万一、トランクを開けることができなくなった場合は、応急処置としてトランク内にあるワイヤーを矢印の方向に引いて解除してください。

- ▼
- ① アームレストを倒し、フタを開けます。
アームレストスルー 321ページ
パワートランク/トランクの
開閉 58、68ページ
- ② 右後席シートの裏側(トランク内)にあるワイヤーを矢印の方向に引くと解錠します。

パワートランク非装備車

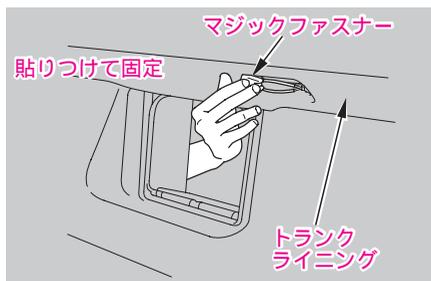


パワートランク装備車



③ パワートランク装備車

ワイヤーを引いたまま、ワイヤーについているマジックファスナーをトランクリーニングに貼りつけて固定します。ワイヤーが固定されていないと解錠できないことがあります。



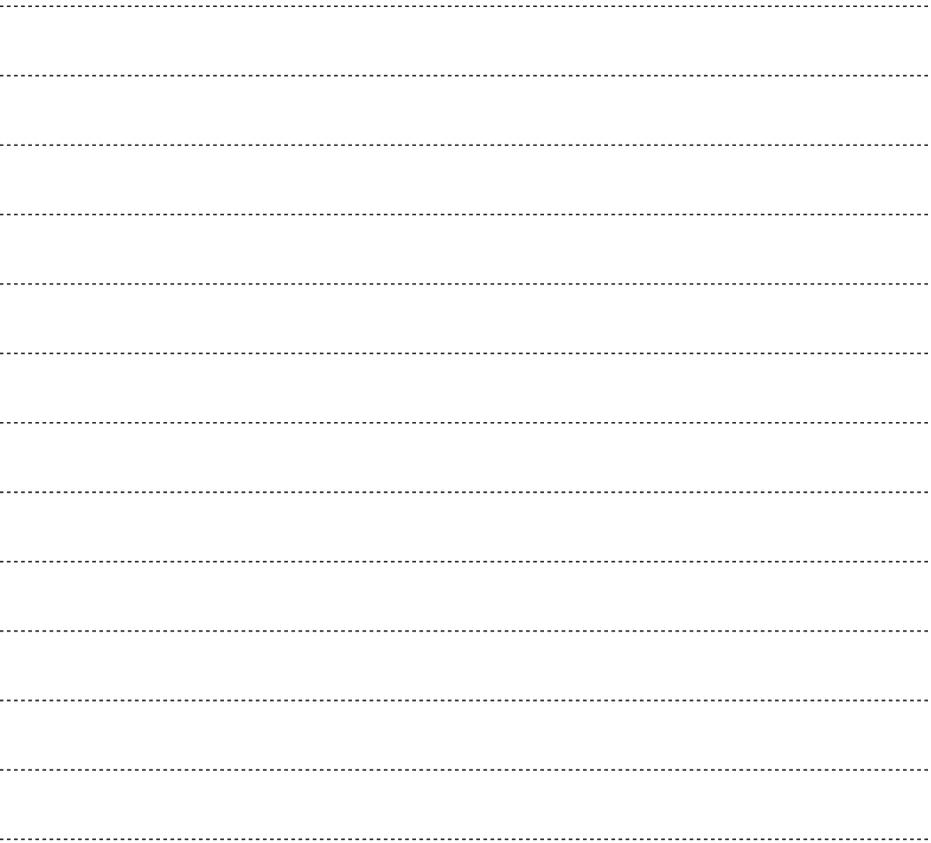
④ パワートランク装備車

トランクを閉めるときは、マジックファスナーを外してから行ってください。

知識

● パワートランク装備車

- 貼りつけたマジックファスナーを外さないと、トランクを閉めることはできません。
- 応急処置後はHonda販売店で点検を受けてください。





車の手入れ

点検・整備について……406

簡単な整備

タイヤについて……408

ワイパーブレードラバー
の交換……412

日常の手入れ

外装の手入れ……416

内装の手入れ……420

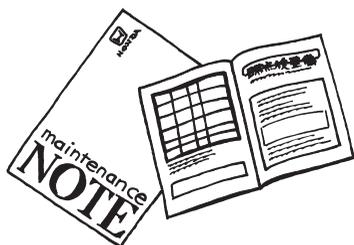
アルミホイールについて……422

車にあった部品の使用……424

点検・整備について

車は走行するにしたいが、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。

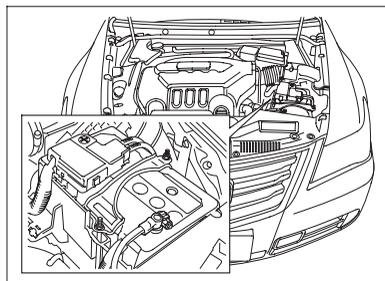


バッテリー液について

バッテリー液の量は、バッテリーカバーを外して点検します。

バッテリーカバーの取り外し

376ページ





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



簡単な整備

「簡単な整備」を実施したときは、メンテナンスノート点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプランニング現象を起こしやすくなります。

- ・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。
- ・ 摩耗限度を超えたタイヤ。
- ・ 指定空気圧に調整されていないタイヤ。

タイヤの空気圧

449ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。



- 四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとSH-AWDやVSAが正常に機能しなくなることがあります。
- ACC / LKAS 装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとACC / LKASが正常に機能しなくなることがあります。

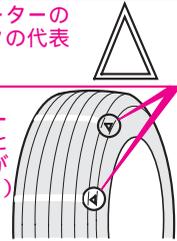
摩耗限界表示
(ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ・ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です

ウェアインジケーターが表われたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



位置交換

(タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

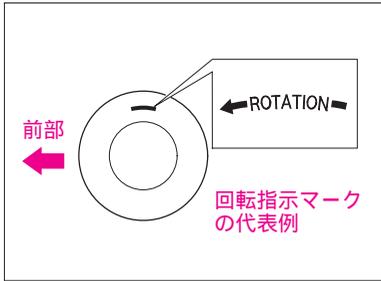
- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。
- 前輪と後輪でタイヤの空気圧が異なるので、位置交換後は必ず空気圧を調整してください。

タイヤの空気圧 449ページ

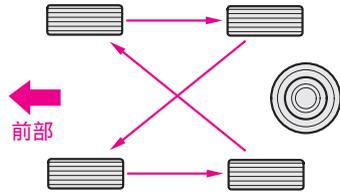


タイヤ回転指示マーク

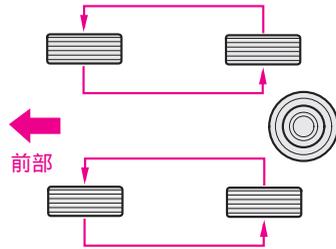
タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。



回転指示マークがないタイヤの場合



回転指示マークがあるタイヤの場合



ワイパー ブレードラバー の交換

ラバーが傷んでいると、拭きむらがあるばかりかウィンドーガラスを傷つけることがあります。

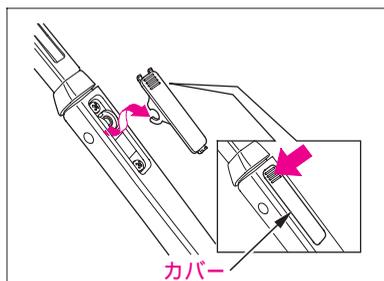
ワイパーブレードを外したときはアームを倒さないでください。また、アームを起こしているときはワイパーを作動させないでください。ガラスやボンネットに傷がつくことがあります。

①アームを起こします。

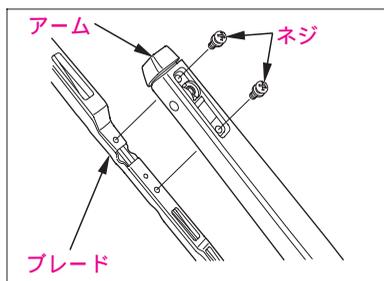
ワイパーアームの起こしかた

183ページ

②カバーの上部を押して、カバーを取り外します。

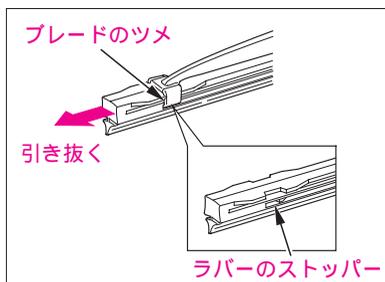


③ネジを外し、アームからブレードを取り外します。

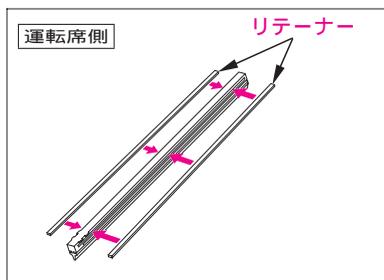




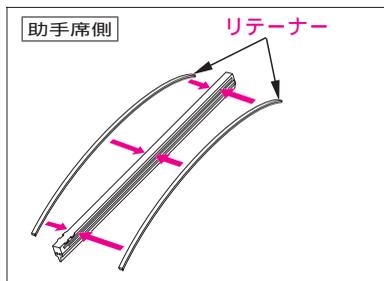
- ④ ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜きます。



- ⑤ 引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付けます。



助手席側のリテーナーには反りがあります。リテーナーを図の向きでラバーに取り付けてください。



- ⑥ ラバーをストッパーがない側からブレードに沿って差し込みます。ラバーのストッパーをブレードのツメに挿入します。
- ⑦ ブレードをアームに取り付け、カバーをはめ込みます。

日常の手入れ

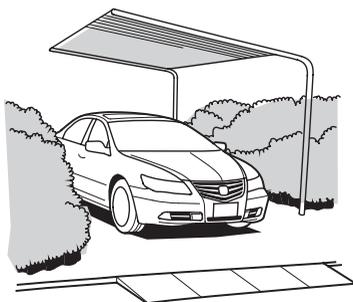
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。





洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・コールドスタート、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリッシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリッシングワックスは、Honda純正ケミカル用品をお使いください。

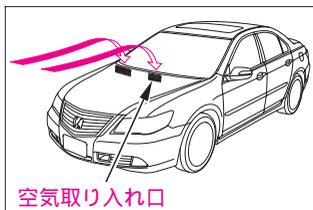


外装の手入れ

洗車のしかた

- ・十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ・塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかい物で洗います。
- ・汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ・水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内に水をかけないでください。故障の原因になります。



空気取り入れ口

自動洗車機を使うとき

ドアミラーを格納して洗車してください。ワイパースイッチは“OFF”にしてください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

高圧洗浄機を使うとき

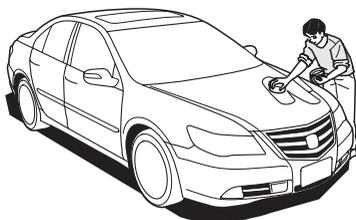
洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。エンジンルームには水をかけないでください。故障の原因になります。



ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、Honda販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

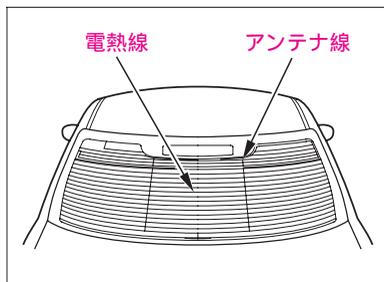
はっ水ガラスについて
前席ウィンドー(ドアガラス)には
水膜がコーティングしてあり、水滴
をはじきます。

知 識

- 水滴をはじく効果の持続時間には限りがありますが、できるだけ長持ちさせるために次のことをお守りください。
 - ・前席ウィンドーが汚れているときは、水洗いをするか柔らかい湿った布などでふき取ってください。
また、泥などの汚れがひどいときは、前席ウィンドーの開閉をなるべく行わないでください。
 - ・みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わないでください。
 - ・金属製の物で霜取りなどを行わないでください。
 - ・自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落してから行ってください。
- ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。
- 水はじきが悪くなったときは、Honda販売店にご相談ください。

リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。





アクアクリンミラー (親水ミラー)の回復作業

タイプ別装備

ミラー表面に汚れなどが付着して、一時的に親水効果が低くなる場合がありますが、異常ではありません。数日間の日射をすることで親水効果が回復しますが、早く回復させたいときは次の回復作業を行ってください。

・点検

ミラー表面に散水し、水滴にならず薄い水膜(親水状態)になることを確認します。親水状態になっていない場合は、洗浄作業を行います。親水状態になっている場合は、紫外線照射を行います。

・回復作業

- ①ミラー表面を水洗いし、汚れを落とします。
- ②水を含ませたきれいな布で、汚れを落とします。
- ③それでも汚れが落ちない場合は、純正ガラスクリーナーや家庭用中性洗剤などを使用して、柔らかい布を使ってミラー表面を洗浄後、十分な水で洗浄剤を洗い流してください。

・紫外線照射

屋外に車両を5～9時間ほど放置し、ミラー表面に太陽の光を当てます。

内装の手入れ

- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- 室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

ケミカル類、 液体芳香剤について

取扱方法や成分を確認の上、取り扱いには十分にご注意ください。

⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

- ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材、本革の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

次のことに注意してください。

- ・ ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。

また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。

- ・ ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

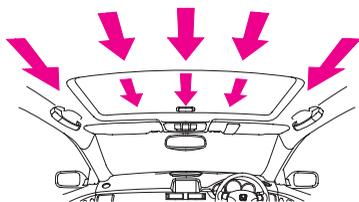
- ・ 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。

芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。



スウェード調ルーファイニングの取り扱い

ルーファイニングにはスウェード調表皮を採用しています。表皮に触れるなどして毛乱れが発生しムラに見えるときは、真水を含ませた柔らかい布で矢印の方向に軽く拭いて毛足を整えてください。



本革の取り扱い

タイプ別装備

- ①ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

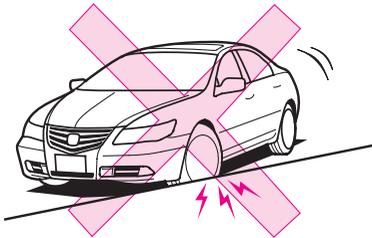
知識

- 本革部分に油污れなどが付くとカビなどの原因となるので、早めに落としてください。
- 本革部分を直射日光に長時間さらすと、変質、縮みの原因となります。駐車するときは、日よけに心がけてください。
- 夏期などは、ビニール類を本革部分の上に置かないでください。室内が高温になっていると、ビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。
- 雨などでぬれたときは、早めに水分をふき取り風通しのよい日陰で乾燥させてください。シート表面に水分が残っていると、皮革の硬化、収縮の原因となります。
- 助手席は、乾燥していない状態で使用するとサイドエアバッグの乗員姿勢検知システムが正しく作動しないおそれがあります。

アルミホイール について

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールや、ブレーキ装置に傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落とししてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

- ・純正部品には下のマークがついています。



- ・Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・車の改造はしないでください。不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	426
運転するとき	428
駐車するとき	432
冬期の手入れ	434

こんなときは

雨の日の運転	436
夏場の取り扱い	438

環境にやさしい

省エネドライブを

するために	440
-------	-----

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時に屋根に積もった雪がすべり落ち視界の妨げになるなど危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。
- ・ドアミラーに付着した雪や霜は、ヒートドアミラースイッチを“ON”にするか、温水や水道水を使って溶かしてください。解氷剤を使ったり、プラスチックの板を使って削り落とすと、ミラー表面に傷が付き、親水効果を失います。

ヒートドアミラー

100ページ

知識

- 通常格納位置のワイパーの上に雪が積もるとワイパーモーターの故障の原因になります。積雪が予想される場合はワイパーを積雪時の停止位置で止めておいてください。

ワイパーアームの停止位置

について 182ページ



凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、内蔵キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

寒冷地用ワイパーブレードを装着する際は、Honda販売店にご相談ください。

寒冷時以外は通常のワイパーブレードに戻してください。

乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

430ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

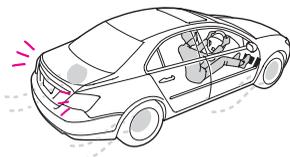
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



ブレーキの効きについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキの効きが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ウォッシャー液を噴射するとき

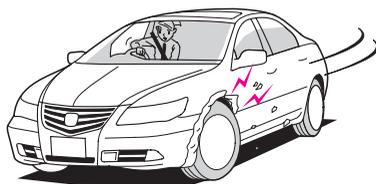
先にデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

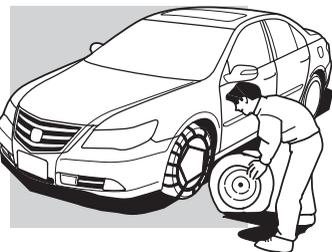
フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪に付けてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



タイヤチェーンについて

推奨タイヤチェーン

フェンダーやホイール表面を傷つけるおそれがありますので、Honda純正スチールチェーンをお使いください。

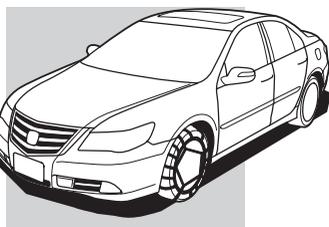
お求めはHonda販売店へお申し付けください。

- タイヤチェーンはタイヤに合った適正な物をお使いください。
推奨タイヤチェーン以外の物を使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。



標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、前輪に装着してください。後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

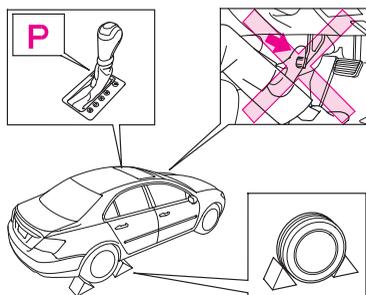


- タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールやブレーキ装置に傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

セレクトレバーをPに入れます。
石などで輪止めをしておきます。



屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・ エンジンが冷えすぎると始動しにくくなる場合があります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・ 車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは降雪時の停止位置に切り換えて、起こしてください。
 - ・ 積雪や凍結により、ワイパーがこわれることがあります。

ワイパーアーム停止位置の

切り換え

183ページ



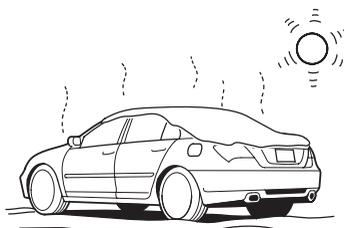
長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠ 注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

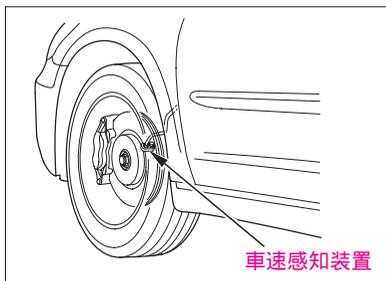
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。



冬期の手入れ

雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はHonda販売店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とす、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- ・冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキが効かなくなり、非常に危険です。



ガラスの曇りをとりたいとき
ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

ガラスの油膜をとりたいとき
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

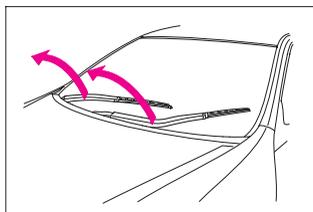
- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

ワイパーの拭きむらがあるとき
ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、拭きむらが出て視界の妨げとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



- ワイパーアームを起こすときは、降雪時の停止位置に引き上げてから、起こしてください。

ワイパーアームの停止位置
について 182ページ



夏場の 取り扱い

エアコンの上手な使いかた

- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。





炎天下に駐車するときは

- ・ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が「H」の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

374ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

適正空気圧で50km走ると50kPa {0.5kgf/cm²} 減
のときに比べてガソリン 150ccの節約。
CO₂ 1250g削減(650km / 月)



- タイヤの空気圧が低下すると走行抵抗が増加し、燃費に大きく影響します。また、冬用タイヤや幅広タイヤを装着したときも同様に燃費に影響します。

不必要な荷物は降ろして走行しましょう。

10kgの荷物を降ろして50km走ると、
ガソリン 15ccの節約。
CO₂ 130g削減(650km / 月)



エアコンは少し控えめにしましょう。

室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。

エアコンを6分停止して、ガソリン 70ccの節約。
CO₂ 1340g削減(3時間 / 月)

- エアコンは冷媒を循環するため、コンプレッサーをエンジンで駆動しており、エンジンに大きな負荷が発生します。それを補うため、燃料消費が多くなります。

ヘッドライトやリヤデフロスターは電力を多く消費するため、不必要なときはスイッチを“OFF”にしてください。

- 発電機はエンジンで駆動しており、消費電力が増加すると発電量が増加し、エンジンの負荷が大きくなり、それを補うため、燃料消費が多くなります。



空ぶかしはしないようにしましょう。

空ぶかしを1回やめて、ガソリン 6 ccの節約。

CO₂ 1150g削減 (300回 / 月)



長時間停車するときは、エンジンを停止してください。

また、長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。

5分間のアイドリングを止めて、ガソリン

65ccの節約。

CO₂ 420g削減 (10回 / 月)



変速位置の選択は、走行速度や坂の勾配に合わせて適切に行ってください。

- ・通常はDで走行します。
- ・下り坂で速度が出すぎてしまうときは、エンジンブレーキを使います。シフトスイッチを引いてシーケンシャルモードにし、走行速度に合わせてギヤを一段ずつ落とししてください。



- 下り坂などでエンジンブレーキを使う目的で、より低速のギヤを有効に使うと、燃料カットの時間が長くなり、燃費が良くなることがあります。

経済速度について

- ・高速道路では100km/hを80km/hにして燃費10～30%の節約。
- ・一般道路では法定速度(40～60km/h)の範囲で一定走行すると燃費は良くなります。



10・15モード燃費について

10・15モード燃費とは

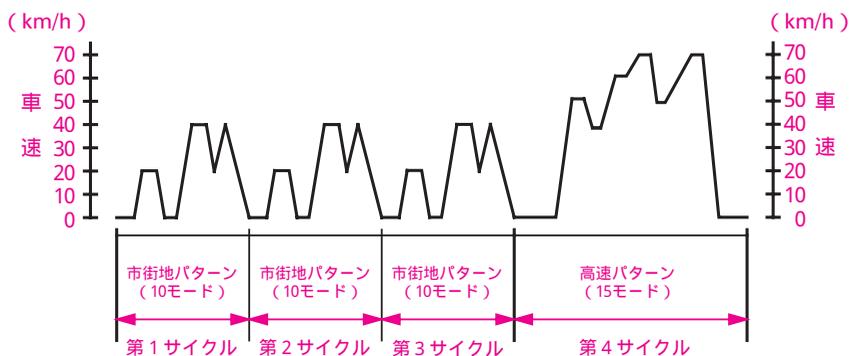
東京都内の幹線道路における平均的な走行形態の10モードと、高速走行や渋滞など大都市における走行形態を反映させた15モードを図のように

- ・市街地パターン(10モード)を3回
- ・高速パターン(15モード)を1回

の計4サイクルで走行したときの排出ガス量(g/km)を測定します。

このときに消費した燃料を10・15モード燃費(km/l)として表示しています。

* 計測走行距離 約4.2km、平均車速 22.7km/h



10・15モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

- ・完全暖機状態 60km/h 15分暖機後モード測定
- ・走行抵抗設定 車両(空車)状態 + 110kg(2名乗車分)
- ・搭載電気機器“OFF”状態
- ・エアコン“OFF”で測定



JC08モード燃費について

JC08モード燃費とは

10・15モードに比べ、より実際の走行に近くなるように新たに設けられた試験方法で、大都市圏での走行実態調査に基づいています。

JC08モードの大きな特徴は、

- ・ 細やかな加速・減速を繰り返す速度変化を与えながら走行
- ・ エンジンが冷えた状態からの走行が追加
(冷機状態：25%、暖機状態：75%)

などがあります。

一般に燃料消費率は、10・15モードに比べやや低い値になります。

* 計測走行距離 約8.2km、平均車速 24.4km/h

JC08モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

- ・ 完全暖機状態 60km/h 15分暖機後モード測定
- ・ 冷機状態からのモード測定
- ・ 走行抵抗設定 車両(空車)状態 + 110kg(2名乗車分)
- ・ 搭載電気機器“OFF”状態
- ・ エアコン“OFF”で測定

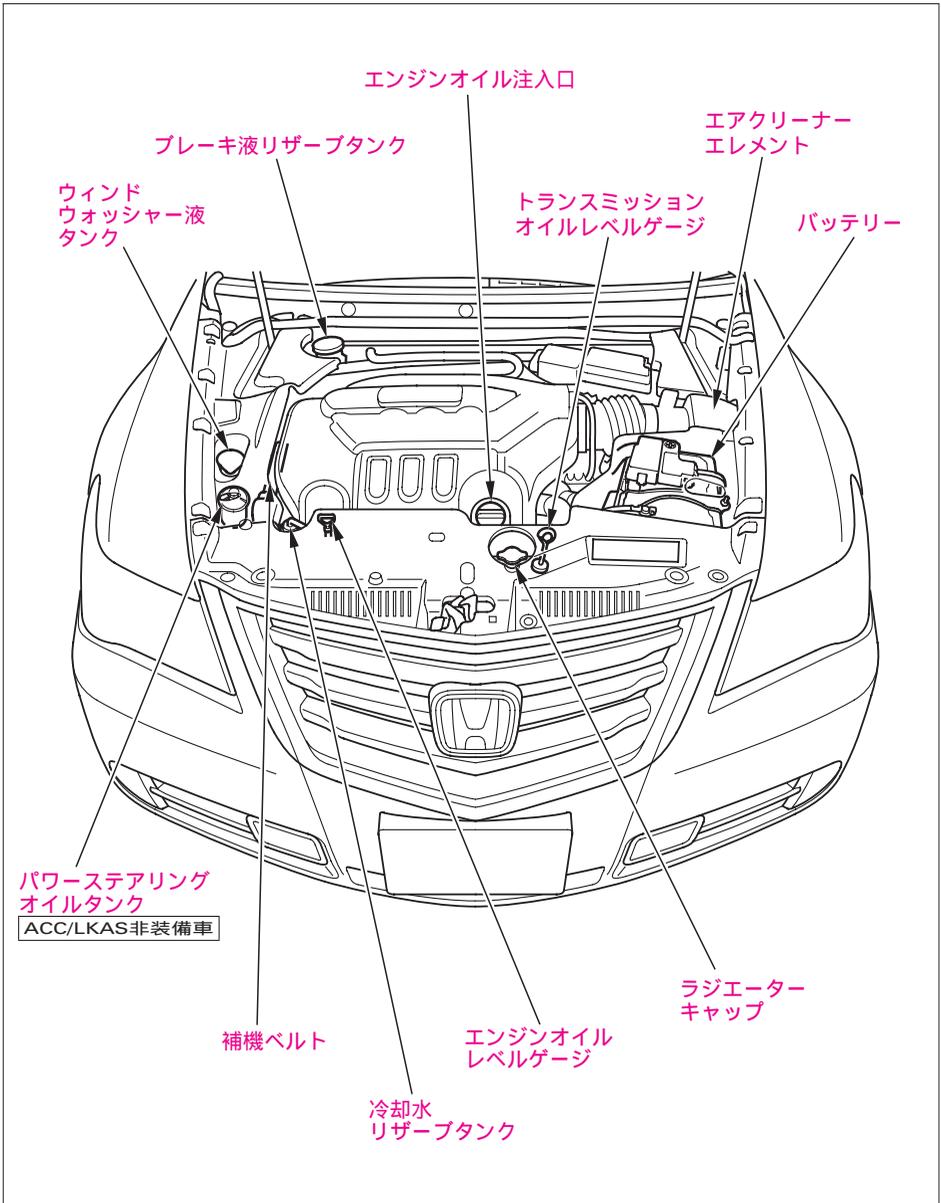
モード燃費と実走行燃費との違い

モード燃費は図のようにシャーシダイナモメーター上で定められた試験条件のもとで行われた燃費値です。

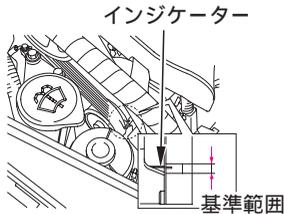
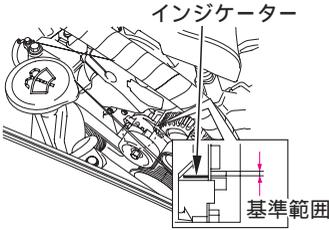
実際の走行時には気象、道路、車両、運転、整備などの状況が異なってきますので、それに応じて燃費が異なります。



サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量	ACC/LKAS非装備車		
	ACC/LKAS装備車		
	補機ベルト (パワーステアリング ¹ 、 発電機、 エアコンディショナー)	自動調整式 (インジケーターが基準範囲内にあること)	
点火プラグ ²	タイプ	NGK	ILZKR7B11S
	電極のすき間 (基準値)	DENSO	
ブレーキペダル	遊 び	1.0 - 1.1 mm	
	床板とのすき間	0.5 - 2.0 mm	
	カーペットとのすき間 (参考値)	125 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}	
パーキングブレーキ	踏 み し ろ	81 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}	
		5 - 6 ノッチ {約294N(30kgf)の力}	

1 : ACC/LKAS非装備車

2 : イリジウムプラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・イリジウム合金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。基準値をこえているものは交換してください。
(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ
バ ッ テ リ ー	容 量 / タイ プ	55AH(5) / 80D26R
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト)	ヘッドライト(外側)…………… 12V - 35W ¹
		(内側)…………… 12V - 60W ²
		フォグライト…………… 12V - 35W ²
		前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯 …… 12V - 21W (橙色)
		車幅灯…………… 12V - 5W
		側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯 …… LED
		後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯 …… 12V - 21W (橙色)
		番号灯…………… 12V - 5W
		制動灯 / 尾灯…………… LED
		ハイマウントストップランプ…………… LED
		後退灯…………… 12V - 21W
		前席室内灯 / 前席マップランプ…………… 12V - 8W
		後席室内灯 / 後席マップランプ…………… 12V - 8W
		ドア開閉灯…………… 12V - 3.8W
トランク照明灯…………… 12V - 5W		
バニティミラー照明灯…………… 12V - 2W		

1 : ディスチャージヘッドライト

2 : ハロゲンバルブ

⚠ 注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずHonda販売店で行ってください。
 ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4 サイクル四輪車用) ウルトラLEO SM(API SM/GF-4級SAE 0W-20) ウルトラLTD SM(API SM/GF-4級SAE 5W-30) ウルトラGOLD SM(API SM級SAE 5W-40) ウルトラMILD SM(API SM/GF-4級SAE 10W-30)	
	規 定 量	オイル交換時	4.0 ℓ
		オイル、オイルフィルター 同時交換時	4.3 ℓ

: 0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。

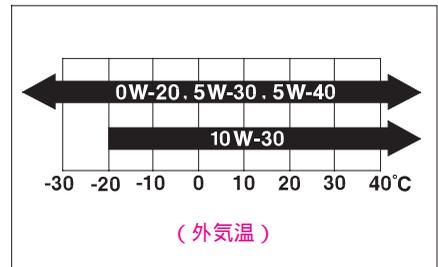
推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI SL 級以上か、オイル缶に API CERTIFICATION(エーピーアイ サーフティケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



API CERTIFICATIONマーク

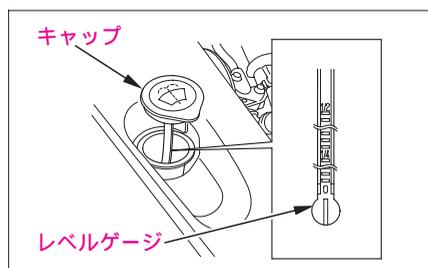
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
燃 料	指 定 燃 料	無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)	
	タ ン ク 容 量	73 ℓ	
トランスミッション オ イ ル	指 定 液	Honda純正ウルトラATF-Z1	
	規 定 量 (交換時)	2.8 ℓ	
リヤデファレンシャル オ イ ル	指 定 液	Honda純正ウルトラATF-Z1	
	規 定 量 (交換時)	SH-AWDハイボイド室	0.73 ℓ
		SH-AWDクラッチ室	2.66 ℓ
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラクーラント液	
	規 定 濃 度	50%	
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.58ℓ含む)	6.0 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3またはDOT 4	
パワーステアリング液 <small>ACC/LKAS非装備車</small>	指 定 液	Honda純正ウルトラパワーステアリングフルード-II	
ウォッシャー液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ	
エアクリナー エ レ メ ン ト	タ イ プ	湿式	

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



235/50R17 96Vタイヤ装着車

項目		タイヤ空気圧 kPa(kgf/cm ²)		リムサイズ
		前輪	後輪	アルミホイール
タイヤサイズ				
標準タイヤ	235/50R17 96V	220 (2.2)	210 (2.1)	17×8J
応急用スペアタイヤ	T155/70D17 110M	420 (4.2)		17×4T

245/45R18 96Yタイヤ装着車

項目		タイヤ空気圧 kPa(kgf/cm ²)		リムサイズ
		前輪	後輪	アルミホイール
タイヤサイズ				
標準タイヤ	245/45R18 96Y	220 (2.2)	210 (2.1)	18×8J
応急用スペアタイヤ	T155/70D17 110M	420 (4.2)		17×4T

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。

名称	排気量(cm ³)	車体形状	乗車定員(人)	タイプ
レジェンド	3,664	4ドアセダン	5	LEGEND
				L
				I
				EURO S
				EURO L

さくいん

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

ア

アームレスト	321
アクアクリンミラー	101
親水効果の回復作業	419
アクセサリーソケット	328
アダプティブクルーズコントロール(ACC)	
警告灯	153
表示灯	144
アダプティブフロントライティング	
システム(AFS)	174
オートレベリング	176
警告灯	155・175
雨の日の運転	436
アルミホイール	422
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	248
ABSのしくみ	248
警告灯	153・249
取り扱いについて	249
アンテナ	301
アンテナ線	418

イ

イージートランククローザー	63
E-プリテンショナー	
E-プリテンショナーのしくみ	246
警告灯	154・247
取り扱いについて	247
イグニッション(エンジン)	
スイッチ	168
スイッチノブ	160
イモビライザーシステム	84
表示灯	143
イルミネーションコントロール	122
インフォメーションディスプレイ	276

ウ

ウィンカー	
スイッチ	177
電球の交換	393・395
表示灯	141
W(ワット)数	446
ウェルカムライト	309

ウォッシャー液	
液量の点検	448
スイッチ	182
タンクの容量	448
冬期の手入れ	435
動けなくなったとき	358・359
雨滴検知センサー	179
運転のしかた	188

エ

エアクリナーエレメント	448
エアコン	278
インデックス	281
エアクリンフィルター	293
オートエアコン	282
使いかた	282・284
吹き出し風の調節	279
ベルト	445
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために	224
SRSエアバッグシステムのしくみ	220
お子さまを乗せるときは	225
警告灯	154・227
作動しないとき	223
作動するとき	222
取り扱いについて	226
SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム)	
運転するときは	215
SH-AWDのしくみ	214
警告灯	157・215
制御トルク表示	128
取り扱いについて	217
エレクトリックパワーステアリング(EPS)	
警告灯	156
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	447
冬期の手入れ	434
エンジンスイッチ	168
エンジンスイッチ照明灯	311
エンジンスイッチノブ	160
エンジンのかけかた	188・201
エンジンブレーキ	24
エンジンルーム	444

オ

追越合図(パッシング)	174
応急用スペアタイヤ	
格納場所	356
空気圧	368・449
サイズ	449
スペアタイヤについて	368
オーディオ	300
オートエアコン	282
オートドアロック	55
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	201
オイル	448
セレクトレバー	194
オートライトコントロール	172
オーバーヒートしたとき	374
オドメーター	129
音声操作	
エアコン	290
温度感知装置	292

カ

外気温表示	126・130
外装の手入れ	416
学童用(ジュニア)シート	21・111
カスタマイズ機能	
カスタマイズ機能とHondaスマート	
キーの非連動について	352
カスタマイズ項目一覧	330
カスタマイズのしかた	335
スイッチの使いかたとカスタマイズ	
画面の見かた	334
設定をリセットする	354
カップホルダー	324
ガラスの手入れ	417
換気	19
環境にやさしい省エネドライブを	
するために	440
簡単な整備	408
寒冷時の取り扱い	426

キ

キーオフオペレーション	78・82
キーの種類	42
内蔵キー	45
Hondaスマートキー	
(キーレスエントリー機能付き)	43
キックダウン	28

ク

曇り取り(デフロスター)	288
クリーブ現象	28
クルーズコントロール	209
表示灯	144・210
車にあった部品の使用	424
グローブボックス	322

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

ケ

経過時間表示	125・127
警告灯	
警告灯類	146
セーフティインジケータ	157
電球切れの点検	158
警告表示について	131
けん引	
けん引される時	362
故障車をけん引するとき	365

コ

コインポケット	324
広角タイプドアミラー	99
工具(ツール)	
格納場所	356
種類	357
後席室内灯	309
電球の交換	399
W(ワット)数	446
後席マップランプ	310
電球の交換	399
W(ワット)数	446
高速道路で故障したとき	358
航続距離表示	125・127
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	396
W(ワット)数	446
コートフック	326
故障したとき	358
故障の修理について	359
小物入れ	322
コンソールボックス	323
こんなときは	436

サ

サービスデータ	444
サイドエアバッグシステム/ サイドカーテンエアバッグシステム	
お子さまを乗せるときは	239
警告灯	154・243
サイドエアバッグシステム/ サイドカーテンエアバッグシステム	
の効果を十分に発揮させる ために	235
サイドエアバッグシステム/ サイドカーテンエアバッグシステム	
のしくみ	228
サイドエアバッグシステム自動停止 表示灯	142・238
作動しないとき	234
作動するとき	232
乗員姿勢検知システム	237
取り扱いについて	240
サイドサンシェード	317
三点式シートベルト	109・112・273
サンバイザー	320
サンルーフ	
サンシェード(遮光板)	79
操作	79

シ

シーケンシャルモード	197
表示灯	142・197
シート	
正しい運転姿勢	88
ヒーター	295・298
ベンチレーション	297
フロントシート	90
リヤシート	92
シートベルト	106
種類	108
ショルダーアンカー	113
チャイルドシート固定機構	114
着用のしかた	112
非着用警告灯	151
リマインダー (非着用警報装置)	109・273
シートベルトプリテンショナー	
警告灯	154・245
シートベルトプリテンショナーの しくみ	244
取り扱いについて	245
シガレットライター	318
事故が起きたとき	360
室内照明	308
室内装備品	316
室内灯スイッチ	309
シフトスイッチ	197
シフトロック装置	31・203・273
霜取り・曇り止め	
前面／側面ガラス	288
ジャッキの取り扱い	366
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	394
W(ワット)数	446
車両挙動安定化制御システム(VSA)	
運転のしかた	251
警告灯	154・253
取り扱いについて	252
表示灯	145
VSAのしくみ	250
車両限定型ISOFIX取付装置	116
充電警告灯	151
樹脂塗装部品	417
ジュニア(学童用)シート	21・111

瞬間燃費表示	125・127
純正部品	424
衝撃感知ドアロック解除システム	55
書類入れ	322
親水ミラー	101

ス

スーパーハンドリングオールホイール ドライブシステム(SH-AWD)	
運転するときは	215
SH-AWDのしくみ	214
警告灯	157・215
制御トルク表示	128
取り扱いについて	217
水温計	121
スイッチの使いかた	160
スノータイヤ(冬用タイヤ)	428
スパークプラグ(点火プラグ)	445
スピードメーター	121
スペアタイヤ	
格納場所	356
空気圧	368・449
サイズ	449
スペアタイヤについて	368

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

セ

整備	406
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	428
運転するまえ	426
駐車するとき	432
冬期の手入れ	434
セキュリティシステム	
イモビライザーシステムについて	84
セキュリティーアラームについて	85
セットのしかた	86
セレクトレバー	
操作	194
ポジション表示灯	142
洗車	416
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	174
上向き表示灯	141
追越合図(パッシング)	174
スイッチ	172
電球の交換(ハイビーム)	390
ロービームについて	389
W(ワット)数	446
前席室内灯	309
電球の交換	399
W(ワット)数	446
前席マップランプ	310
電球の交換	399
W(ワット)数	446

ソ

速度計	121
速度範囲	196
その他の安全装備	273

タ

タイヤ	
位置交換(ローテーション)	410
ウェアインジケーター	409
応急用スペアタイヤ	368
空気圧	368・449
サイズ	449
スノータイヤ	428
タイヤを交換するときは	369
チェーン	430
点検	408
タコメーター	121
正しい運転姿勢	88

チ

チェーン	430
チケットホルダー	321
チャイルド(幼児用)シート	21・111
チャイルドシート固定機構	
付きシートベルト	109・114
チャイルドシート固定装置	116
チャイルドブルーフ	54
駐車	
坂道	33
積雪・寒冷時の取り扱い	432
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	149
積雪・寒冷時の取り扱い	432
操作	191

ツ

追突軽減ブレーキ(CMBS)	
警告灯	155・264
作動しないとき	257
CMBSのしくみ	254
CMBSの自動停止について	261
CMBSの停止について	260
取り扱いについて	262
追突警報について	258

テ	
デファレンシャルオイル	448
デフロスター	185
点火プラグ	445
電気系統が異常のとき	376
電気装置が作動しないとき	381
電球(バルブ)	
交換	388
W(ワット)数	446
点検・整備について	406
電動チルト／	
テレスコピックステアリング	94
はね上げ動作について	95
電動リモコンドアミラー	97

ト	
ドア	
積雪・寒冷時の取り扱い	427
施錠・解錠	47
ドア開閉灯(カーテシーランプ)	313
電球の交換	400
W(ワット)数	446
ドアハンドル照明灯	313
ドアポケット	323
照明灯	315
ドアミラー	97
冬期の手入れ	434
道路で動けなくなったとき	359
時計	277
塗装の手入れ	414
トップテザーアンカレッジ	116・117
ドライビングポジションシステム	102
トランク	
開かないとき	403
開閉	68
施錠・解錠	56
トランク照明灯	
電球の交換	398
W(ワット)数	446
トランクフロアフック	327
トランスミッション	
オイルの容量	448
警告灯	151
表示灯	142

トリップメーター	126・129
----------	---------

ナ	
内装の手入れ	420
内蔵キー	45
ドアの施錠・解錠	52
パレット機能	43
夏場の取り扱い	438

ニ	
日常の手入れ	414
荷物フック	326
乳児用(ベビー)シート	21・111

ネ	
燃料(ガソリン)	
指定燃料	72・448
タンク容量	72・448
平均燃費表示	125・128
燃料計	121
燃料残量警告灯	152
補給口	72

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

ハ

パーキングブレーキ
警告灯 149
積雪・寒冷時の取り扱い 432
操作 191
戻し忘れ警告ブザー 192
灰皿 319
ハイドロブレーニング現象 436
ハイビーム表示灯 141
ハイマウントストップランプ 273
ハザードランプ(非常点滅表示灯)
スイッチ 177
電球の交換 393・395
W(ワット)数 446
はさみ込み防止機構 64・78・82
発炎筒
格納場所 356
発炎筒について 357
バックミラー(後写鏡)
使いかた 96
はっ水ガラス 418
バッテリー
充電 379
冬期の手入れ 434
バッテリーあがり 376
容量/タイプ 446
発電機ベルト 445
バニティミラー(化粧鏡) 320
バニティミラー照明灯
電球の交換 400
W(ワット)数 446
ハロゲンバルブについて 389
パワーウィンドー 75
パワーシート 90
パワーステアリング(ECPS)
警告灯 156
パワードアロック(オートドアロック) 55
パワートランク
開かないとき 403
開閉 58
施錠・解錠 56

パンク

積雪・寒冷時の取り扱い 430
パンクしたとき 366
番号灯(ライセンスランプ)
電球の交換 397
W(ワット)数 446

ヒ

ビークルスタビリティアシスト(VSA)
運転のしかた 251
警告灯 154・253
取り扱いについて 252
表示灯 145
VSAのしくみ 250
PGM-FI警告灯 150
ヒートドドアミラー 100
非常点滅表示灯(ハザードランプ)
スイッチ 177
電球の交換 393・395
W(ワット)数 446
ヒューズ 381・382・383・384・385
表示灯 138

フ

フォグライト	
スイッチ	176
電球の交換	392
表示灯	141
W(ワット数)	446
吹き出し風の調節	279
フットランプ	312
踏切で動けなくなったとき	358
フューエルリッド	73
開かないとき	402
プラグ	445
ブレーキ	
液	448
警告灯	149
積雪・寒冷時の取り扱い	429
倍力装置	24
ペダル	445
ブレーキアシスト	266
取り扱いについて	266
フロントガラス熱線スイッチ	184
フロントシート	90

ヘ

平均車速表示	125・127
平均燃費表示	125・128
ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	174
上向き(ハイビーム)表示灯	141
追越合図(パッシング)	174
スイッチ	172
電球の交換(ハイビーム)	390
ロービームについて	389
W(ワット)数	446
ヘッドレスト	
フロント	91・92
リヤ	92
ベビー(乳児用)シート	21・111
ベルトのたわみ量	445

ホ

ホイールサイズ	449
芳香剤	420
方向指示器(ウィンカー)	
スイッチ	177
電球の交換	393・395
表示灯	141
W(ワット)数	446
ホーンスイッチ	186
ポップアップフードシステム	268
本革の取り扱い	421
ボンネット	71

赤色文字の項目は、万一のときの処置についてのものです。

マ

マップランプ
使いかた 310
電球の交換 399
W(ワット)数 446
窓ガラスアンテナ 418
マルチインフォメーションディスプレイ
警告表示について 131
表示について 125
万一のとき 355

ミ

ミラー
ドアミラー 97
ルームミラー 96

ム

無線装置 35

メ

メーター(計器類) 120

コ

油圧警告灯 150
雪道走行後の手入れ 434

ヨ

幼児用(チャイルド)シート 21・111

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー 173
ライトスイッチ 172
ライト点灯表示灯 141
ライト類が点灯しないとき 381

リ

リバース連動ドアミラー 98
リムサイズ 449
リモートコントロールドアミラー 97
リヤサンシェード 316
リヤカメラシステム 302
リヤシート 92
リヤデフロスタースイッチ 185
リヤヘッドレスト格納スイッチ 93

ル

ルーフライニングの取り扱い 421
ルームミラー(防眩式室内後写鏡) 96

レ

レーダーセンサー 262・263
レーンキープアシストシステム(LKAS)
警告灯 153
表示灯 144
冷却水(ラジエーター液)
水量 448
冬期の手入れ 435

ロ

ロアアンカレッジ 116・117

ワ

ワイパー
交換 412
スイッチ 178
積雪・寒冷時の取り扱い 427
停止位置 182
停止位置の切り換え 183
ワックスかけ 417

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	248
ABSのしくみ	248
警告灯	153・249
取り扱いについて	249
A/C(エアコン)	
インデックス	281
使いかた	282・284
吹き出し風の調節	279
ベルト	445
ACC(アダプティブクルーズコントロール)	
警告灯	153
表示灯	144
AFS(アダプティブフロント ライティングシステム)	
オートレベリング	176
警告灯	155・175
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	201
オイル	448
セレクトレバー	194
AV入力端子	327

C

CMBS(追突軽減ブレーキ)	
警告灯	155・264
作動しないとき	257
CMBSのしくみ	254
CMBSの自動停止について	261
CMBSの停止について	260
取り扱いについて	262
追突警報について	258

E

ELR付三点式シートベルト	108
ELR・ALR付三点式シートベルト	108
E-プリテンショナー	
E-プリテンショナーのしくみ	246
警告灯	154・247
取り扱いについて	247
ETC(有料道路自動料金支払いシステム)	
車載器	329

H

Hondaスマートキーシステム	
エンジンスイッチノブ	160
エンジンのかけかた	188
Hondaスマートキーの電池交換	401
カスタマイズ機能について	342
警告灯	152
警告表示について	131
ドアの施錠・解錠	48
トランクの施錠・解錠	56

I

INT(間欠ワイパー)	181
-------------	-----

L

LKAS(レーンキープアシストシステム)	
警告灯	153
表示灯	144

M

M(シーケンシャルモード)表示灯	142
MIST(ワイパースイッチ)	179

P

PGM-FI警告灯	150
PRESS(シートベルトバックル)	112

S

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの効果を

十分に発揮させるために 224

SRSエアバッグシステムのしくみ 220

お子さまを乗せるときは 225

警告灯 154・227

作動しないとき 223

作動するとき 222

取り扱いについて 226

SH-AWD(スーパーハンドリングオール

ホイールドライブシステム)

運転するときは 215

SH-AWDのしくみ 214

警告灯 157・215

制御トルク表示 128

取り扱いについて 217

T

TRIP(トリップメーター) 126・129

U

USB接続端子 329

V

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

運転のしかた 251

警告灯 154・253

取り扱いについて 252

表示灯 145

VSAのしくみ 250

W

W数(ライト類の電球のワット数) 446

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル

0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車検証記載事項

車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日

②車種名、タイプ名、走行距離 ③ご購入年月日 ④販売店名

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- ・衝突によりセンサーが一定以上の衝撃を感知したとき
 - ・エアバッグシステムの故障診断情報
 - ・エアバッグの作動に関する情報
 - ・助手席乗員の有無
 - ・運転席および助手席のシートベルト着用の有無(E・プリテンショナー装備車)
- ・常時
 - ・動力伝達機構の状態
 - ・運転状態

HondaおよびHondaが委託した第三者は、記録されたデータを、技術的な診断やHondaの車両の研究開発の目的のために、取得・利用することがあります。
なお、会話等の音声や映像は記録されません。

データの開示について

HondaおよびHondaが委託した第三者は、取得したデータを、以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- ・お車の所有者または使用者の同意がある場合
- ・裁判所命令等、法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行う等、使用者や車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

こんなことでお困りのとき

Hondaスマートキーまたはキーレスエントリーで解錠しても、自動で閉まってしまう

- ・Hondaスマートキーまたはキーレスエントリーで解錠してから、ドアを開けないまま、約30秒たっていないですか。

Hondaスマートキー 50ページ

キーレスエントリー 51ページ

エンジンスイッチノブが回せない

“0”から“Ⅰ”に回らないとき（ハンドルロックの解除）

Hondaスマートキー使用時

- ・ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチノブを回すか、エンジンスイッチノブを押し直してゆっくり回してください。

エンジンスイッチノブ 162ページ

内蔵キー使用時

- ・ハンドルを左右に動かしながら内蔵キーを回してください。

エンジンスイッチ 170ページ

“Ⅰ”から“0”に回らないとき

- ・セレクトレバーがPに入っていますか。

エンジンスイッチノブを“0”に回すとき 163ページ

エンジンがかからない

- ・セレクトレバーがPかNに入っていますか。
- ・イモビライザーシステム表示灯が点滅していませんか。

イモビライザーシステムについて 84ページ

- ・Hondaスマートキーに異常はありませんか。

エンジン始動の作動範囲 161ページ

- ・ガソリンが入っていますか。（メーター内の燃料計で確認してください。）
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき 376ページ

セレクトレバーがPから動かせない

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
（操作できないときは、内蔵キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。）

セレクトレバーが動かないとき 203ページ

- ・エンジンスイッチノブを“Ⅱ”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を 31ページ

パワーウィンドーの開閉ができない

- ・パワーウィンドーのメインスイッチが“OFF”になっていませんか。

パワーウィンドー 75ページ

ドアを開けるとブザーが鳴る

「ボーン」とブザーが繰り返し鳴り続けるときは

Hondaスマートキー使用時

- ・エンジンスイッチノブを“0”（プッシュオフ）以外にしていますか。
エンジンスイッチノブ警告ブザー 164ページ

内蔵キー使用時

- ・エンジンスイッチを“0”以外にしていますか。
- ・内蔵キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。
内蔵キー抜き忘れ警告ブザー 171ページ

「ボーン」とブザーが鳴り続けるときは

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。
ライト消し忘れ警告ブザー 173ページ

後席ドアが室内から開けられない

- ・チャイルドブルーフが施錠されていませんか。
チャイルドブルーフ 54ページ

キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

水温計の針が“H”の目盛に入った エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)
オーバーヒートしたとき 374ページ

走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(Honda販売店で点検を行ってください。)

走行中にブレーキを踏むと、ペダルが振動する

- ・アンチロックブレーキシステム(ABS)が作動したものと思われます。
ABSのしくみ 248ページ

走行するとブザーが鳴る

ブザーが鳴り、シートベルト非着用警告灯が点滅しているときは

- ・運転席シートベルトを着用していますか。
(運転席シートベルトを着用してください。)
シートベルトリマインダー 109ページ

ブザーが鳴り、ブレーキ警告灯が点灯しているときは

- ・パーキングブレーキを完全に解除していますか。
(パーキングブレーキを完全に解除してください。)
ブレーキ警告灯 149ページ
パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー 192ページ

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manual のホームページ
<http://www.honda.co.jp/manual/>